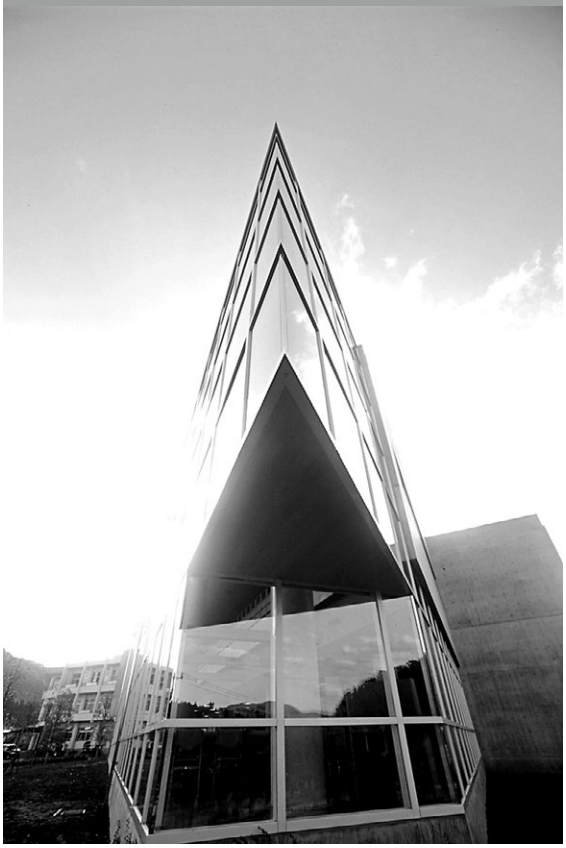
JIN-AI UNIVERSITY
2022 SYLLABUS

令和４年度
人間学部
シラバス



仁愛大学
JIN-AI UNIVERSITY

目　　次

Ⅰ．１年生

＜学部共通科目＞

仏教の人間観……田代　俊孝……1
生命の倫理……橋本　武志……4
人間の教育……高野　秀晴……7
芸術の世界……中野　研也……10
人間と環境Ａ……鳴瀬　　碧……13
人間と環境Ｃ……禿　　寿……16
スポーツと健康……野田　政弘……19
スポーツＡ……山村　恵子……22
スポーツＢ……山村　恵子……25
英語Ⅰａ……矢橋　知枝・Ｍクズィフ・フッド晴美・山口　和代……28
英語Ⅰｂ……矢橋　知枝・Ｍクズィフ・フッド晴美・山口　和代……31
フランス語ａ……大竹口麻里……34
フランス語ｂ……大竹口麻里……37
ドイツ語ａ……橋本　武志……40
ドイツ語ｂ……橋本　武志……43
中国語ａ……ショウ　ロ……46
中国語ｂ……ショウ　ロ……48
ポルトガル語ａ……坂東　照啓……50
ポルトガル語ｂ……坂東　照啓……52
情報リテラシーａ……安彦　智史・禿　　寿・藤本　雄紀……54
情報リテラシーｂ……安彦　智史・禿　　寿・藤本　雄紀……57
情報活用ａ……竹村　順吾……60
情報活用ｂ……竹村　順吾……63
基礎演習（心理）……森・坂井・山本・吉水・渡辺・森本……66
基礎演習（コミュニケーション）…加藤･橋本･安彦･江南･織田･升田･小川･禿……69
日本語文章表現……大河　晴美・國久　繁雄……72
キャリア・デザインⅠ……植月　百枝……75
フィールドワーク演習（ボランティア）(心理)……大森　慈子……78
フィールドワーク演習（ボランティア）(コミュニケーション)…小川　　慶……80
フィールドワーク演習（国際交流）……Ｍ　ハウカ……82

＜心理学科専門科目＞

心理学概論Ⅰ……大森　慈子……84

心理学概論Ⅱ……大森　慈子……87
心理学研究法Ⅰ……杉島　一郎……90
心理学研究法Ⅱ……杉島　一郎……93
心理学統計法Ⅰ……森本　文人・山岸　厚仁……96
心理学統計法Ⅱ……水田　敏郎・山岸　厚仁……99
感情・人格心理学……森　　俊之……102
精神分析学……西村　則昭……105
学習・言語心理学……杉島　一郎……108

＜コミュニケーション学科専門科目＞

コミュニケーション概論……升田　法継……111
異文化理解ａ……加藤　優子……114
人間関係論……橋本　武志……117
地域研究概論……江南　健志……120
日本語概論……門屋　飛央……123
共生社会論……織田　暁子……126
デジタル・デザイン……吉村　正照……129
情報社会基礎演習……安彦　智史……132
コミュニケーション技法……植月　百枝……135
オーラル・コミュニケーションⅠａ……Ｍ　ハウカ……138
英文法……加藤　優子……141
プレゼンテーション技法……禿　　寿……144
プロジェクト・デザイン入門……升田　法継……147
異文化理解ｂ……加藤　優子……150
社会学入門……江南　健志……153
オーラル・コミュニケーションⅠｂ……Ｍ　ハウカ……156

Ⅱ．２年生

＜学部共通科目＞

人間と宗教……門脇　　健……159
仏教の思想……市野　智行……161
哲学の世界観……橋本　武志……163
文学の世界……大河　晴美……166
歴史と地域文化……久保　智康……169
人権と法……早川　秋子……172
日本国憲法……早川　秋子……174
人間と環境Ｂ……大久保嘉雄……177

ふくい総合学……鳴瀬　碧・杉島　一郎・橋本　武志・鈴木　智子……180
英語Ⅱa……Mクズィフ・フッド晴美・山口　和代……183
英語Ⅱb……Mクズィフ・フッド晴美・山口　和代……186
情報活用a……竹村　順吾……189
情報活用b……竹村　順吾……192
情報処理演習a……竹村　順吾……195
情報処理演習b……竹村　順吾……198
キャリア・デザインⅡ……升田　法継……201
フィールドワーク演習（ボランティア）(心理)……大森　慈子……204
フィールドワーク演習（ボランティア）(コミュニケーション)……小川　慶……206
フィールドワーク演習（国際交流）……M　ハウカ……208

＜心理学科専門科目＞

心理学実験……山本雅代・森本文人・山岸厚仁・青井利哉・田中千晶……210
心理測定実習……大森　慈子・森本　文人・山岸　厚仁……213
心理的アセスメント……森　俊之……216
心理調査法……竹村　明子……218
臨床心理学概論Ⅰ……稲木康一郎……221
臨床心理学概論Ⅱ……稲木康一郎……224
健康・医療心理学……渡辺　克徳……227
発達心理学Ⅰ……竹村　明子……230
発達心理学Ⅱ……竹村　明子……233
知覚・認知心理学……杉島　一郎……236
神経・生理心理学……水田　敏郎……239
社会・集団・家族心理学Ⅰ……山本　雅代……242
社会・集団・家族心理学Ⅱ……山本　雅代……245
産業・組織心理学Ⅰ……重森　雅嘉……248
産業・組織心理学Ⅱ……山本　雅代……251
心理学特別講義……複数で担当……254

＜コミュニケーション学科専門科目＞

日本の言語文化a……大河　晴美……257
言語コミュニケーション論……矢橋　知枝……260
情報社会論……小川　慶……263
公共政策……竹内　直人……266
情報メディア……安彦　智史……269
プレゼンテーション技法……北神　慎司……272

企画開発論Ⅰ……野尻　昌明……275
デザイン文化論……舩山　俊克……278
地域経済論……禿　　寿……281
情報システム論……安彦　智史……284
日本の言語文化ｂ……大河　晴美……287
英語学Ⅱ……矢橋　知枝……290
英文講読ａ……紺渡　弘幸……293
英文講読ｂ……紺渡　弘幸……296
英米文化論……加藤　優子……299
企画開発演習Ⅰ……冨永　良史……302
コミュニケーション技法Ⅰ……大河　晴美……305
コミュニケーション技法Ⅱ……植月　百枝……307
ライティング技法……野尻　昌明……310
メディア･コミュニケーション論……升田　法継……313
メディア・デザイン……吉村　正照……316
プロジェクト・デザイン基礎……野尻　昌明……319
オーラル・コミュニケーションⅡａ……Ｍ　ハウカ……322
オーラル・コミュニケーションⅡｂ……Ｍ　ハウカ……325
TOEIC英語Ⅰ……矢橋　知枝……328
メディア英語……加藤　義治……331
英作文演習……Ｍ　ハウカ……334
家族社会学……織田　暁子……337
社会調査法……織田　暁子……340
情報・社会調査基礎……織田　暁子・江南　健志……343
社会調査方法論……織田　暁子……346
統計学……禿　　寿……349
データ解析法ａ……江南　健志……352
観光社会学……江南　健志……355

Ⅲ．３年生

＜学部共通科目＞

英語Ⅲａ……Ｍクズィフ……358
英語Ⅲｂ……Ｍクズィフ……361
情報処理演習ａ……竹村　順吾……364
情報処理演習ｂ……竹村　順吾……367
フィールドワーク演習（インターンシップ）……升田　法継・森本　文人……370
フィールドワーク演習（ボランティア）(心理)……大森　慈子……372

フィールドワーク演習（ボランティア）(コミュニケーション)……小川　慶……374
フィールドワーク演習（国際交流）……M　ハウカ……376

＜心理学科専門科目＞

心理検査演習……吉水ちひろ・坂井　祐円・青井　利哉……378
心理面接演習……稲木　康一郎・坂井　祐円……381
司法・犯罪心理学……廣井　亮一……384
教育・学校心理学……竹村　明子……387
交通心理学……森本　文人……390
スポーツ心理学……野田　政弘……393
臨床心理学演習……渡辺　克徳・坂井　祐円……396
心理学的支援法……西村　則昭……399
精神疾患とその治療Ⅰ……三脇　康生……402
精神疾患とその治療Ⅱ……三脇　康生……405
深層心理学……西村　則昭……408
生理心理学実習……水田　敏郎・大森　慈子……411
行動解析実習……森本　文人・大森　慈子・山岸　厚仁……414
人体の構造と機能及び疾病……岸　慎治……417
比較心理学……山岸　厚仁……420
障害者・障害児心理学……水田　敏郎……423
福祉心理学……坂井　祐円……426
社会心理学演習……山本　雅代・竹村　明子……429
多変量解析演習……杉島　一郎……433
消費者心理学……山本　雅代……436
産業カウンセリング……黒田　優希……439
関係行政論……岸野　徹・白崎俊一郎……442
心理学特別演習Ⅰ……複数で担当……445

＜コミュニケーション学科専門科目＞

ビジネス能力論……野尻　昌明……447
ビジネスコミュニケーション研究……升田　法継……450
日本文化論……大河　晴美……453
企画開発論Ⅱ……小川　慶……456
企画開発演習Ⅱ……小川　慶……459
マルチメディア演習……吉村　正照……462
デザイン実務演習……浅野　桃子……465
プロジェクト・デザイン演習……禿　寿……468

英語コミュニケーションａ……M　ハウカ……471
英語コミュニケーションｂ……M　ハウカ……474
TOEIC英語Ⅱ……矢橋　知枝……477
ビジネス英語ａ……加藤　優子……480
ビジネス英語ｂ……加藤　優子……483
英語文章表現法……紺渡　弘幸……486
英語学研究……矢橋　知枝……489
英語文学研究……原口　　治……492
現代社会研究……小川　　慶……495
データ解析法ｂ……織田　暁子……498
プログラミング……安彦　智史……501
情報・社会調査演習ａ……江南　健志・織田　暁子……504
情報・社会調査演習ｂ……江南　健志・織田　暁子……507
企業と情報……升田　法継……510
コミュニケーション特別演習Ⅰａ……複数で担当……513
コミュニケーション特別演習Ⅰｂ……複数で担当……516

Ⅳ．４年生

＜学部共通科目＞

フィールドワーク演習（ボランティア）(心理)……大森　慈子……519
フィールドワーク演習（ボランティア）(コミュニケーション)……小川　　慶……521
フィールドワーク演習（国際交流）……M　ハウカ……523

＜心理学科専門科目＞

学校臨床心理学……廣澤　愛子……525
社会福祉概論……下山　久之……528
心理学特別演習Ⅱ……複数で担当……531
卒業研究……複数で担当……533
公認心理師の職責……複数で担当……535
心理演習……渡辺　克徳・稲木康一郎……538
心理実習……森　　俊之・吉水ちひろ……541

＜コミュニケーション学科専門科目＞

デザインマネジメント論……吉村　正照……544
プロジェクト・デザイン研究……小川　　慶……547
異文化コミュニケーション……加藤　義治……550
現代文化研究……江南　健志……553

コミュニケーション特別演習Ⅱa……複数で担当……556
コミュニケーション特別演習Ⅱb……複数で担当……559
卒業研究……複数で担当……562

Ⅴ．特設科目

教職論……高野　秀晴……564
教育原理……高野　秀晴……567
教育心理学……杉島　一郎……570
教育経営論……奥谷　　崇……573
特別支援教育論……乙部　貴幸……576
教育課程論……高野　秀晴……579
英語科教育法Ⅰ……フッド晴美……582
英語科教育法Ⅱ……フッド晴美……585
英語科教育法Ⅲ……紺渡　弘幸……588
英語科教育法Ⅳ……紺渡　弘幸……591
道徳教育の理論と方法……高野　秀晴……594
特別活動及び総合的な学習時間の指導法……伊禮　三之……597
教育の方法と技術……篭谷　隆弘……600
生徒・進路指導論……小林　仁章……603
教育相談……佐々木雅代……606
事前・事後指導……紺渡　弘幸……609
教育実習Ⅰ……紺渡　弘幸……612
教育実習Ⅱ……紺渡　弘幸……614
教職実践演習……紺渡　弘幸・奥谷　　崇・フッド　晴美……616

仏教の人間観 (Views on the Humanity of Buddhism)			担当教員	田代　俊孝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1110	2単位	1年前期	講義	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　全学共通科目

求める学習成果(教育目標)

人生に対する思索を深め、考える能力と豊かな人間性を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本授業の目的は、建学の精神「仁愛兼済」のこころを育て、自分の人生をいきいきと生きていく力を身に付けることである。そのため、釈尊・親鸞の生涯やその教えにおける人間観を学ぶことを通して「本当の自分とは何か」を尋ねていく。

授 業 の 到 達 目 標

釈尊・親鸞の生涯とその教えについて述べることができる。
仏教における人間観を学び、「本当の自分とは何か」を考察し、表現することができる。
「仁愛兼済」を生きる人間像について、具体的に自分の考えを述べることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（コメントペーパーの記載・ノートの提出）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：建学の精神を学ぶ　①仁愛兼済とは
　事前学習：建学の精神について調べておく。（2時間）
　事後学習：テキスト「和」の当該箇所を読んでノートに整理しておく。（2時間）
第2回：建学の精神を学ぶ　②学業とキャンパスモニュメント
　事前学習：キャンパスの中のモニュメントについてノートに整理する。（2時間）
　事後学習：テキスト「和」の当該箇所を読んでノートに整理しておく。（2時間）
第3回：釈尊の生涯　①釈尊という人　ただ独り尊し-人間の尊厳-
　事前学習：釈尊の伝記を調べる。（2時間）
　事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートに整理する。（2時間）
第4回：釈尊の生涯　②王宮での生活　四門出遊・出家
　事前学習：仏教に関する本で「釈尊の出家の意味」を調べてくる。（2時間）
　事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートに整理する。（2時間）
第5回：仏陀の生涯　③修業・降魔・成道・転法輪
　事前学習：身近にある仏教の本やインターネットで釈尊の修行・成道について調べる。（2時間）
　事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートに整理する。（2時間）
第6回：仏陀の生涯　④四諦八正道・対機説法・弟子たちの学び
　事前学習：仏陀のさとりの内容をインターネットで調べる。（2時間）
　事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートに整理する。（2時間）
第7回：仏陀の生涯　⑤釈尊の入滅・涅槃、私たちの課題
　事前学習：仏陀の入滅・涅槃についてインターネットで調べる。（2時間）
　事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートに整理する。（2時間）
第8回：親鸞の生涯とその教え
　事前学習：親鸞の伝記と思想の概要について調べる。（2時間）
　事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートに整理する。（2時間）
第9回：『歎異抄』に学ぶ　①歎異抄とは
　事前学習：『歎異抄』について調べてくる。（2時間）
　事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートに整理する。（2時間）

第10回：『歎異抄』に学ぶ　②歎異精神-真理に異なる自己-
事前学習：有名な「歎異精神」とはどんな考え方か、参考書で調べてくる。（２時間）
事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートに整理する。（２時間）
第11回：『歎異抄』に学ぶ　③弥陀の誓願不思議-大いなる願いの中に-
事前学習：有名な「本願に救われる」とはどんな考え方か、参考書で調べてくる。（２時間）
事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートに整理する。（２時間）
第12回：『歎異抄』に学ぶ　④おのおの十余か国を経て-道を求める心-
事前学習：「道を求める」とはどういうことか、仏教書やインターネットを参考にして考える。（２時間）
事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートにまとめる。（２時間）
第13回：『歎異抄』に学ぶ　⑤いわんや悪人をや-自己との出遇い-
事前学習：『歎異抄』の中の「悪人正機」についてインターネット等で調べる。（２時間）
事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートにまとめる。（２時間）
第14回：『歎異抄』に学ぶ　⑥有縁を渡すべきなり-道徳を超える-
事前学習：道徳と宗教の違いを考える。（２時間）
事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートにまとめる。（２時間）
第15回：『歎異抄』に学ぶ　⑦親鸞一人がためなりけり-火宅の危機-
事前学習：宗教とは何かをインターネット等の資料を見て考える。（２時間）
事後学習：オンデマンドの資料を読んでノートにまとめる。
東京新聞「いのちを考える」上・下の記事を読んで感想をノートに書く。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

講義の筆録ノートの提出による評価（80%）、平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況、eラーニングによる質問などの状況を総合的に判断して決める。

成　績　評　価　基　準

釈尊や親鸞の生涯と思想の基礎について、理解しているか。
仏教における人間観を学び、「本当の自分とは何か」を考察し、表現することができるか。
「仁愛兼済」を生きる人間像について、具体的に自分の考えを述べることができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
３）コメントペーパーに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
４）提出された筆録ノートに対するフィードバックについて
（ノートにコメントを記載して返却）

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

テキスト：福井仁愛学園編『和』福井仁愛学園発行　2022年
参考書：田代俊孝著『ビハーラ往生のすすめ－悲しみからのメッセージ－』京都・法蔵館　2005年

その他（受講上の注意）
毎回、決められた時間に課題をすること。課題の筆録ノートは学期末に仁愛大学学務課宛に郵送してください。 出欠は毎時、授業の内容理解の確認アンケートを行うので、その回答をもって確認します。必ず回答してください。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

生命の倫理 (Bioethics)			担当教員	橋本　武志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1121	2単位	1年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

技術の進歩によって、従来不可能であった治療ができるようになっている。だが、それにともなって、われわれの従来の死生観・人間観を揺さぶるようなさまざまな倫理問題が発生している。本講義では、先端医療の現状を知ったうえで、こうした倫理問題に対する、日本を含む諸外国の考え方の違い、ガイドラインや政策の相違について知り、こうした問題についての現在までのさまざまな議論を紹介する。

授　業　の　到　達　目　標

・生命をめぐるさまざまな倫理問題について認識する。
・QOLやインフォームド・コンセント、滑りやすい坂、など、生命倫理学の基礎的な用語を習得する。
・生命倫理問題について、国内外のさまざまな議論を知る。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション～生命倫理学という学問について
　事前学習：「倫理」「規範」の語義について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：復習テストを行い、当日の講義内容について自分なりに纏めておくこと（2時間）
第2回：生命倫理学（バイオエシックス）の発祥
　事前学習：「バイオエシックス」の語義について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：復習テストを行い、当日の講義内容について自分なりに纏めておくこと（2時間）
第3回：患者の自己決定権とインフォームド・コンセント
　事前学習：「優生思想」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：復習テストを行い、当日の講義内容について自分なりに纏めておくこと（2時間）
第4回：線引き問題とパーソン論
　事前学習：「パーソン論」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：復習テストを行い、当日の講義内容について自分なりに纏めておくこと（2時間）
第5回：パーソン論以外の議論
　事前学習：「アメリカの中絶論争」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：復習テストを行い、当日の講義内容について自分なりに纏めておくこと（2時間）
第6回：臓器移植の問題1~移植医療の歴史
　事前学習：「移植の歴史」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：復習テストを行い、当日の講義内容について自分なりに纏めておくこと（2時間）
第7回：移植医療の問題2～日本の移植停滞のさまざまな要因
　事前学習：日本の現行の「臓器移植法案」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：復習テストを行い、当日の講義内容について自分なりに纏めておくこと（2時間）
第8回：移植医療の問題3~脳死臓器移植への批判
　事前学習：「脳死」と「心臓死」の違いについて調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：復習テストを行い、当日の講義内容について自分なりに纏めておくこと（2時間）
第9回：安楽死の世界事情
　事前学習：オランダの安楽死事情について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：復習テストを行い、当日の講義内容について自分なりに纏めておくこと（2時間）

第10回：自己決定権と治療停止
事前学習：「尊厳死」について調べノートしておくこと（2時間）
事後学習：復習テストを行い、当日の講義内容について自分なりに纏めておくこと（2時間）
第11回：安楽死をめぐる議論
事前学習：「積極的安楽死」について調べノートしておくこと（2時間）
事後学習：復習テストを行い、当日の講義内容について自分なりに纏めておくこと（2時間）
第12回：社会科学の倫理理解1
事前学習：「エミール・デュルケーム」について調べノートしておくこと（2時間）
事後学習：復習テストを行い、当日の講義内容について自分なりに纏めておくこと（2時間）
第13回：社会科学の倫理理解2
事前学習：「集合意識」について調べノートしておくこと（2時間）
事後学習：復習テストを行い、当日の講義内容について自分なりに纏めておくこと（2時間）
第14回：種差別と動物解放論
事前学習：「種差別」について調べておくこと（2時間）
事後学習：当日の講義内容について、自分なりに纏めておくこと（2時間）
第15回：これまでのまとめ
事前学習：これまでの資料を見直して、わからない箇所の質問を考えておくこと（2時間）
事後学習：復習テストを行い、当日の講義内容について自分なりに纏めておくこと（2時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（80%）、平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況を総合して判断する）

成　績　評　価　基　準

・生命をめぐるさまざまな倫理問題、およびその歴史的経緯について認識しているか。
・QOLやインフォームド・コンセント、滑りやすい坂、など、生命倫理学の基礎的な用語を習得しているか。
・生命倫理問題について、国内外のさまざまな議論を習得しているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキストはとくに使用しない。毎回資料を配布する。 参考図書・参考映像については２回目の授業で参考文献を示すほか、授業内でも適宜紹介する。
その他（受講上の注意）
・毎回の講義を受けた後で講義資料やノートを見直して復習をし、次の授業に臨んでください。そのうえで第２回の授業で配布する参考文献一覧から該当部分を読むなどして、より理解を深めてください。 ・毎回復習テストを行い、その回答をもって出欠を取ります。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人間の教育 (Human Education)			担当教員	高野　秀晴
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1122	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

ヒトが人になるためには教育が必要だと言われる。こうして私たちも教育を受けてきたわけだが、私たちがこれまで学んできたことは、そもそも一体何だったのだろうか？　そして、今、大学で学んでいることには一体何の意味があるのか？　これからの人生にいかに寄与するのか？　しないのか？　この授業では、有史以来の人間の教育の様々なあり方を通観することを通じて、上記の問いを考察していく。

授　業　の　到　達　目　標

「教育によって形成されてきた／されつつある自己」の成り立ちとゆくえについて理解を深め、自ら考察する力を身につけること。これがこの授業の到達目標である。したがって、この授業では下記の成果が求められる。
・自らがこれまで受けてきた教育の意味について説明することができる。
・現代における教育の社会的役割を分析することができる。
・自らの今後のあり方を、教育の観点から展望することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：シラバスをよく読み、授業内容に関連する図書を検索したうえで、学修計画を立てる。（2時間）
　事後学習：検索した図書の概要を吟味したうえで、読書計画を立てる。（2時間）
第2回：子どもとは誰のことか――子ども観の歴史的変遷――
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第3回：子どもの面倒は誰が見るのか――子育て環境の現在――
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第4回：学校とはどのような空間なのか
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第5回：「学校知」の解剖学
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第6回：学校化社会について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第7回：大学とは何か――その歴史的変遷――
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第8回：激動のなかの大学
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）

第９回：職能はどこで形成するか（１）── その歴史的変遷 ──
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第10回：職能はどこで形成するか（２）── 日本型企業中心社会の場合 ──
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第11回：日本型企業中心社会の変容とキャリア教育の導入
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第12回：意欲の競争社会化？ ── 教育の平等と格差と ──
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第13回：能力主義とは何か ── これまでのまとめ ──
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第14回：老い衰えることと教育
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第15回：看取ることと教育
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70％）　授業時の課題（30％）

成　績　評　価　基　準

現代における教育の社会的役割を分析的に記述することができるか。
教育に関する諸問題を自己と関連付けながら記述することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキスト：必要に応じて、プリントを配布する。 参考図書：授業時に紹介する。
その他（受講上の注意）
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

芸術の世界 (The World of Art)			担当教員	中野　研也
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1120	2単位	1年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

さまざまな音楽および美術作品の魅力や特徴を探り、生み出された背景を知る。

授 業 の 到 達 目 標

音楽と美術について、通論的な知識と通史的な知識を身に付け、作品に対する自分の考えを持つことができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：音とは何か　～私たちを取り巻くさまざまな音（ディスカッション）
事前学習：身近で聞こえる音を複数書き出し、それらの音に対する簡単な印象を書き出しておくこと。（2時間）
事後学習：授業で配布された資料を読み、音の性質についてまとめておくこと。（2時間）
第2回：音楽の誕生　～いつ・なぜ・どのようにして生まれたのか
事前学習：音楽が①いつ、②なぜ、③どのようにして生まれたのか、①～③の項目を全て含んだ上で自分なりの考えをまとめておくこと。（2時間）
事後学習：授業で配布された資料をもとに、音楽と人間との関係について自分の考えも交えてまとめておくこと。（2時間）
第3回：音楽の3要素── 1　～旋律を中心として
事前学習：自身にとって旋律（メロディー）が印象的であった曲を複数書き出しておくこと（ジャンルは問わない）。（2時間）
事後学習：授業で配布された資料をもとに、旋律とゲシュタルトの原理との関係についてまとめておくこと。（2時間）
第4回：音楽の3要素── 2　～拍子やリズムを中心として
事前学習：自身にとってリズムや拍子が印象的であった曲を複数書き出しておくこと（ジャンルは問わない）。（2時間）
事後学習：授業で話した内容と配布された資料をもとに、①リズムの形成についてまとめるとともに、②2拍子、3拍子、4拍子、6拍子で書かれた曲を少なくとも1曲ずつ挙げること。（2時間）
第5回：音楽の3要素── 3　～和声を中心として
事前学習：和声とは何か、辞書やWeb等で調べ、書き出しておくこと。（2時間）
事後学習：授業で話した内容と配布された資料をもとに、和声がもつ役割についてまとめておくこと。（2時間）
第6回：西洋の音楽史── 1　クラシック音楽の誕生と発展
事前学習：西洋クラシック音楽で、知っている作曲家を複数名書き出しておくこと。（2時間）
事後学習：授業で話した内容や視聴した音楽と配布された資料をもとに、①西洋音楽を発展させた要素、②それが果たした役割について、①と②の項目を共に含んだ上でまとめておくこと。（2時間）
第7回：西洋の音楽史── 2　クラシック音楽の落日とその後（ディスカッション）
事前学習：小学校、中学校、および高校の音楽の授業で聴いたことのある曲を書き出しておくこと。（2時間）
事後学習：授業で話した内容や視聴した音楽と配布された資料をもとに、西洋クラシック音楽が他の音楽に与えた影響あるいは役割についてまとめておくこと。（2時間）

第８回：音楽鑑賞・視聴　１　～器楽作品（予定）　鑑賞レポート提出
事前学習：音楽鑑賞・視聴の題材として予告された作品について、Web等の情報を参考に下調べを行い、それがどのような作品であるのか簡単にまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で鑑賞・視聴した作品のレポートを作成し、次回授業時に提出すること。（２時間）
第９回：世界の民族音楽
事前学習：民族音楽とは何か、Web等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業で話した内容や視聴した音楽と配布された資料をもとに、①民族音楽とは何か、②民族音楽と西洋音楽との違いについて、それぞれまとめておくこと。（２時間）
第10回：音楽と美術 ── １　～美術作品の見どころ
事前学習：音楽と美術との違いは何か、自分の考えを書き出しておくこと。（２時間）
事後学習：時代とともに変化する美的感覚は何に基づいているか、自分の考えをまとめておくこと（２時間）
第11回：音楽と美術 ── ２　～音楽と美術の関係
事前学習：音楽と美術との関係についてWeb等の情報を参考に下調べを行い、書き出しておくこと。（２時間）
事後学習：授業で話した内容や紹介した作品と配布された資料をもとに、①ロマン主義と印象派との違い、②ポスト印象派以降の20世紀美術について、それぞれ自分の考えをまとめておくこと。（２時間）
第12回：ジャズ ── １　～誕生の背景と音楽的特徴（グループワーク）
事前学習：ジャズとはどのような音楽であるか、Web等の情報を参考に下調べを行い、書き出しておくこと。（２時間）
事後学習：授業で話した内容と配布された資料をもとに、ジャズが生まれた背景と音楽的特徴についてまとめておくこと。（２時間）
第13回：ジャズ ── ２　～モダン・ジャズの世界
事前学習：モダン・ジャズとは何か、Web等の情報を参考に下調べを行い、書き出しておくこと。（２時間）
事後学習：授業で話した内容や視聴した音楽と配布された資料をもとに、ジャズが他のジャンルの音楽に与えた影響についてまとめておくこと。（２時間）
第14回：音楽を記録するということ
事前学習：録音・再生を行う道具（機材）にはどのようなものがあるのか、Web等の情報を参考に下調べを行い、複数書き出しておくこと。（２時間）
事後学習：音楽を記録できるようになったことが音楽の世界にもたらした影響あるいは変化について、まとめておくこと。（２時間）
第15回：音楽鑑賞・視聴２　～ミュージカル作品（予定）　鑑賞レポート提出
事前学習：音楽鑑賞・視聴の題材として予告された作品について、Web等の情報を参考に下調べを行い、簡単にまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で鑑賞・視聴した作品のレポートを作成し、指定の日時までに提出すること。（２時間）
第16回：定期試験
授業で配布された資料と宿題プリント、授業で話した内容のメモを見返して下さい。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

２度のレポート（20％）、定期試験（50％）、授業への参加状況（30％）で評価する。

成　績　評　価　基　準

音楽に関する通論および通史的な知識が身につき、音楽あるいは芸術に対する自分なりの考えを持つことができたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

特定のテキストは使用しない。授業ごとに資料（プリント）を配布する。

その他(受講上の注意)

試験問題は、配布資料（プリント）と授業で話した内容とを合わせて出題する。配布物と自分でメモをとったものは試験までは紛失しないように所持おくこと。
質問は授業中も適宜受け付けるので、私語は厳禁です。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人間と環境A (Human Beings and the Environment A)			担当教員	鳴瀬　碧
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2130	2単位	1年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　環境・健康科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

ヒトの健康の保持・増進における食・栄養の重要性を理解し、私たちを取り巻く生活環境や様々な情報、そして食生活の変化が、人体の持つ特性（恒常性）を妨げ、私たちの健康維持にどのような影響を与えているかについて学習する。
これらのことを通して、食品、サプリメント、薬等、普段私たちの身近にあるものに関して、その必要性や効果を正しく理解し、情報に惑わされることなく自らの判断で必要な情報や商品を選択・活用し、個々の健康な生活に役立てることができる。

授 業 の 到 達 目 標

・健康についての基本的な概念や制度、健康の維持・増進のために重要な事項、問題点等について説明できる。
・世界と日本の食文化や現在の食糧事情について説明ができる。
・食生活について栄養の重要性や食品の安全性、運動との関わり等ついて理解し、説明ができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：健康とは何か？
　事前学習：授業前にテキストの第1章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学習した内容を復習し、フードマイレージ・仮想水についてまとめておくこと（2時間）
第2回：食の歴史
　事前学習：授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学習した内容を復習しておくこと（2時間）
第3回：健康に関する社会制度
　事前学習：授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学習した内容を復習し、健康に関する社会制度についてまとめておくこと（2時間）
第4回：世界の食（DVD視聴）
　事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、世界の食文化に対する興味を深めておくこと（2時間）
　事後学習：課題レポートの作成（2時間）
第5回：日本の食①（日本の食文化）（講義・DVD視聴）
　事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、日本の食文化に対する興味を深めておくこと（2時間）
　事後学習：日本の行事食の持つ意味について、レポートを作成し提出すること（2時間）
第6回：日本の食②（日本各地の食文化）（講義・DVD視聴）
　事前学習：授業前に自身の出身地の食文化について調べておくこと（2時間）
　事後学習：福井県の郷土料理について、レポートを作成し提出すること（2時間）
第7回：栄養と健康①（自分の食生活を見つめてみよう）（講義・実習：BDHQによる自身の食事摂取状況の把握）
　事前学習：授業前に自身の食生活・生活習慣の振り返りをすること（2時間）
　事後学習：授業で学習した内容を復習し、食生活・生活習慣がなぜ大切かをノートにまとめておくこと（2時間）
第8回：栄養と健康②（栄養学の基礎）
　事前学習：授業前にテキストの第5章p.59～73を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学習した内容を復習し、栄養学の基礎項目をノートにまとめておくこと（2時間）

第９回：栄養と健康③（疾病予防のための食生活）
事前学習：授業前にテキストの第５章p.76～97を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、疾病予防のための食生活についてノートにまとめておくこと（２時間）
第10回：栄養と健康④（栄養と運動）
事前学習：授業前に栄養と運動に関する気になるニュース・情報を収集しておくこと（２時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、健康保持・増進のために必要な栄養と運動についてノートにまとめておくこと（２時間）
第11回：食品の安全と健康①（食品の安全と健康被害）
事前学習：授業前にテキストの第６章p.98～112を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、食品の安全と健康被害についてノートにまとめておくこと（２時間）
第12回：食品の安全と健康②（食と健康をめぐる情報）（フィールドワーク）
事前学習：授業前に食品表示に関するニュース・情報を収集しておくこと（２時間）
事後学習：授業で学んだ食品表示方法を、スーパーマーケット等で実際に確認し、レポートにまとめ提出すること（２時間）
第13回：食品の安全と健康③（サプリメント～情報に惑わされないために～）
事前学習：授業前にサプリメントに関するニュース・情報を収集しておくこと（２時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、サプリメントについてノートにまとめておくこと（２時間）
第14回：医薬品とは？
事前学習：授業前に医薬品の種類・医薬品とサプリメントの違いについて調べておくこと（２時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習し、医薬品の種類・医薬品とサプリメントの違いについてノートにまとめておくこと（２時間）
第15回：大麻･麻薬･覚せい剤の基礎知識と乱用防止（福井県警との連携授業）
事前学習：授業前に薬物乱用に関する社会問題について調べておくこと（２時間）
事後学習：薬物乱用の危険性について課題レポートの作成（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）、課題レポート（20%）、平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等を総合して判断する）

成　績　評　価　基　準

・健康の概念、健康の維持・増進について理解できているか。
・食の歴史や文化、日本の食糧事情や食を取り巻く環境について理解できているか。
・栄養素の機能、食品の安全性、栄養と運動の関わりについて理解できているか。
・食品、サプリメント、医薬品、麻薬・覚せい剤について正しく理解できているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　■メール　■その他（Teams）
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（　　質問に対するフィードバックについて）
■授業時　■仁大eラーニング　■メール　■その他（Teams）

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴
（薬剤師・健康運動指導士・ピラティストレーナー）
・実務経験と授業内容との関連性
（薬剤師としての医療提供施設での実務経験と健康運動指導士・ピラティストレーナーとしてのスポーツ・健康増進関連施設での実務経験を活かし、国が展開する健康づくりに関する施策、医療保険をはじめとする社会保障の仕組み、生活習慣病予防・改善のための運動と栄養、サプリメントや健康食品、医薬品の分類やその違い、麻薬・覚醒剤･デザイナーズドラックに関する基本的知識や危険性などについて解説する。）

テキスト、参考図書

吉田勉監修 『私たちの食と健康－食生活の諸相－』 三共出版　2011年
必要に応じて、講義用資料を出席者に配布する。

その他(受講上の注意)

・新聞・ニュース等で報じられる食糧事情、食を取り巻く環境、健康の維持・増進に関する項目について日頃から興味を持つように努めること。
・各回の講義内容についてよく復習し、各自が書籍や新聞などから積極的に情報を収集し、自己学習すること。
・授業中の不明な点は、授業の前後に教員に質問するなどして理解を深めること。
・「自身の健康とは何か」「心身ともに健康に生きていくために重要なこと」等についてよく考えてください。
・授業中の私語や携帯電話など、他の学習の妨げとなる場合には退室させるので留意すること。
・課題レポートなどは、提出期限を必ず守ること。提出遅延は減点の対象となる。また、提出期限後は受領しない場合があるので注意すること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人間と環境C (Human Beings and the Environment C)			担当教員	禿　　寿
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2131	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　環境・健康科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本講義では、2030年までの国際目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」を軸にしながら、日々おきているニュースの流れを追う。日本社会だけでなく国際社会の諸課題をふれるとともに、グローバルな視点に基づいた考え方の特徴を明らかにする。

授 業 の 到 達 目 標

・歴史的な観点で考えることによって、国際関係についての理解を深める。
・社説・論説など、新聞によって異なる見方や主張をしているケースは多い。読み比べ、ニュースを多角的に読むことができるようになる。
・客観的なものの見方ができる。一方で、さまざまな情報を入手し自分の考え方を確立する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：授業計画でそれぞれの回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：持続可能な開発目標について（1）
　事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：持続可能な開発目標について（2）
　事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：SDGs 5つの原則
　事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：貧困問題について（1）
　事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：貧困問題について（2）
　事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：飢餓問題について（1）
　事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）

第８回：飢餓問題について（２）
事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：健康問題について
事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：教育問題について（１）
事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：教育問題について（２）
事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：公平性問題について
事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：まちづくりについて
事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：環境問題について
事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：講義のまとめ
事前学習：授業計画で今回のテーマを確認し、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容および配布された資料についての見直しや、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点（50%）、課題・レポート（50%）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度、質問用紙等の状況を総合的に判断します。）

成　績　評　価　基　準

１．国際関係の諸課題についての見解を述べることができるか。
２．様々なニュースを多角的に読み取ることができるか。
３．学術的な情報にアクセスしながら各自の問題意識を深め、自身の考察を論理的に記述できるようになっているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

特に指定しません。

その他(受講上の注意)

日常生活の中で新聞を読み、テレビやラジオ、ネットなどメディアに接し、ニュースに敏感になるよう努力する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

スポーツと健康 (Sports and Health)			担当教員	野田　政弘
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2132	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　環境・健康科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

現代社会においてスポーツや運動など日常生活におけるさまざまな身体活動は、人々が健康な生活を送るうえで重要な役割を果たしている。スポーツや運動にみられる身体現象を運動生理学やスポーツ心理学、スポーツ社会学などの観点から科学的に探求し理解を深める。

授　業　の　到　達　目　標

健康、生活習慣病、体力、運動のしくみなどに関する理論について理解できる。スポーツや運動などの身体活動が人の心身に及ぼす影響について理解できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（授業の最後に今回の内容について意見を交換する）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：健康の捉え方と獲得するためのポイント（意見交換）
　事前学習：テキストの第1章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（2時間）
第2回：生活習慣病と関連する要因（意見交換）
　事前学習：テキストの第2章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（2時間）
第3回：体力とは何か（意見交換）
　事前学習：テキストの第3章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（2時間）
第4回：体力とは何か（意見交換）
　事前学習：テキストの第3章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（2時間）
第5回：運動のしくみ（意見交換）
　事前学習：テキストの第4章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（2時間）
第6回：運動のしくみ（意見交換）
　事前学習：テキストの第4章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（2時間）
第7回：トレーニング理論、トレーニング方法（意見交換）
　事前学習：テキストの第5,6章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（2時間）
第8回：健康を維持・増進するための運動、ダイエット計画（意見交換）
　事前学習：テキストの第7,8章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（2時間）
第9回：運動と水分補給、熱中症（意見交換）
　事前学習：テキストの第9章を読み、それに関連することを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（2時間）

第10回：ウォーミングアップとクーリングダウン、応急手当（意見交換）
　　事前学習：テキストの第10,11章を読み、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（２時間）
第11回：スポーツと心理のかかわり（意見交換）
　　事前学習：テキストの第12を読み、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（２時間）
第12回：今日の学校保健の問題（意見交換）
　　事前学習：テキストの第13章を読み、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（２時間）
第13回：欲求、ストレスと疲労への対処法（意見交換）
　　事前学習：テキストの第14章を読み、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（２時間）
第14回：地域とスポーツのかかわり、社会におけるスポーツの役割（意見交換）
　　事前学習：テキストの第15、16章を読み、それに関連することを調べておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや、わからないところは図書館等で調べておくこと。（２時間）
第15回：まとめ
　　事後学習：定期試験に向けテキスト等の見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（４時間）
第16回：定期試験
各回の講義の前にテキストを読んで概要を把握し、疑問点を整理しておく。
講義の後は、ノートや配布資料を見直して復習しておく。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）、レポート（30%）。

成　績　評　価　基　準

健康、生活習慣病、体力、運動のしくみなどに関する理論について理解できている。スポーツや運動などの身体活動が人の心身に及ぼす影響について理解できている。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

出村慎一編著、「健康・スポーツ科学講義 第２版」、杏林書院 2017

その他（受講上の注意）
講義で学んだ知識を日常の生活や身体運動に活用できるように。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

スポーツA (Sports A)			担当教員	山村　恵子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2133	1単位	1年前期	実技	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　環境・健康科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

生涯スポーツ、テニスを楽しむことを目指し、健康維持増進、体力の向上をねらいとする。

授 業 の 到 達 目 標

硬式テニスと軟式テニスとの違いを知り、ラケットの扱いやボールコントロール・サーブが出来るようになり、シングルス・ダブルスのゲームが出来ることを目標とする。
自他理解能力、コミュニケーション能力、計画をたて実行出来る能力を養成する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：硬式テニスの歴史・変遷のまとめ
　事前学習：公式テニスの歴史・変遷をまとめる（0.5時間）
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）
第2回：コート、ラケット、ボールの大きさを知る
　事前学習：コート、ボールの大きさをノートに作成する。（0.5時間）
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）
第3回：個人技の習得（ラケットの握り方、ラケットになれる）
　事前学習：個人技能を整理し理解を深めておくこと。（0.5時間）
　事後学習：授業の内容を整理し個人技を習得しておくこと。（0.5時間）
第4回：個人技の習得（ラケット、ボールになれる、ボールコントロールの練習）
　事前学習：個人技能を整理し理解を深めておくこと。（0.5時間）
　事後学習：授業の内容を整理し個人技を習得しておくこと。（0.5時間）
第5回：グランドストロークの実技
　事前学習：実技のための個人技の習得（0.5時間）
　事後学習：グランドストロークの向上、個人技を習得しておくこと。（0.5時間）
第6回：フォアハンドストロークの実技
　事前学習：実技のための個人技の習得（0.5時間）
　事後学習：フォアハンドストロークの向上、個人技を習得しておくこと。（0.5時間）
第7回：サービスサーブのルール、サービスの打ち方予習
　事前学習：サービスについて調べておくこと。（0.5時間）
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）
第8回：サービス実技
　事前学習：実技のための個人技の習得（0.5時間）
　事後学習：サービスの向上、個人技を習得しておくこと。（0.5時間）
第9回：ネットプレー、スマッシュ、ボレー実技
　事前学習：実技のための個人技の習得（0.5時間）
　事後学習：ネットプレー、スマッシュ、ボレーの向上、個人技を習得しておくこと。（0.5時間）
第10回：ラリーが何回出来るか（実技）
　事前学習：実技のための個人技の習得（0.5時間）
　事後学習：ラリーの向上、個人技を習得しておくこと。（0.5時間）

第11回：基本的な攻防の戦略、審判法について学習する
　　事前学習：基本的な攻防の戦略、審判につ調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：ゲームの内容を振り返り課題を整理しておくこと。（0.5時間）
第12回：ゲームの進め方を調べ、学習する
　　事前学習：ゲームの進め方を調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：ゲームの内容を振り返り課題を整理しておくこと。（0.5時間）
第13回：ポイントの呼び方を学習する
　　事前学習：ポイントのコールを調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：ゲーム内でコールが出来たか確認すること。（0.5時間）
第14回：基本技ダブルスゲーム、作戦、戦略、審判法について学習する
　　事前学習：基本的な攻防、戦略、審判法について調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：ゲームの内容を振り返り課題を整理しておくこと。（0.5時間）
第15回：ゲームまとめ
　　事前学習：基本的な攻防、戦略、審判法について調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：授業の内容を振り返り課題を整理してまとめておくこと。（0.5時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

技術の習得（70%）、平常点（30%）。平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

軟式テニスと硬式テニスの違いを理解できているか。
ラケットの扱いやボールコントロール・サーブができるか。
シングル・ダブルスのゲームができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

必要に応じて授業内で配付する。

その他（受講上の注意）
原則として全出席を求め、遅刻、早退は認めない。 トレーニングウエアー着用のこと。原則として見学の場合もトレーニングウエアー着用のこと。 春先、外気温が上がるため、水分補給に注意する。 新聞、テレビのメディアでよく取り上げられている、世界大会（日本の選手）、県内高校、一般（インターハイ、国体）の大会に関心を持って情報を得るようにする。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

スポーツB (Sports B)			担当教員	山村　恵子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2134	1単位	1年後期	実技	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　環境・健康科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

バスケットボールを楽しむことを目指し、健康維持増進、体力の向上をねらいとする。

授 業 の 到 達 目 標

自他の理解能力、コミュニケーション能力、計画をたて実行できる能力を養成する。
バスケットボールのスピードあるボールコントロール・フォーメーションプレーなどがスムーズにできることを目標とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：バスケットボールの歴史・変遷のまとめ
　事前学習：バスケットの歴史、変遷をまとめる（0.5時間）
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）
第2回：コートの大きさ、ゴールの大きさを知る
　事前学習：コート、ゴールの大きさをノートに作成する。（0.5時間）
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）
第3回：ボールコントロールの実技
　事前学習：実技のための個人技の習得（0.5時間）
　事後学習：ボールコントロールの向上、個人技を習得しておくこと。（0.5時間）
第4回：ボールの重さ、大きさ、持ち方を調べる
　事前学習：授業内容について、高校の教科書、図書館等で調べ、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）
第5回：ジグザグドリブルの実技
　事前学習：実技のための個人技の習得（0.5時間）
　事後学習：ジグザグドリブルの向上、個人技を習得しておくこと。（0.5時間）
第6回：ジグザグドリブルのタイムを上げる為の練習
　事前学習：体力、個人技の習得（0.5時間）
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）
第7回：戦術レポート作成
　事前学習：コンビネーションプレーについて調べておくこと。（0.5時間）
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）
第8回：ゴール下30秒シュート実技
　事前学習：実技のための個人技の習得（0.5時間）
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）
第9回：ゴール下30秒シート数を上げる為の練習
　事前学習：ゴール下シュートの習得（0.5時間）
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）
第10回：シュート、パスの種類を調べる
　事前学習：個人技の習得（0.5時間）
　事後学習：授業内容を整理し、質問事項をノートにまとめておくこと。（0.5時間）

第11回：コンビネーションプレー３対３の守り方、攻め方
　　事前学習：コンビネーション３対３について調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：授業の内容を整理し、からだの動きを確認すること。（0.5時間）
第12回：試合の進め方を調べる、試合時間など
　　事前学習：コンビネーションプレー５対５について調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：ゲームの内容を振り返り、課題を整理しておくこと。（0.5時間）
第13回：反則を調べる
　　事前学習：基本的な攻防、戦略、審判法について調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：ゲームの内容を振り返り、課題を整理しておくこと。（0.5時間）
第14回：５対５全面の攻防10分ゲーム、作戦、戦略、審判法について学習する
　　事前学習：基本的な攻防の戦略、審判法について調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：ゲームの内容を振り返り、課題を整理しておくこと。（0.5時間）
第15回：ゲームまとめ、個人技評価
　　事前学習：基本的な攻防の戦略、審判法について調べておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：ゲームの内容を振り返り、課題を評価しておくこと。（0.5時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

技術の習得（70%）、平常点（30%）。平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

スピードのあるボールコントロール・フォーメーションプレーなどがスムーズにできるか。
中学校、高校までに習ったバスケットを理解出来ているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

必要に応じて授業内で配付する

その他（受講上の注意）
原則として全出席を求め、遅刻、早退は認めない。 トレーニングウェア着用のこと。 原則として見学の場合もトレーニングウェア着用のこと。 授業中の水分補給は各自行う。 新聞、テレビのメディアなどで東京オリンピック前の世界大会、県内の大会に関心を持ち情報を得るようにする。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語Ⅰa (English Ⅰa)			担当教員	矢橋　知枝、Mクズィフ、フッド晴美、 山口　和代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2140	1単位	1年前期	演習	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

Following a 'Warm-up' activity to introduce the theme of the unit, students will be introduced to the relevant grammar and vocabulary through a series of listening and speaking exercises. Reading, writing, and presentation exercises will follow to reinforce their knowledge of the material.

授 業 の 到 達 目 標

Upon finishing the course, students will be able to express themselves freely in general conversation through exchanging personal information and talking about their daily lives. Additionally, students will be able to listen for key words and specific information in a variety of situations. The ability to scan for general information and read for specific information will be enhanced as well as the ability to write short letters, descriptions, and articles on a variety of subjects.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Class Introduction（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第2回：Unit 1 - Jobs ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第3回：Unit 1 - Jobs ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第4回：Unit 2 - Daily activities ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第5回：Unit 2 - Daily activities ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第6回：Unit 3 - At the moment ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第7回：Unit 3 - At the moment ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第8回：Review（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第9回：Unit 4 - Feelings ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）

第10回：Unit 4 - Feelings ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第11回：Unit 5 - On the weekend ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第12回：Unit 5 - On the weekend ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第13回：Unit 6 - Downtown ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第14回：Unit 6 - Downtown ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第15回：Cumulative Review（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第16回：Examination
Before starting each unit, students are to familiarize themselves with the class material by reviewing the 'Grammar Talk' pages for each unit and completing the exercises on those pages. Students must also complete homework assignments as instructed by their teacher, such as the writing assignments suggested in the textbook as well as other relevant assignments.
Furthermore, students will be tasked with self-study activities in preparation for the TOEIC through the use of NetAcademy NEXT software.

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

Outside-class Activities (i.e., 'Grammar Talk' pages & other homework assignments, NetAcademy NEXT usage, etc.) - 20%　【授業外課題 20%（［例］文法参照ページ & 宿題・NetAcademy NEXT（オンライン学習）・他】
Proactive In-class Participation - 20%　【積極的な授業参加度 20%】
Examination - 60%　【試験 60%】

成　績　評　価　基　準

Students' ability to understand and participate in general conversation on everyday topics will be evaluated, as well the ability to read and comprehend short, written passages.

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Stempleski, Susan. Stretch 1（First Edition）. 2014. Oxford University Press ISBN 978-0-19-460312-6.
TEX加藤 『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』朝日新聞出版 2017年

その他(受講上の注意)

Prior to the beginning of the semester, a mandatory general English pre-evaluation test will be administered. 【入学時にプレースメントテストを実施する】Also, during the semester, a number of classes will be held in the Computer Assisted Language Learning laboratory (E-303) for the purpose of familiarizing students with the use of NetAcademy NEXT software.

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語Ⅰb (English Ⅰb)			担当教員	矢橋　知枝、Mクズィフ、フッド晴美、 山口　和代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2141	1単位	1年後期	演習	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

Following a 'Warm-up' activity to introduce the theme of the unit, students will be introduced to the relevant grammar and vocabulary through a series of listening and speaking exercises. Reading, writing, and presentation exercises will follow to reinforce their knowledge of the material.

授 業 の 到 達 目 標

Upon finishing the course, students will be able to express themselves freely in general conversation through exchanging personal information and talking about their daily lives. Additionally, students will be able to listen for key words and specific information in a variety of situations. The ability to scan for general information and read for specific information will be enhanced as well as the ability to write short letters, descriptions, and articles on a variety of subjects.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Class Introduction（ディスカッション）
　事前学習：前期の学習を振り返っておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第2回：Unit 7 - People we admire ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第3回：Unit 7 - People we admire ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第4回：Unit 8 - At a supermarket ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第5回：Unit 8 - At a supermarket ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第6回：Unit 9 - Health problems ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第7回：Unit 9 - Health problems ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第8回：Review（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第9回：Unit 10 - Cities ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）

第10回：Unit 10 - Cities ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第11回：Unit 11 - Music ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第12回：Unit 11 - Music ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第13回：Unit 12 - Travel plans ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第14回：Unit 12 - Travel plans ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第15回：Cumulative Review（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第16回：Examination
Before each unit, students are to familiarize themselves with the class material by reviewing the 'Grammar Talk' pages for each unit and completing the exercises on those pages. Students must also complete homework assignments as instructed by their teacher, such as the writing assignments suggested in the textbook as well as other relevant assignments.
Furthermore, students will be tasked with self-study activities in preparation for the TOEIC through the use of NetAcademy NEXT software.

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

Outside-class Activities (i.e., 'Grammar Talk' pages & other homework assignments, NetAcademy NEXT usage, etc.) - 20%　【授業外課題 20%（［例］文法参照ページ & 宿題・NetAcademy NEXT（オンライン学習）・他】
Proactive In-class Participation - 20%　【積極的な授業参加度 20%】
Examination - 60%　【試験 60%】

成　績　評　価　基　準

Students' ability to understand and participate in general conversation on everyday topics will be evaluated, as well the ability to read and comprehend short, written passages.

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Stempleski, Susan. Stretch 1（First Edition）. 2014. Oxford University Press ISBN 978-0-19-460312-6.
TEX加藤 『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』朝日新聞出版 2017年

その他(受講上の注意)

During the semester, a number of classes will be held in the Computer Assisted Language Learning laboratory（E-303）for the purpose of familiarizing students with the use of NetAcademy NEXT software.
An additional mandatory general English post-evaluation test to monitor achievement will be given at the end of the semester.【TOEIC IPテスト（アチーブメントテスト）受験が単位取得条件である】

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フランス語 a (French a)			担当教員	大竹口　麻里
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2142	1 単位	1 年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

「フランス語技能検定試験（仏検）」の 4 級程度の、フランス語の発音と単語及び文の構造を学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

1）綴り字と発音の関係を学び、早い段階で臆することなくフランス語を発音できる。
2）初級文法を学び簡単な会話文が読み書くことができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第 1 回：フランス語について．ABCの発音．あいさつ
　　事前学習：CDでアルファベを聞いておくこと。（0.5時間）
　　事後学習：自分の名前をノートに書いて発音しすらすら言えるようにしておく。（0.5時間）
第 2 回：第 1 課 綴り字の読み方・自己紹介する
　　事前学習：テキスト 1 課の単語調べをする。（0.5時間）
　　事後学習：綴字の短母音字についてまとめる。（0.5時間）
第 3 回：第 1 課 自己紹介する
　　事前学習：Dialogueとlectureを訳す。（0.5時間）
　　事後学習：テキストp12の練習問題を解く。0.5時間）
第 4 回：第 2 課 物を指し示す①
　　事前学習：テキスト 2 課の単語調べをする。（0.5時間）
　　事後学習：テキストp16の練習問題を解く。（0.5時間）
第 5 回：第 2 課 物を指し示す②
　　事前学習：DialogueとLectureを訳す。（0.5時間）
　　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。（0.5時間）
第 6 回：第 3 課 尋ねる①
　　事前学習：テキスト第 3 課の単語を調べておく。（0.5時間）
　　事後学習：-er動詞parler aimer活用させ、まとめておき覚える。（0.5時間）
第 7 回：第 3 課 尋ねる②
　　事前学習：DialogueとLectureを訳す。（0.5時間）
　　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。テキストp22仏検 5 級をめざして 1 を解いておく。（0.5時間）
第 8 回：第 4 課 買い物をする①
　　事前学習：テキスト第 4 課の単語調べをする。（0.5時間）
　　事後学習：テキスト p 26の練習問題を解いておく。（0.5時間）
第 9 回：第 4 課 買い物をする②
　　事前学習：DialogueとLectureを訳す。（0.5時間）
　　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。（0.5時間）
第10回：第 5 課　物事や人について尋ねる
　　事前学習：テキスト第 5 課の単語調べをする。（0.5時間）
　　事後学習：テキスト p 30の練習問題を解く。（0.5時間）

第11回：第５課　物事や人についてたずねる
　　事前学習：DialogueとLectureを訳す。（0.5時間）
　　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。（0.5時間）
第12回：第６課　場所を尋ねる
　　事前学習：テキスト６課の単語調べをしておく。（0.5時間）
　　事後学習：テキストp34の練習問題を解く。（0.5時間）
第13回：第６課　場所を尋ねる
　　事前学習：Dialogueとlectureを訳す。（0.5時間）
　　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。（0.5時間）
第14回：第７課　～したいと言う
　　事前学習：テキスト第７課の単語を調べておく。（0.5時間）
　　事後学習：テキストｐ38の練習問題を解いておく。（0.5時間）
第15回：第７課～したいと言う
　　事前学習：DialogueとLectureを訳す。（0.5時間）
　　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。（0.5時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験70％、平常点30％（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙等の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

１）綴り字と発音の関係を理解し、早い段階で臆することなくフランス語を発音できるか。
２）初級文法及び簡単な会話文が読み書きができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（後期第１回目の授業時）
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

藤田裕二著『パリ－ボルドー』　朝日出版社　2016
『ベーシッククラウン仏和和仏辞典』　三省堂

その他（受講上の注意）
仏和辞書を毎回持ってくること。辞書については初回の授業で説明します。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フランス語b (French b)			担当教員	大竹口　麻里
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2143	1単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

「フランス語技能検定試験（仏検）」の4級程度の、フランス語の発音と単語及び文の構造を学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

1）テキストの内容について滑らかにフランス語を発音できるようになること。
2）テキストの内容や自分自身について質問されたことについてフランス語で書くことができるようになること。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（毎回授業の最初にペアワークでDialogueを役に分かれて発音する。）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：第8課　興味を述べる
　事前学習：テキスト第8課の単語調べをする。（0.5時間）
　事後学習：テキストp44の練習問題を解く。（0.5時間）
第2回：第8課 興味を述べる
　事前学習：DialogueとLectureを訳す。（0.5時間）
　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。（0.5時間）
第3回：第9課　誘う
　事前学習：テキスト第9課の単語調べをする。（0.5時間）
　事後学習：テキストp48の練習問題を解く。（0.5時間）
第4回：第9課　誘う
　事前学習：DialogueとLectureを訳す。（0.5時間）
　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。（0.5時間）
第5回：第10課　天候と時刻を言う
　事前学習：テキスト第10課の単語調べをする。（0.5時間）
　事後学習：テキストp52の練習問題を解く。（0.5時間）
第6回：第10課　天候と時刻を言う
　事前学習：DialogueとLectureを訳す。（0.5時間）
　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。（0.5時間）
第7回：第11課　数量を表す
　事前学習：テキスト第11課の単語調べをする。（0.5時間）
　事後学習：テキストp58の練習問題を解いておくこと。（0.5時間）
第8回：第11課数量を表す
　事前学習：DialogueとLectureを訳す。（0.5時間）
　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。（0.5時間）
第9回：第12課　比較する
　事前学習：テキスト第12課の単語調べをする。（0.5時間）
　事後学習：テキストp62の練習問題を解く。（0.5時間）
第10回：第12課　比較する
　事前学習：DialogueとLectureを訳す。（0.5時間）
　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。（0.5時間）

第11回：第13課　過去のことを話す①
　　事前学習：テキスト第13課の単語調べをする。（0.5時間）
　　事後学習：テキストｐ66の練習問題を解く。仏検４級を目指して２を解く。（0.5時間）
第12回：第13課　過去のことを話す②
　　事前学習：DialogueとLectureを訳す。（0.5時間）
　　事後学習：授業で配布したプリントの練習問題を解く。（0.5時間）
第13回：第14課　仮定する①
　　事前学習：テキスト14課の単語調べをする。（0.5時間）
　　事後学習：ｐ72の練習問題を解く。（0.5時間）
第14回：第14課　仮定する②
　　事前学習：DialogueとLectureを訳す。（0.5時間）
　　事後学習：：授業で配布したプリントの練習問題を解く。（0.5時間）
第15回：総復習
　　事前学習：テキスト第８課～第14課の内容を整理し、質問事項をまとめる。（0.5時間）
　　事後学習：授業の中で取り上げた最重要項目についてよく復習する。（0.5時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験70％　平常点30％（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙等の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

１）フランス語の滑らかな発音ができるか。
２）簡単な質問に対してフランス語で回答できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

藤田裕二著『パリ－ボルドー』 朝日出版社　2016
『ベーシッククラウン仏和和仏辞典』三省堂

その他（受講上の注意）
辞書は毎回持ってくること。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ドイツ語 a (German a)			担当教員	橋本　武志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2144	1 単位	1 年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

ドイツ語の発音と単語、文の構造を学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

ドイツ語のアルファベートの発音、単語の読み方、規則的な動詞変化（現在形）、定冠詞・不定冠詞の格変化を習得し、簡単なドイツ語のあいさつや、ドイツ語の単文をある程度読み、書き、発音することができるようになることを目的とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ペアワーク）

授業の計画及び授業外の学習方法

第 1 回：Lektion 1　ドイツ語という言語の説明・アルファベート
　事前学習：テキストのアルファベートのページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第 2 回：Lektion 1　いろいろな単語を発音してみよう 1
　事前学習：テキストの単語の発音のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第 3 回：Lektion 1　いろいろな単語を発音してみよう 2（ペアワーク10分）
　事前学習：テキストのあいさつのページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第 4 回：Lektion 2　動詞の人称変化 1
　事前学習：テキストの人称変化のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第 5 回：Lektion 2　動詞の人称変化 2 ・文の作り方
　事前学習：動詞の不規則な人称変化のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第 6 回：復習テスト 1
　事前学習：テキスト・プリントのこれまでのページを読み、復習しておくこと（0.5時間）
　事後学習：復習テストの間違った箇所を復習し、宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第 7 回：Lektion 3　名詞の性
　事前学習：名詞の性のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第 8 回：Lektion 3　定冠詞の格変化 1
　事前学習：定冠詞のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第 9 回：Lektion 3　定冠詞の格変化 2
　事前学習：定冠詞のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第10回：Lektion 3　不定冠詞の格変化 1
　事前学習：不定冠詞のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）

第11回：Lektion 3　不定冠詞の格変化 2
　　事前学習：不定冠詞のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）
　　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第12回：復習テスト 2
　　事前学習：テキスト・プリントのこれまでのページを読み、復習しておくこと（0.5時間）
　　事後学習：復習テストの間違った箇所を復習し、宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第13回：定冠詞・不定冠詞の復習（混合問題）
　　事前学習：テキスト・プリントの定冠詞・不定冠詞の箇所を復習しておくこと（0.5時間）
　　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第14回：Lektion 8　形容詞の用法
　　事前学習：形容詞のページを読み、CDを聞いて音読しておくこと（0.5時間）（0.5時間）
　　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第15回：これまでのまとめ
　　事前学習：前期授業の復習を行い、わからないところは質問を考えておくこと（0.5時間）
　　事後学習：質問への回答を用いて、定期試験に備え前期の総復習をしておくこと（0.5時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第 1 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 2 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 3 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 4 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 5 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 6 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 7 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 8 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 9 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）、平常点（30%）
（平常点は、授業への参加状況小テストへの取り組みなどを総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

・ドイツ語の発音の規則を理解し、知らない単語にも応用することができるか。
・動詞変化の基本的規則を理解し、自分で動詞を変化させることができるか。
・英語にはない動詞の「性および格」について理解し、冠詞変化規則を応用することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

（1）西村祐子　ルドルフ・ペトリック　『新・行ってみたいなドイツ』　郁文堂　2013年
（2）在間進　『新キャンパス独和辞典』　郁文堂　2011年
初学者には電子辞書は不向きなので、書籍版を購入すること。すでに書籍版の辞書を持っている人は、自分の持っている辞書でもよい。辞書の種類や使い方については初回の授業で説明します。

その他（受講上の注意）
・語学の授業は、出席しないことには身につかない。できるかぎり出席すること。 ・毎回練習問題を宿題として出すので、必ずやってきてから授業に臨むこと。毎回の授業は宿題の答え合わせから始める。間違った問題は必ず復習しておくこと。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ドイツ語b (German b)			担当教員	橋本　武志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2145	1単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

ドイツ語aにつづいて、ドイツ語のやや高次な初級文法について学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

ドイツ語の定冠詞・不定冠詞類の格変化、前置詞、助動詞を習得し、英語とは異なるドイツ語独自の「ワク構造」について理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ペアワーク）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ドイツ語aの復習
　事前学習：ドイツ語aで学んだ総復習をしておくこと（0.5時間）
　事後学習：授業で用いた資料の間違い直しをしておくこと（0.5時間）
第2回：Lektion 5　定冠詞類・不定冠詞類1（ペアワーク）
　事前学習：テキストの定冠詞類のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第3回：Lektion 5　定冠詞類・不定冠詞類2（ペアワーク）
　事前学習：テキストの不定冠詞類のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第4回：Lektion 4　名詞の複数形
　事前学習：テキストの複数名詞のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第5回：Lektion 3　人称代名詞
　事前学習：テキストの人称代名詞のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第6回：小テスト1
　事前学習：小テストにむけてこれまでの復習をしておくこと（0.5時間）
　事後学習：小テスト1の間違い直しをし、宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第7回：Lektion 4　不規則動詞
　事前学習：テキストの不規則動詞のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第8回：Lektion 6　前置詞1
　事前学習：テキストの3格、4格支配の前置詞のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第9回：Lektion 6　前置詞2
　事前学習：テキストの3・4格支配の前置詞のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第10回：Lektion 6　前置詞3
　事前学習：テキストの前置詞の縮約形のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）

第11回：Lektion 7　話法の助動詞とワク構造
　　事前学習：テキストの話法の助動詞のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　　事後学習：宿題プリントを完成させておくこと（0.5時間）
第12回：小テスト 2
　　事前学習：小テストにむけてこれまでの復習をしておくこと（0.5時間）
　　事後学習：小テスト 1 の間違い直しをし、宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第13回：Lektion10　動詞の 3 基本形と過去形
　　事前学習：テキストの動詞の過去形のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　　事後学習：返却された小テスト 2 の間違い直しをし、宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第14回：Lektion11　現在完了形とワク構造 1
　　事前学習：テキストの現在完了形のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第15回：Lektion11　現在完了形とワク構造 2
　　事前学習：テキストの現在完了形のページを読み、CDを聞いておくこと（0.5時間）
　　事後学習：宿題を完成させておくこと（0.5時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第 1 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 2 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 3 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 4 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 5 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 6 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 7 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 8 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 9 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）、平常点（30%）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度、小テストへの取り組みを総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

・冠詞類、動詞の不規則変化、前置詞、話法の助動詞について理解し、ある程度応用できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

（1）西村祐子　ルドルフ・ペトリック　『新・行ってみたいなドイツ』　郁文堂 2013年
（2）在間進　『新キャンパス独和辞典』　郁文堂 2011年
初学者には電子辞書は不向きなので、書籍版を購入すること。すでに書籍版の辞書を持っている人は、自分の持っている辞書でもよい。辞書の種類や使い方については初回の授業で説明します。

その他（受講上の注意）
・語学の授業は、出席しないことには身につかない。できるかぎり出席すること。また、私語が多い場合には、その回は欠席扱いにすることがある。 ・毎回テキストやプリントの練習問題を宿題として出すので、必ずやってきてから授業に臨むこと。毎回の授業は宿題の答え合わせから始める。間違った問題は必ず復習しておくこと。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

中国語 a (Chinese a)			担当教員	ショウ　ロ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2146	1 単位	1 年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

10分・発音練習、60分・演習と解説、20分・まとめと質疑応答。中国語の学習を進めていく上で基礎知識を学習し、中国語の検定試験準 4 級のレベルをめざす。

授 業 の 到 達 目 標

1、中国語の発音に関して、表音ローマ字の読み方と綴り方を取得する。
2、中国語の簡略字を正しく読み取れる。
3、基礎単語300語程度を覚える。
4、簡単な日常あいさつ用語30語程度を聞き取れる、応答ができる。
5、簡単な基本文型20語程度を取得し、基本的な事項の確認や、自分の意思を伝えられる。
6、演習会話を通してコミュニケーション能力を高めることを目標とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第 1 回：発音とピンイン 1。一字一音、ピンイン、声調、母音。
　事後学習：録音を聞きながら、発音を練習すること。課題 1（1 時間）
第 2 回：発音とピンイン 2。子音、中国語の数字を言う、よく使う日常挨拶用語 I。
　事後学習：録音を聞きながら、発音を練習すること。課題 2（1 時間）
第 3 回：発音とピンイン 3。声調の変化、軽声、声調の組合せ。
　事後学習：録音を聞きながら、発音を練習すること。課題 3（1 時間）
第 4 回：人称代名詞。判断動詞“是”。疑問詞を表わす“吗”。
　事後学習：録音を聞きながら、繰り返し発音を練習すること。課題 4（1 時間）
第 5 回：中国語の基本語順。省略疑問文“呢”。名前の言い方。
　事前学習：録音を聞きながら、繰り返し発音を練習すること。課題 5。（1 時間）
第 6 回：疑問詞疑問文。動詞“在”－存在を表わす。助詞“的”de。
　事前学習：録音を聞きながら、繰り返し発音を練習すること。課題 6。（1 時間）
第 7 回：スマートフォン、パソコンに簡体中文の入力を設定する。簡体中文で入力する。
　事前学習：練習問題を簡体中文で打って友達に送ってみましょう。課題 7。（1 時間）
第 8 回：所有を表す“有”。連動文。“好き”の表現“喜欢”。
　事後学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題 8。（1 時間）
第 9 回：形容詞述語文。語気助詞“呢”。
　事後学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題 9。（1 時間）
第10回：数詞、量詞。“几”と“多少”の区別。存在を表わす“有”。
　事後学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題10。（1 時間）
第11回：指示代名詞。名詞述語文。中国のお金。
　事前学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題11。（1 時間）
第12回：語気助詞“了”。比較文。年齢の聞き方。
　事前学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題12。（1 時間）
第13回：介詞“在”。反復疑問文。離合詞。
　事後学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題13。（1 時間）

第14回：動態助詞“了”。否定を表わす“没有”。
　　事前学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題14。（１時間）
第15回：助動詞“想”。動詞の重ね型。
　　事後学習：練習問題を簡体中文で打つ練習。課題15。（１時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50％）課題練習の成績（30％）平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

１、表音のローマ字の読みと綴りをすることができるか。
２、常用簡略字が読み取れるか。
３、基礎単語300語程度が話せるか。
４、簡単日常あいさつ語を聞き、応答できるか。
５、簡単な言葉で事項の確認や自分の意思を伝えられるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（遠隔授業実施の場合は仁大eラーニング）
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

佐藤　晴彦　監修　徐　送迎　著　『たのしくできる　Ｗｅ　Ｃａｎ！　中国語（初級）』　朝日出版社

その他（受講上の注意）

積極的に授業に参加すること。授業中に大声で発声すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

中国語b (Chinese b)			担当教員	ショウ　ロ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2147	1単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

10分・発音練習、60分・演習と解説、20分・まとめと質疑応答。中国語を読むこと、話すことを重点において学習し、中国語の検定試験準4級合格をめざす。

授 業 の 到 達 目 標

1、中国語表音ローマ字による発音ができる。
2、基礎単語500語程度を使って、簡単な中国語の日本語訳と日本語の中国語訳ができる。
3、日常あいさつ用語50語程度を聞き取れる、応答ができる。
4、簡単な基本文型50語程度を利用し、基本的な事項の確認や、自分の意思を自然に伝えられる。
5、演習会話を通してコミュニケーション能力を高めることを目標とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ペアワーク）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：中国語aの復習。年月日の言い方、中国の祭日の映像を見る。
　事後学習：中国語aの復習プリントを配る、次週に提出すること。（1時間）
第2回：主述述語文。体調を訴えることができる。会話作り及び発表《病院で》。（ペアワーク）
　事前学習：病名の単語を調べること。（1時間）
第3回：時量補語、時刻の言い方。予定やスケジュールが言える。会話作り及び発表《日曜日の計画》。（ペアワーク）
　事後学習：時量、時刻の復習プリントを配る、次週に提出すること。（1時間）
第4回：選択疑問文。人を誘ったり誘われたりの表現ができる。会話作り及び発表《中国に行く》。（ペアワーク）
　事前学習：中国の有名な都市を調べること。（1時間）
第5回：助動詞“会”と“能”。中国南北料理の映像をみる。会話作り及び発表《日本の寿司》。（ペアワーク）
　事後学習：助動詞の使い方のプリントを配る、次週に提出すること。（1時間）
第6回：副詞“在”。電話であいさつ、応対する、連絡することができる。（ペアワーク）
　事後学習：挨拶用語のプリントを配る、次週に提出すること。（1時間）
第7回：中国の映画を鑑賞する。中国語で50〜100字の感想文を書く。（ペアワーク）
　事後学習：感想文を見直すこと、次週に提出すること。（1時間）
第8回：助動詞“可以”。自分で食事を注文することができる。会話作り及び発表《レストランで》。（ペアワーク）
　事前学習：中国料理の単語を調べること。（1時間）
第9回：禁止の表現。電車の乗り方を聞くことができる。会話作り及び発表《東京に行く》。（ペアワーク）
　事前学習：東京に行く乗り物の時刻、運賃を調べること。（1時間）
第10回：助詞“从〜”。タクシーの乗り方を聞くことができる。会話作り及び発表《タクシーで駅に行く》。（ペアワーク）
　事後学習：乗り物の乗り方を宿題し、次週に提出すること。（1時間）
第11回：助動詞“要”。《中国の二十歳の若者》の映像を見る。会話作り及び発表《成人式》。（ペアワーク）
　事後学習：《成人式》のテーマで50字くらいをまとめ、次週に提出すること。（1時間）
第12回：挿入語《中国人の生活習慣》の映像を見る。日本と中国の生活習慣について感想を述べる。（ペアワーク）
　事前学習：日本の生活習慣を調べること。（1時間）
第13回：使役表現。緊急時の連絡する、避難する方法を言える。会話作り及び発表《地震》。（ペアワーク）
　事前学習：日本で緊急時の連絡する、避難する単語を調べること。（1時間）

第14回：二重目的語。自分の就職先を紹介する。選んだ理由を説明することができる。（ペアワーク）
事後学習：作文《私がしたい仕事》を題し50字をまとめ、次週に提出すること。（１時間）
第15回：総まとめ。①単語のリレー。②テーマ別の中国語表現のリレー。③中国語を聞いて、動作で答える。（発表）
事後学習：定期試験の準備。（１時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50％）課題練習の成績（30％）平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

１、表音のローマ字による発音ができるか。
２、簡単な中国語と日本語の訳ができるか。
３、簡単日常あいさつ語を聞き、応答できるか。
４、簡単な言葉で事項の確認や自分の意思を伝えられるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

佐藤　晴彦　監修、 徐　送迎　著 『たのしくできる　Ｗｅ　Ｃａｎ！　中国語（初級）』 朝日出版社

その他（受講上の注意）

積極的に授業に参加すること。授業中に大声で発声すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ポルトガル語 a (Portuguese a)			担当教員	坂東　照啓
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2148	1 単位	1 年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

ポルトガル語の基礎を習得していく。受講生が初めてポルトガル語に接することを前提に、文字、発音に慣れ、簡単な日常の事柄を表すポルトガル語の文章を理解しつつ、ポルトガル語の仕組みの理解が進むように基本を学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

1．ポルトガル語の語句の聞き取り、発音（・音読）がおおよそでき、基礎語彙を習得し、簡単な日常表現や文章が理解できること。
2．ポルトガル語で自分自身のことや身の回りの（身近な）基本的なことをおおまかに表現できるようになること。
3．ポルトガル語の学習を通して、ブラジル文化の一端に触れ、異文化を客観的・相対的にとらえるきっかけをつかむこと。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第 1 回：ポルトガル語の概要とポルトガル語が使用されている国・地域について
　　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1 時間）
第 2 回：文字と発音とあいさつ表現
　　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1 時間）
第 3 回：語の音節とアクセント（強勢）。日常基本表現と数詞（1-10）
　　事後学習：テキスト該当箇所を読み、単語の音読をする（1 時間）
第 4 回：名詞、冠詞、数詞（11-30）
　　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1 時間）
第 5 回：「私」、「あなた」などの代名詞を学び、「～は～です」といった意味を動詞serで表現する
　　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1 時間）
第 6 回：動詞ser を使った文章。疑問文、否定文
　　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1 時間）
第 7 回：動詞ser を使ったさまざまな表現
　　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1 時間）
第 8 回：形容詞と指示詞（1）
　　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1 時間）
第 9 回：形容詞と指示詞（2）、所有表現
　　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1 時間）
第10回：今学期前半のまとめと、動詞の現在時制・活用
　　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1 時間）
第11回：一般動詞の使い方と規則動詞の活用
　　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1 時間）
第12回：前置詞
　　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1 時間）
第13回：動詞ir・ter・fazer（1）
　　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1 時間）

第14回：動詞ir・ter・fazer（２）、疑問詞
　　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（１時間）
第15回：今学期全体のまとめ
　　事後学習：テキスト該当箇所を読み、定期試験に備えた復習をすること（１時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（60%）　　平常点（40%）
（平常点は、受講態度（積極的に学習し、発言・発表しているか）、質問用紙への回答状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

１．ポルトガル語の語句の聞き取り、発音（・音読）ができ、基礎語彙を習得して、簡単な日常表現や文章が理解できていること。
２．ポルトガル語で自分自身のことや身の回りの（身近な）ことについて簡単な文を作り、表現できること。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

教材テキストを採用しますので、購入しておいてください。
【テキスト】
ブラジル・ポルトガル語を話そう！ 改訂版　－Vamos falar português!－「朝日出版社」
辞書は最初は不要ですが、授業でオンライン辞書を紹介します。

その他（受講上の注意）

ブラジルで使用されているポルトガル語を学びます。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

オンライン会議システム zoom によってリモート（遠隔）対応可能です。

ポルトガル語b (Portuguese b)			担当教員	坂東　照啓
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2149	1単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

ポルトガル語の基礎を前学期に引き続き学び、基本語彙と基本文法に習熟しながら、ポルトガル語の輪郭をつかんでいく。
日本語を母語とする受講生にとってのポルトガル語習得におけるポイントを意識しつつ、ポルトガル語の文章を理解し、多少の誤りがあってもポルトガル語で自分の伝えたいと思うことを表現できるように学習を進める。

授 業 の 到 達 目 標

1．ポルトガル語の基礎語彙、基本表現を習得し、文章についても複雑な構文でなければ理解できること。
2．ポルトガル語で日常の身近なことであれば、多少の間違い、ぎこちなさがあっても表現し、伝えられること。
3．ポルトガル語の学習を通して、ブラジル文化についての理解を深め、さらに日本におけるブラジル人との対話を一例とする異文化コミュニケーションについて考察できるようになること。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：前学期において既習の事項を確認し、今学期学習する事柄の概略を提示する
　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1時間）
第2回：動詞poder、querer、日付と曜日の表現、数詞（31-100）（1）
　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1時間）
第3回：動詞poder、querer、日付と曜日の表現、数詞（31-100）（2）
　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1時間）
第4回：動詞estar と現在進行形
　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1時間）
第5回：直説法完全過去（1）、時間表現と数詞の復習
　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1時間）
第6回：直説法完全過去（2）、人称代名詞
　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1時間）
第7回：不定代名詞、不定形容詞。感嘆文
　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1時間）
第8回：直説法不完全過去（1）
　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1時間）
第9回：直説法不完全過去（2）、縮小辞と増大辞
　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1時間）
第10回：今学期前半のまとめ。再帰動詞（1）
　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1時間）
第11回：再帰動詞（2）。直説法現在完了。不規則動詞活用形
　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1時間）
第12回：再帰動詞（3）。比較級と最上級（1）
　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1時間）
第13回：比較級と最上級（2）。数字（101-1000000）
　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（1時間）

第14回：既習項目の復習と文法事項の補足
　　事後学習：テキスト該当箇所を読み、復習をすること（１時間）
第15回：これまでのポルトガル語学習の総括と今後のポルトガル語学習について大枠を提示する
　　事後学習：テキスト該当箇所を読み、定期試験に備えた復習をすること（１時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（60%）　　平常点（40%）
（平常点は、受講態度（積極的に学習し、発言・発表しているか）、質問用紙への回答状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

１．ポルトガル語の基礎語彙、基本表現を習得しており、文章についても、複雑な構文でなければ理解できること。
２．ポルトガル語で日常の身近なことであれば、多少の間違い、ぎこちなさがあっても表現し、伝えられること。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

・前期と同じ教材テキストを継続使用します。
・辞書に関しては、前期にも授業で紹介したオンライン辞書を今期も利用してください。授業時に再度紹介します。

その他（受講上の注意）

・ブラジルで使用されているポルトガル語を学びます。
・来年度のブラジル教育省「外国人のためのポルトガル語検定試験」（CELPE-Bras）の合格を目標とし学習を進めます。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

音声通話、または、zoomでも対応します。前もって電子メールで連絡してください（予約制）。

情報リテラシー a (Information Literacy a)			担当教員	安彦　智史、禿　寿、藤本　雄紀
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2150	2単位	1年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

大学(および一般社会)において、学習や研究を進めるうえで必要となるコンピュータの基本的知識及び操作法を身につける。
特に、キーボードを見ずにキー入力ができるタッチタイピング技能、および日本語文書作成能力を身に付けることを主眼とする。

授 業 の 到 達 目 標

パソコンに関する基礎的な知識と学内ネットワークの利用、インターネットなどの基本的な使い方を理解する。
文書作成ソフトWordを使い、基本的な日本語文書作成ができる。
タッチタイピングができる。
10分間で300文字以上の日本語文章を入力する能力を身に付けている。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：学内ネットワーク、Office365の利用、Windows10の基礎1、タッチタイピンク
　事後学習：タッチタイピンク練習(4時間)
第2回：電子メール1(登録、作成、送信、受信、返信)、タッチタイピング
　事後学習：タッチタイピンク練習(4時間)
第3回：電子メール2(転送・フィルタ、添付)、タッチタイピング
　事前学習：テキストを読み、操作に関し予習・確認する(1時間)
　事後学習：タッチタイピンク練習(3時間)
第4回：電子メール3(メールコミュニケーション)、タッチタイピング
　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：タッチタイピンク練習(3時間)
第5回：インターネット(Web、SNS、ブログ)、タッチタイピング
　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題などで復習、タッチタイピンク練習(3時間)
第6回：情報検索、タッチタイピング
　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題などで復習、タッチタイピンク練習(3時間)
第7回：情報倫理(著作権、肖像権、個人情報)、タッチタイピング
　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題などで復習、タッチタイピンク練習(3時間)
第8回：情報セキュリティ、タッチタイピング
　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題などで復習、タッチタイピンク練習(3時間)
第9回：表計算、タッチタイピング
　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題などで復習、タッチタイピンク練習(3時間)

第10回：ファイルデータ管理、タッチタイピング
　　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する（１時間）
　　事後学習：実習問題などで復習、タッチタイピング練習（３時間）
第11回：文章管理、タッチタイピング
　　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する（１時間）
　　事後学習：実習問題などで復習、タッチタイピング練習（３時間）
第12回：ビジュアル表現、タッチタイピング
　　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する（１時間）
　　事後学習：実習問題などで復習（３時間）
第13回：プレゼンテーションの基本、タッチタイピング
　　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する（１時間）
　　事後学習：実習問題などで復習、タッチタイピング練習（３時間）
第14回：プレゼンテーション資料作成１、タッチタイピング
　　事後学習：作品の制作、タッチタイピング練習（４時間）
第15回：プレゼンテーション資料作成２、タッチタイピング
　　事前学習：テキストを読み直して、不明なところを解消させておく（２時間）
　　事後学習：作品の完成、タッチタイピング練習（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（約70%）　タイピング練習（約10%）　提出課題（約10%）　平常点（約10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

基本的なプレゼンテーションの作成ができるか。
基礎的な情報の知識を習得しているか。
タッチタイピングができるか。
タイピング練習を10時間以上したか。
10分間で300文字以上の日本語文章を入力する能力があるか。
（能力がないと判断した場合は、単位認定をしない）

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他（タッチタイピング技能に対するフィードバックについて）
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
『考える 伝える 分かちあう 情報活用力』(noa出版2017年11月発行第４版) 情報活用力診断テストRasti (NPO法人ICT利活用力推進機構、大阪商工会議所) 教材：『Type Quick Professional USB版』 日本データパシフィック
その他(受講上の注意)
この授業は、Word初心者を対象とした内容であるので、経験を有する者は情報活用aを受講すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報リテラシーb (Information Literacy b)			担当教員	安彦　智史、禿　寿、藤本　雄紀
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2151	2単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

大学(および一般社会)において、学習や研究を進めるうえで必要となるコンピュータの基本的知識及び操作法を身につける。
特に、表計算ソフトの基本的な使用法を習得して、データの集計処理や活用法を身に付けることを主眼とする。
併せて、タッチタイピング技能の向上を目指す。

授　業　の　到　達　目　標

ワープロソフトを使い、ビジネス文章が作成できる。
表計算ソフトを使い、基本的な表やグラフの作成ができる。
基本的な関数の使い方が理解できる。
表計算ソフトとワープロソフトの連携処理ができる。
タッチタイピングができる。
10分間で350文字以上の日本語文章を入力する能力を身に付けている。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Windows10の基礎、タッチタイピング
　事前学習：テキスを読み、操作に関して予習・確認する(0.5時間)
　事後学習：練習問題などで復習、タッチタイピンク練習(3.5時間)
第2回：Word入門①(文章の入力)、タッチタイピング
　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題などで復習、タッチタイピンク練習(3時間)
第3回：Word入門②(単語登録)、タッチタイピング
　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題などで復習、タッチタイピンク練習(3時間)
第4回：Wordの基礎①(編集機能)、タッチタイピング
　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題などで復習、タッチタイピンク練習(3時間)
第5回：Wordの基礎②(表の編集)、タッチタイピング
　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題などで復習、タッチタイピンク練習(3時間)
第6回：Wordの活用、タッチタイピング
　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題問題などで復習、タッチタイピンク練習(3時間)
第7回：Excel入門①(データ入力の基礎)、タッチタイピング
　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題などで復習、タッチタイピンク練習(3時間)
第8回：Excel入門①(グラフの設定の変更)、タッチタイピング
　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する(1時間)
　事後学習：実習問題などで復習、タッチタイピンク練習(3時間)

第９回：Excelの基礎②（オートSUMの利用）、タッチタイピング
　　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する（１時間）
　　事後学習：実習問題などで復習、タッチタイピング練習（３時間）
第10回：Excelの基礎②（関数の挿入）、タッチタイピング
　　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する（１時間）
　　事後学習：実習問題などで復習、タッチタイピング練習（３時間）
第11回：Excelの活用、タッチタイピング
　　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する（２時間）
　　事後学習：実習問題（43～47）などで復習（２時間）
第12回：Word、Excel間のデータ共有、タッチタイピング
　　事前学習：テキストを読み、操作に関して予習・確認する（２時間）
　　事後学習：実習問題などで復習（２時間）
第13回：Excel & Word復習問題１
　　事前学習：テキスト全体を読み返し、操作に関して予習・確認する（２時間）
　　事後学習：未完成の練習問題などを完成し、復習（２時間）
第14回：Excel & Word復習問題２、オープンデータを用いた分析
　　事前学習：テキスト全体を読み返し、操作に関して予習・確認する（２時間）
　　事後学習：未完成の練習問題などを完成し、復習（２時間）
第15回：Excel & Word復習問題３、実社会の統計データを用いた分析
　　事前学習：テキスト全体を読み返し、操作に関して予習・確認する（２時間）
　　事後学習：未完成の練習問題などを完成し、復習（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（約80%）　提出課題（約10%）　平常点（約10%）
　（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

ワープロソフトを使い、ビジネス文章が作成できるか。
表計算ソフトを使い、基本的な表やグラフの作成ができるか。
基本的な関数の使い方を理解しているか。
表計算ソフトとワープロソフトの連携処理ができるか。
タッチタイピングができるか。
10分間で350文字以上の日本語文章を入力する能力を身に付けているか。
　（能力がないと判断した場合は、単位認定をしない）

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
30時間でマスター　Word & Excel 2019（Windows10対応） 教材：『Type Quick Professional USB版』　日本データパシフィック
その他（受講上の注意）
この授業は、Word、Excel初心者を対象とした内容であるので、経験を有する者は情報活用a,bを受講すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報活用 a (Information Utilization a)			担当教員	竹村　順吾
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2152	2 単位	1 年前期・ 2 年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

実習によってWordの機能と操作を理解し、大学生活やビジネス場面において有効に活用できる能力を獲得することを目指す。

授 業 の 到 達 目 標

Wordの操作に習熟し、社会で求められる文書作成や情報活用の能力を獲得する。技能の取得基準としてはマイクロソフト社のOffice Specialist試験（MOS）に合格できるレベルを目標とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

テキストに従って実習を進めるほか、eラーニングにて資料を配付する。
第 1 回：概説、MOS試験について、Wordの基本操作
　事前学習：Wordについて予習（2 時間）
　事後学習：パソコン環境を整える、課題提出（2 時間）
第 2 回：第 1 章 文書の管理（1）
　事前学習：テキスト第 1 章の前半を読んで予習（2 時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2 時間）
第 3 回：第 1 章 文書の管理（2）
　事前学習：テキスト第 1 章の後半を読んで予習る（2 時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2 時間）
第 4 回：第 2 章 文字、段落、セクションの挿入と書式設定
　事前学習：テキスト第 2 章を読んで予習（2 時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2 時間）
第 5 回：第 3 章 表やリストの管理
　事前学習：テキスト第 3 章を読んで予習（2 時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2 時間）
第 6 回：第 4 章 参考資料の作成と管理
　事前学習：テキスト第 4 章を読んで予習（2 時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2 時間）
第 7 回：第 5 章 グラフィック要素の挿入と書式設定
　事前学習：テキスト第 5 章を読んで予習（2 時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2 時間）
第 8 回：第 6 章 文書の共同作業の管理
　事前学習：テキスト第 6 章を読んで予習（2 時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2 時間）
第 9 回：総合練習問題 1
　事前学習：模擬テスト問題 1 を試行する（2 時間）
　事後学習：模擬テスト問題 1 を実行して復習、課題提出（2 時間）

第10回：総合練習問題２
　　事前学習：模擬テスト問題２を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題２を実行して復習、課題提出（２時間）
第11回：総合練習問題３
　　事前学習：模擬テスト問題３を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題３を実行して復習、課題提出（２時間）
第12回：総合練習問題４
　　事前学習：模擬テスト問題４を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題４を実行して復習、課題提出（２時間）
第13回：総合練習問題５
　　事前学習：模擬テスト問題５を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題５を実行して復習、課題提出（２時間）
第14回：総復習問題
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習、課題提出（２時間）
第15回：総復習問題（特に不得手なスキルについて）
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習、課題提出（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（60%）　課題（20%）　平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

実習と課題を充分に行い、MOSに合格できるレベルの技術を獲得できたかどうか。期末に学内で実施されるMOS試験に合格した場合、定期試験も合格と同等以上の扱いとする。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

『MOS攻略問題集Word 365&2019』　日経BP　2020年

その他（受講上の注意）
テキスト必携必須
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報活用b (Information Utilization b)			担当教員	竹村　順吾
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2153	2単位	1年後期・ 2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

実習によってExcelの機能と操作を理解し、大学生活やビジネス場面において有効に活用できる能力を獲得することを目指す。

授 業 の 到 達 目 標

Excelの操作に習熟し、社会で求められる文書作成や情報活用の能力を獲得する。技能の取得基準としてはマイクロソフト社のOffice Specialist試験（MOS）に合格できるレベルを目標とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

テキストに従って実習を進めるほか、eラーニングにて資料を配付する。
第1回：概説、MOS試験について、Excelの基本操作
　事前学習：Excelについて予習（2時間）
　事後学習：パソコン環境を整える、課題提出（2時間）
第2回：第1章 ワークシートやブックの管理（1）
　事前学習：テキスト第1章の前半を読んで予習（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第3回：第1章 ワークシートやブックの管理（2）
　事前学習：テキスト第1章の後半を読んで予習（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第4回：第2章 セルやセル範囲のデータの管理（1）
　事前学習：テキスト第2章の前半を読んで予習（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第5回：第2章 セルやセル範囲のデータの管理（2）
　事前学習：テキスト第2章の後半を読んで予習（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第6回：第3章 テーブルとテーブルのデータ管理
　事前学習：テキスト第3章を読んで予習（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第7回：第4章 数式や関数を使用した演算の実行
　事前学習：テキスト第4章を読んで予習（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第8回：第5章 グラフの管理
　事前学習：テキスト第5章を読んで予習（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第9回：総合練習問題1
　事前学習：模擬テスト問題1を試行する（2時間）
　事後学習：模擬テスト問題1を実行して復習、課題提出（2時間）

第10回：総合練習問題２
　　事前学習：模擬テスト問題２を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題２を実行して復習、課題提出（２時間）
第11回：総合練習問題３
　　事前学習：模擬テスト問題３を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題３を実行して復習、課題提出（２時間）
第12回：総合練習問題４
　　事前学習：模擬テスト問題４を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題４を実行して復習、課題提出（２時間）
第13回：総合練習問題５
　　事前学習：模擬テスト問題５を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題５を実行して復習、課題提出（２時間）
第14回：総復習問題
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習、課題提出（２時間）
第15回：総復習問題（特に不得手なスキルについて）
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習、課題提出（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（60%）　提出課題（20%）平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

実習と課題を充分に行い、MOSに合格できるレベルの技術を獲得できたかどうか。期末に学内で実施されるMOS試験に合格した場合、定期試験も合格と同等以上の扱いとする。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

『MOS攻略問題集 Excel 365&2019』　日経BP　2020年

その他（受講上の注意）
テキスト必携必須
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

基礎演習(心理) (First-year Seminar)			担当教員	森　俊之、坂井　祐円、山本　雅代、 吉水ちひろ、渡辺　克徳、森本　文人
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2160	2単位	1年	演習	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

大学生としての最初の1年は、4年間にわたる学修をスムーズに開始できるための重要な期間として位置づけられる。このため、まず学科の教育目標および教育課程を理解するとともに、主体的な学びを軸とする大学での修学や将来のための基盤づくりに重点を置き、授業を展開する。

授 業 の 到 達 目 標

■本授業の内容や達成すべき目標について理解する。
■学科の教育課程や教育制度、授業形態について説明を受け理解する。
■履修に関する担当教員の助言・指導を受け、自己の学習計画・履修計画を作成できるようにする。
■大学での学び方を知るための講座、専門分野の基礎的な事柄についての演習を通して、自主学習を中心とした学習スタイルを確立し、学習に対する積極的な態度を身につける。
■附属図書館において図書館利用に関するセミナーを受講し、文献の検索方法等を理解し、学習や研究に必要な図書館利用法を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：履修に関する担当教員の助言・指導を受け、自己の学習計画・履修計画を作成（グループワーク）
　事前学習：学生便覧などを参考に，仁愛大学での授業や学生生活に関する疑問点などをまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（2時間）
第2回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
　事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（2時間）
第3回：学生生活についての担当教員による個人面談を行い、学習状況などを確認
　事前学習：大学の授業や学生生活に関して個人的に質問・相談したいことをまとめておくこと（2時間）
　事後学習：担当教員から個別に指導された内容について振り返り今後の大学生活にどのように役立てるか考えること（2時間）
第4回：学習や研究に必要な文献検索方法（附属図書館利用法）
　事前学習：学生便覧などを参考に付属図書館に関する予備知識を得て，疑問点などをまとめておくこと（2時間）
　事後学習：図書館見学時に配布された資料を見直し，学んだ内容についてまとめておくこと（2時間）
第5回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
　事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（2時間）
第6回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
　事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（2時間）

第７回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）
第８回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）
第９回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）
第10回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）
第11回：学生生活についての担当教員による個人面談を行い、学習状況などを確認
事前学習：大学の授業や学生生活に関して個人的に質問・相談したいことをまとめておくこと（２時間）
事後学習：担当教員から個別に指導された内容について振り返り今後の大学生活にどのように役立てるか考えること（２時間）
第12回：地域学習
事前学習：地域に関連する書籍や新聞等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：地域学習で配布された資料を見直し，学んだ内容についてまとめておくこと（２時間）
第13回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）
第14回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）
第15回：専門分野の基礎学習（グループワーク）
事前学習：次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと（２時間）
事後学習：授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと（２時間）
第16回：専門分野の基礎学習（グループワーク）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

提出課題の内容（50％）および平常点（50％）
（平常点は、授業への参加状況と態度、課題への取り組み姿勢などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

基礎的なアカデミック・スキル（学習に対する積極的な態度・技術、レジュメの作成・報告、討論方法）が修得できているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（各グループ内で課される課題に対するフィードバックについて）
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキストは使用しない

その他(受講上の注意)

■学生19名程度を１グループとして１名の担当教員を置く
（この担当教員は、２年間の指導教員として、本授業終了後も引き続き指導や助言を行う）
■授業の実施は、原則としてグループ単位で行い、前期８回と後期８回の計16回実施を予定している
■2022年度講義はグループごとの面接授業を予定しているが，今後新型コロナウイルス感染症流行拡大に伴い授業形態が変更する可能性がある。基礎演習を受講する学生は，常に心理学科掲示板や大学からのお知らせを確認しておくこと

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

基礎演習(コミュニケーション) (First-year Seminar)			担当教員	加藤　優子、橋本　武志、安彦　智史、 江南　健志、織田　暁子、升田　法継、 小川　　慶、禿　　寿
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2160	2単位	1年	演習	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

大学生としての最初の1年は、4年間にわたる学修をスムーズに開始できるための重要な期間として位置づけられる。このため、まず学科の教育目標および教育課程を理解するとともに、主体的な学びを軸とする大学での修学や将来のための基盤づくりに重点を置き、授業を展開する。

授 業 の 到 達 目 標

■本授業の内容や達成すべき目標について理解する。
■学科の教育課程や教育制度、授業形態について説明を受け理解する。
■履修に関する担当教員の助言・指導を受け、自己の学習計画・履修計画を作成できるようにする。
■大学での学び方を知るための講座、専門分野の基礎的な事柄についての演習を通して、自主学習を中心とした学習スタイルを確立し、学習に対する積極的な態度を身につける。
■附属図書館において図書館利用に関するセミナーを受講し、文献の検索方法等を理解し、学習や研究に必要な図書館利用法を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：履修に関する担当教員の助言・指導を受け、自己の学習計画・履修計画を作成
　事前学習：大学の履修システムについて理解し、自分の履修計画を立てること（2時間）
　事後学習：教科書の「資料の探し方」について読み、理解を深めること（2時間）
第2回：専門分野の基礎学習（ノートの取り方、テキストの読み方）
　事前学習：教科書「ノートの取り方、テキストの読み方」について読み、理解を深めること（2時間）
　事後学習：学習した範囲の教科書をよく読み復習すること（2時間）
第3回：学生生活についての担当教員による個人面談を行い、学修状況などを確認
　事前学習：入学時アンケートに記載したこと自己目標や現在の自身の状況について整理して考えてくること（2時間）
　事後学習：面談結果を踏まえ、自身の今後の大学生活について計画を立てること（2時間）
第4回：学修や研究に必要な文献検索方法（附属図書館利用法）
　事前学習：大学附属図書館に赴き、図書館の基本的な学び方について理解すること（2時間）
　事後学習：学習した内容について整理し、図書館の使い方についての理解を深めること（2時間）
第5回：専門分野の基礎学習（レポートの書き方、資料の探し方）
　事前学習：教科書「レポートの書き方、資料の探し方」について読み、理解を深めること（2時間）
　事後学習：学習した範囲の教科書をよく読み復習すること（2時間）
第6回：専門分野の基礎学習（学科コースの学びと理解）
　事前学習：学生便覧について読み、学科の特性や専門コースについて理解を深めること（2時間）
　事後学習：自己目標や現在の自身の状況を踏まえ、自分の履修計画について見直しを行うこと（2時間）
第7回：専門分野の基礎学習（「大学の試験」およびディプロマサプリメント）
　事前学習：教科書「大学の試験」について読み、理解を深めること
　　仁愛大学HPのコミュニケーション学科のページをよく読み、学科のポリシーや活動について理解を深めること（2時間）
　事後学習：教科書の該当箇所、および学科ポリシーについて復習すること（2時間）

第８回：専門分野の基礎学習（プレゼンテーション発表の仕方）
　　事前学習：プレゼンテーション発表の仕方について事前に教科書を読み理解を深めること（２時間）
　　事後学習：講義内容について自身で調べ、自分の発表スタイルを身に着けること（２時間）
第９回：専門分野の基礎学習（専門科目の学び方）
　　事前学習：前期に学んだことを振り返り、各専門科目と興味があるコースについて学ぶこと（２時間）
　　事後学習：各専門分野の講義に触れ、２年次以降の履修計画の素案を作成すること（２時間）
第10回：越前市で学ぶ（講演）
　　事前学習：地域への貢献活動やボランティア、伝統文化について学び、理解を深めること（２時間）
　　事後学習：実地での学びと座学での学びを通して、地域社会の活性化に向けて自身が取り組めることは何か考えること（２時間）
第11回：越前市で学ぶ（フィールドワーク）
　　事前学習：越前市の伝統文化について調査し、理解を深めること（２時間）
　　事後学習：伝統文化に触れ、その成り立ちや現在の利活用方法について理解を深めること（２時間）
第12回：学生生活についての担当教員による個人面談を行い、学修状況などを確認
　　事前学習：前後期の履修を踏まえ、来年度以降の専門コースを検討すること（２時間）
　　事後学習：面談を踏まえ、来年度以降の専門コースを検討すること（２時間）
第13回：発表会　プレゼンテーション
　　事前学習：プレゼンテーション発表の準備を行うこと（２時間）
　　事後学習：発表時に指摘された箇所を修正し、再提出を行うこと（２時間）
第14回：発表会　プレゼンテーション
　　事前学習：プレゼンテーション発表の準備を行うこと（２時間）
　　事後学習：発表時に指摘された箇所を修正し、再提出を行うこと（２時間）
第15回：総括
　　事前学習：後期課題を提出し、１年を通した自己省察を行うこと（２時間）
　　事後学習：２年次における専門コースを選択し、来年度の目標を立てること（２時間）
予習として、次週に学ぶべき内容について関連する書籍等を読み予備知識を得ておくこと。
復習として、授業時に配布された資料を見直す、または授業で取り上げられた事項を再考する等、理解したうえで次週の授業に臨むこと。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポートおよびプレゼンテーション（50%）　平常点（50%）
（平常点は、授業への参加状況、課題への取り組み姿勢などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

基礎的なアカデミック・スキル（学習に対する積極的な態度・技術、レジュメの作成・報告、討論方法）が修得できているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他（提出された課題についてのアドバイスを行い、最終提出物を確認・採点する）
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

世界思想社編集部編『大学生学びのハンドブック』5訂版　世界思想社　1320円

その他(受講上の注意)

■学生10名程度を1グループとして1名の担当教員を置く。
（この担当教員は、2年間の指導教員として、本授業終了後も引き続き指導や助言を行う）
■授業は、原則としてグループ単位で行う。
■授業の実施は、前期7回、後期8回を予定している。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

日本語文章表現 (Japanese Sentence Expression)			担当教員	大河　晴美、國久　繁雄
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2161	1単位	1年前期	演習	必修

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

大学生として身につけておくべき文章構成、推敲の方法、引用と要約のルールなどを中心に、実際に文章（作文・小論文など）を書くことを実践しながら学ぶ。また、福井仁愛学園が共催している「風花随筆文学賞」への応募を想定した作品を執筆する。

授　業　の　到　達　目　標

・与えられた課題に対して、自分の意見を組み立てた上で文章で表現し、相手に伝えることができる。
・さまざまな形式の表現に触れ、自分の考えを伝えるための作法や修辞法を理解している。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（作文・小論文等の文章作成）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション、さまざまな文章
　事前学習：テキストの第1章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第2回：文章の構成
　事前学習：テキストの第3章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第3回：誤用文と推敲の方法
　事前学習：テキストの第4章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第4回：修辞法と慣用句
　事前学習：テキストの第5章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第5回：さまざまな熟語
　事前学習：テキストの第6章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第6回：引用と要約のルール
　事前学習：テキストの第10章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第7回：400字・800字の小論文
　事前学習：テキストの第11章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第8回：レポート・論文作成の手順（1）
　事前学習：テキストの第9章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第9回：レポート・論文作成の手順（2）
　事前学習：テキストの第9章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）

第10回：レポート・論文の作成
　　事前学習：テキストの第12章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第11回：敬語の種類
　　事前学習：テキストの第７章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第12回：日常生活と言葉づかい
　　事前学習：テキストの第13章を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第13回：随筆を読む
　　事前学習：配付された随筆作品を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第14回：随筆を書く
　　事前学習：配付された随筆作品を読み、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
　　事後学習：授業で出された課題を行う。（0.5時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：文章作成に必要なことについて、テキストを読み直し、理解しておく。（0.5時間）
　　事後学習：期末レポートの題材・構成を考える。（0.5時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題（60％）、期末レポート（20％）、平常点（20％）
平常点は、授業への参加状況、受講態度、コメント用紙の提出状況などを総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・与えられた課題に対し、自分の意見を組み立てたうえで文章で表現し、相手に伝えることができるか。
・さまざまな形式の表現に触れ、自分の考えを伝えるための作法や修辞法を理解しているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

西尾宣明編著『新版　日本語表現法－「書く」「話す」「伝える」ための技法－』・樹村房・2013年

その他（受講上の注意）
文章表現は、実際に書くことによってのみ上達する。返却された提出課題をきちんと見直し、日頃からよりよい表現ができるように心がけること。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

キャリア・デザインⅠ（Career DesignⅠ）			担当教員	植月　百枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2162	2単位	1年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果（教育目標）

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

変化の激しい時代、これが正しいというキャリアモデルはない。知人・友人などのネットワークや、自ら考え学び自分は将来どのような仕事をしたいのか、どうありたいのかを常に探求していくことが重要である。
この授業では、キャリア形成と仕事へのアプローチのために必要なことは何かを自ら考え、挨拶・電話対応・ビジネス文書作成などの実践を通して、ビジネス社会での基本マナーとルールを身につけていく。

授　業　の　到　達　目　標

・自分自身のキャリア形成のため必要な意識と知識を修得する。
・社会人のマナーやルールを理解する。
・日常の挨拶、言葉づかいを通し他者へのリスペクトや円滑なコミュニケーションを実践する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：学生時代に学ぶこと、考えること
　事前学習：大学時代にやるべきことは沢山ある。自分のなすべきこと、やりたいことを考えまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：自身の未来に思いをはせ、具体的に挑戦したいことをまとめ、ノートに記入することを課す。（2時間）
第2回：コミュニケーションの基本
　事前学習：授業前にテキストの第1編第1章を読み、社会が求める期待される社会人について考えておくこと。（2時間）
　事後学習：良好なコミュニケーションのために気をつけることをまとめ、ノートに記入することを課す。（2時間）
第3回：ビジネスマナーの基本①
　事前学習：授業前にテキストの第1編第3章を熟読し、なぜ社会人になるとビジネスマナーが必要なのか考えておくこと。（2時間）
　事後学習：ビジネスマナーの心と形について具体的にまとめておくこと。（2時間）
第4回：ビジネスマナーの基本②
　事前学習：ビジネスマナーの心をあらわす形の具体例は身近にある。今一度自分の周りのマナーについて考えをまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：お辞儀や挨拶を実践しよう。マスクをしてのコミュニケションのとり方を考え実践すること。（2時間）
第5回：指示の受け方と、報告・連絡・相談
　事前学習：テキスト第1編第4章を熟読し、理解を深めること。（2時間）
　事後学習：本日の授業の内容を報告してみよう。ワードで提出のこと。（2時間）
第6回：話し方ときき方のポイント
　事前学習：授業前にテキスト、第1編第5章を熟読し理解を深めること。（2時間）
　事後学習：きき方には3種類ある。きき方について学んだことをまとめ、ノートに記入することを課す。（2時間）

第７回：ビジネス文書、ビジネスメール①
事前学習：授業前にテキストの第２編第２章を熟読し理解を深めること。（２時間）
事後学習：ビジネス文書の役割、特徴、種類などをノートにまとめておくこと。（２時間）
第８回：ビジネス文書、ビジネスメール②
事前学習：仕事のメールとプライベートなメールの違いを改めて考え、同じ内容で、ビジネス用、プライベート用を作成してみること。（２時間）
事後学習：身のまわりの文書（書類、手紙，はがき）を点検し、書き方を確認すること。復習課題を課す。（２時間）
第９回：電話応対の基本と重要性
事前学習：授業前にテキストの第２編第３章を熟読し理解を深めること。電話応対に関することをまとめておくこと。（２時間）
事後学習：プリントを熟読し、声に出して電話応対の仕方を練習すること。復習課題を課す。（２時間）
第10回：敬語の種類と必要性
事前学習：授業前にテキストの第１編第５章を読み理解を深めること。敬語の使い方の最近の傾向について調べること。（２時間）
事後学習：敬語についての復習問題の課題を課す。（２時間）
第11回：情報収集と効果的な活用法
事前学習：授業前にテキストの第２編第５章を熟読し、さまざまな情報源について調べ理解を深めること。（２時間）
事後学習：情報源の活用について復習課題を課す。（２時間）
第12回：新聞の読み方・コンプライアンス
事前学習：テキスト第２編第５章を熟読し、日ごろから新聞を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：コンプライアンスに抵触する事例を調べてワードで提出することを課す。（２時間）
第13回：面談・訪問の基本マナーと名刺交換
事前学習：テキスト第１編第６章を熟読すること。（２時間）
事後学習：訪問から面談への流れをまとめ、実際に名刺を作成し名刺交換の練習をすること。（２時間）
第14回：仕事への取り組み方
事前学習：テキスト第１編第１章を改めて熟読すること。仕事への取り組みは大学での学習への取り組みともいえる。どのように学習のやり方に取り入れられるか考えてみること。（２時間）
事後学習：自身の学習を、効率的に、合理的に進めるためには具体的にどのようにすればよいかまとめておくこと。（２時間）
第15回：会社を取り巻く環境と経済の基本
事前学習：第２編第６章を熟読し、巻末のビジネス用語にも目を通しておくこと。（２時間）
事後学習：新型コロナウィルスにより2020年を起点に経済環境の変化が加速し、人々の考え方・意識も大きく変化した。その中で求められる人材はどのような人物か、そして「人に敬意を払う」ということはどういうことかを考え続けて欲しい。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70％）、平常点（30％）
＊平常点は授業への参加状況、授業態度、課題の提出回数、内容などを総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・自分自身のキャリア形成のため必要な意識と知識を修得しているか。
・社会人のマナーやルールを理解しているか。
・日常の挨拶、言葉づかい、態度など他者へのリスペクトを実践しているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴
フリーアナウンサー
・実務経験と授業内容との関連性
（民間放送局のアナウンサー（社員）として永年勤務した経験を有する教員が、卒業後のキャリア形成を見据えて学生時代に探求、考察すべきことや、コミュニケーションの実践方法、ビジネスマナー等について講義する。）

テキスト、参考図書

『2022年版ビジネス能力検定ジョブパス３級公式テキスト』日本能率協会マネジメントセンター

その他(受講上の注意)

上記の授業計画は予定である。授業の進行状況によって変更することもある。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(ボランティア)(心理) (Fieldwork Practice - Volunteer)			担当教員	大森　慈子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2163	2単位	1年～4年	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

学内外でのボランティア活動、社会的イベントなどへの参画や参加を通し、実際の地域社会における直接的体験を得て、優れた社会人となるための自己認識、自己啓発の機会とする。当該活動や体験の意義と内容をよく理解し、取り組み後には自身の経験と反省点を具体的に報告する。

授　業　の　到　達　目　標

■ボランティアの社会的意義を理解する。
■必要な情報の収集と課題の解決に、積極的に取り組むことができる。
■活動内容の記録と考察によって、自己の役割と能力を広げる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

活動内容と時期によって計画と学習方法は異なるが、概ね下記に従う。なお、活動は前期に行われる場合、後期に行われる場合、前後期通して行われる場合が想定される。
1．ガイダンス（2時間）
2．活動参加の計画呈示（2時間）
3．活動の実施（24時間以上）
4．活動報告（2時間）
・事前学習（30時間）：活動に関する情報収集、活動に求められる課題、活動報告の準備など。
・事後学習（30時間）：活動記録の執筆、活動における課題の整理など。

授業の形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

活動や取り組みの状況（50%）、報告書またはプレゼンテーション（50%）

成　績　評　価　基　準

■ボランティアの社会的意義を理解しているか。
■必要な情報の収集と課題の解決に、積極的に取り組むことができたか。
■活動内容の記録と考察によって、自己の役割と能力を広げられるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（活動報告に対するフィードバックについて）
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（報告時）

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

使用しない。

その他(受講上の注意)

■履修登録については、通常の受講登録手続きを要しない（ガイダンス時に説明）。
■履修にあたっては、必ず担当教員へ問い合わせること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(ボランティア)(コミュニケーション) (Fieldwork Practice - Volunteer)			担当教員	小川　　慶
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2163	2単位	1年～4年	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

本プログラムには、学内外でのボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験が含まれる。教室や研究室で学習や研究をするのではなく、実際に社会での直接的体験を通して、優れた社会人となるための自己認識、自己啓発の機会とすることを目的とする。担当教員や活動支援団体による説明会への参加をもとに受講の意思を明らかにし、プログラムへの参加とする。
なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目である。

授　業　の　到　達　目　標

・それぞれが今後学ぶ、または学んでいることの社会的意義を見いだすことができる。
・学生間はもとより、地域社会で仕事や生活をしている社会人とのコミュニケーションが、円滑に行える。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

地域社会からのニーズを元にプログラムを立てるため、その解決すべき課題を元に授業計画を設定する。
1．事前ガイダンスの実施と計画の提示（2時間）
2．現地にて研修（26時間以上）
3．事後報告として、レポート・プレゼンテーション等の実施，課題に関連する情報の収集（2時間）

・事前学習（30時間）…受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組み。レポート・プレゼンテーションの準備など。
・事後学習（30時間）…研修記録の執筆、受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組みなど。

授業の形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成 績 評 価 方 法

活動や取り組みの状況（50%）、レポートまたはプレゼンテーション（50%）

成 績 評 価 基 準

課題について、的確な視点を持ち、その解決に向けて自身の考察による提案ができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
5）その他（上記以外の内容に対するフィードバックについて）
□授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

使用しない。

その他（受講上の注意）

本科目の履修登録については、それぞれの担当教員がガイダンスなどを実施し、各プログラムの参加者をもって受講者とするため、通常の受講登録手続きを要しない。
※個人参加のボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験等も対象とする場合があるので、受講希望者は、事前に科目担当者へ問い合わせること。
※単位認定については、参加するボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションのプログラム終了後、担当教員より課される課題等を全て提出し、単位認定するにあたり適当であると認めた場合のみとする。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(国際交流) (Fieldwork Practice - International Exchange)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2164	2単位	1年～4年	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

原則としてアメリカ・カリフォルニア州立大学フラトン校（本学姉妹校）での集中講義（2週間）の形式で実施するが、英語教育センターで承認を受けた場合は個人留学による語学研修でも履修可能である。フラトン校での集中講義では、授業あるいはワークショップの参加・見学、キャンパス内外での視察、クラブ活動参加、観光等を通じて国際交流を体験し、以後の学修・研究のための動機付けを得ることを目指す。前期に事前授業10回・後期に事後授業5回を実施する。

授業の到達目標

・学外における自主的な活動や体験を通して、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得する。
・「仁愛大学海外短期研修プログラム（2週間）」への参画体験演習を通して、以後の学修・研究のための動機付けを得る。
・異文化理解を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

事前学習（30時間）
・全体説明会（目的、日程、研修内容、宿泊、準備物［パスポート、航空券、クレジットカードなど］）
・ビザの申請
・ホストファミリーへの紹介文
・研修地に関する事前学習
・場面別英会話の学習
・プレゼンテーションの準備・練習
・プレースメントテスト
・経験者の話・質疑応答
・最終確認
＜集中講義（夏期休暇中）＞
留学（40時間）
・英語の授業（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング、文法、語彙など）
・日本語の指導
・文化施設見学
・ホストファミリーとの交流（ホームステイ）
・体験ツアー
・歴史、文化授業参加、ディスカッション
・他の大学生との交流

事後学習（30時間）
・研修のふりかえり・レポート
・プレゼンテーション準備
・体験報告会

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

事前授業の取り組み（30%）、現地評価（50%）、事後授業の取り組み、およびレポート課題（20%）を総合評価する。

成　績　評　価　基　準

学外における自主的な活動や体験をとおして、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得できたか。
学修・研究のための動機付けを得て、優れた社会人となるための自己認識を深めることができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

特になし

その他（受講上の注意）

受講生が少ない場合、非開講とすることがある。本科目の履修登録については、担当教員等が行うガイダンスおよび本プログラム参加をもって履修登録とするため、通常の履修登録手続きを要しない。
【フラトン校・アルバータ大学での集中講義以外の履修について】
履修要件：英語教育センターで（１）～（４）を行うこと
（１）留学相談（留学先・方法など決定）
（２）審査　（本科目としての適切性）
（３）事前指導（提出書類準備・渡航準備）
（４）事後指導（必要な課題提出・発表・単位認定審査）
研修期間：夏期休暇期間または春期休暇期間
単位認定時期：夏期休暇期間の場合は当該年度後期、春期休暇期間の場合は翌年度前期
※卒業年次生は、夏期休暇中の実施のみ

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学概論Ⅰ (Introduction to Psychology Ⅰ)			担当教員	大森　慈子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2101	2単位	1年前期	講義	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

心とは何か、心はどこにあるのか、という疑問からはじめ、人がどのように感じ、何を考え、どのように行動するのかを捉えることで、心の働きやシステムについて学ぶ。心理学の歴史を紹介し、心理学における主要なテーマといえる知覚や学習といった基礎的分野を理解する。

授 業 の 到 達 目 標

■心の働きやシステムについて理解する
■心理学の歴史や主要な人物および研究成果に関する知識を得る
■心理学の基礎的分野における基本的な用語や内容の説明ができる

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：心理学とは
　事前学習：授業前にテキストの1-1-1を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：心理学の領域
　事前学習：授業前にテキストの1-1-2, 1-3を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：心理学の歴史
　事前学習：授業前にテキストの1-2を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：感覚と知覚（1）
　事前学習：授業前にテキストの8-1から8-4までを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：感覚と知覚（2）
　事前学習：授業前にテキストの8-5から8-9までを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：生得的行動
　事前学習：授業前にテキストの3-1を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：初期経験
　事前学習：授業前にテキストの3-2から3-3までを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）

第８回：学習（１）
事前学習：授業前にテキストの４-１から４-２までを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：学習（２）
事前学習：授業前にテキストの４-３から４-４までを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：学習（３）
事前学習：授業前にテキストの５-１と５-３を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：学習理論と行動療法
事前学習：授業前にテキストの５-２を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：パーソナリティ（１）
事前学習：授業前にテキストの11-１を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：パーソナリティ（２）
事前学習：授業前にテキストの11-２を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：パーソナリティ（３）
事前学習：授業前にテキストの11-３から11-５までを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：授業で学んだテキストの箇所とノートなどを見直し、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（90%）　平常点（10%）
（平常点は、授業への６回以上の出席と課題の提出状況によって、加点します）

成　績　評　価　基　準

■心の働きやシステムについて理解しているか
■心理学の歴史や主要な人物および研究成果を知っているか
■心理学の基礎的分野における基本的な用語や内容の説明ができるか

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：『心理学の基礎』　今田寛・宮田洋・賀集寛共編　培風館
参考図書については適宜紹介する

その他(受講上の注意)

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学概論Ⅱ (Introduction to Psychology Ⅱ)			担当教員	大森　慈子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2102	2単位	1年後期	講義	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

心とは何か、心はどこにあるのか、という疑問に対し、人がどのように感じ、何を考え、どのように行動するのかを捉えることで、心の働きやシステムについて学ぶ。記憶や動機づけなど、心理学における主要なテーマに加え、ストレスや感情、さらに脳の働きを理解する。

授　業　の　到　達　目　標

■心の働きやシステムについて理解を深める
■心理学の研究における主要な人物および成果に関する知識を高める
■心理学の基礎的または応用的分野における基本的な用語や内容の説明ができる

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：記憶と忘却（1）
　事前学習：授業前にテキストの9-1と9-2を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：記憶と忘却（2）
　事前学習：授業前にテキストの9-3から9-5までを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：記憶と忘却（3）
　事前学習：授業前にテキストの9-6から9-8までを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：動機づけ
　事前学習：授業前にテキストの6を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：欲求不満とストレス（1）
　事前学習：授業前にテキストの7-1-1を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：欲求不満とストレス（2）
　事前学習：授業前にテキストの7-1-2と7-1-3を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：欲求不満とストレス（3）
　事前学習：授業前にテキストの7-2を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）

第８回：感情と情動（１）
事前学習：授業前にテキストの７-３-１を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：感情と情動（２）
事前学習：授業前にテキストの７-３-２と７-３-３を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：脳と心（１）
事前学習：授業前にテキストの２-１から２-４までを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：脳と心（２）
事前学習：授業前にテキストの２-５-４と２-５-５までを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：睡眠と覚醒（１）
事前学習：授業前にテキストの２-５-１を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：睡眠と覚醒（２）
事前学習：授業前にテキストの２-５-２を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：睡眠と覚醒（３）
事前学習：授業前にテキストの２-５-３を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：授業で学んだテキストの箇所とノートなどを見直し、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（90%）　平常点（10%）
（平常点は、授業への６回以上の出席と定期試験の受験に対し、参加状況などから加点します）

成　績　評　価　基　準

■心の働きやシステムについて深く理解しているか
■心理学の研究における主要な人物および成果を詳しく知っているか
■心理学の基礎的または応用的分野における基本的な用語や内容の説明ができるか

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：『心理学の基礎』　今田寛・宮田洋・賀集寛共編　培風館
参考図書については適宜紹介する

その他(受講上の注意)

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学研究法Ⅰ (Psychological Research Methods Ⅰ)			担当教員	杉島　一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2103	2単位	1年前期	講義	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

様々な主観的で直観的な心理現象を、量的データとして客観的に分析する量的研究法の基礎的側面を概説する。主に実験的方法と観察法を主として講義を進める。また研究倫理についても解説する。

授 業 の 到 達 目 標

・心理学における実証的研究法が理解できる。
・行動 (behavior) を数量化する方法を身につける。
・研究における倫理を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：科学的心理学とはー科学と実証ー
　事前学習：授業前に「科学的であるための条件」について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第2回：心理学研究の歴史
　事前学習：科学的心理学の歴史の流れを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第3回：実験的方法と観察的方法
　事前学習：実験とはなにかについて考えておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第4回：定性的研究から定量的研究へ
　事前学習：定性的研究から定量的研究について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第5回：データの統計的記述
　事前学習：心理学統計法Iで学んでいる記述統計について見直しておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第6回：行動観察法
　事前学習：行動観察法について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第7回：面接法
　事前学習：面接法について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）

第８回：実験的手法と実験計画
事前学習：実験計画について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第９回：動物実験の手法（動物実験の必要性についてディスカッション）
事前学習：授業中にディスカッションをするので、動物実験の必要性について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第10回：認知心理学における研究法
事前学習：反応時間について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第11回：生理心理学における研究法
事前学習：脳波について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第12回：発達心理学における研究法
事前学習：ピアジェの行った実験について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第13回：社会心理学における研究法
事前学習：集団力学について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第14回：研究倫理ー人権尊重とインフォームドコンセントー
事前学習：事前に配布する資料をよく読んでおくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第15回：研究倫理ー研究の不正の禁止ー（研究不正の例についてディスカッション）
事前学習：事前に配布する資料をよく読んでおくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

毎回行う課題（50％）と期末試験（50％）。

成　績　評　価　基　準

・心理学における実証的研究法を説明することができるか。
・行動（behavior）を数量化する方法を身につけたか。
・研究における倫理を身につけたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキストは使用せず、その都度資料等を配布する。
参考図書は適宜紹介する。

その他(受講上の注意)

出席は毎回行う課題（小レポート）をもとにとるので、必ず書いて提出すること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学研究法Ⅱ (Psychological Research MethodsⅡ)			担当教員	杉島　一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2104	2単位	1年後期	講義	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理検査や質問紙などの調査的手法を中心とした心理学研究法を概観し、尺度構成や測定法、データの信頼性などの基本的知識を習得する。またデータを用いた実証的な思考方法についても講義をおこなう。

授 業 の 到 達 目 標

・心理学調査における、主観的な心理現象を客観的に測定する方法を身につける。
・質問紙法などの心理検査の成り立ちを理解する。
・尺度構成について理解し活用できるようにする。
・データの信頼性・妥当性について理解する。
・心理検査や知能テストを測定の観点から理解する。
・データを用いた実証的な思考方法を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：心理学における調査的手法
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（4時間）
第2回：心理検査と測定法
　事前学習：Y-G性格検査について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：尺度構成
　事前学習：「尺度」について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：性格検査の成り立ち
　事前学習：ビッグ・ファイブ理論について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：知能検査の成り立ち
　事前学習：ビネーの行った知能検査作成について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：投影法検査の成り立ち（バウムテストの実技）
　事前学習：バウムテストについて調べておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：質問紙の作成法
　事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第８回：データの信頼性と妥当性
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：質問紙の分析法
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：心理検査を用いた研究法
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：心理検査を用いた分析法
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：相関関係から因果関係へ
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：複雑な心理事象のモデリングー多変量解析ー
事前学習：SD法およびクラスター分析について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：調査法の実際と問題点
事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめと研究倫理（ディスカッションを含む）
事前学習：授業中にでディスカッションを行うので、調査実施上の倫理的問題を考えておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

毎回授業時に提出するブリーフレポートや課題（50%）および期末テスト（50%）。

成　績　評　価　基　準

・心理学調査における、主観的な心理現象を客観的に測定する方法を身につけたか。
・質問紙法などの心理検査の成り立ちを説明することができるか。
・尺度構成について理解し活用できるような知識を得たか。
・データの信頼性・妥当性について理解したか。
・心理検査や知能テストを測定の観点から説明することができるか。
・データを用いた実証的な思考方法を身につけたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキストは特に使用しない。適宜参考図書などを紹介する。

その他(受講上の注意)

出席は毎回行うブリーフレポートをもとにとるので、授業中に課された内容を必ず書いて提出すること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学統計法Ⅰ (Psychological Statistics Ⅰ)			担当教員	森本　文人、山岸　厚仁
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2107	2単位	1年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学の実験や調査研究において必要となる統計的な基礎知識のうち、測定尺度に関する知識や、グラフや代表値などを用いてのデータの整理など、そのデータがどのようなデータであるかを明らかにするためのデータ解析の初歩である、記述統計の方法について学習します。
実際のデータを用いた説明を行い、求めた値の意味を理解し、自分でもそれらが求められるように演習を行います。

授　業　の　到　達　目　標

■統計的なデータの整理・記述ができる。
■尺度の概念を理解できる。
■記述統計の概念を理解し計算を行える。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：概説（心理学における統計の意味）1
　事前学習：なし
　事後学習：授業で扱った範囲について確認し，質問事項をまとめておく．（2時間）
第2回：概説（心理学における統計の意味）2　加算記号について
　事前学習：前回の授業で呈示された，心理学における統計法の利用に基づいて，現実場面での適用例を考える（2時間）.
　事後学習：授業で扱った範囲について確認し，質問事項をまとめておく．（2時間）
第3回：統計学の基礎（変数の概念、色々な測定尺度）1
　事前学習：テキスト第1章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（2時間）
　事後学習：授業で扱った範囲について確認し，質問事項をまとめておく．（2時間）
第4回：統計学の基礎（変数の概念、色々な測定尺度）2
　事前学習：テキスト第1章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（2時間）
　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．（2時間）
第5回：データ整理の方法（度数分布とその図示法）1
　事前学習：テキスト第2章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（2時間）
　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．（2時間）
第6回：データ整理の方法（度数分布とその図示法）2
　事前学習：テキスト第2章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（2時間）
　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．（2時間）
第7回：代表値と散布度1
　事前学習：テキスト第3章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（2時間）
　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．（2時間）

第８回：代表値と散布度２
　　事前学習：テキスト第４章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．（２時間）
第９回：正規分布１
　　事前学習：テキスト第５章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．（２時間）
第10回：正規分布２
　　事前学習：テキスト第５章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．（２時間）
第11回：測定値の変換（得点の標準化）１
　　事前学習：テキスト第５章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．（２時間）
第12回：測定値の変換（得点の標準化）２
　　事前学習：テキスト第５章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．（２時間）
第13回：相関関係１
　　事前学習：テキスト第６章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．復讐課題（オンデマンドで実施）に取り組む．（２時間）
第14回：相関関係２
　　事前学習：テキスト第６章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．復讐課題（オンデマンドで実施）に取り組む．（２時間）
第15回：回帰
　　事前学習：テキスト第６章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（４時間）
　　事後学習：授業で扱った範囲について，質問事項をまとめておく．また，ヘルプデスクを利用するなどして理解に努める．復讐課題（オンデマンドで実施）に取り組む．（２時間）
第16回：定期試験
週２回開設される学科のヘルプデスク（６月より実施）を利用すれば，授業に関する疑問点などは先輩のSAに相談できます。予習・復習のために、積極的に活用してください。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（80%）平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

■統計的なデータの整理・記述ができるか。
■尺度の概念を理解できるか。
■記述統計の概念を理解し計算を行えるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：『心理・教育のための統計法〈第３版〉』 山内光哉著　サイエンス社

その他(受講上の注意)

１年次後期に開講される「心理学統計法Ⅱ」は、本授業で得られる基礎的知識が前提となります。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学統計法Ⅱ（Psychological StatisticsⅡ）			担当教員	水田　敏郎、山岸　厚仁
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2108	2単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果（教育目標）

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学統計法Ⅰ（記述統計）の内容をふまえて、さらに進んだ推測統計学の方法を解説し、演習します。具体的には、統計的仮説検定のうち、t検定、分散分析の考え方について詳しく説明し、実際に自分でもデータの分析や検定ができるようにPCを使用した演習も行います。

授　業　の　到　達　目　標

■統計的仮説検定の基本的な考え方を理解する。
■実際の仮説検定を行い、結果を理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：母集団と標本①（標本抽出、標準誤差：越前市の年齢別人口動態調査結果データを基に母集団と標本について説明するとともに、実際に様々な統計量を算出する演習）
事前学習：テキスト第7章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（2時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（2時間）
第2回：母集団と標本②（標本抽出、標準誤差）
事前学習：テキスト第7章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（2時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（2時間）
第3回：統計的仮説検定の考え方①
事前学習：テキスト第8章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（2時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（2時間）
第4回：統計的仮説検定の考え方②
事前学習：テキスト第8章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（2時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（2時間）
第5回：2つの平均値の差の検定①（t検定）
事前学習：テキスト第9章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（2時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（2時間）
第6回：2つの平均値の差の検定②（t検定）
事前学習：テキスト第9章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（2時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（2時間）
第7回：2つの平均値の差の検定③（t検定）
事前学習：テキスト第9章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（2時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（2時間）

第８回：分散分析①（１要因、２要因）
事前学習：テキスト第10章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第９回：分散分析②（１要因、２要因）
事前学習：テキスト第10章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第10回：分散分析③（１要因、２要因）
事前学習：テキスト第11章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第11回：分散分析④（１要因、２要因）
事前学習：テキスト第11章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第12回：分散分析⑤（１要因、２要因）
事前学習：テキスト第11章を読み，理解し，分かりにくいところを事前に調べる．（２時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第13回：SPSSを用いたデータ分析①（実技）
事前学習：これまでの授業で紹介された仮説検定の理論・方法（特にt検定）について，配布プリント・テキストを利用してまとめる．（２時間）
事後学習：授業で実習したSPSSを用いた検定の操作について復習し，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第14回：SPSSを用いたデータ分析②（実技）
事前学習：これまでの授業で紹介された仮説検定の理論・方法（特に分散分析）について，配布プリント・テキストを利用してまとめる．（２時間）
事後学習：授業で実習したSPSSを用いた検定の操作について復習し，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：まとめの練習問題プリントの問題について解答する．（２時間）
事後学習：授業で扱った範囲について，ヘルプデスクを利用するなどし，練習問題（配布プリント・テキスト）に取り組む．（２時間）
第16回：定期試験
心理学統計法Ⅰの内容の理解が前提となるので、復習が必要です。週２回開設される学科のヘルプデスクを利用すれば，授業に関する疑問点などは先輩のSAに相談できます。予習・復習のために、積極的に活用してください。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（80％）　平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

■統計的仮説検定の基本的な考え方を説明することができるか。
■実際の仮説検定を行い、結果を解釈することができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：『心理・教育のための統計法〈第３版〉』　山内光哉著　サイエンス社
参考図書：『心理学のためのデータ解析テクニカルブック』　森敏昭・吉田寿夫編著　北大路出版
『統計学のはなし』　蓑谷千凰彦著　東京図書
『SPSSにおける分散分析の手順』　遠藤健治著　北樹出版

その他(受講上の注意)

原則として「心理学統計法Ⅰ（心理統計Ⅰ）」の単位を履修していることが必要です。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

感情・人格心理学 (Psychology of Emotion and Personality)			担当教員	森　　俊之
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2125	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

感情および性格に関する諸理論や研究を概観し、感情や性格を理解するための枠組みについて学ぶ。その上で、自己や他者の感情や性格をどのように理解し、対人関係の問題にどのように対処したらよいかを考える。

授 業 の 到 達 目 標

・感情心理学や性格心理学に関する基本的用語を説明できる。
・感情や性格に関する心理学研究について説明できる。
・自分の感情や性格について心理学的に考察し評価できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：感情とは
　事後学習：授業で指定されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べるとともに、授業で理解したことも含め自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（4時間）
第2回：感情の生理過程
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（2時間）
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（2時間）
第3回：感情の起源と発達
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（2時間）
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（2時間）
第4回：感情が認知や行動にもたらす影響
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（2時間）
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（2時間）
第5回：感情の障害
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（2時間）
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（2時間）
第6回：性格とは
　事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（2時間）
　事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（2時間）

第７回：性格の類型論
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第８回：性格の特性論
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第９回：脳と性格
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第10回：性格の遺伝
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第11回：ライフサイクルと性格
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第12回：家族関係・対人関係・文化と性格
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第13回：健康と性格
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第14回：性格の病気：人格障害
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第15回：性格の測定
事前学習：前回の授業の最後に予告されたキーワードについて、参考書などで言葉の意味を調べておく（２時間）
事後学習：事前学習で調べたキーワードを、授業で理解したことも含め、自分なりの言葉に置き換えて書き直してみる。（２時間）
第16回：期末試験
※各回（初回を除く）とも、授業の前半に前回の事後学習の成果をグループで紹介しあう時間を設ける。（グループワーク）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

学期末に実施する筆記試験（80%）と授業中に指示する課題・授業時の態度等（20%）をもとに評価する。

成　績　評　価　基　準

・感情心理学や性格心理学に関する基本的用語を説明できるか。
・感情や性格に関する心理学研究について説明できるか。
・自分の感情や性格について心理学的に評価できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

・経歴
（公認心理師，臨床心理士）
・実務経験と授業内容との関連性
（公認心理師の教員が、感情および性格に関する諸理論や研究について講義し、自己や他者の理解と対人関係の問題への対処に関して解説する。）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

教科書は指定しない。適宜、補助資料を配付する。
参考書は授業中、随時、紹介する。

その他（受講上の注意）

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

精神分析学 (Psychoanalysis)			担当教員	西村　則昭
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2126	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

無意識を考えるフロイト以来の精神分析学を概説する。

授 業 の 到 達 目 標

・人間の心には意識できない無意識の部分があることを理解し、無意識の産物である夢や空想や神話を分析することができる。
・自分とタイプの異なる他者あるいは異性を理解し、尊重する精神をもつことができる。
・心を病んだ人々を理解し、その心に寄り添うことができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(検査結果の分析)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：フロイト、ユングについて、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
　事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第2回：フロイトの生涯
　事前学習：「フロイト」と「精神分析」について、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
　事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第3回：ユングの生涯
　事前学習：「ユング」と「分析心理学」について、インターネット等で調べていくこと。(2時間)
　事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第4回：フロイトの夢分析
　事前学習：フロイトの著作『夢の解釈』について、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
　事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第5回：フロイトの症例「ドーラ」(授業の終わりに小レポートを書いてもらう)
　事前学習：「ヴィクトリア朝文化」と「フロイトの症例ドーラ」について、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
　事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第6回：エディプス・コンプレックス
　事前学習：エディプス・コンプレックスについて、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
　事後学習：資料を見直して、自分の検査結果を分析し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)
第7回：フロイトの症例「ハンス」
　事前学習：「フロイトの症例ハンス」について、インターネット等で調べておくこと。(2時間)
　事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。(2時間)

第８回：母娘コンプレックス
事前学習：ギリシア神話の「デーメテールとコレー（ペルセポネ）の物語」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：摂食障害（授業の終わりに小レポートを書いてもらう）
事前学習：「摂食障害」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：ユング心理学１（グレートマザーと英雄）
事前学習：「グレートマザー」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：ユング心理学２（イニシエーション）
事前学習：「イニシエーション」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、自分の検査結果を分析し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：ユング心理学３（影）
事前学習：ユングの「影」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：ユング心理学４（アニマ）
事前学習：ユングの「アニマ」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：ユング心理学５（アニムス）（授業の終わりに小レポートを書いてもらう）
事前学習：ユングの「アニムス」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等の見直しや、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：ユング心理学６（自己）
事前学習：ユングの「自己」と「個性化」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、自分の検査結果を分析し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
講義で説明したことを、自分のことを振り返つつ、自分のことに重ね合わせ、理解を深めるようにしてください。できれば夢を記録し、分析してみて下さい。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

最終レポート（50%）、小レポート（30%）、平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

・精神分析やユング心理学の用語、概念を正しく理解し、夢や空想や神話を分析することができるか。
・自分の心理傾向やタイプを理解し、他者の立場に立って、感じたり考えたりできるか。
・心の病理を理解し、共に生きる者として、心を病む人に寄り添う姿勢を持つことができているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

特にテキストは使用しない。プリント資料を配布する。また参考文献は適宜、紹介する。

その他(受講上の注意)

質問はメールでも受け付けます（nisimura@jindai.ac.jp）。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

学習・言語心理学 (Psychology of Learning and Language)			担当教員	杉島　一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2129	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

学習による行動変容の法則を学び、臨床や教育、産業、日常生活に応用することを目指す。
学習とは経験により行動が変容する過程のことである。学校における勉学だけでなく、生活のあらゆる場面で私たちは学習し、自分の行動を変容させている。こうした行動変容は、環境に存在する刺激との関係で法則化することができる。これまで明らかにされているさまざまな学習の方法について学び、日常生活に見られる色々な行動や、臨床的に問題のある行動、社会問題について理解を深め、社会において心理学が果たすべき意味を考えていく。また、言語の習得における機序についても概説し、ヒトがコミュニケーションを取るために何を学習するべきかを考える。

授 業 の 到 達 目 標

・種々の学習理論をその時代背景や社会的・臨床的問題とともに理解することができる。
・さまざまな行動について、学習理論による説明を試みることができる。
・言語の習得における機序を理解する。
・心理学が社会に対していかに貢献できるかを考えることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：学習とは
　事後学習：講義内容でわからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（4時間）
第2回：こころの概念と学習
　事前学習：授業前に前期に受講した授業のノートを見返し、心理学におけるこころの概念を確認しておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：生得的行動と学習された行動
　事前学習：刷り込みや反射など、生得的行動について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：ワトソンの行動主義と学習理論
　事前学習：行動主義と学習理論について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：古典的条件づけの基本
　事前学習：講義で冒頭に質問するので、パブロフの条件反射の例を考えておくこと。（2時間）
　事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：オペラント条件づけの基本
　事後学習：オペラント条件付けの日常的な例を探しておくこと。（4時間）

第７回：強化スケジュール
事前学習：講義で冒頭に質問するので、オペラント条件づけ強化スケジュールの例を考えておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：行動変容と行動療法
事前学習：行動療法について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：回避（逃避）学習（回避学習が適応される例についてのディスカッション）
事前学習：回避学習について調べておくこと。（２時間）
事後学習：不登校や適応障害について調べ、回避学習との関係を考えておくこと（２時間）
第10回：Learned Helplessness（あきらめの学習）
事前学習：回避学習において回避不能な場合どのようなことが起こるか、考えておくこと。（２時間）
事後学習：うつについて調べ、Learned Helplessnessとの関係を考えておくこと（２時間）
第11回：現代社会の諸問題と学習理論（ディスカッション）
事前学習：現代社会における心理的問題を調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：学習・行動研究と心理学における言語研究
事前学習：オペラント条件付けについて再度確認しておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：言語領域の心理学と言語発達の研究
事前学習：心理言語学がどういうものかを調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：語彙能力の獲得と文法能力の獲得
事前学習：チョムスキーの生成変形文法理論について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：語用論的能力の発達
事前学習：語用論について調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習し、わからないところを図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

毎回行うブリーフレポート（20%）、定期試験（80%）

成　績　評　価　基　準

・種々の学習理論をその時代背景や社会的・臨床的問題とともに説明することができるか。
・さまざまな行動について、学習理論による説明することができるか。
・言語の習得における機序を説明することができるか。
・心理学が社会に対していかに貢献できるかを考えることができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

教科書は指定しない。適宜、補助資料を配付する。
参考書は授業中、随時、紹介する。

その他(受講上の注意)

授業には積極的に参加し、指示された内容や自分の意見をブリーフレポートに書きこむようにしてください。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション概論 (Introduction to Communication)			担当教員	升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−F−2101	2単位	1年前期	講義	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群（理論）

求める学習成果（教育目標）

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本講義は、コミュニケーションに関する基本的な考え方を学ぶとともに、実社会と繋がるコミュニケーションのあり方について理解を深めることを目的としています。

授 業 の 到 達 目 標

・主なコミュニケーション理論を理解する。
・コミュニケーションと他者理解および社会との繋がりについて、講義の内容を踏まえながら、自身の考えを述べる。
・場や他者を考慮したコミュニケーションを日常生活で実践する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：シラバスを読み、興味・関心のあるテーマについて調べたり、質問事項をまとめておく。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：コミュニケーションの学びについて
　事前学習：コミュニケーションを学ぶ意義・意味について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：家族とコミュニケーション
　事前学習：家族とのコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：社会とコミュニケーション
　事前学習：社会とのコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：対人コミュニケーション
　事前学習：対人コミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：非言語コミュニケーション
　事前学習：非言語コミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第７回：分かりやすいとは
事前学習：分かりやすい表現について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：発想（グループワーク）
事前学習：アイデア創出について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。第９回：合意形成（グループワーク・発表）
第９回：合意形成（グループワーク）
事前学習：合意形成について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：リーダーシップ
事前学習：リーダーシップについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：セルフ・リーダーシップ
事前学習：自分とのコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：逸脱（いじめ）
事前学習：「いじめ」について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：メディア・コミュニケーション
事前学習：メディア・コミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：メディア・コミュニケーションⅡ
事前学習：前回に続きメディア・コミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：確認問題
事前学習：授業全体の振り返りおよび確認問題に取り組むので、これまでの授業内容を確認しておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題に対する取り組み内容・提出物（70%）、平常点（30%）
※平常点：授業への参加状況および受講態度等から総合的に判断します。

成　績　評　価　基　準

・主なコミュニケーション理論を理解しているか。
・コミュニケーションと他者理解および社会との繋がりについて、講義の内容を踏まえながら、自身の考えを述べられるか。
・場や他者を考慮したコミュニケーションを日常生活で実践できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（リアクションペーパーに対するフィードバックについて）
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

必要に応じて、授業中に提示します。

その他(受講上の注意)

「授業計画」は、学生の反応・理解度や事業の進捗に応じて、前後したり変更する場合があります。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

異文化理解 a (Cross-Cultural Understanding a)			担当教員	加藤　優子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−F−2102	2 単位	1 年前期	講義	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群（理論）

求める学習成果（教育目標）

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

異文化コミュニケーション学の入門として、異文化理解に関する基礎的な事柄を学ぶ。言語と文化の関係性を学び、様々な国の歴史・社会・文化と、言語の関係性についての基本的な内容を理解する。ロールプレイのようなグループ・トレーニングや海外出身者（学内教員を含む）との交流等による学習を通して、多様な文化的背景を持った人々との交流を体験し、文化の多様性及び異文化交流の意義を理解する。

授 業 の 到 達 目 標

社会や世界との関わりの中で、他者とのコミュニケーションを行う力を育成する観点から、外国語やその背景にある文化の多様性及び異文化コミュニケーションの現状と課題について学ぶ。言語と文化の関係性を学び、英語やその他の言語が使われている国や地域の歴史、社会、文化について基本的な内容を理解する。ロールプレイのようなグループ・トレーニングや、海外出身者（学内教員を含む）との交流等による学習を通して、多様な文化的背景を持った人々との交流を体験し、文化の多様性及び異文化交流の意義について体験的に理解する。本授業を通し、外国語教育に資する知見を身に付ける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（eラーニング上に設置した学習支援システムによるロールプレイなどのグループ・トレーニング）

授業の計画及び授業外の学習方法

第 1 回：異文化コミュニケーションの世界（異文化を理解する意義の説明と、海外出身者との交流をレポート課題とする）
　事前学習：参考図書に目を通すこと。（2 時間）
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（2 時間）
第 2 回：異文化コミュニケーションとは（異文化コミュニケーション学における文化の定義）
　事前学習：参考図書に目を通すこと。（2 時間）
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（2 時間）
第 3 回：言語と文化の関係性（特に英語圏の歴史・社会・文化と、言語との関係について）
　事前学習：参考図書に目を通すこと。（2 時間）
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（2 時間）
第 4 回：「常識」に関するグループ・トレーニングと講義
　事前学習：参考図書に目を通すこと。（2 時間）
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（2 時間）
第 5 回：コミュニケーションモデル（異文化コミュニケーション学におけるコミュニケーションモデル）
　事前学習：参考図書に目を通すこと。（2 時間）
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（2 時間）

第６回：非言語的コミュニケーション（非言語的コミュニケーション行動の種類）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第７回：異文化コミュニケーションの特性（異文化コミュニケーションにおける文化衝突の心理的背景）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：「価値観」に関するグループ・トレーニングと講義
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：コミュニケーションスタイルズ（言語や文化によって異なるコミュニケーションスタイルの基礎的理解）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：ホフステードの文化次元について（五つの文化次元の理解）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：翻訳と通訳・異文化コミュニケーションと教育について（文化的背景の理解の重要性と、異文化コミュニケーション学に関わる領域の教育学について）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：「自文化中心主義」に関するグループ・トレーニングと講義
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：異文化コミュニケーション能力と改善について（異文化適応の過程）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：海外出身者との交流について（レポート課題の提出と検討）
事前学習：参考図書に目を通すこと。（２時間）
事後学習：授業で課された内容について、レポートにまとめておくこと。わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：よりよい理解を目指して（異文化適性を養うことの重要性と、異文化接触時のメンタルヘルスについての理解）
事前学習：授業で課された内容について、レポートにまとめておくこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら、Teamsを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（50％）、授業内レポート（30％）、授業の積極的参加（20％）

成 績 評 価 基 準

・異文化コミュニケーション学の基礎的な用語について説明することができるか。
・異文化コミュニケーションについて、学んだ知識に基づいて説明することができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

【テキスト】
加藤優子（2021）『やさしい異文化理解』三恵社
【その他・参考図書】
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）

その他(受講上の注意)

５分以上20分未満の遅刻３回で欠席１回とみなす。
20分以上の遅刻は欠席とみなす。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人間関係論 (Human Relations)			担当教員	橋本　武志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−F−2103	2単位	1年後期	講義	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

「自分と他人と関わるとはどういうことか」について熟考することにより、具体的な企画や表現を実践する基礎となっていながらも、見過ごされがちなタイプの「自己理解・他者理解」について考察する。
身近な自他関係について、人間関係についての社会学、哲学関係のテキストを読みながら、人間関係の横軸（友人・家族・世間）と縦軸（倫理や規範）について講義する。

授 業 の 到 達 目 標

自分や他人との関わりをもつときに、特に意識していない要素（儀礼的無関心、距離の取り方、世間の圧力）などについて理解し、またそうした関わり全体を支配している、エートスや規範についても理解することを通じて、「自分」「他人」「関わり」という要素を掘り下げて考える。
この講義を通して、具体的な「企画や自己表現」の実践の土台となる自己や他者のより深い理解を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション～人間関係の横軸と縦軸
　事前学習：辞書などを基に「人間関係」という言葉の由来を調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（2時間）
第2回：人間の本性についての諸説～自己の多面性
　事前学習：「人間」についてのさまざまな定義（例：理性的動物）調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（2時間）
第3回：他人との距離感①～世間、世間体、人目
　事前学習：「アーヴィング・ゴフマン」（人名）について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（2時間）
第4回：他人との距離感②～アクセサリーや髪型が気になる理由
　事前学習：「ゲオルグ・ジンメル」（人名）について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（2時間）
第5回：面目による行動方針
　事前学習：ゴフマンの「面目行為」の語義について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（2時間）
第6回：他人への気遣いの制度化
　事前学習：「シャドウ・ワーク」「感情労働」の語義について調べておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（2時間）
第7回：なぜ人のものが欲しくなるのか？
　事前学習：ジラールの「欲望の三角形」について調べておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（2時間）
第8回：他人にどこまで口出しできるのか。
　事前学習：「相対主義」の語義について調べておくこと（2時間）
　事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（2時間）

第９回：多数に基づくルール１
　　事前学習：物事の決定の際に、多数決が採用される理由について考えておくこと（２時間）
　　事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（２時間）
第10回：多数に基づくルール２
　　事前学習：功利主義の弱点について考えておくこと（２時間）
　　事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（２時間）
第11回：利己主義に基づくルール
　　事前学習：トマス・ホッブズについて調べておくこと（２時間）
　　事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（２時間）
第12回：利己主義に基づくルール２
　　事前学習：社会契約論について調べておくこと（２時間）
　　事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（２時間）
第13回：他者の立場に立つことはなぜできるのか。
　　事前学習：「黄金律」「役割取得」について調べておくこと（２時間）
　　事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（２時間）
第14回：義務感はどこから生まれるか。
　　事前学習：「義務論」という語句について調べておくこと（２時間）
　　事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（２時間）
第15回：「居場所」について（グループワーク10分）
　　事前学習：「自分の居場所」はどこかについて考え、列挙しておくこと（２時間）
　　事後学習：本日の講義内容を自分なりにまとめておくこと（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点（50パーセント）、レポート（50パーセント）
（平常点は、授業への参加状況、毎回の課題や小テスト提出状況を総合して判断する）

成　績　評　価　基　準

・「自己」「他人」「関わり」といった言葉を表層的にではなく、深く理解しているか。
・日常特に意識していないが、人間関係を構成する基礎的な要素（儀礼的無関心、距離の取り方、世間の同調圧力、嫉妬、公平など）について理解しているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキストは使用せず、資料を配布する。参考書については授業内で適宜示す。
その他（受講上の注意）
毎回授業内で小レポートを書いてもらう。私語は他の受講者の迷惑となるので厳禁。私語の目立つものはその場で注意するが、注意によっても改まらない場合、当日欠席扱いとするので注意されたい。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

地域研究概論 (Introduction to Area Studies)			担当教員	江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−F−2104	2単位	1年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群（理論）

求める学習成果（教育目標）

今日の地域社会において諸問題が生起する要因と背景について理解し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。
上記の構想力と判断力を身につけた上で、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

本講義は、地域特有の歴史と実情を概観し、他地域との比較をおこなう。そして、具体的事例の分析、考察を通して、人文・社会科学のさまざまな学問領域の考え方に触れる「アカデミック・ガイダンス」を行う。

授 業 の 到 達 目 標

この講義を通して、人文・社会科学的な知に触れ、各学問領域の基礎的スキルを獲得する。そのうえで、自己の地域社会を対象化し、分析できる基礎的学力を修得する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：イントロダクション
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第2回：日本の地域社会にみる変動・変容（歴史学・人文地理学）
　事前学習：前回のノートを見直し、歴史に関する書物（福井県史など）を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語や県史・市史などを図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第3回：近代から現代へ── 地方分権の時代（社会史）
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第4回：都市・地方の格差問題と二極化（社会学、経済学）
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、過疎化高齢化に関する書籍を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第5回：地域づくり・地域おこしの時代へ（地域社会学）
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第6回：集合的記憶の継承をめぐって（文化人類学）
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第7回：ツーリズム・観光の現在と未来（メディア論①）
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）

第８回：ツーリズム・観光の現在と未来（メディア論②）
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第９回：情報統制　伝承と科学の複合を目指して（民俗学、歴史学、環境学）
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第10回：現地調査（フィールドワーク）①　（課題解決型学習（PBL））
事前学習：前回のノートを見直し、かつフィールドワークに関する参考文献を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、フィールドワークで得られたデータの整理に務めること。（２時間）
第11回：現地調査（フィールドワーク）②　（課題解決型学習（PBL））
事前学習：前回のノートを見直し、フィールドワークの手順や手法等の改善点を見つけること。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、フィールドワークで得られたデータの整理に務めること。（２時間）
第12回：他地域から学ぶ①京都にみる地域の伝統的景観の「保存」（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直し、京都に関する書籍や記事などを収集し、読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第13回：他地域から学ぶ②新幹線騒音問題にみる受益者と受苦者　（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直し、騒音公害に関するデータをciniiなどで自分で探し、調べておくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第14回：他地域から学ぶ③コンテンツ・ツーリズムの活用　（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第15回：まとめ（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：これまで全てのノートを見直し、講義全体の内容を網羅的に理解しておくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、理解した点・不明な点・疑問点などを自分で洗い出し、覚えておくこと。（４時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート（70％）　平常点（30％）
・平常点は授業への参加状況、受講態度、リアクションペーパーの内容等を総合して判断します（出席点ではありません）。
・Internet上のデータを安易に引用したり、他者の論文・レポートなどを盗用・剽窃したりした場合は、不可になります。

成　績　評　価　基　準

・人文・社会科学的な知に触れ、各学問領域の基礎的スキルを獲得できているか
・本講義を通じて地域社会に関する基礎的学力を修得した上で、事実に基づいて意見を述べ、かつ批判的に考察できるようになっているか

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（「ディスカッション・ディベート」に対するフィードバックについて）
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（担当教員の研究室（E104B）にて）

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テーマが多岐にわたるため、設定はしません。講義中に随時指示します。

その他(受講上の注意)

私語等、講義を妨害する学生には退出を指示した上、単位を与えない場合もあります。
受講生の理解度にあわせて授業計画には変更を加える可能性があります。
授業の性格上、学外で活動することもありますので、交通費等がかかることがあります。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

日本語概論 (Introduction to the Japanese Language)			担当教員	門屋　飛央
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−F−2105	2単位	1年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群（理論）

求める学習成果（教育目標）

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

・日本語学の基礎を、発音・語彙・表記法・文法などの分野にわたって紹介する。
・各回とも原則として次の順序で展開する。
［出欠確認→前回の授業に出された「授業メモ」をもとに質問や意見に回答→当日取り上げる項目の提示→個々の新出事項の説明・課題についての解説→次回の予告→「授業メモ」の記述（質問・感想・意見など）］

授業の到達目標

・日本語学の基礎知識を用いて、日本語の音声・文法・語彙等の特色を説明できる。
・世界の言語のなかで日本語をみたときに、留意すべき日本語の特徴を理解することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（授業メモ）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ガイダンス
　事前学習：テキストの「まえがき」「目次」を読み、自分の興味のある章を一読する。（2時間）
　事後学習：授業時の説明を踏まえて、本書の構成を概観する。（2時間）
第2回：「かわいい」と「きれい」は違う　その1（現代日本語の音声と音韻：音声と音素）
　事前学習：テキストp.2〜26を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。（2時間）
　事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。（2時間）
第3回：「かわいい」と「きれい」は違う その2（現代日本語の音声と音韻：母音と子音）
　事前学習：自分の発音の調音位置と調音方法を、実際に発音しながら確認する。（2時間）
　事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。（2時間）
第4回：「おじさん」と「おじいさん」も違う その1（現代日本語の音声と音韻：音節とモーラ）
　事前学習：テキストp.27〜33を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。（2時間）
　事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。（2時間）
第5回：「おじさん」と「おじいさん」も違う その2（現代日本語の音声と音韻：アクセントとイントネーション）
　事前学習：テキストp.33〜40を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。（2時間）
　事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。（2時間）
第6回：昔の「はは」は「パパ」だった？ その1（音韻の歴史変化）
　事前学習：テキストp.42〜56を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。（2時間）
　事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。（2時間）
第7回：昔の「はは」は「パパ」だった？ その2（音韻の歴史変化）
　事前学習：テキストp.57〜67を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。（2時間）
　事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。（2時間）
第8回：まずは形から その1（現代日本語の文法：形態論）
　事前学習：テキストp.68〜80を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。（2時間）
　事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。（2時間）
第9回：まずは形から その2（文法の歴史変化）
　事前学習：テキストp.96〜111を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。（2時間）
　事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。（2時間）

第10回：先生、もういかれてますか？ その１（現代日本語の文法：意味論）
事前学習：テキストp.80～94を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。（２時間）
第11回：先生、もういかれてますか？ その２（文法の歴史変化）
事前学習：テキストp.111～121を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。（２時間）
第12回：語には語なりの付き合いがある（現代日本語の語彙）
事前学習：テキストp.122～145を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。（２時間）
第13回：「よるごはん」ができるまで（語と語彙の歴史変化）
事前学習：テキストp.146～167を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。（２時間）
第14回：『万葉集』を夜露四苦　その１（文体差と文体史）
事前学習：テキストp.188～211を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。（２時間）
第15回：『万葉集』を夜露四苦　その２（日本語学史）
事前学習：テキストp.284～309を読んで内容を理解し、質問事項を用意する。（２時間）
事後学習：授業内容を復習し、その要点を理解する。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験、平常点（Formsへの回答等）により評価する。
定期試験（80%）・平常点（20%）

成　績　評　価　基　準

・日本語学の基礎知識を用いて、日本語の音声・文法・語彙等の特色を説明できるか。
・世界の言語のなかで日本語をみたときに、留意すべき日本語の特徴を理解することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

衣畑智秀編『基礎日本語学』（ひつじ書房・2019年）

その他（受講上の注意）
予告範囲を予習してきていることを前提に授業を進める。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

共生社会論 (Studies of Inclusive Societies)			担当教員	織田　暁子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−F−2106	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群（理論）

求める学習成果（教育目標）

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

本講義では、現代社会でいかにして「共生社会」を築き上げるかを考える。マジョリティとして生きることは一種の「特権」であるという立場に立って、マイノリティや社会的劣位に置かれている人々をめぐる問題について学ぶ。とくに、ジェンダー論と社会階層論を中心に扱う。平等や差別、ダイバーシティ（多様性）に関する理論や、LGBT、ケア、教育格差、貧困といった具体的なテーマを通して、公正な社会とはどのような社会か、考えを深めていく。
なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目です。

授　業　の　到　達　目　標

社会的強者であるマジョリティにとって、マイノリティの問題は「他人事」になりがちである。マイノリティが置かれている状況を知り、問題を正しく理解することをめざす。一方で、マイノリティの不利益だけではなく、マジョリティが有している特権にも目を向ける必要がある。これらを通じて、共生社会の理念や、その実現のためには何が必要か、考えを深めていく。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（リアクションペーパー）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション──共生社会とは何か
　事前学習：「共生社会」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第2回：合理的な選択とは何か──囚人のジレンマ
　事前学習：「合理的」ということについて、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第3回：ダイバーシティと「特権集団」
　事前学習：「特権」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第4回：社会階層論①機会の平等と結果の平等
　事前学習：「平等と不平等」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第5回：社会階層論②教育と労働
　事前学習：「教育格差」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第6回：共生社会とジェンダー①ジェンダー論入門
　事前学習：「ジェンダー」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第7回：共生社会とジェンダー②LGBT・SOGI（1）
　事前学習：「性の多様性」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）

第８回：共生社会とジェンダー③LGBT・SOGI（２）
　　事前学習：「セクシュアル・マイノリティ」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第９回：労働の権利①有償労働と無償労働
　　事前学習：「労働」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第10回：労働の権利②「やりがい」の搾取
　　事前学習：「労働の権利」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第11回：労働の権利③ケア労働（１）
　　事前学習：「ケア労働」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第12回：労働の権利④ケア労働（２）
　　事前学習：「ケア労働と賃労働の両立」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第13回：社会階層とジェンダー①ハラスメント
　　事前学習：「ハラスメント」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第14回：社会階層とジェンダー②貧困・格差の再生産
　　事前学習：「貧困と格差」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第15回：共生社会の実現に向けて ── 社会的公正活動の実践へ
　　事前学習：「社会的公正活動」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（40%）　中間レポート（20%）　平常点（40%）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合的に判断します。）

成　績　評　価　基　準

現代社会のマジョリティとマイノリティをめぐる状況について、正しく理解できたか。
共生社会の理念とその実践について理解を深めることができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
テキストは指定しない。講義中に、参考文献および論文を明示する。
その他（受講上の注意）
真摯に学ぶ学生に対して、悪影響を与える学生には、単位を与えない。目に余る場合は、退室を命じる。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

デジタル・デザイン (Digital Design)			担当教員	吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−F−2109	2単位	1年前期	演習	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎B群（スキル）

求める学習成果（教育目標）

言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

視覚的なコミュニケーションのための表現方法について、知識・技術の基礎を身に付ける。グラフィックデザインの基本ルールの理解と平行して、コンピュータ／スマートフォンのアプリケーションを用いたグラフィックデザインの技法を習得していく。

授 業 の 到 達 目 標

社会においてデザインが必要とされている理由を理解する。デザインの基本ルール（色、文字、レイアウト）について理解する。コンピュータを用いたグラフィックデザインの技法を習得する。デザインを駆使してコミュニケーションを生み出す能力を身に付ける。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：デザインとは（実習）
　事前学習（2時間）教科書の目次を読み、教科書中の図案を閲覧する
　事後学習（2時間）身の回りのデザインを観察し写真を撮る
第2回：文字を使ってデザインする（実習）
　事前学習（2時間）教科書6～16ページを読む
　事後学習（2時間）制作ツールの使い方を復習する
第3回：文字を組んでデザインする（実習）
　事前学習（2時間）教科書18～28ページを読む
　事後学習（2時間）制作ツールの使い方を復習する
第4回：ロゴのデザイン①アイデアを見つける（実習）
　事前学習（2時間）ロゴ関連の資料を読む
　事後学習（2時間）さらにアイデアを見つける
第5回：ロゴのデザイン②つくる・評価を繰り返す（グループワーク、実習）
　事前学習（2時間）アイデアをスケッチする
　事後学習（2時間）評価とスケッチを繰り返す
第6回：ロゴのデザイン③ブラッシュアップ・完成（実習）
　事前学習（2時間）教科書58～68ページを読む
　事後学習（2時間）制作ツールの使い方を復習する
第7回：色でデザインする（実習）
　事前学習（2時間）教科書30～42ページを読む
　事後学習（2時間）制作ツールの使い方を復習する
第8回：写真でデザインする（実習）
　事前学習（2時間）教科書44～56ページを読む
　事後学習（2時間）制作ツールの使い方を復習する
第9回：調べたことをもとにデザインする（実習）
　事前学習（2時間）教科書80～92ページを読む
　事後学習（2時間）制作ツールの使い方を復習する

第10回：正確にデザインする（実習）
　　事前学習（２時間）教科書22～68ページを読む
　　事後学習（２時間）制作ツールの使い方を復習する
第11回：ポスターのデザイン①スケッチ（実習）
　　事前学習（２時間）ポスターの構成要素を調べる
　　事後学習（２時間）アイデアを練る
第12回：ポスターのデザイン②制作、完成（実習）
　　事前学習（２時間）他の学生の作品を見て改善点を検討する
　　事後学習（２時間）制作ツールの使い方を復習する
第13回：チラシのデザイン①スケッチ（実習）
　　事前学習（２時間）チラシの構成要素を調べる
　　事後学習（２時間）アイデアを練る
第14回：チラシのデザイン②制作（グループワーク、実習）
　　事前学習（２時間）デザインの基本をふりかえる
　　事後学習（２時間）グループでレビューを行い、作品の完成度を高める
第15回：チラシのデザイン③ブラッシュアップ、完成、プレゼンテーション（実習、発表）
　　事前学習(2時間)データをEラーニングより提出する､プレゼンテーションを準備する
　　事後学習（２時間）他の学生の作品を鑑賞し批評する
その他、１～15回目を通して授業外で学習してほしいこと
・「デザイン」を意識して生活する。日常を観察し「デザイン」を発見する。
・センスを鍛えるために自主制作をする。
・疑問や知りたいことがあればチャットやオフィスアワー等を利用して積極的に担当教員に質問する。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末課題作品（40%）　授業毎の作品（30%）　授業毎の小テスト・レポート（30%）

成　績　評　価　基　準

・デザインの基本ルールが理解できているか。
・ツールを適切に使用できているか。
・デザインの基本ルールを理解した上で、課題作品の制作ができているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
・経歴 （WEBデザイナー） ・実務経験と授業内容との関連性 （WEBデザイナーとしての業務経験を有する教員が、グラフィックデザインの技法について演習を行う。）
テキスト、参考図書
テキスト：坂本 伸二「デザイン入門教室」SBクリエイティブ, 2015年 参考図書：授業内で紹介する
その他（受講上の注意）
授業を欠席した場合は、eラーニングにて授業内容を確認し次回の授業までに課題を提出すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報社会基礎演習 (Basic Practice in Information and Society)			担当教員	安彦　智史
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−S−2110	2単位	1年後期	講義	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎B群

求める学習成果(教育目標)

言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

本授業では、情報化社会の中で必要となる基礎知識の習得を目的とし、自学自習を中心とした反転学習を行う。本授業を通して、通信の仕組みやコンピュータの仕組み等のコンピュータサイエンスに関する基礎知識のほか、ITを業務やビジネスに活かすために必要な知識の習得を行う。

授　業　の　到　達　目　標

①企業や関連業務、経営戦略やビジネスインダストリに関する知識を習得する。
②情報システムの開発や運用に関する基礎知識を習得する。
③コンピュータシステムやネットワークに関する知識を習得する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ＩＴパスポート試験に関連するＣＢＴを実施）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：チュートリアル，授業の進め方，成績評価について
　事前学習：シラバスを読み、ＩＴパスポート資格について学習すること（2時間）
　事後学習：テキストを購入し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第2回：反転学習―第1章：業務―（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第3回：反転学習―第2章：法務―（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第4回：理解テスト―業務と法律―（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第5回：反転学習―第3章：コンピュータシステム―（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第6回：反転学習―第4章：システム開発―（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第7回：理解テスト―コンピュータシステムとシステム開発―（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第8回：反転学習―第5章：ハードウェア―（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第9回：反転学習―第6章：基礎理論―（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）

第10回：理解テスト ── ハードウェアと基礎理論 ──（実技試験）
事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（２時間）
第11回：反転学習 ── 第７章：ソフトウェア ──（実技試験）
事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（２時間）
第12回：反転学習 ── 第８章：ネットワーク ──（実技試験）
事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（２時間）
第13回：理解テスト ── ソフトウェアとネットワーク ──（実技試験）
事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（２時間）
第14回：反転学習 ── 第９章：セキュリティ ──（実技試験）
事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（２時間）
第15回：理解テスト ── セキュリティ ──（実技試験）
事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
事後学習：教材を利用し、全範囲について学習すること（２時間）
第16回：期末試験
本授業は、国家資格であるITパスポートの獲得を目指した授業である。ITパスポートの教材は様々な出版社から出版され、試験の過去問題も公開されている。各自、自分に合った教材を選択し、自学自習を行うこと。また、推奨学習時間は復習２時間、予習２時間である。また、本授業で利用する教材は大学以外のインターネットアクセス環境からも学習可能である。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末の試験（40%）、全５回の理解度テスト（50%）、大福帳の記入内容（10%）

成　績　評　価　基　準

ITの基礎知識をえ、それを説明することができるか。
特に、授業の到達目標にも挙げた以下の項目についての知識を身についていることが評価基準となる。
①企業や関連業務、経営戦略やビジネスインダストリ
②情報システムの開発や運用に関する基礎知識
③コンピュータシステムやネットワークに関する知識

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他（反転学習　に対するフィードバックについて）
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（週に１度ヘルプデスクを設置し、自学自習を行いながら、わからない箇所を解決可能な環境を整える）

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
令和02年 ＩＴパスポート合格教本を利用する。 また、ＩＴパスポートドットコムというＷｅｂサイトを利用する。
その他（受講上の注意）
私語等、講義を妨害する学生には退出してもらう。単位を与えない場合もある。受講生の理解度によって授業計画には変更を加える可能性がある。 毎回eラーニングで理解度テストを実施し、大福帳を記入し双方向で学習状況を把握しながら進める。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション技法 (Communication Techniques)			担当教員	植月　百枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−F−2111	2単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎B群

求める学習成果(教育目標)

言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

日本語表現の基礎「話す」「きく」ことの基本を、講義と演習を繰り返すことにより理解し、
身につけていく。
演習では、人前で明瞭な言葉と声で自分の意見や思いを的確に相手に伝えられるようになることを
目的とし、自己紹介(自己PR)、スピーチ発表などを行う。

授 業 の 到 達 目 標

人前で、「言葉」を使って自分の意見や思いを過不足なく的確に相手に伝える能力、相手の考えを
理解し受けとめて聴く力を養成する。
他者との会話やコミュニケーション、公的な場での発表が円滑に行える能力を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション　コミュニケーションとは
　事前学習：コミュニケーションとは何か、なぜコミュニケーションを学ぶのか、自身の考えをまとめておくこと(2時間)
　事後学習：コミュニケーションの定義、目的を理解し、非言語コミュニケーションの具体例を自身の経験から思い出し記述しておくこと(2時間)
第2回：きれいな発音・発声を身につけよう
　事前学習：テキストを参照して、自分の話し方をあらためて見直し、話しぐせについて理解を深めておくこと(2時間)
　事後学習：腹式呼吸の練習を何度もすること。その際には鏡を見て、姿勢や表情のチェックも忘れずにすること(2時間)
第3回：自己紹介①
　事前学習：自己紹介を行う前に、自分自身の性格、趣味、特技、信条などを考えまとめておくこと(2時間)
　事後学習：人前で過不足なく自分のことを伝えられたか振り返り、できなかった場合はその理由を考えること(2時間)
第4回：自己紹介②　自己紹介をしてみよう(実技)
　事前学習：自分自身の自己紹介が自己PRに繋がるよう、自分の強み・弱みを具体的にあげて考察すること(2時間)
　事後学習：友人の自己紹介を聴き、口頭表現として良い点、気になる点をまとめ発表できるようにしておく(2時間)
第5回：「きく」ということ　(聞く、聴く、訊く)
　事前学習：「きく」を漢字で書くと3種類ある。意味がどのように違うか調べ、まとめておくこと。(2時間)
　事後学習：人の話を「聴く」トレーニングとして、TVなどのニュース解説などを聴き、話をまとめる学習をする(2時間)
第6回：話の材料の集め方
　事前学習：人前でのスピーチは話す材料がなくては話せない。話の材料はどこにあるか考え、まとめておく(2時間)
　事後学習：話の材料を探し出し、周りの人に口頭で話してみよう。どのような話題が受容されるか実践する(2時間)

第７回：話の材料のまとめ方
事前学習：周りの人に口頭で話した時、理解してもらえないことが多い。その要因は何か考え、まとめておくこと（２時間）
事後学習：話をまとめる５つの法則を復習し、要点列挙のあらすじを作成し、口頭で練習をする（２時間）
第８回：新聞の記事を材料にした口頭表現①
事前学習：次回は新聞の記事を元にスピーチをする。新聞から自身で記事を選び、スピーチの準備をすること（２時間）
事後学習：自身のスピーチを振り返り、特にうまく発表できなかった所を何度も口頭表現で練習する（２時間）
第９回：新聞の記事を材料にした口頭表現?（実技）
事前学習：新聞の記事に目を通し、自身で記事を選び、スピーチの準備をすること（２時間）
事後学習：友人の発表を聴き、他人の良い点は参考にして、何度も口頭表現で練習すること。（２時間）
第10回：心をつかむ話し方
事前学習：同じことを言っても心に響く人と響かない人がいるのは何故だろうか。考えてまとめておく（２時間）
事後学習：心をつかむ話し方の原則を復習し、次回の発表で実践できるよう、言葉で絵を描いてみること（２時間）
第11回：話す力をみがく（表現技術）
事前学習：イソップ物語の「北風と太陽」を調べ、肯定的な言葉、否定的な言葉の違いをまとめておくこと（２時間）
事後学習：「聞き手の決定権」を意識して、周りの人に自分の話の真意が伝わっているか実践する（２時間）
第12回：公の場での話し合い・会議
事前学習：公の場での話し合いや会議で、自分の言いたいことを過不足なく発言するのは容易ではない。なぜ皆の前で言えないのか、理由を考えまとめること（２時間）
事後学習：テキストを参考に、話し合いの前の準備、会議の流れを復習し、会議での司会を担当できるように考えてみること（２時間）
第13回：スピーチ（実技）
事前学習：テーマに沿ってのスピーチを行う。スピーチの準備を整え、実際に口頭で練習すること。（２時間）
事後学習：人のスピーチをよく聴き、取ったメモを元に、話の組み立て、表現力などの点検を行うこと（２時間）
第14回：グループワーク　発表①
事前学習：テーマに沿ってグループ発表をするために、自分が取り組みたいことを考え準備をしておくこと（２時間）
事後学習：グループで話し合い与えられた課題を調べ発表の準備をする（２時間）
第15回：グループワーク　発表
事前学習：自分の課題をきちんと発表できるよう、声を出して練習を重ねること（２時間）
事後学習：グループで力を合わせ、考えていたように発表できたか顧みること。反省点をあげ、対応策を話し合うこと（２時間）
第16回：定期試験（スピーチ実技試験）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（60％）課題への評価（20％）平常点（20％）
平常点は授業への参加状況、受講態度を総合的に判断する。

成　績　評　価　基　準

人前でのスピーキングにおいて、自分の考えや意見を、きき手にわかりやすく、的確、明瞭に伝えているか。
演習において、人の話を理解して心に受け入れ聴いているか。「言葉」の役割を理解し、積極的に他者とコミュニケーションをとり、会話力をみがいているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

著者名：株式会社ウイネットプレゼンテーション学研究会
書　名：『自分を大きく見せる話し方　コミュニケーション技法』
発行所：株式会社ウイネット
発行年：平成30年３月16日改訂第３版第１刷

その他(受講上の注意)

上記の授業計画は予定である。授業の進行状況によって変更することもある。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

オーラル・コミュニケーションⅠa (Oral Communication Ⅰa)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−F−2112	2単位	1年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎B群（スキル）

求める学習成果（教育目標）

言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

最初に、ペアや少人数グループに分かれ、各授業のQ&Aトピックを話し、それらの内容を書き出して相手に話し伝える。そして語彙、リスニング、発音練習、等の活動を行う。最後に、各ユニットの内容をまとめる。

授 業 の 到 達 目 標

基本的な英語で自分の考えを表現できるようにする。質問に答えるだけでなく、自分の答えの理由を説明できるようにする。他人の話を聞いて理解できるようにする。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特にリスニング・スピーキング能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：好きなこと嫌いなこと（文章ストレス（発音）, 聴取）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第1ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された好きなこと嫌いなことについて、教科書に付いているCDを聴く。（2時間）
第2回：好きなこと嫌いなこと（確認の為に繰り返しを求めること, 話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第1ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された好きなこと嫌いなことについて、教科書に付いているCDを聴く。（2時間）
第3回：お金と値段（弱母音、聴取）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第2ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたお金と値段について、教科書に付いているCDを聴く。（2時間）
第4回：お金と値段（確認の為に質問を聞く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第2ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたお金と値段について、教科書に付いているCDを聴く。（2時間）
第5回：家族について（文章ストレス（発音）, 聴取）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第3ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された家族について、教科書に付いているCDを聴く。（2時間）
第6回：家族について（確認の為に主な情報を繰り返す、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第3ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された家族について、教科書に付いているCDを聴く。（2時間）
第7回：復習（第1回～6回の内容についての復習）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第1～3ユニットを復習する。（2時間）
　事後学習：テキストの第1～3ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（2時間）
第8回：行ったことについて（消えそうな音、聴取）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第4ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたとについて、教科書に付いているCDを聴く。（2時間）
第9回：行ったことについて（会話に参加する為に質問を聞く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第4ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたことについて、教科書に付いているCDを聴く。（2時間）
第10回：職業の説明（文章ストレス（発音）, 聴取）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第5ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された職業の説明について、教科書に付いているCDを聴く。（2時間）

第11回：職業の説明（明確にする為に例文を使う）（討議　発表）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第５ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された職業の説明について、教科書に付いているCDを聴く。（２時間）
第12回：日常生活（弱母音、聴取）（グループワーク　討議）
事前学習：授業前にテキストの第６ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された日常生活について、教科書に付いているCDを聴く。（２時間）
第13回：日常生活（確認の為に主な情報を繰り返す、話す）（討議　発表）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第６ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された日常生活について、教科書に付いているCDを聴く。（２時間）
第14回：聴取（パターンから予想する、聴取）（グループワーク　討議）
事前学習：授業前にテキストの第７ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：授業で課された聴取について、教科書に付いているCDを聴く。（２時間）
第15回：聴取（シャドーイング、話す）（討議　発表）
事前学習：引き続き、授業前にテキストの第７ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：テキストの第４～７ユニットを復習する。（２時間）
定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

積極的な授業態度及び課題（45％）、定期試験（55％）

成　績　評　価　基　準

基本的な英語で自分の考えを表現できるか。質問に答えるだけでなく、自分の答えの理由を説明できるか。他人の話を聞いて理解できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキスト Communication Spotlight: Speaking Strategies & Listening Skills. (Third Edition) Graham-Marr, Alastair. ABAX ELT Publishers. 2019. ISBN: 978-1-78547-079-0. 参考図書 中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）
その他（受講上の注意）
This course requires proactively participating in pair-work and group exercises.
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英文法 (English Grammar)			担当教員	加藤　優子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−F−2113	2単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎B群（スキル）

求める学習成果（教育目標）

言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

高校までに学習した基礎的な英文法を学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

基礎的な英文法を学び、自分が苦手とする部分や既習だけれども忘れていた部分を補完する。英語の4技能に最低限必要とされる基礎的な英文法の知識を得る。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション、Units 1, 2 名詞・冠詞
　　事前学習：教科書の予習を行うこと。（2時間）
　　事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。
第2回：Units 3, 4 代名詞（1）（2）
　　事前学習：教科書の予習を行うこと。（2時間）
　　事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。（2時間）
第3回：Units 5~7 時制（1）（2）（3）
　　事前学習：教科書の予習を行うこと。（2時間）
　　事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。（2時間）
第4回：Units 1~7の復習
　　事前学習：教科書の予習を行うこと。（2時間）
　　事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。（2時間）
第5回：Units 8, 9 助動詞（1）（2）
　　事前学習：教科書の予習を行うこと。（2時間）
　　事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。（2時間）
第6回：Units 10, 11 態（1）（2）
　　事前学習：教科書の予習を行うこと。（2時間）
　　事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。（2時間）
第7回：Units 12, 13　不定詞（1）（2）
　　事前学習：教科書の予習を行うこと。（2時間）
　　事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。（2時間）
第8回：Units 8~13の復習
　　事前学習：教科書の予習を行うこと。（2時間）
　　事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。（2時間）
第9回：Units 14, 15　分詞（1）（2）
　　事前学習：教科書の予習を行うこと。（2時間）
　　事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。（2時間）
第10回：Units 16, 17　動名詞（1）（2）
　　事前学習：教科書の予習を行うこと。（2時間）
　　事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。（2時間）

第11回：Unit 18 形容詞・副詞
事前学習：教科書の予習を行うこと。（2時間）
事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。（2時間）
第12回：Units 19, 20 比較（1）（2）
事前学習：教科書の予習を行うこと。（2時間）
事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。（2時間）
第13回：Units 21, 22 関係詞（1）（2）
事前学習：教科書の予習を行うこと。（2時間）
事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。（2時間）
第14回：Units 23, 24 仮定法（1）（2）
事前学習：教科書の予習を行うこと。（2時間）
事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。（2時間）
第15回：Units 14~24の復習
事前学習：教科書の予習を行うこと。（2時間）
事後学習：教科書の予習・復習を行うこと。（2時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業期間中の小テスト（80%）、平常点（20%）

成　績　評　価　基　準

自分が苦手とする部分や既習だけれども忘れていた部分の補完を含め、英語の4技能に最低限必要とされる基礎的な英文法の知識を得られたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

Kitayama, Nagaki et al. Mastering basic English Grammer 成美堂 2021

その他（受講上の注意）
・本授業の目的は、「既習の英文法」の総まとめをすることである。そのため、学習項目は最も基礎的で初級者向けのものである。 ・初級者向けではあるが、初級から少なくとも中級までのレベルアップを目指すものであるため、多くの予習・復習が求められる。 ・本授業では、第１回から教科書学習に入る。そのため、第１回授業前までに教科書を購入し、予習をしておくこと。 ・辞書を必ず携帯すること。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

プレゼンテーション技法 (Presentation Skills)			担当教員	禿　　寿
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−F−2114	2単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎B群（スキル）

求める学習成果（教育目標）

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

Power Pointを用いて、プレゼンテーションのための技法を習得する演習を行う。情報をわかりやすく伝えるための手段の一つであるロジカル・プレゼンテーション（論理化）についての解説を行う。適宜、まとめとして、グループによるプレゼンテーションと相互評価を実施する。

授　業　の　到　達　目　標

ロジカル・プレゼンテーションのスキルやPower Pointの基本的な操作スキルを習得するだけでなく、自らのアイデアと適切な情報収集によって、「正しく考える」能力と「正しく伝える」能力を養い、提案の技術を身に着ける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク　■発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：授業のシラバスを理解できるまで読んでおく。（2時間）
　事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：ロジカル・プレゼンテーションとは
　事前学習：テキスト序章・第1章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間）
　事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：論理的思考力について（1）-縦の論理とは-
　事前学習：テキスト第2章・第1節を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間）
　事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：論理的思考力について（2）-横の論理とは-
　事前学習：テキスト第2章・第2節を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間）
　事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：仮説検証力について（1）-仮説検証力とは-
　事前学習：テキスト第3章・序節第1節を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間）
　事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：仮説検証力について（2）-論点の把握について-
　事前学習：テキスト第3章・第2,3節を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間）
　事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：論理的思考力と仮説検証力の整理
　事前学習：ここまでのノートを見直しておくこと。（2時間）
　事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）

第８回：議論構築力について
事前学習：テキスト第４章を読み、疑問点を確認しておくこと（２時間）
事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：資料作成力について（１）
事前学習：テキスト第５章・序節第1,2節を読み、疑問点を確認しておくこと（２時間）
事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：資料作成力について（２）
事前学習：テキスト第５章・第3,4,5節を読み、疑問点を確認しておくこと（２時間）
事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：資料作成力について（３）（グループワーク）
事前学習：グループでのプレゼンテーションのテーマを複数案考えてくること。（２時間）
事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、講義時に作成したスライドをさらに洗練させておくこと。（２時間）
第12回：資料作成力について（４）（グループワーク）
事前学習：講義時に作成したスライドをさらに洗練させておくこと。（２時間）
事後学習：プレゼンテーション報告の口頭報告での練習をしておくこと（２時間）
第13回：プレゼンテーション報告と相互評価（１）（グループワーク）
事前学習：自分のグループのプレゼンテーションの回であれば，十分な時間をかけてリハーサルを行ってくこと。そうでなければ，自分のグループのスライドやプレゼンテーションを見直し，さらに洗練させておくこと。（２時間）
事後学習：発表したグループのプレゼンテーションについて，評価表を用いて，再評価を行うこと。（２時間）
第14回：プレゼンテーション報告と相互評価（２）（グループワーク）
事前学習：自分のグループのプレゼンテーションの回であれば，十分な時間をかけてリハーサルを行ってくこと。そうでなければ，自分のグループのスライドやプレゼンテーションを見直し，さらに洗練させておくこと。（２時間）
事後学習：発表したグループのプレゼンテーションについて，評価表を用いて，再評価を行うこと。（２時間）
第15回：講義のまとめ
事前学習：ノートを見直し、全講義の要点をまとめておくこと（２時間）
事後学習：フィードバックの結果に沿って、スライドを修正し、保存をする（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業における発表（50%）、課題等の提出物と受講態度（50%）

成　績　評　価　基　準

ロジカル・プレゼンテーションの考え方を理解しそれを実践できること、Power Point を操作することによって、プレゼンテーションのスライド（資料）を作成することができること、また、そのスライドを用いて、プレゼンテーションの評価項目に留意しながら、説得力のあるプレゼンテーションを行うことができることについて、受講生の評価も考慮に入れつつ評価する。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：高田貴久『ロジカル・プレゼンテーション ── 自分の考えを効果的に伝える戦略コンサルタントの「提案の技術」』英治出版株式会社 2004年
参考図書：松上純一郎『PowerPoint資料作成 プロフェッショナルの大原則』技術評論社 2019年

その他(受講上の注意)

私語等、講義を妨害する学生には退出を指示した上、単位を与えない場合もあります。
受講生の理解度にあわせて授業計画には変更を加える可能性があります。

オフィスアワー

大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

プロジェクト・デザイン入門 (Introduction to Project Design)			担当教員	升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−A−2117	2単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

環境変化のスピードが加速するとともに、予測も困難になってきている今日において、正解を導き出す力よりも、正解のない答えや最善策をメンバーとともに模索していく力が求められている。授業では、多面的・複眼的思考により仮説を設定・プランを策定し、試行錯誤しながら自分達の結論を導き出すための問題解決型のコミュニケーション能力の向上を狙いとする。

授　業　の　到　達　目　標

・プロジェクトの特徴や意義について説明することができる。
・問題解決型プロジェクトの基本的な進め方について説明することができる。
・助言やサポートを受けながら、メンバーとともに対策・施策を検討し他者に効果的に伝えることができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：プロジェクトの特徴Ⅰ：解説
　事前学習：プロジェクトの特徴について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：プロジェクトの特徴Ⅱ：演習（グループワーク）
　事前学習：プロジェクトに関する意見交換を行うため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：ＰＤＣＡ（グループワーク）
　事前学習：評価・改善行動の重要性について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：ビジョンの設定（グループワーク）
　事前学習：ビジョンの設定について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：サーベイ（グループワーク）
　事前学習：サーベイ（全体像の把握・調査）に関して意見交換を行うため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：現状把握Ⅰ（グループワーク）
　事前学習：現状把握を行うため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第７回：現状把握Ⅱ（グループワーク）
事前学習：前回に続き現状把握を行うため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：問題点
事前学習：問題点の設定を行うため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：課題と対策Ⅰ（グループワーク）
事前学習：課題を抽出し対策の検討を行うため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：課題と対策Ⅱ（グループワーク）
事前学習：課題を抽出し対策の検討を行うため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：対策選定（グループワーク）
事前学習：対策を選定するため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：対策実施イメージ（グループワーク）
事前学習：対策実施イメージについて検討するため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：プレゼンテーションⅠ（発表・プレゼンテーション）
事前学習：A・B・Cグループのプレゼンテーションを行うため、自分なりのレビューの視点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：プレゼンテーションⅡ（発表・プレゼンテーション）
事前学習：D・E・Fグループのプレゼンテーションを行うため、自分なりのレビューの視点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：プレゼン相互評価のフィードバックおよび確認問題に取り組むため、これまでの授業内容を確認しておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題に対する活動内容・提出物（60%）、平常点（40%）
※平常点：授業への参加状況、受講態度等から総合的に判断します。

成 績 評 価 基 準

・プロジェクトの特徴や意義について説明することができるか。
・問題解決型プロジェクトの基本的な進め方について説明することができるか。
・助言やサポートを受けながら、メンバーとともに対策・施策を検討し他者に効果的に伝えることができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（リアクションペーパーに対するフィードバックについて）
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

必要に応じて、授業中に提示します。

その他(受講上の注意)

・グループワークを主体とした授業構成となっているので、メンバーに与える影響も考慮し欠席しないようにしてください。
・課題等のアウトプットについては、レビューや振り返りを通じてフィードバックします。
・「授業計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、変更する場合があります。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

異文化理解b (Cross-Cultural Understanding b)			担当教員	加藤　優子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−A−2122	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。
異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

異文化コミュニケーション学の基礎的知識を踏まえ、異文化コミュニケーションと多文化共生に関連する重要な事柄について学ぶ。これにより、異なる文化的背景を持つ人々とのコミュニケーションについての多角的な理解を深める。

授 業 の 到 達 目 標

・異文化コミュニケーションと多文化共生に関する用語について説明することができる。
・異なる文化的背景を持つ人々とのコミュニケーション現象について、学んだ知識に基づき、論理的に分析し説明することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（事前の調べ学習）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：イントロダクション
　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（2時間）
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：多文化共生社会における異文化コミュニケーション研究の目的
　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（2時間）
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：多文化共生社会の定義①
　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（2時間）
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：多文化共生社会の定義②
　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（2時間）
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：移民と非移民の歴史①
　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（2時間）
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：移民と非移民の歴史②
　事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（2時間）
　事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第７回：国籍法について①
事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：国籍法について②
事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：文化相対主義について①
事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：文化相対主義について②
事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：多文化共生社会と価値観①
事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：多文化共生社会と価値観②
事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：国内の現状①日本語教育
事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：国内の現状②医療
事前学習：テーマについて、図書館などで調べること。（２時間）
事後学習：授業で課された課題について、レポートをまとめておくこと。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：授業で課された課題について、レポートをまとめておくこと。（２時間）
事後学習：復習をするうえで、わからないことがあったら図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（50％）、授業内レポート（30％）、平常点（20％）
平常点は、授業の受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・異文化コミュニケーションと多文化共生に関する用語について説明することができるか。
・異なる文化的背景を持つ人々とのコミュニケーション現象について、学んだ知識に基づき、論理的に分析し説明することができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：特になし。
参考図書：参考文献は適宜授業内で告知する。

その他(受講上の注意)

本講義を受ける前に「異文化理解a」の単位を取得すること。
５分以上20分未満の遅刻３回で欠席１回とみなす。
20分以上の遅刻は欠席とみなす。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会学入門 (Introduction to Sociology)			担当教員	江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−A−2123	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

この講義では、社会学の研究において社会調査とはどのようなものか、何のために行うのかを概説する。そのためにも、まず社会学の考え方とその学説史を確認したうえで、社会調査についてレクチャーを行う。次に、社会調査の目的、社会調査の歴史、社会調査の倫理について学び、さまざまな社会調査の種類とそれぞれの方法が持つ長所と問題点を理解する。なお、各回の講義は、社会調査の実践の背景にある社会科学の理論・知見に関するアカデミック・ガイダンスの要素を含む。

授　業　の　到　達　目　標

・社会調査の目的について理解する。
・対象に応じて、適切な手法を選択できるようになること。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：講義概要
　事後学習：授業に関連するテキストのページを読み、質問事項をまとめておくこと。（2時間）
第2回：社会学の考え方
　事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第一部」の部分を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（2時間）
第3回：社会学の学説史
　事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第一部」の部分を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（2時間）
第4回：社会調査の目的と歴史
　事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第一部」の部分を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（2時間）
第5回：社会調査の倫理
　事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第一部」の部分を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（2時間）
第6回：社会調査の種類と特性（1）質的調査
　事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第二部」の部分を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（2時間）
第7回：社会調査の種類と特性（2）量的調査
　事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第二部」の部分を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（2時間）

第８回：質的調査の実践例 ── インタビュー、参与観察、アクション・リサーチ
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第三部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）
第９回：質的調査の意義と限界
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第三部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）
第10回：量的調査の実践例 ── アンケート、国勢調査、官庁統計、市場調査
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第二部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）
第11回：量的調査の基礎 ── 問題意識、仮説構成、調査票作成
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第二部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）
第12回：量的調査の基礎 ── 実査と分析、質問紙調査の意義と限界（課題解決型学習（PBL））
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第二部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）
第13回：社会調査の変容（１）
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第三部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）
第14回：社会調査の変容（２）
事前学習：前回のノートを見直し、指定のテキスト「第三部」の部分を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（４時間）
第15回：まとめ ── 社会を深く探求するために（課題解決型学習（PBL））
事前学習：全てのノートを見直し、全講義の要点をまとめておくこと（２時間）
事後学習：本講義の全てのノートを見直して復習し整理すること。また、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

・定期試験（70%）　・平常点（30%）
平常点は授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します（出席点ではありません）。

成　績　評　価　基　準

・社会調査の目的について理解できているか。
・様々な統計資料を利用するなど、対象に応じて適切な調査手法を選択できるようになっているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
5）その他（議論や討論に対するフィードバックについて）
□授業時　□仁大eラーニング　■メール　■その他（担当教員の研究室（E104B）を訪れるか、オンラインコミュニケーションツール（Teams）を用いて）

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

参考図書：大谷信介・後藤範章・小松洋・木下栄二編著『新・社会調査へのアプローチ――論理と方法』ミネルヴァ書房
その他の参考図書については、授業内で適宜指示する。

その他(受講上の注意)

この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、「社会調査士」資格に必要とされる、社会調査の基本的事項に関して学ぶ標準カリキュラムのA科目に対応するものである。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

オーラル・コミュニケーションⅠb (Oral Communication Ⅰb)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−A−2128	2単位	1年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

最初に、ペアや少人数グループに分かれ、各授業のQ&Aトピックを話し、それらの内容を書き出して相手に話し伝える。そして語彙、リスニング、発音練習、等の活動を行う。最後に、各ユニットの内容をまとめる。

授 業 の 到 達 目 標

基本的な英語で自分を表現できるようにする。質問に答えるだけでなく、自分の答えの理由を説明できるようにする。他人の話を聞いて理解できるようにする。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特にリスニング・スピーキング能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：好きな科目について（混合音、聴取）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第8ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された好きな科目について、教科書に付いているCDを聴く。（2時間）
第2回：好きな科目について（言い換え、書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第8ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された好きな科目について、教科書に付いているCDを聴く。（2時間）
第3回：説明する/料理の方法（弱母音、聴取）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第9ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された説明する/料理の方法について、教科書に付いているCDを聴く。（2時間）
第4回：説明する/料理の方法（婉曲的な表現 、書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第9ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された説明する/料理の方法について、教科書に付いているCDを聴く。（2時間）
第5回：現在について（文章ストレス, 聴解）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第10ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された現在について、教科書に付いているCDを聴く。（2時間）
第6回：現在について（繰り返しと言い換え、書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第10ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された現在について、教科書に付いているCDを聴く。（2時間）
第7回：復習（第1回～6回の内容についての復習）
　事前学習：授業前にテキストの第8～10ユニットを復習する。（2時間）
　事後学習：テキストの第8～10ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（2時間）
第8回：未来について（カジュアルな英語、聴取）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第11ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された未来について、教科書に付いているCDを聴く。（2時間）
第9回：未来について（会話を参加する為に質問を聞く、書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第11ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された未来について、教科書に付いているCDを聴く。（2時間）
第10回：物の説明（文章ストレス, 聴取）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第12ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された物の説明について、教科書に付いているCDを聴く。（2時間）

第11回：物の説明（繰り返しと言い換え, 話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第12ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された物の説明について、教科書に付いているCDを聴く。（２時間）
第12回：数字に慣れる（トーングループの区別、聴取）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第13ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された数字に慣れるについて、教科書に付いているCDを聴く。（２時間）
第13回：数字に慣れる（会話ストラテジー、書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第13ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された数字に慣れるについて、教科書に付いているCDを聴く。（２時間）
第14回：道案内（母音の侵入、聴取）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第14ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された道案内について、教科書に付いているCDを聴く。（２時間）
第15回：道案内（シャドーイング、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第14ユニットを読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの第11～14ユニットを復習する。（２時間）
定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

積極的な授業態度及び課題（45％）、定期試験（55％）

成　績　評　価　基　準

基本的な英語で自分を表現できるか。質問に答えるだけでなく、自分の答えの理由を説明できるか。他人の話を聞いて理解できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキスト Communication Spotlight: Speaking Strategies & Listening Skills. (Third Edition) Graham-Marr, Alastair. ABAX ELT Publishers. 2019. ISBN: 978-1-78547-029-5. 参考図書 中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）
その他（受講上の注意）
This course requires proactively participating in pair-work and group exercises.
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人間と宗教 (Human Beings and Religion)			担当教員	門脇　　健
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1211	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　全学共通科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

宗教という人間独自の現象を、動物との比較、言語や法そして貨幣という人間独自の制度との比較を通して考察します。

授 業 の 到 達 目 標

宗教という人間独自の現象を考察することによって、何気ないふだんの日々の意義深さ、面白さに気づくことができる。

アクティブ・ラーニング

3～5回予定している小レポートに対して教員の方からフィードバックします(参加人数が多いと毎回というわけにはいかないと思います)。

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：人間と動物(「顔」について)
　　事後学習：授業中に視聴したビデオの内容をまとめておくこと。(2時間)
第2回：人間と動物(想像力について)
　　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
　　事後学習：人間と動物の違いを調べて、まとめておくこと。(2時間)
第3回：私の発生
　　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
　　事後学習：グラフの読み方について調べて、まとめておくこと。(2時間)
第4回：言葉の習得
　　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
　　事後学習：グラフの読み方について調べて、まとめておくこと。(2時間)
第5回：言葉と私
　　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
　　事後学習：ラカンの論点について調べて、まとめておくこと。(2時間)
第6回：贈与と交換
　　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
　　事後学習：授業中に視聴したビデオの内容をまとめておくこと。(2時間)
第7回：視点の転換
　　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
　　事後学習：授業中に視聴したビデオの内容をまとめておくこと。(2時間)
第8回：時間の逆流
　　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
　　事後学習：授業中に視聴したビデオの内容をまとめておくこと。(2時間)
第9回：四苦八苦
　　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
　　事後学習：四苦八苦について調べて、まとめておくこと。(2時間)
第10回：仏教とキリスト教
　　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
　　事後学習：両宗教の差異について調べて、まとめておくこと。(2時間)
第11回：神話を生きる
　　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。(2時間)
　　事後学習：神話概念について調べて、まとめておくこと。(2時間)

第12回：対象喪失
　　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
　　事後学習：自分における相性喪失について考察し、まとめておくこと。（2時間）
第13回：喪の作業
　　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
　　事後学習：喪の作業の具体例について調べて、まとめておくこと。（2時間）
第14回：儀礼と宗教
　　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
　　事後学習：日常のなかの宗教的儀礼について調べて、まとめておくこと。（2時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：ノート・配布資料等から前回の講義内容を確認し、まとめておくこと。（2時間）
　　事後学習：ノート・配布資料等を基に講義内容について、まとめておくこと。（4時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

学期中に3～5回小レポートを実施します。
レポート試験（50%）　小レポート（30%）　平常点（20%）
平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問等を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

自分の関心がクリアに表現できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他（コメントを付けて返す）
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他（コメントを付けて返す。）
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

門脇健『哲学入門　死ぬのは僕らだ！』角川SSC新書（参考図書、デジタルテキスト）

その他（受講上の注意）

講義の中で言及した文学作品や映画などに可能な限り接すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

仏教の思想 (Views of Buddhism)			担当教員	市野　智行
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1210	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　全学共通科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

ブッダと親鸞の思想を学ぶことを通して、人間の課題を学び、自らの生き方を問い尋ねていく。ブッダと親鸞の生涯と教えについて基本的な知識を修得する。そのことを通して、「人間とは何か」「人として生きる（人生）とはどういうことか」を学び、自己理解と他者理解を深め、豊かな人間関係を築く上での人間力を養う。

授 業 の 到 達 目 標

ブッダと親鸞の生涯と思想について基本的な知識を修得し、説明することができる。
仏教思想における人間観を学び、「自分とは何か」を考察し、表現することができる。
仏教思想を通して、豊かな人間関係のあり方を学び、主体的に考える姿勢を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク　□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：釈尊と親鸞の生涯を学ぶ意味を確かめる
　　事前学習：受講前に、参考図書の「はじめに」と2～8頁を読んでおくこと。（8時間）
第2回：釈尊の生涯と教え①　誕生と出家
第3回：釈尊の生涯と教え②　修行と正覚
第4回：釈尊の生涯と教え③　初転法輪
　　事後学習：学んだ箇所を復習すること（7時間）
　　事前学習：配付資料に目を通しておくこと。（8時間）
第5回：釈尊の生涯と教え④　入涅槃　釈尊最後の旅
第6回：釈尊の生涯と教え⑤　経典の世界　物語として経典を読む
第7回：釈尊の生涯と教え⑥　釈尊と現代社会　葬儀について考える
第8回：釈尊の生涯から何を学ぶことができるのか（小テストを含む）
　　事後学習：学んだ箇所を復習すること。（7時間）
　　事前学習：配付資料に目を通しておくこと。（7時間）
第9回：親鸞の生涯と教え①　誕生から出家
第10回：親鸞の生涯と教え②　法然との出遇い
第11回：親鸞の生涯と教え③　法難と越後時代
第12回：親鸞の生涯と教え④　関東教化と異義
　　事後学習：学んだ箇所を復習すること。（7時間）
　　事前学習：配付資料に目を通しておくこと。（8時間）
第13回：親鸞の生涯と教え⑤　晩年の親鸞
第14回：親鸞の生涯と教え⑥　親鸞と現代社会　伝えるということについて考える
第15回：親鸞の生涯から何を学ぶことができるのか（小テストを含む）
　　事後学習：授業全体を通して何を学んだか、小テストの結果や配布資料等を振り返り確認すること。（8時間）

授業の形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業内小レポート・感想文、課題（50%）　平常点（50%）
（平常点は、出席状況、受講態度等で総合的に判断します。）

成　績　評　価　基　準

講義の理解度と、理解した内容を自らの課題として考察・表現できているかどうかを基準にする。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

『ブッダと親鸞　教えに生きる』（東本願寺出版部）

その他（受講上の注意）

私語、携帯電話等の使用は厳禁です。複数回注意を受けた場合は欠席扱いとします。テキストは必携です。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

哲学の世界観 (Philosophical Thinking)			担当教員	橋本　武志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1223	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

古代からの西洋の哲学・思想が生み出してきたさまざまなものの見方を紹介する。また、そうしたものの見方が現代に及ぼしている影響について講義する。

授 業 の 到 達 目 標

過去および現在の哲学独自の思考方法や批判的思考に慣れ親しむことを通じて、現代日本に生きる自分が歴史に制約された存在であることを認識すると同時に、大学生なら知っておくべき程度の、哲学・倫理学の基本的な概念を理解し、その用語を習得する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ペアワーク）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーションと「世界観」概念の説明
　事前学習：参考文献などを基に「哲学」「世界観」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第2回：神話的世界観ではなぜ不十分なのか？（ペアワーク10分）
　事前学習：参考文献などを基に、日本や中国、ギリシャの「宇宙創成神話」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第3回：哲学的思考の発祥（プレソクラテス1）
　事前学習：参考文献などを基に「ピタゴラス」について調べてノートしておくこと（2時間）
　事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第4回：哲学的思考の展開（プレソクラテス2）
　事前学習：参考文献などを基に「ヘラクレイトス」「パルメニデス」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第5回：ソクラテス1
　事前学習：参考文献などを基に「ソクラテスの生涯」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第6回：ソクラテス2
　事前学習：参考文献などを基に「無知の知」「魂の配慮」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第7回：プラトン1
　事前学習：参考文献などを基に「プラトンの生涯」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第8回：プラトン2
　事前学習：参考文献などを基に「洞窟の比喩」について調べノートしておくこと（2時間）
　事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）
第9回：アリストテレス1（可能態・現実態などの対概念）
　事前学習：参考文献などを基に「可能態・現実態」の語義について調べ、ノートしておくこと（2時間）
　事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（2時間）

第10回：アリストテレス２（目的論と実体概念）
事前学習：参考文献などを基に「実体」について調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第11回：映像によって古代の思想を知る
事前学習：エジプトのアレクサンドリアについて調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：地動説の歴史について調べ、自分なりに纏めておくこと（２時間）
第12回：古代から中世の思想の流れ
事前学習：参考文献などを基にパスカルの「人間は考える葦である」という言葉について調べ、ノートしておくこと（２時間）
事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第13回：デカルト１（デカルトの知識論）
事前学習：参考文献などを基にデカルトの生涯について調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第14回：デカルト２（デカルトの自我論・方法的懐疑）
事前学習：参考文献などを基にデカルトの「我思う。ゆえに私はある」という言葉について調べノートしておくこと（２時間）
事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第15回：これまでのまとめ
事前学習：これまでの授業について質問を考えてくること（２時間）
事後学習：講義の内容について、資料をもとに自分なりに纏めておくこと（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（80%）、平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度、毎回の授業内小レポートの提出状況を総合して判断する）

成　績　評　価　基　準

・哲学の基本的な用語や人名について、これを理解し、説明することができるか。
・授業で扱う西洋思想の流れを理解しているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキストはとくに使用せず、適宜プリントを配布する。
参考図書については２回目の授業で一覧を配布するが、安価かつ容易に入手できるものを以下に記載しておく。
・岩田靖夫『ヨーロッパ思想入門』（岩波ジュニア新書） 岩波書店 2003
・伊藤邦武『物語 哲学の歴史』（岩波新書） 岩波書店 2012
・熊野純彦『西洋哲学史 古代から中世へ』（岩波新書） 岩波書店 2006
・熊野純彦『西洋哲学史 近世から現代へ』（岩波新書） 岩波書店 2006

その他（受講上の注意）

・毎回の講義を受けた後でその部分の配布資料とノートを見直して復習をし、次の授業に臨んでください。
また、第２回の授業で配布する参考文献一覧から該当書物を読むなどして、より理解を深めてください。
・毎回授業内で小レポートを書いてもらいます。私語は他の受講者の迷惑となるので厳禁。私語の目立つ者はその場で注意するが、注意によっても改まらない場合当日欠席扱いとするので注意されたい。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

文学の世界 (The World of Literature)			担当教員	大河　晴美
講義コード	単位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1224	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

昔話として知られる「桃太郎」「猿蟹合戦」「瘤取り」「浦島太郎」「かちかち山」「舌切雀」をテーマに、巌谷小波、芥川龍之介、太宰治の作品を取り上げる。各作品の表現・内容を文化的・社会的背景も踏まえて読解し、執筆・発表された時代における各作品の意義、現代につながる意義を考察する。

授業の到達目標

・各作品の表現・内容と文化的・社会的背景の関係が理解できる。
・文学作品を批評的に読解し、考察できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（課題提出）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキストの概要を把握しておく。（2時間）
　事後学習：テキストの概要と資料を復習し、課題を行う。（2時間）
第2回：巌谷小波「桃太郎」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキストと資料を復習し、課題を行う。（2時間）
第3回：芥川龍之介「桃太郎」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキストと資料を復習し、課題を行う。（2時間）
第4回：巌谷小波「猿蟹合戦」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキストと資料を復習し、課題を行う。（2時間）
第5回：芥川龍之介「猿蟹合戦」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキストと資料を復習し、課題を行う。（2時間）
第6回：巌谷小波「瘤取り」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキストと資料を復習し、課題を行う。（2時間）
第7回：太宰治「瘤取り」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキストと資料を復習し、課題を行う。（2時間）
第8回：巌谷小波「浦島太郎」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキストと資料を復習し、課題を行う。（2時間）
第9回：太宰治「浦島さん」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキストと資料を復習し、課題を行う。（2時間）
第10回：巌谷小波「かちかち山」
　事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキストと資料を復習し、課題を行う。（2時間）

第11回：太宰治「カチカチ山」
事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
事後学習：テキストと資料を復習し、課題を行う。（２時間）
第12回：巖谷小波「舌切雀」
事前学習：テキストを読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
事後学習：テキストと資料を復習し、課題を行う。（２時間）
第13回：太宰治「舌切雀」(「桃太郎」に関する部分)
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
事後学習：テキスト該当部分と資料を復習し、課題を行う。（２時間）
第14回：太宰治「舌切雀」(「舌切雀」に関する部分)
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
事後学習：テキスト該当部分と資料を復習し、課題を行う。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：期末レポートのテーマ設定、準備を行う。（２時間）
事後学習：期末レポートに取り組む。（２時間）

授業の形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（40%）、課題（40%）、平常点（20%）
平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・各作品の表現・内容と文化的・社会的背景が理解できるか。
・文学作品を批評的に読解し、考察できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

巖谷小波著・上田信道校訂『日本昔噺』(東洋文庫)　平凡社　2001年
芥川龍之介『蜘蛛の糸・杜子春・トロッコ 他十七篇』(岩波文庫)　岩波書店　1990年
太宰治『お伽草紙・新釈諸国噺』(岩波文庫)　岩波書店　2004年

その他（受講上の注意）
授業資料の提示、課題の提出には、eラーニングを利用する。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

歴史と地域文化 (History and Local Culture)			担当教員	久保　智康
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1224	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

地域の歴史・文化は、そこに住む人がかたち作っていくものである。と同時に、それは時代の経過とともにより豊かなものになり、次の世代へと受け継がれていくのが望ましい。すでに過去から蓄積された福井の地域文化を歴史の中にたずね、それを受け継ぎ発展させる具体的方策を考える。

授　業　の　到　達　目　標

・他者だけでなく自己も地域の歴史・文化をかたち作る主体であることを理解できる。
・そのために、地域の人々とのコミュニケーションが積極的に行える。
・地域の歴史・文化に関する情報収集・探索能力を養成する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：「地域」、「文化」とは何か
　事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（2時間）
　事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（2時間）
第2回：地域の文化財を発見し学ぶ〜『文化財からみる越前市の歴史文化図鑑』の読み方、使い方〜
　事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（2時間）
　事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（2時間）
第3回：縄文・弥生土器からみる「地域」
　事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（2時間）
　事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（2時間）
第4回：律令時代の土器が示す「中央」と「地方」
　事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（2時間）
　事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（2時間）

第５回：古墳の分布が示す「地域」～「郡」という地域概念の萌芽～
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第６回：土地と人の支配の歴史～徴税・納税の根拠～
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第７回：条里制と東大寺領荘園の痕跡を見つける
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第８回：近代、そして平成の市町村合併
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第９回：琉球、沖縄と越前～本土と沖縄の歴史と宗教～
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第10回：福井が「仏教王国」である理由
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第11回：各宗派の特徴と古代・中世越前における展開
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第12回：山寺と霊山
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第13回：越前の神と仏
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）
第14回：「念仏王国」、越前
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（２時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（２時間）

第15回：地域に住むこと、離れること
事前学習：中学で学んだ程度の日本歴史は復習しておくこと。テキストと福井新聞など地元紙に目を通して、授業に関係しそうな記事をチェックしておくこと。（2時間）
事後学習：各回に配布した資料、取り上げたテキスト頁を、講義内容・投影画像を振り返りながら熟読すること。授業で推奨したテキスト掲載の遺跡・寺社等にできるだけ足を運んで、現場確認すること。（2時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（80%）平常点（20%）
（平常点は授業への参加状況、受講態度等で総合的に判断します。）

成　績　評　価　基　準

地域の歴史・文化に関する過去・現在の事例に関して、自己の問題として認識し、具体的な関わり方を想定できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

・経歴
（県立博物館・国立博物館学芸員）
・実務経験と授業内容との関連性
（県立博物館、次いで国立博物館で学芸員として歴史・文化財の調査・研究・展示に携わった経験を有する教員が、地元出身者が大半を占める学生に対して、福井を中心とする歴史と地域文化について解説し、それらを保存・継承が地域発展に資することを考えさせる。）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

テキスト：『文化財からみる　越前市の歴史文化図鑑』（監修）橋本政宣・久保智康　越前市
※第2回目の授業時に販売

その他（受講上の注意）

できる限り前列の席で受講すること。画像を使用するが、漫然と見ているだけでなく、要点を極力ノートすること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人権と法 (Human Rights and Law)			担当教員	早川　秋子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1220	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目 人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

市民生活における契約、損害賠償、家族の様々な視点から身近な法を整理する。

授 業 の 到 達 目 標

現代における多様な社会問題を取り上げ、相互に交錯する権利の実現を、いかにして法的解決に導くのかについて、基礎的知識を修得することを目的とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク　□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：民法の全体像
　事前学習：テキスト第1章　法学の基礎知識、第2章家族と法について整理しておくこと。(12時間)
第2回：婚姻
第3回：離婚
第4回：親子
　事後学習：家族法について学んだ授業内容をノート、テキストを見直して整理しておくこと。(4時間)
　事前学習：テキスト第3章日常生活と契約に目を通しておくこと。(4時間)
第5回：成年後見
第6回：相続
第7回：相続法改正
第8回：扶養・パートナーシップ制度
　事後学習：授業で整理した事柄を復習して、分からないことがあったら、質問できるようにしておこう。(12時間)
　事前学習：民法条文に親しんでおこう(8時間)
第9回：財産法(物権と債権の違い)意思の不存在と瑕疵ある意思表示
第10回：代理制度・表見代理
第11回：物
第12回：物権的請求権・共有
　事後学習：授業で整理した事柄をノートを中心に復習しておこう。(4時間)
　事前学習：テキスト第4章損害と法を確認しておこう(4時間)
第13回：債権
第14回：担保権・債権の回収
第15回：損害賠償の請求(総まとめ)
　事後学習：日常生活の中で関わる法律について、人権保障の感覚を持ちながら、それぞれが納得できる解決へと導く方法について、各自でじっくりと考え、整理してみよう。(12時間)

授業の形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第1回：□面接授業　■遠隔授業(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第2回：□面接授業　■遠隔授業(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第3回：□面接授業　■遠隔授業(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第4回：□面接授業　■遠隔授業(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第5回：□面接授業　■遠隔授業(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第6回：□面接授業　■遠隔授業(■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)

第７回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

総まとめレポート（15回終了後に提出）70％ 課題（小レポート）30％

成　績　評　価　基　準

日常生活において起こる様々な事柄やニュースを的確に理解し、法的解決に導くことができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

田中敦子・大野正博編『法学入門』（第２版）成文堂 2021年

その他（受講上の注意）

集中講義ですので、オンラインになっても短期勝負で参ります。体調に注意して受講して下さい。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

大学教育情報システム【授業に関するお知らせ】にて時間帯等を確認してください。

日本国憲法 (The Japanese Constitution)			担当教員	早川　秋子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−1221	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　人間学関連科目

求める学習成果(教育目標)

豊かな人間性と倫理観を身につけ、幅広い視野から物事をとらえ、的確な判断を下すことができる力を養います。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

憲法の歴史を踏まえながら、憲法について判例を通して整理する。
平和主義については湾岸戦争以来の国際協調を軸として整理する。

授 業 の 到 達 目 標

立憲主義・法の支配の意味を理解し、憲法に関する基礎知識を修得する。実生活において、権利意識を持って問題解決を図ることができる能力を育成する。他者とのコミュニケーションが円滑に行える。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　□グループワーク　□発表（プレゼンテーション）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：憲法典の定義
　事前学習：授業前にテキストの1章を読み、法についての理解を深めておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、分からないことがあれば確認しておくこと。（2時間）
第2回：法の系統と立憲主義
　事前学習：テキスト8章「憲法の基本的事項とらえ方」、憲法の歴史について確認しておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、明治憲法の特色について、テキスト86頁を参考に整理しておくこと。（2時間）
第3回：権利の主体・特別な法律関係
　事前学習：権利の主体について身近な例を自分でも探してみよう。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、テキストの該当箇所を見直しておくこと。（2時間）
第4回：人権カタログ・新しい人権
　事前学習：憲法3章国民の権利義務にどんな人権が保障されているか、確認しておくこと（2時間）
　事後学習：新しい人権には何があるか確認してみよう。（2時間）
第5回：正義の実現・裁判の仕組み
　事前学習：正義とは何か、裁判の手続きについて確認しておこう。（2時間）
　事後学習：正義についてあなたの考えをまとめて整理しておくこと。（2時間）
第6回：人身の自由
　事前学習：犯罪とは何か、刑罰とは何か整理しておこう。（2時間）
　事後学習：テキストを確認して、犯罪についてまとめてみよう。（2時間）
第7回：死刑の是非
　事前学習：前回の授業で整理した事例の問題点を整理しておこう。残虐な刑罰は許されるのだろうか？（2時間）
　事後学習：授業内容を見直して自分自身の考えをまとめてみよう。（2時間）
第8回：法の下の平等
　事前学習：平等違反の違憲判決についてテキストを確認しておこう。（2時間）
　事後学習：授業で扱った判例だけでなく、他の事例も確認しておこう。（2時間）
第9回：表現の自由
　事前学習：表現の自由には、どんな問題がるか、確認しておくこと。（2時間）
　事後学習：行き過ぎた表現活動を如何に制限するか、身近な例で考えてみよう。（2時間）
第10回：信教の自由・政教分離
　事前学習：政治と宗教のあり方について、どんな問題があるか考えてみよう。（2時間）
　事後学習：靖国神社公式参拝問題について、しっかり整理しておこう。（2時間）

第11回：平和主義
事前学習：湾岸戦争以後の国際情勢の動きを確認しておこう。（２時間）
事後学習：平和を実現するために何をすべきか、憲法改正も含めて考えてみよう。（２時間）
第12回：社会権
事前学習：社会福祉の現場で、どんな問題が起こっているか整理しておこう。（２時間）
事後学習：生活保護やその他の行政行為による問題について、授業で扱った判例以外も調べてみよう。（２時間）
第13回：統治機構
事前学習：憲法条文４章から６章までを読み込んで、わからない部分は質問できるようにしておこう（２時間）
事後学習：国を動かす法律を作ってみよう。（２時間）
第14回：地方自治の本旨
事前学習：地方公共団体に求められる活動や役割について整理しておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容を元に地域に必要なルール等について整理してみよう。（２時間）
第15回：憲法改正
事前学習：今、議論となっている改正問題について整理しておくこと。（２時間）
事後学習：改正について、自分の視点で問い直してみよう。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：□面接授業　■遠隔授業（■オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

総まとめレポート（15回終了後に提出）70%　　課題（小レポート）30%

成　績　評　価　基　準

日常生活において起こる様々な事柄やニュースを法的に理解し、自分の言葉で他者に適切に説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

田中敦子・大野正博編『法学入門』（第２版）成文堂 2021年

その他（受講上の注意）

積極的に参加する意識をもって受講して下さい。

オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人間と環境B (Human Beings and the Environment B)			担当教員	大久保　嘉雄
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2230	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　環境・健康科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

生態系の一員である人間が自然環境とどのように関わってきたのかを学び、これからどうあるべきかを考える。その基礎として、生物の生活や行動、からだのしくみを、進化の視点も交えて学ぶことにより、生物そのものと生態系の理解を深める。

授 業 の 到 達 目 標

人間がどのように自然環境と関わっていけばよいかを説明することができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：コウノトリと福井県
　事前学習：コウノトリはどんな鳥か調べておくこと。（2時間）
　事後学習：他県のコウノトリの放鳥についてまとめておくこと。（2時間）
第2回：コウノトリの復活と生態系の保全
　事前学習：トキの放鳥について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：コウノトリが福井県に定着するために必要な施策をまとめておくこと。（2時間）
第3回：ニホンオオカミの絶滅とツキノワグマの捕殺問題（アンブレラ種、キーストーン種）
　事前学習：ツキノワグマとヒグマのちがいを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：絶滅危惧種1種以上を例に、生態系で果たす役割をまとめておくこと。（2時間）
第4回：外来生物と生態系の保全（生態的地位、遺伝子交雑）
　事前学習：外来生物を3種類あげ、その移入経緯や影響などを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：日本から外国へ広がった外来生物1種以上を例に、その移入経緯や影響ついてまとめておくこと。（2時間）
第5回：生物多様性の確保（国際条約、遺伝子かく乱）
　事前学習：出身県または福井県のラムサール条約の湿地について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：身近で生物多様性に取り組んでいる活動をまとめておくこと。（2時間）
第6回：小レポート、視覚と行動（眼の進化、白目と意思疎通）
　事前学習：第1回から第5回までの講義内容をまとめておき、小レポートに備える。（2時間）
　事後学習：イヌやネコなどの身近な動物の白日の有無や、目と目を合わせたときの反応や行動をまとめておくこと。（2時間）
第7回：色覚と進化（色覚と行動様式）
　事前学習：ヒトの色を感じるしくみについて調べておくこと。（2時間）
　事後学習：2色型色覚動物の日常生活を疑似体験して起きたことをまとめておくこと。（2時間）
第8回：動物の生活と行動（食べる心配、食べられる心配）
　事前学習：食物連鎖におけるエネルギーの流れや生態ピラミッドを調べておくこと。（2時間）
　事後学習：食物連鎖における一次消費者から高次の消費者をそれぞれ1種以上を例に、その生き方を食べる心配と食べられる心配という観点から説明できるようにまとめておくこと。（2時間）
第9回：生物を理解する三つの視点（形態、生活場所、生活のしかた）
　事前学習：主な進化論について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：野外の動物1種以上を例に、その形態と生活場所、生活のしかたを関連させて説明できるようにまとめておくこと。（2時間）

第10回：骨格と進化（外骨格と内骨格、気管と循環系）
事前学習：この１週間に出会った生き物を、内骨格と外骨格、無脊椎動物に分類しておくこと。（２時間）
事後学習：事前学習であげた動物を動物の系統樹にあてはめ、その動物の身体を支えるしくみを説明できるようにまとめておくこと。（２時間）
第11回：動物の社会、人間の社会（社会性動物、利己的な遺伝子）
事前学習：群れをつくる動物１種以上を例に、その社会構造を調べておくこと。（２時間）
事後学習：ハダカデバネズミの社会構造をまとめておくこと。（２時間）
第12回：人間と食物（栽培植物の起源、発酵食品）
事前学習：身近な野菜の原産地やその栽培方法を調べておくこと。（２時間）
事後学習：日本原産の野菜や果物をそれぞれ１種以上を例に、その原種や品種などをまとめておくこと。（２時間）
第13回：人間は科学をどのように生かすのか（バイオテクノロジー、ノーベル賞医学生理学賞）
事前学習：遺伝子組み換え不使用の表示のある食品とその原料を調べておくこと。（２時間）
事後学習：発酵食品１種以上の作り方や、ｉＰＳ細胞の臨床的な応用をまとめておくこと。（２時間）
第14回：日本人の起源とヒトの進化
事前学習：縄文時代と弥生時代の年代や特徴を調べておくこと。（２時間）
事後学習：縄文人顔と弥生人顔の特徴から、家族や友人などを観察してまとめておくこと。（２時間）
第15回：地球の環境問題、身近な植物の利用
事前学習：COP25の動向を調べておくこと。（２時間）
事後学習：地球の温暖化の原因とその対をまとめておくこと。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（40%）、各回の課題と小テストおよび平常点（60%）

成　績　評　価　基　準

生物の生活や行動、社会、からだのしくみを説明することができるか。その際に、進化の視点が入っているか。
生態系における、生物と自然環境の関係を説明することができるか。
人間の自然環境への影響を説明し、今後の関わり方を論じることができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
・経歴 （元高校教諭） ・実務経験と授業内容との関連性 （学校現場における教員経験を有する教員が、「人間はどのようの自然環境と関わるべきか」を、生物の生活や行動、生態系、生物多様性などを進化の視点を交えて解説する。）
テキスト、参考図書
必要に応じて、講義用資料を配付したり、参考図書等を指示します。
その他（受講上の注意）
講義資料にはコメントを書いて返却します。遅刻の時間や回数に応じて欠席と見なすことがあります。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ふくい総合学 (General Studies of Fukui)			担当教員	鳴瀬　碧、杉島　一郎、橋本　武志、 鈴木　智子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2232	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　環境・健康科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本授業は、様々な分野・専門領域における「ふくい」についての現況の課題や行政施策等の理解促進を目的とする。特に「ふくい」の中の「越前市」に焦点をあて、市職員を招聘し、学生へ市計画等の事業の現状、将来構想、施策の特徴を講義し、「市を取り巻く状況」に始まり、「戦略的取組」「行政課題」や「今後の展望」などを取り上げる。後半は、本学各学科各領域からの視点で越前市や地域との関連性について取り上げ、大学の立地自治体の特徴、文化の理解を深めてもらえるような内容となっている。

授　業　の　到　達　目　標

本学が立地する自治体である「越前市」の特徴や行政全般、さらには独自の文化等に対しての理解が深まる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：「ふくい総合学」趣旨説明＜ 総論＞越前市を取り巻く状況
　事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容を振り返り、e-learningを通じてリフレクションを実施すること。（2時間）
第2回：戦略的取り組み＜まちづくり編＞コウノトリと里山の人たちとの共生、かこさとしさんと読書のまち宣言
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第3回：戦略的取り組み＜福祉編＞検診を受けよう　新しい健康づくり、子どもの笑顔が輝く環境づくり
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第4回：戦略的取り組み＜文化編＞国府が置かれた歴史あるまちづくり、たけふ菊人形のあゆみ
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第5回：戦略的取り組み＜産業編＞越前市の産業活性化（産業活性化プラン・工芸の里構想）
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第6回：戦略的取り組み＜環境編＞下水道事業で人と環境のネットワークづくり、もったいない！捨てないで資源回収しよう
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第7回：行政課題（1）地域が支える災害に強いまちづくり、まちづくりと交通体系
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第8回：行政課題（2）越前市の財政、越前市で暮らそう！～新生活を始めるなら中心市街地がおすすめ～
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第9回：行政課題（今後）オープンデータを利用したまち情報の発信、きくりんがちょっといいこと教えちゃうリン！～越前市の嬉しい情報をお届けします～
　事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）

第10回：行政課題（展望）市民協働プロセスの確立、市民交流・ネットワークづくり
事前学習：授業前に越前市に関する資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（２時間）
第11回：心理学の視点から（心理学科教員）
事前学習：授業前に資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（２時間）
第12回：コミュニケーション学の視点から（コミュニケーション学科教員）
事前学習：授業前に資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（２時間）
第13回：健康栄養学の視点から（健康栄養学科教員）
事前学習：授業前に資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（２時間）
第14回：子ども教育学の視点から（子ども教育学科教員）
事前学習：授業前に資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（２時間）
第15回：まとめ（とりまとめ教員）
事前学習：授業前に14回までを振り返り、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じて授業全体のリフレクションを実施すること。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート（60％）　平常点（40％）
（平常点は、授業時のリアクションペーパー、受講態度等を総合して判断する。）

成　績　評　価　基　準

「越前市の人とまち、その文化」というテーマで、「越前市の取組み」についての現況の課題や今後の施策内容等を理解できたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

毎回プリントを配布。

その他（受講上の注意）
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語Ⅱa (English Ⅱa)			担当教員	Mクズィフ、フッド晴美、山口　和代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2241	1単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

Following a 'Warm-up' activity to introduce the theme of the unit, students will be introduced to the relevant grammar and vocabulary through a series of listening and speaking exercises.
Reading and writing exercises will follow to reinforce their knowledge of the material.

授 業 の 到 達 目 標

Expanding upon the material covered in English I a and I b, further attention will be given to developing the four core skills of language proficiency.
Students will continue to develop the speaking skills necessary to express themselves in general areas of conversation, such as talking about their daily lives and exchanging personal information.
Listening practice will focus on listening for key words and specific information.
Reading exercises will focus on the important skills of skimming for general understanding as well as scanning for specific information.
Writing activities will center on developing the student's ability to express his or her own thoughts and opinions in an easy-to-understand manner.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Class Introduction（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること（30分）
第2回：Unit 1 - Hobbies ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること（30分）
第3回：Unit 1 - Hobbies ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること（30分）
第4回：Unit 2 - Clothes and Colors ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること（30分）
第5回：Unit 2 - Clothes and Colors ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること（30分）
第6回：Unit 3 - An Active Life ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること（30分）
第7回：Unit 3 - An Active Life ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること（30分）
第8回：Review（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること（30分）

第９回：Unit ４ - Getting Around ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること（30分）
第10回：Unit ４ - Getting Around ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること（30分）
第11回：Unit ５ - Personality ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること（30分）
第12回：Unit ５ - Personality ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること（30分）
第13回：Unit ６ - Cooking ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること（30分）
第14回：Unit ６ - Cooking ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること（30分）
第15回：Review（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて調べること（30分）
第16回：Examination（インタビューテスト、スピーチ）
Before each unit, students are to familiarize themselves with the class material by reviewing the 'Grammar Talk' pages for each unit and completing the exercises on those pages. Students must also complete homework assignments as instructed by their teacher, such as the written assignments suggested in the textbook as well as other relevant assignments.

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

Outside-class Assignments - 20%
Proactive In-class Participation - 20%
Examination - 60%

成　績　評　価　基　準

Students' abilities to participate in conversations and express opinions on a variety of subjects will be evaluated as well as their abilities to express opinions in written form and to comprehend reading passages.

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
Stempleski, Susan. Stretch 2. Oxford University Press. 2014.　ISBN 978-0-19-460313-3 TEXT加藤　『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 朝日新聞出版 2017年
その他（受講上の注意）
Students are encouraged to take the TOEIC during their studies at the university. Also, at least one class will be held in the E-Lounge (E-301) or CALL (E-303) during the semester to familiarize the students with the latest available English self-study materials.
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語Ⅱb (EnglishⅡb)			担当教員	Mクズィフ、フッド晴美、山口　和代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2242	1単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

Following a 'Warm-up' activity to introduce the theme of the unit, students will be introduced to the relevant grammar and vocabulary through a series of listening and speaking exercises.
Reading and writing exercises will follow to reinforce their knowledge of the material.

授 業 の 到 達 目 標

Expanding upon the material covered in English I a and I b, further attention will be given to developing the four core skills of language proficiency.
Students will continue to develop the speaking skills necessary to express themselves in general areas of conversation, such as talking about their daily lives and exchanging personal information.
Listening practice will focus on listening for keywords and specific information.
Reading exercises will focus on the important skills of skimming for general understanding as well as scanning for specific information.
Writing activities will center on developing the student's ability to express his or her own thoughts and opinions in an easy-to-understand manner.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Class Introduction（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第2回：Unit 7 - Weather ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第3回：Unit 7 - Weather ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第4回：Unit 8 - Everyday Activities ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第5回：Unit 8 - Everyday Activities ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第6回：Unit 9 - Math, history, and art ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第7回：Unit 9 - Math, history, and art ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）

第 8 回：Review（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第 9 回：Unit 10 - A busy semester ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第10回：Unit 10 - A busy semester ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第11回：Unit 11 - Favors and requests ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第12回：Unit 11 - Favors and requests ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第13回：Unit 12 - Before you travel ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第14回：Unit 12 - Before you travel ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第15回：Review（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第16回：Examination
Before each unit, students are to familiarize themselves with the class material by reviewing the 'Grammar Talk' pages for each unit and completing the exercises on those pages. Students must also complete homework assignments as instructed by their teacher, such as the written assignments suggested in the textbook as well as other relevant assignments.

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第 1 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 2 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 3 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 4 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 5 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 6 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 7 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 8 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第 9 回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

Outside-class Assignments - 20%
Proactive In-class Participation - 20%
Examination - 60%

成　績　評　価　基　準

Students' abilities to participate in conversations and express opinions on a variety of subjects will be evaluated as well as their abilities to express opinions in written form and to comprehend reading passages.

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Stempleski, Susan. Stretch 2. Oxford University Press. 2014.　ISBN 978-0-19-460313-3
TEXT加藤　『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 朝日新聞出版 2017年

その他(受講上の注意)

Students are encouraged to take the TOEIC during their studies at the university.

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報活用 a (Information Utilization a)			担当教員	竹村　順吾
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2152	2 単位	1 年前期・ 2 年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

実習によってWordの機能と操作を理解し、大学生活やビジネス場面において有効に活用できる能力を獲得することを目指す。

授 業 の 到 達 目 標

Wordの操作に習熟し、社会で求められる文書作成や情報活用の能力を獲得する。技能の取得基準としてはマイクロソフト社のOffice Specialist試験（MOS）に合格できるレベルを目標とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

テキストに従って実習を進めるほか、eラーニングにて資料を配付する。
第 1 回：概説、MOS試験について、Wordの基本操作
　　事前学習：Wordについて予習（2 時間）
　　事後学習：パソコン環境を整える、課題提出（2 時間）
第 2 回：第 1 章 文書の管理（1）
　　事前学習：テキスト第 1 章の前半を読んで予習（2 時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2 時間）
第 3 回：第 1 章 文書の管理（2）
　　事前学習：テキスト第 1 章の後半を読んで予習る（2 時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2 時間）
第 4 回：第 2 章 文字、段落、セクションの挿入と書式設定
　　事前学習：テキスト第 2 章を読んで予習（2 時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2 時間）
第 5 回：第 3 章 表やリストの管理
　　事前学習：テキスト第 3 章を読んで予習（2 時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2 時間）
第 6 回：第 4 章 参考資料の作成と管理
　　事前学習：テキスト第 4 章を読んで予習（2 時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2 時間）
第 7 回：第 5 章 グラフィック要素の挿入と書式設定
　　事前学習：テキスト第 5 章を読んで予習（2 時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2 時間）
第 8 回：第 6 章 文書の共同作業の管理
　　事前学習：テキスト第 6 章を読んで予習（2 時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2 時間）
第 9 回：総合練習問題 1
　　事前学習：模擬テスト問題 1 を試行する（2 時間）
　　事後学習：模擬テスト問題 1 を実行して復習、課題提出（2 時間）

第10回：総合練習問題２
　　事前学習：模擬テスト問題２を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題２を実行して復習、課題提出（２時間）
第11回：総合練習問題３
　　事前学習：模擬テスト問題３を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題３を実行して復習、課題提出（２時間）
第12回：総合練習問題４
　　事前学習：模擬テスト問題４を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題４を実行して復習、課題提出（２時間）
第13回：総合練習問題５
　　事前学習：模擬テスト問題５を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題５を実行して復習、課題提出（２時間）
第14回：総復習問題
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習、課題提出（２時間）
第15回：総復習問題（特に不得手なスキルについて）
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習、課題提出（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（60%）　課題（20%）　平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

実習と課題を充分に行い、MOSに合格できるレベルの技術を獲得できたかどうか。期末に学内で実施されるMOS試験に合格した場合、定期試験も合格と同等以上の扱いとする。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

『MOS攻略問題集Word 365&2019』　日経BP　2020年

その他（受講上の注意）
テキスト必携必須
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報活用b (Information Utilization b)			担当教員	竹村　順吾
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2153	2単位	1年後期・ 2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

実習によってExcelの機能と操作を理解し、大学生活やビジネス場面において有効に活用できる能力を獲得することを目指す。

授 業 の 到 達 目 標

Excelの操作に習熟し、社会で求められる文書作成や情報活用の能力を獲得する。技能の取得基準としてはマイクロソフト社のOffice Specialist試験（MOS）に合格できるレベルを目標とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

テキストに従って実習を進めるほか、eラーニングにて資料を配付する。
第1回：概説、MOS試験について、Excelの基本操作
　事前学習：Excelについて予習（2時間）
　事後学習：パソコン環境を整える、課題提出（2時間）
第2回：第1章 ワークシートやブックの管理（1）
　事前学習：テキスト第1章の前半を読んで予習（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第3回：第1章 ワークシートやブックの管理（2）
　事前学習：テキスト第1章の後半を読んで予習（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第4回：第2章 セルやセル範囲のデータの管理（1）
　事前学習：テキスト第2章の前半を読んで予習（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第5回：第2章 セルやセル範囲のデータの管理（2）
　事前学習：テキスト第2章の後半を読んで予習（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第6回：第3章 テーブルとテーブルのデータ管理
　事前学習：テキスト第3章を読んで予習（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第7回：第4章 数式や関数を使用した演算の実行
　事前学習：テキスト第4章を読んで予習（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第8回：第5章 グラフの管理
　事前学習：テキスト第5章を読んで予習（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第9回：総合練習問題1
　事前学習：模擬テスト問題1を試行する（2時間）
　事後学習：模擬テスト問題1を実行して復習、課題提出（2時間）
第10回：総合練習問題2
　事前学習：模擬テスト問題2を試行する（2時間）
　事後学習：模擬テスト問題2を実行して復習、課題提出（2時間）

第11回：総合練習問題３
　　事前学習：模擬テスト問題３を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題３を実行して復習、課題提出（２時間）
第12回：総合練習問題４
　　事前学習：模擬テスト問題４を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題４を実行して復習、課題提出（２時間）
第13回：総合練習問題５
　　事前学習：模擬テスト問題５を試行する（２時間）
　　事後学習：模擬テスト問題５を実行して復習、課題提出（２時間）
第14回：総復習問題
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習、課題提出（２時間）
第15回：総復習問題（特に不得手なスキルについて）
　　事前学習：実力診断テスト問題を試行する（２時間）
　　事後学習：実力診断テスト問題を実行して復習、課題提出（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（60%）　提出課題（20%）平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

実習と課題を充分に行い、MOSに合格できるレベルの技術を獲得できたかどうか。期末に学内で実施されるMOS試験に合格した場合、定期試験も合格と同等以上の扱いとする。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

『MOS攻略問題集 Excel 365&2019』　日経BP　2020年

その他（受講上の注意）

テキスト必携必須

オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報処理演習 a (Information Processing Practicum a)			担当教員	竹村　順吾
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2250	2 単位	2 年前期・ 3 年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

情報技術の基礎とその社会における利用について学び、情報技術を有効に活用するための知識と態度を習得する。

授 業 の 到 達 目 標

一般企業などにおける情報システムの利用者側としての必要な知識技能を主に習得し、業務の情報化を推進できる幅広い活用能力の獲得を目指す。
本授業では、情報処理技術者試験の一つである「ITパスポート試験（iパス）」に合格できるレベルの知識と技能を獲得することを目標とする。
参考　IT パスポート試験シラバス
https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/about/range.html

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第 1 回：概説、第 1 章 企業と法務（1）
　事前学習：テキスト「試験の概要」「1-1-1」「1-1-2」を読み予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第 2 回：第 1 章 企業と法務（2）
　事前学習：テキスト「1-1-3」を読み予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第 3 回：第 1 章 企業と法務（3）
　事前学習：テキスト「1-2」を読み予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第 4 回：第 2 章 経営戦略
　事前学習：テキスト「2-1」〜「2-3」を読み予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第 5 回：第 3 章 システム戦略
　事前学習：テキスト「3-1」〜「3-2」を読み予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第 6 回：第 4 章 開発技術
　事前学習：テキスト「4-1」〜「4-2」を読み予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第 7 回：第 5 章 プロジェクトマネジメント
　事前学習：テキスト「5-1」を読み予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第 8 回：第 6 章 サービスマネジメント
　事前学習：テキスト「6-1」〜「6-2」を読み予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第 9 回：第 7 章 基礎理論（1）
　事前学習：テキスト「7-1」を読み予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）

第10回：第７章 基礎理論（２）
　　事前学習：テキスト「7-2」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（２時間）
第11回：第８章 コンピュータシステム
　　事前学習：テキスト「8-1」～「8-4」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（２時間）
第12回：第９章 技術要素（１）
　　事前学習：テキスト「9-1」～「9-2」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（２時間）
第13回：第９章 技術要素（２）
　　事前学習：テキスト「9-3」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（２時間）
第14回：第９章 技術要素（３）
　　事前学習：テキスト「9-4」～「9-5」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（２時間）
第15回：第10章 表計算、CBT試験対策
　　事前学習：テキスト「10-1」～「10-3」、「CBT試験対策」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（２時間）
　　ITパスポート試験疑似体験用ソフトウェアで過去問題を試行（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（80%）　演習課題（10%）　平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

ITパスポート試験に合格できるレベルの知識と技能を獲得できたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

・経歴
（インターネット関連企業勤務）
・実務経験と授業内容との関連性
（IT関連企業でマーケティングや開発経験を有する教員が、社会におけるＩＴ技術の役割を実例豊富に紹介し、企業で求められる実践的リテラシーとスキルを解説する。）

テキスト、参考図書

テキスト
『令和４-５年度版　ITパスポート試験　対策テキスト＆過去問題集』 FOM出版　2021年
参考図書
『令和04年 イメージ＆クレバー方式でよくわかる 栢木先生のITパスポート教室』 技術評論社　2021年
『【令和４年度】いちばんやさしいITパスポート 絶対合格の教科書+出る順問題集』 SBクリエイティブ　2022年

その他（受講上の注意）

テキスト必携必須

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報処理演習b (Information Processing Practicum b)			担当教員	竹村　順吾
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2251	2単位	2年後期・ 3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

情報技術の基礎とその社会における利用について学び、情報技術を有効に活用するための知識と態度を習得します。

授 業 の 到 達 目 標

一般企業などにおける情報システムの利用者側としての必要な知識技能を主に習得し、業務の情報化を推進できる幅広い活用能力の獲得を目指す。
本授業では、情報処理技術者試験の一つである「ITパスポート試験（iパス）」に合格できるレベルの知識と技能を獲得することを目標とする。
参考　IT パスポート試験シラバス
https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/about/range.html

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

テキストを順次進めるほか、前回課題の解説を行う
第1回：概説、第1章 企業と法務（1）
　　事前学習：Lesson01〜8を読み、予習する（2時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（2時間）
第2回：第1章 企業と法務（2）、課題解説
　　事前学習：Lesson09〜16を読み、予習する（2時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（2時間）
第3回：第2章 経営戦略（1）、課題解説
　　事前学習：Lesson17〜22を読み、予習する（2時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（2時間）
第4回：第2章 経営戦略（2）、課題解説
　　事前学習：Lesson23〜29を読み、予習する（2時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（2時間）
第5回：第3章 システム戦略、課題解説
　　事前学習：Lesson30〜37を読み、予習する（2時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（2時間）
第6回：第4章 開発技術、課題解説
　　事前学習：Lesson38〜47を読み、予習する（2時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（2時間）
第7回：第5章 プロジェクトマネジメント、第6章 サービスマネジメント、課題解説
　　事前学習：Lesson48〜57を読み、予習する（2時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（2時間）
第8回：第7章 基礎理論、課題解説
　　事前学習：Lesson58〜65を読み、予習する（2時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（2時間）
第9回：第8章 コンピュータシステム（1）、課題解説
　　事前学習：Lesson66〜72を読み、予習する（2時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（2時間）

第10回：第８章 コンピュータシステム（２）、課題解説
　　事前学習：Lesson73～80を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（２時間）
第11回：第９章 技術要素（１）、課題解説
　　事前学習：Lesson81～90を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（２時間）
第12回：第９章 技術要素（２）、課題解説
　　事前学習：Lesson91～99を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（２時間）
第13回：第９章 技術要素（３）、課題解説
　　事前学習：Lesson100～106を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（２時間）
第14回：第９章 技術要素（４）、課題解説
　　事前学習：Lesson107～112を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（２時間）
第15回：第10章 疑似言語、課題解説
　　事前学習：Lesson113～116を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（２時間）
　　ITパスポート試験疑似体験用ソフトウェアで過去問題を試行（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）　演習課題（20%）　平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

ITパスポート試験に合格できるレベルの知識と技能を獲得できたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

・経歴
（インターネット関連企業勤務）
・実務経験と授業内容との関連性
（IT関連企業でマーケティングや開発経験を有する教員が、社会におけるＩＴ技術の役割を実例豊富に紹介し、企業で求められる実践的リテラシーとスキルを解説する。）

テキスト、参考図書
テキスト 『 令和04-05年 ITパスポート 試験によくでる問題集』 技術評論社　2022年 参考図書 『令和 4 - 5 年度版　ITパスポート試験　対策テキスト＆過去問題集』 FOM出版　2021年
その他（受講上の注意）
テキスト必携必須 前期の「情報処理演習a」を受講している者を前提としている。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

キャリア・デザインⅡ（Career Design Ⅱ）			担当教員	升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2261	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果（教育目標）

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

社会の中での役割を主体的に果たしたながら、「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できる機会の提供を通じて、今後の大学生活の目標を設定する。

授 業 の 到 達 目 標

・「はたらく」ことの意味・意義について、十分に考えることができる。
・「はたらく」ことと大学生活での「学び」を関連づけて考えることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：キャリア・デザインとは
　事前学習：初回の授業ではキャリア・デザインの意味・意義について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたライフストーリーについて、レポートにまとめておくこと。（2時間）
第2回：スキルアップ
　事前学習：スキルと資格について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：ライフストーリーⅠ
　事前学習：ゲストスピーカーのライフストーリーについて考えるため、自分なりに調べておくこと。（2時間）
　事後学習：事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：ライフストーリーⅡ
　事前学習：ゲストスピーカーのライフストーリーについて考えるため、自分なりに調べておくこと。（2時間）
　事後学習：事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：ライフストーリーⅢ（グループワーク・発表）
　事前学習：各自調査したライフストーリーについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：職業理解Ⅰ
　事前学習：金融業界について考えるため、自分なりに調べておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
※金融業界は予定です（変更する場合があります）。

第７回：職業理解Ⅱ
事前学習：マスコミ業界について考えるため、自分なりに調べておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
※マスコミ業界は予定です（変更する場合があります）。
第８回：職業理解Ⅲ
事前学習：流通・小売業界について考えるため、自分なりに調べておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
※流通・小売業界は予定です（変更する場合があります）。
第10回：「はたらく」とは
事前学習：「はたらく」ことの意味・意義について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：ライフ・デザイン
事前学習：ライフ・デザインについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：インターンシップ
事前学習：インターンシップ参加の意義について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：就職活動
事前学習：就職活動の心がまえについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：労働法
事前学習：労働法について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：「はたらく」ことと大学生活での「学び」について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題に対する活動内容・提出物・レポート（70％）、平常点（30％）
※平常点：授業への参加状況・受講態度等を総合して判断するもの

成　績　評　価　基　準

・「はたらく」ことの意味・意義について、十分に考えることができるか。
・「はたらく」ことと大学生活での「学び」を関連づけて考えることができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（リアクションペーパーに対するフィードバックについて）
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

企業（業種：情報通信、社員数：約26万人）の管理職（主な担当業務：人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システム コンサルタント等）経験のある教員が、社会の中での役割を主体的に果たしながら「自分らしい生き方」を実現するための力を育むことを目的とし、学生の自立および学生が自身の様々な可能性を発見・再確認できるような機会を提供する。

テキスト、参考図書

必用に応じて、授業中に提示します。

その他(受講上の注意)

「授業の計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、変更する場合があります。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(ボランティア)(心理) (Fieldwork Practice - Volunteer)			担当教員	大森　慈子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2163	2単位	1年～4年	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

学内外でのボランティア活動、社会的イベントなどへの参画や参加を通し、実際の地域社会における直接的体験を得て、優れた社会人となるための自己認識、自己啓発の機会とする。当該活動や体験の意義と内容をよく理解し、取り組み後には自身の経験と反省点を具体的に報告する。

授　業　の　到　達　目　標

■ボランティアの社会的意義を理解する。
■必要な情報の収集と課題の解決に、積極的に取り組むことができる。
■活動内容の記録と考察によって、自己の役割と能力を広げる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

活動内容と時期によって計画と学習方法は異なるが、概ね下記に従う。なお、活動は前期に行われる場合、後期に行われる場合、前後期通して行われる場合が想定される。
1．ガイダンス（2時間）
2．活動参加の計画呈示（2時間）
3．活動の実施（24時間以上）
4．活動報告（2時間）
・事前学習（30時間）：活動に関する情報収集、活動に求められる課題、活動報告の準備など。
・事後学習（30時間）：活動記録の執筆、活動における課題の整理など。

授業の形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

活動や取り組みの状況（50%）、報告書またはプレゼンテーション（50%）

成　績　評　価　基　準

■ボランティアの社会的意義を理解しているか。
■必要な情報の収集と課題の解決に、積極的に取り組むことができたか。
■活動内容の記録と考察によって、自己の役割と能力を広げられるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（活動報告に対するフィードバックについて）
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（報告時）

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

使用しない。

その他(受講上の注意)

■履修登録については、通常の受講登録手続きを要しない（ガイダンス時に説明）。
■履修にあたっては、必ず担当教員へ問い合わせること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(ボランティア)(コミュニケーション) (Fieldwork Practice - Volunteer)			担当教員	小川　　慶
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2163	2単位	1年～4年	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

本プログラムには、学内外でのボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験が含まれる。教室や研究室で学習や研究をするのではなく、実際に社会での直接的体験を通して、優れた社会人となるための自己認識、自己啓発の機会とすることを目的とする。担当教員や活動支援団体による説明会への参加をもとに受講の意思を明らかにし、プログラムへの参加とする。
なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目である。

授　業　の　到　達　目　標

・それぞれが今後学ぶ、または学んでいることの社会的意義を見いだすことができる。
・学生間はもとより、地域社会で仕事や生活をしている社会人とのコミュニケーションが、円滑に行える。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

地域社会からのニーズを元にプログラムを立てるため、その解決すべき課題を元に授業計画を設定する。
1．事前ガイダンスの実施と計画の提示（2時間）
2．現地にて研修（26時間以上）
3．事後報告として、レポート・プレゼンテーション等の実施，課題に関連する情報の収集（2時間）

・事前学習（30時間）…受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組み。レポート・プレゼンテーションの準備など。
・事後学習（30時間）…研修記録の執筆、受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組みなど。

授業の形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

活動や取り組みの状況（50%）、レポートまたはプレゼンテーション（50%）

成　績　評　価　基　準

課題について、的確な視点を持ち、その解決に向けて自身の考察による提案ができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
5）その他（上記以外の内容に対するフィードバックについて）
□授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

使用しない。

その他（受講上の注意）

本科目の履修登録については、それぞれの担当教員がガイダンスなどを実施し、各プログラムの参加者をもって受講者とするため、通常の受講登録手続きを要しない。
※個人参加のボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験等も対象とする場合があるので、受講希望者は、事前に科目担当者へ問い合わせること。
※単位認定については、参加するボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションのプログラム終了後、担当教員より課される課題等を全て提出し、単位認定するにあたり適当であると認めた場合のみとする。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(国際交流) (Fieldwork Practice - International Exchange)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2164	2単位	1年～4年	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

原則としてアメリカ・カリフォルニア州立大学フラトン校（本学姉妹校）での集中講義（2週間）の形式で実施するが、英語教育センターで承認を受けた場合は個人留学による語学研修でも履修可能である。フラトン校での集中講義では、授業あるいはワークショップの参加・見学、キャンパス内外での視察、クラブ活動参加、観光等を通じて国際交流を体験し、以後の学修・研究のための動機付けを得ることを目指す。前期に事前授業10回・後期に事後授業5回を実施する。

授業の到達目標

・学外における自主的な活動や体験を通して、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得する。
・「仁愛大学海外短期研修プログラム（2週間）」への参画体験演習を通して、以後の学修・研究のための動機付けを得る。
・異文化理解を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

事前学習（30時間）
・全体説明会（目的、日程、研修内容、宿泊、準備物［パスポート、航空券、クレジットカードなど］）
・ビザの申請
・ホストファミリーへの紹介文
・研修地に関する事前学習
・場面別英会話の学習
・プレゼンテーションの準備・練習
・プレースメントテスト
・経験者の話・質疑応答
・最終確認
＜集中講義（夏期休暇中）＞
留学（40時間）
・英語の授業（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング、文法、語彙など）
・日本語の指導
・文化施設見学
・ホストファミリーとの交流（ホームステイ）
・体験ツアー
・歴史、文化授業参加、ディスカッション
・他の大学生との交流

事後学習（30時間）
・研修のふりかえり・レポート
・プレゼンテーション準備
・体験報告会

授業の形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

事前授業の取り組み（30%）、現地評価（50%）、事後授業の取り組み、およびレポート課題（20%）を総合評価する。

成　績　評　価　基　準

学外における自主的な活動や体験をとおして、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得できたか。
学修・研究のための動機付けを得て、優れた社会人となるための自己認識を深めることができたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

特になし

その他(受講上の注意)

受講生が少ない場合、非開講とすることがある。本科目の履修登録については、担当教員等が行うガイダンスおよび本プログラム参加をもって履修登録とするため、通常の履修登録手続きを要しない。
【フラトン校・アルバータ大学での集中講義以外の履修について】
履修要件：　英語教育センターで（１）～（４）を行うこと
（１）留学相談（留学先・方法など決定）
（２）審査　　（本科目としての適切性）
（３）事前指導（提出書類準備・渡航準備）
（４）事後指導（必要な課題提出・発表・単位認定審査）
研修期間：　夏期休暇期間または春期休暇期間
単位認定時期：　夏期休暇期間の場合は当該年度後期、春期休暇期間の場合は翌年度前期
※卒業年次生は、夏期休暇中の実施のみ

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学実験 (Psychological Experiments)			担当教員	山本　雅代、森本　文人、山岸　厚仁、 青井　利哉、田中　千晶
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-F-2205	2単位	2年前期	実験	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学が科学であることを理解し、心理的問題をどのように研究していくのか、心理学研究の実験的実証的技法における基本的方法について学ぶ。
受講者はグループごとに、ミューラリヤー錯視、鏡映描写、認知的葛藤、反応時間、触2点閾の測定、系列位置効果などの様々な実験にあたる。(数名のグループに分かれ、順次全6課題の実験を体験する)。また、実験者と被験者の両方の役割を体験する。
　上記テーマについて先行研究などの情報収集を行い、各自で研究目的に従いデータをとり、収集したデータや情報の整理、分析、考察する方法を学ぶ。また、実験ごとにレポートを提出する。これにより卒業論文を書く上で重要な科学論文の形式を習得することを目指す。

授　業　の　到　達　目　標

1)心理学における実験方法や実証方法を習得する。
2)実験結果についての整理、分析や考察ができるようになる。
3)科学論文の執筆ができるようになる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：授業前にテキストで実験についての知識を学んでおくこと。(1時間)
　事後学習：授業で扱う実験内容についてテキストや関連する本を読んでおく。(1時間)
第2回：課題1(ミューラリヤー；山本・森本・青井・山岸・田中)①　(実験)
　事前学習：授業前にテキストで「ミューラリヤー」実験の手順について確認し、関連した実験について本を読んでおくこと。(1時間)
　事後学習：データの確認、実験についてまとめる。(1時間)
第3回：課題1(ミューラリヤー；山本・森本・青井・山岸・田中)②　(実験)
　事前学習：授業前にテキストで「ミューラリヤー」実験の手順について確認し、関連した実験について本を読んでおくこと。(1時間)
　事後学習：データの確認、実験についてまとめる。(1時間)
第4回：課題1(ミューラリヤー；山本・森本・青井・山岸・田中)③　(実験)
　事前学習：授業前にテキストで「ミューラリヤー」実験の手順について確認し、関連した実験について本を読んでおくこと。(1時間)
　事後学習：データの確認、実験についてまとめる。(1時間)
第5回：課題1(ミューラリヤー；山本・森本・青井・山岸・田中)④　(実験)
　事前学習：授業前にテキストで「ミューラリヤー」実験の手順について確認し、関連した実験について本を読んでおくこと。(1時間)
　事後学習：データの確認、実験についてまとめる。(1時間)
第6回：課題2(全5課題：鏡映描写(山岸)・認知的葛藤(青井)・反応時間(森本)・触2点閾の測定(田中)・系列位置効果(山本))①　(実験・グループワーク)
　事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。(1時間)
　事後学習：データを確認、実験についてまとめる。(1時間)

第７回：課題２（全５課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））②　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第８回：課題３（全５課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））①　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第９回：課題３（全５課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））②　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第10回：課題４（全５課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））①　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第11回：課題４（全５課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））②　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第12回：課題５（全５課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））①　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第13回：課題５（全５課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））②　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第14回：課題６（全５課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））①　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
第15回：課題６（全５課題：鏡映描写（山岸）・認知的葛藤（青井）・反応時間（森本）・触２点閾の測定（田中）・系列位置効果（山本））②　（実験・グループワーク）
事前学習：テキストや関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（１時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（１時間）
実験レポートが訂正、返却された場合には必ず見直し、復習すること。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

実験終了後に提出する実験レポート、実験、授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。
【実験レポート 80%　各実験、授業への参加態度 20%】

成　績　評　価　基　準

心理学における実験方法や実証方法を習得できているか。
実験結果についての整理、分析や考察ができているか。
科学論文の執筆ができているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

（1）『心理学研究のためのレポート・論文の書き方マニュアル』 瀬谷安弘・天野成昭　ナカニシヤ出版　2020年
（2）『実験とテスト＝心理学の基礎（実習編）』 心理学実験市道研究会　培風館　1985年
その他、授業時プリント配布

その他(受講上の注意)

第1回目の授業（オリエンテーション）は必ず閲覧すること。受講に際しての注意事項があります。
実験ごとに課題の提出、レポート提出があります。各教員の指示に従って提出して下さい。またレポートの提出期限は必ず守ること。再提出等の指示がありますので連絡事項には注意して下さい。連絡を直接メールで行うことがありますので、自分の携帯アドレスを変更した場合には必ず大学に登録したアドレスも変更して下さい。
実験や実験の分析について分からないことが有る場合、先生に質問することは勿論ですが、ヘルプデスクを利用して下さい。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理測定実習 (Practice of Psychological Measurement)			担当教員	大森　慈子、森本　文人、山岸　厚仁
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2206	2単位	2年後期	実験	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心の測定における実験の意義を学習すると同時に、少人数グループで基本的な心理学実験をすることによって、心と行動を測定する際の様々な問題にふれる。また、レポートの作成を繰り返すことによって、測定結果を科学的事実として報告する方法を習得する。

授 業 の 到 達 目 標

■心理学実験の基礎的技術を身につける
■測定データに対する分析方法や考察のしかたを理解する
■心理学における科学的論文の書き方を習得する

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：「心理学実験」で学習したことを見直し、質問項目をまとめておくこと。（1時間）
　事後学習：レポート作成マニュアルを熟読し、「心理学実験」で返却されたレポートを書き直す（1時間）
第2回：課題1（心的回転、または、対人距離）①
　事前学習：課題1に関する事項について予習をし、質問項目をまとめておくこと。（1時間）
　事後学習：課題1レポートの「第1章　序論」を書く。（1時間）
第3回：課題1（心的回転、または、対人距離）②
　事前学習：課題1の方法を確認して実験の実施に備え、質問項目をまとめておくこと。（1時間）
　事後学習：課題1レポートの「第2章　方法」を書く。（1時間）
第4回：課題1（心的回転、または、対人距離）③
　事前学習：課題1の結果のデータを整理しておくこと。（1時間）
　事後学習：課題1レポートの「第3章　結果」を書く。（1時間）
第5回：課題1（心的回転、または、対人距離）④
　事前学習：課題1の結果から考察をし、まとめておくこと。（1時間）
　事後学習：課題1レポートを仕上げる。（1時間）
第6回：課題2（対人距離、または、心的回転）①
　事前学習：課題2に関する事項について予習をし、質問項目をまとめておくこと。（1時間）
　事後学習：課題2レポートの「第1章　序論」を書く。（1時間）
第7回：課題2（対人距離、または、心的回転）②
　事前学習：課題2の方法を確認して実験の実施に備え、質問項目をまとめておくこと。（1時間）
　事後学習：課題2レポートの「第2章　方法」を書く。（1時間）
第8回：課題2（対人距離、または、心的回転）③
　事前学習：課題2の結果のデータを整理しておくこと。（1時間）
　事後学習：課題2レポートの「第3章　結果」を書く。（1時間）
第9回：課題2（対人距離、または、心的回転）④
　事前学習：課題2の結果から考察をし、まとめておくこと。（1時間）
　事後学習：課題2レポートを仕上げる。（1時間）

第10回：課題３（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から１つ選択）①
　　事前学習：課題３に関する事項について予習をし、質問項目をまとめておくこと。（１時間）
　　事後学習：課題３レポートの「第１章　序論」を書く。（１時間）
第11回：課題３（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から１つ選択）②
　　事前学習：課題３の方法を確認して実験の実施に備え、質問項目をまとめておくこと。（１時間）
　　事後学習：課題３レポートの「第２章　方法」を書く。（１時間）
第12回：課題３（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から１つ選択）③
　　事前学習：課題３の結果のデータを整理しておくこと。（１時間）
　　事後学習：課題３レポートの結果の図表を仕上げる。（１時間）
第13回：課題３（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から１つ選択）④
　　事前学習：課題３の検定結果の解釈をし、質問項目をまとめておくこと。（１時間）
　　事後学習：課題３レポートの「第３章　結果」を書く。（１時間）
第14回：課題３（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から１つ選択）⑤
　　事前学習：課題３の結果から考察をし、まとめておくこと。（１時間）
　　事後学習：課題３レポートの「第４章　考察」を書く。（１時間）
第15回：課題３（虚偽検出・ラットの学習・ストレス反応・短期記憶の中から１つ選択）⑥
　　事前学習：課題３の全体の流れを再確認し、レポートの書き方の見直しをしておく。（１時間）
　　事後学習：課題３レポートを仕上げる。（１時間）
＜第１回は全教員、第２－15回は４グループに分かれて、それぞれを大森・森本・山岸・伏田が担当＞
＜課題１～２は２つの課題を各４週行い、課題３は４つの中から学生が１課題を選択し６週間実施する＞
＜課題１～３は、すべて４～６人の班に分かれてグループワークとして行う実験＞

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

４課題に対するレポート（60%）　平常点（40%）
（平常点は、必要回数以上の授業への出席に対し、参加状況と態度、課題への取り組み姿勢などを総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

■心理学実験の基礎的技術が身についているか
■測定データに対する分析方法や考察のしかたを理解しているか
■心理学における科学的論文の書き方を習得しているか

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
＜参考図書＞ 日本心理学会認定心理士資格認定委員会「実験・実習で学ぶ心理学の基礎」（金子書房） 心理学実験指導研究会編「実験とテスト－実習編－」（培風館）
その他（受講上の注意）
■心理学統計法Ⅰ・Ⅱ、心理学実験の単位を修得していること ■原則として、遅刻、欠席およびレポート提出の遅延は認めない
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理的アセスメント (Psychological Assessment)			担当教員	森　俊之
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2209	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理的アセスメント（観察法、面接法、検査法）の基礎について、講義と演習を交えながら学ぶ。心理的アセスメントの目的や意義、倫理等について学んだ後、具体的な演習を交えながら、観察法、面接法、検査法について学ぶ。実習した内容については、実習結果をまとめるレポート提出が課せられ、レポートの書き方についても、学ぶ。

授　業　の　到　達　目　標

・心理的アセスメントの目的や意義、倫理等について説明できる。
・心理的アセスメントの主要な方法について、それぞれの方法の意義や特徴、限界等について説明できるとともに、基礎的なアセスメント方法の一部を実施できる。
・心理的アセスメントの結果の記録や報告ができる。
・自分自身の性格や話し方の特徴などを多角的に分析し、説明できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：心理的アセスメントの目的、意義、倫理
　事後学習：「日常におけるアセスメント」というレポートをまとめる（4時間）
第2回：観察法の理解①（講義）
　事後学習：授業で学んだ観察法のポイントをまとめる（4時間）
第3回：観察法の理解②（実習）
　事後学習：授業中の作業の続きを行う（4時間）
第4回：観察法の理解③（実習）
　事後学習：授業で体験した観察実習の結果をレポートにまとめる（4時間）
第5回：面接法の理解①（講義）
　事後学習：授業で学んだ面接法のポイントをまとめる（4時間）
第6回：面接法の理解②（実習）
　事後学習：授業中の作業の続きを行う（4時間）
第7回：面接法の理解③（実習）
　事後学習：授業で体験した面接実習の結果をレポートにまとめる（4時間）
第8回：心理検査法（講義）
　事後学習：心理検査の妥当性・信頼性についてレポートをまとめる（4時間）
第9回：知能検査の理解①（講義）
　事後学習：授業で学んだ検査を表にまとめる（4時間）
第10回：知能検査の理解②（実習）
　事後学習：授業で体験した知能検査の結果をレポートにまとめる（4時間）
第11回：質問紙人格検査の理解①（講義）
　事後学習：授業で学んだ検査を表にまとめる（4時間）
第12回：質問紙人格検査の理解②（実習）
　事後学習：授業で体験した心理検査の結果をレポートにまとめる（4時間）
第13回：投映法その他の心理検査の理解①（講義）
　事後学習：授業で学んだ検査を表にまとめる（4時間）

第14回：投映法その他の心理検査の理解②（実習）
　　事後学習：授業で体験した心理検査の結果をレポートにまとめる（4時間）
第15回：テストバッテリと総合的理解（講義）
　　事後学習：授業で学んだテストバッテリのポイントをまとめる（4時間）
第16回：期末試験
※各回（最終回を除く）とも授業の最初に、前回の授業後の事後学習の内容についての振り返り（数人の学生による発表を含む）を行う。（グループワーク）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業後に課す課題をレポート（60%）として提出してもらうとともに、学期末に筆記試験（40%）を行い、両者により評価する。実習を伴うため、出席状況や受講態度が悪い場合は、厳しく減点する。

成　績　評　価　基　準

・さまざまな心理検査の種類を理解し、それぞれの検査の効用と限界について説明できるか。
・課題として取り上げた心理検査について、実施手順や分析手順を理解し、一通り実施できるか。
・自分自身の性格について多角的に分析し、他者に説明できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

・経歴
（公認心理師，臨床心理士）
・実務経験と授業内容との関連性
（公認心理師の教員が、心理的アセスメントの基礎について、その目的や意義、倫理などを解説する。）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

＜テキスト＞願興寺礼子・吉住隆弘編「心理検査の実施の初歩」（ナカニシヤ出版、2011年発行）
そのほか、各検査毎に必要な資料を配付したり、参考図書を指示する。

その他（受講上の注意）

・実習を含むので、出席と熱心な受講態度を期待する。
・自分自身の性格等の自己開示が必要な場合がある。
・心理検査の学習者・実施者の倫理（授業時に説明）を守り、検査の知識を安易に使用しないこと。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理調査法 (Psychological Questionnaire Methods)			担当教員	竹村　明子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2211	2単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学の研究手法である質問紙調査法について理解し、実際の質問紙調査を通じて、調査票の作成から統計解析ソフトでの分析方法、レポートの書き方までを修得する。

授 業 の 到 達 目 標

①質問紙調査法の基礎的知識を習得する
②コンピュータを利用して基本的な統計解析を行うことができる。
③解析結果を基に，レポート（目的・方法・結果・考察）を作成できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（実際に調査を実施する）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション序章（質問紙法とは）
　事前学習：事前学習：シラバスを読み，心理調査法の授業について理解し，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業の内容を見直し，わからないところがあったら，図書館で調べたり，オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること（2時間）
第2回：質問紙作成の基礎1
　事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
第3回：質問紙作成の基礎2
　事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
第4回：質問紙法の実施方法
　事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
第5回：コーディングと入力
　事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
第6回：心理尺度の作成（信頼性・妥当性）
　事前学習：事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）
第7回：量的資料収集のための質問紙の作成
　事前学習：事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（2時間）

第８回：質的資料収集のための質問紙の作成
　事前学習：事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（２時間）
第９回：心理尺度の作成（質問紙調査の実施）
　事前学習：事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（２時間）
第10回：データの処理法：質的データの集計
　事前学習：事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（２時間）
第11回：データの処理法：平均値の比較１
　事前学習：事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（２時間）
第12回：データの処理法：平均値の比較２
　事前学習：事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（２時間）
第13回：データの処理法：相関分析１
　事前学習：事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（２時間）
第14回：データの処理法：相関分析２
　事前学習：事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（２時間）
第15回：レポートの書き方
　事前学習：事前学習：事前にe-ラーニング上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
　事後学習：仁愛大学e-ラーニングによる復習課題を課す（２時間）

本講義では実際に質問紙調査を行い，収集したデータを基に統計的分析やレポート（目的・方法・結果・考察）の書き方について学び，最終的にレポートの提出を求める。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

成績は授業で課された課題の内容（50%）と，まとめの課題レポートの内容（50%）により，総合的に評価をします

成　績　評　価　基　準

①質問紙調査法の基礎的知識を充分習得している。
②コンピュータを利用して基本的な統計解析を行うことができ，その解析方法が適切である。
③解析結果を基にレポート（目的・方法・結果・考察）を作成することができ，その内容が適切である。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（授業内容に応じて提出を求める課題に対するフィードバックについて）
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキストは特に設けない
参考図書：米川和雄・山崎貞政（著）超初心者向けSPSS統計解析マニュアル　北大路書房　2010年
参考図書：鎌原雅彦・宮下一博・大野木裕明・中澤潤（編著）心理学マニュアル・質問紙法　北大路書房　2006年
参考図書：小塩真司・西口利文（編）「質問紙調査の手順」ナカニシヤ出版　2014年

その他(受講上の注意)

授業時間以外にも，統計解析やレポート作成等の学習が必要になります。
各自，自律的・積極的に学習することが求められます。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

臨床心理学概論Ⅰ (Introduction to Clinical Psychology Ⅰ)			担当教員	稲木　康一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2221	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

臨床心理学の概説。
臨床心理学のなりたちと、臨床心理学の代表的な理論について学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

臨床心理学のなりたちと代表的な理論について理解し、その概要を説明することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（eラーニング、リアクションペーパー）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション（リアクションペーパー）
　事前学習：シラバスを熟読すること。（2時間）
　事後学習：テキストを購入して、「巻頭言」「はじめに」を読むこと。（2時間）
第2回：臨床心理学の歴史（日本）
　事前学習：テキスト第1章を読むこと。（2時間）
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
第3回：臨床心理学の歴史（世界）
　事前学習：テキスト第2章を読むこと。（2時間）
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
第4回：臨床心理学の定義　（グループワーク）
　事前学習：テキスト第3章を読むこと。（2時間）
　事後学習：What is Clinical Psychology ?（テキストP.33）を翻訳すること。
　　また、復習テストの準備をすること。（2時間）
第5回：臨床心理学の理論①（精神分析1）（復習テスト①）
　事前学習：テキスト第4章を読むこと。（2時間）
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
第6回：臨床心理学の理論②（精神分析2）（復習テスト①のフィードバック）
　事前学習：テキスト第4章を読むこと。（2時間）
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
第7回：臨床心理学の理論③（分析心理学1）
　事前学習：テキスト第5章を読むこと。（2時間）
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
第8回：臨床心理学の理論④（分析心理学2）
　事前学習：テキスト第5章を読むこと。（2時間）
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
第9回：臨床心理学の理論⑤（行動論・認知論1）
　事前学習：テキスト第6章を読むこと。（2時間）
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
第10回：臨床心理学の理論⑥（行動論・認知論2）
　事前学習：テキスト第6章を読むこと。また、復習テストの準備をすること。（2時間）
　事後学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）

第11回：臨床心理学の理論⑦（人間性心理学１）（復習テスト②）
事前学習：テキスト第７章を読むこと。（２時間）
事後学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
第12回：臨床心理学の理論⑧（人間性心理学２）（復習テスト②のフィードバック）
事前学習：テキスト第７章を読むこと。（２時間）
事後学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
第13回：臨床心理学の理論⑨（コミュニティ・アプローチ）
事前学習：テキスト第10章を読むこと。（２時間）
事後学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
第14回：臨床心理学の理論⑩（統合的アプローチ）
事前学習：テキスト第13章を読むこと。（２時間）
事後学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
第15回：「臨床心理学」の各領域に関するまとめと定期試験対策
事前学習：ｅラーニングを活用して、職能団体のHPを閲覧すること。（２時間）
事後学習：ｅラーニングを活用して、職能団体のHPを閲覧すること。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（60%）、復習テスト（20%）、平常点（20%）
定期試験は指定持込用紙の持込を可とします。
復習テスト（授業時の課題に相当します）の内容は授業中に指示します。
平常点は受講態度（ｅラーニングの閲覧状況を含む）やリアクション・ペーパーの提出状況などで総合的に判断します。

成　績　評　価　基　準

臨床心理学のなりたちと代表的な理論に関して、重要な用語や概念を理解し説明することができる。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

・経歴
（公認心理師，臨床心理士）
・実務経験と授業内容との関連性
（公認心理師の教員が、心理臨床現場において基礎となる臨床心理学のなりたちと代表的な理論について講義する。）

テキスト、参考図書
「臨床心理学概論」 野島一彦・岡村達也（編） 遠見書房 2,400円＋税 ISBN：978-4-86616-053-5
その他（受講上の注意）
eラーニングを活用します。 eラーニングに投稿があったとき、携帯電話に情報が転送されるように設定してください。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

臨床心理学概論Ⅱ (Introduction to Clinical Psychology Ⅱ)			担当教員	稲木　康一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2222	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

各領域における心理療法（心理学的支援法）の心理学的臨床実践事例を学習する。
また、臨床実践における留意点を理解する。

授 業 の 到 達 目 標

代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応を概説できる。
地域支援の意義、良好な人間関係の築き方、プライバシーへの配慮、要支援者の関係者に対する支援、心の健康教育について概説できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（eラーニング、リアクションペーパー）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション・復習テスト①（リアクションペーパー）
　事前学習：「臨床心理学Ⅰ（「臨床心理学概論Ⅰ）」の内容を復習すること。（2時間）
　事後学習：同上。（2時間）
第2回：精神分析療法（代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応および限界）（eラーニング・復習テスト①のフィードバック）
　事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）
第3回：行動療法（代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応および限界）
　事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）
第4回：来談者中心療法（代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応および限界）
　事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）
第5回：受理面接：ラポール・主訴・経過の聴き方（良好な人間関係を築くコミュニケーション）援助構造・面接記録・守秘義務（プライバシーへの配慮）
　事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
　事後学習：復習テスト②の準備をすること（2時間）
第6回：医療①：抑うつに対する認知行動療法・復習テスト②
　事前学習：復習テスト②の準備をすること。（2時間）
　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）
第7回：医療②：抑うつに対する認知行動療法（プライバシーへの配慮と多職種連携）（復習テスト②のフィードバック）
　事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）
第8回：産業①：バーンアウトに対する評価と介入
　事前学習：eラーニングを閲覧すること。（2時間）
　事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（2時間）

第９回：産業②：バーンアウトに対する評価と介入（論理情動行動療法にもとづく心の健康教育）
事前学習：日常生活において、バーンアウトの事例を探すこと。（２時間）
事後学習：日常生活において、不合理な信念の事例を探すこと。（２時間）
第10回：教育①：スクールカウンセリングの実際（良好な人間関係を築くコミュニケーション）・復習テスト③
事前学習：復習テスト③の準備をすること。（２時間）
事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（２時間）
第11回：教育②：スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカー（要支援者の関係者への支援）
事前学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（２時間）
第12回：教育③：教室で使える心理アセスメント（心理アセスメント適用と倫理）
事前学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
事後学習：講義に取り上げたキーワードについて、要点をまとめること。（２時間）
第13回：福祉①：ぜんそく予防の応用行動分析（地域支援の意義）
事前学習：ｅラーニングを閲覧すること。（２時間）
事後学習：定期試験の準備を始めること。（２時間）
第14回：福祉②：ぜんそく予防の応用行動分析（心の健康教育）
事前学習：定期試験の準備をすること。（２時間）
事後学習：定期試験の準備をすること。（２時間）
第15回：「臨床心理学」の各領域の心理学的臨床実践に関するまとめと定期試験対策
事前学習：定期試験の準備をすること。（２時間）
事後学習：定期試験の準備をすること。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（60%）、復習テスト（30%）、平常点（10%）
定期試験は「指定持込用紙」の持込を可とします。
第１回目の冒頭に、「臨床心理学Ⅰ（臨床心理学概論Ⅰ）」の内容について復習テストを行います。
復習テスト（授業時の課題に相当します）の内容は授業中に指示します。
平常点は受講態度（ｅラーニングの閲覧状況を含む）、リアクションペーパーの提出状況などで総合的に評価します。

成　績　評　価　基　準

講義で取り上げた心理療法について説明できる。
地域支援の意義、良好な人間関係の築き方、要支援者の関係者に対する支援、心の健康教育について理解できる。
また、プライバシーへの配慮と関係者との情報共有のかねあいについて意見を持つ。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
・経歴 （公認心理師，臨床心理士） ・実務経験と授業内容との関連性 （公認心理師の教員が、心理臨床現場において基礎となる臨床心理学のなりたちと代表的な理論について講義する。）
テキスト、参考図書
スライド資料や参考資料をｅラーニングに掲載します。
その他（受講上の注意）
ｅラーニングを活用します。 ｅラーニングに投稿があったとき、携帯電話に情報が転送されるように設定してください。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

健康・医療心理学 (Health and Medical Psychology)			担当教員	渡辺　克徳
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2223	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

健康・医療心理学の基礎的かつ一般的な知識を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

公認心理師をはじめ心理職が保健医療領域で行う業務について理解し必要な知識を習得する。

授 業 の 到 達 目 標

健康・医療心理学の基本を説明することができる。
保健医療領域における心理職の専門性とその業務について説明することができる。
チーム医療の一員として心理職に期待されている事柄について説明することができる。
公認心理師が身につけておくべき事柄について説明することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：健康心理学
　事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：健康心理学におけるアセスメントと支援
　事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：ストレスマネジメント
　事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：各種の心理支援法
　事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
　小レポート課題（健康心理学のまとめ）
第5回：医療心理学
　事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：医療心理学におけるアセスメントと支援
　事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：精神科，児童精神科
　事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第８回：院内型独立型心理室
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：心療内科
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：小児科
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：緩和医療
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：産業保健
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：地域保健活動の実際
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：災害心理学
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：多職種協働と医療連携
事前学習：授業前にテキストの各章を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：テキスト等の見直しや、わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
最終レポート課題

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

小レポート+最終試験（85％）平常点（15％）
（平常点は、授業への参加状況・理解度チェックQ and Aで評価します。）

成　績　評　価　基　準

公認心理師が身につけておくべき健康心理学と医療心理学について説明することができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（Moodleの機能を用いていつでも疑問・質問に対応）
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴
（公認心理師，臨床心理士）
・実務経験と授業内容との関連性
（公認心理師の教員が、心理職が保健医療領域で行う業務と専門性について講義する。）

テキスト、参考図書

宮脇稔・大野 太郎・藤本 豊・松野 俊夫『健康・医療心理学』医歯薬出版株式会社，2018　ISBN-13: 978-4263265772

その他(受講上の注意)

講義は公認心理師養成カリキュラムに対応しています。日本心理学会が公開している大学カリキュラム・標準シラバス等も参考に学習してください。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

発達心理学Ⅰ (Developmental Psychology Ⅰ)			担当教員	竹村　明子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2227	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

1．本講義では，人生の前半期（胎児期から児童期）の身体的変化および心理的変化について学ぶ。
2．生涯発達に関する主要理論について学ぶ。
3．発達心理学を科学的に研究する方法について学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

・人間の生涯を通して展開される発達について理解する視点を獲得する。
・誕生から児童期までの各発達段階の特徴と心理的問題を説明することができる。
・多様な生き方を理解し，互いに認め合う態度を養成する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：生涯発達心理の概要について
　事前学習：シラバスを読み，発達心理学の授業について理解し，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第2回：発達の主要理論
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第3回：発達心理学の研究方法（発達メカニズムを解明する方法と発達過程を記述する方法）
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第4回：発達の規定要因（遺伝要因，環境要因，相互作用）
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第5回：乳児期の発達①（身体と運動機能）
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第6回：乳児期の発達②（知覚能力）
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）

第７回：乳児期の発達③（愛着・親子の心の絆）
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第８回：主な発達理論のまとめと中間試験
事前学習：第１回目から７回目までに提示された重要ポイントについて勉強をし，中間試験に臨むこと（２時間）
事後学習：中間試験問題を持ち帰り，自己採点をして間違った解答について復習をすること（２時間）
第９回：幼児期の発達①（言語とコミュニケーション）
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第10回：幼児期の発達②（遊び）
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第11回：児童期の発達①（認知）
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第12回：児童期の発達②（記憶と思考）
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第13回：児童期の発達③（自己・自我）
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第14回：児童期の発達④（社会性）
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第15回：発達に関連する問題
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第16回：まとめと期末評価
授業の進み方は，内容により前後することがあります。必ず授業に出席し，授業内容と配布するプリントに基づき，復習として各自のノートに授業内容をまとめておくこと。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成 績 評 価 方 法

成績評価は，①授業毎に課される課題の内容（30%），②中間試験またはレポートおよび期末試験またはレポート（70%）により総合的に評価をする。

成 績 評 価 基 準

・人間の生涯を通して展開される発達について，生涯発達的視点から理解しているか。
・誕生から児童期における各発達の特徴と心理的問題を説明することができるか。
・これまでの自分自身や他者の生き方をみつめ直し，生涯発達心理学の視点から考察できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

授業ごとに資料を配付する。
テキストは特に設けない。参考文献については授業内で適宜紹介する。

その他（受講上の注意）

毎回の講義に小レポートの提出を課すので，必ず講義に出席し小レポートを提出すること。講義では，自分の意見をまとめ表現できるよう，心がけてほしい。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

発達心理学Ⅱ (Developmental Psychology Ⅱ)			担当教員	竹村　明子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2228	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

1．本講義では，人生の後半期（青年期から高齢期）の身体的変化および心理的変化について学ぶ。
2．身体的な加齢と，心理的変化との関係について学ぶ。
3．社会的変化が個人の発達にどのように影響するのかについて学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

①生涯を通して展開される発達について理解し解説できる
②青年期から成人後期までの各発達段階の特徴と心理的問題を説明することができる。
③多様な生き方について知識を習得し，心理的支援の方法について考えることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：青年期から成人後期にかけての発達の特徴
　事前学習：事前に青年期の発達に関する書籍を読み，あらかじめ疑問点などをまとめて授業に臨むこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第2回：青年期の発達①　青年期の心理の特徴
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第3回：青年期の発達②　自我アイデンティティの確立
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第4回：青年期の発達③　職業選択
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第5回：青年期の発達④　セクシュアリティ
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第6回：成人初期の発達①　恋愛
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）

第７回：成人初期の発達②　結婚
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第８回：成人初期の発達③　　子育て
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第９回：成人中期の発達①　　中年期の危機とライフサイクル
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第10回：成人中期の発達②　超高齢社会
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第11回：成人中期の発達③　身体的機能の衰退と社会活動
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第12回：成人中期の発達④　認知機能と記憶の加齢変化
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第13回：成人後期の発達①　認知症
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第14回：成人後期の発達②　喪失と死
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第15回：成人後期の発達③　サクセスフルエイジング
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み理解し，質問項目をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第16回：まとめと期末評価
授業の進み方は，授業内容により前後することがあります。必ず授業に出席し，授業内容と配布するプリントに基づき，復習として各自のノートに授業内容をまとめておくこと。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

成績評価には，①各回の講義で課される課題の内容（30％），②中間および期末の試験（またはレポート）（70％）で総合的に評価をする。

成　績　評　価　基　準

①生涯を通して展開される発達について，どの程度正しく理解し適切に解説できるのか
②青年期から成人後期までの各発達段階の特徴と心理的問題について，どの程度適切に説明するできるのか
③多様な生き方について，どの程度正しく知識を習得し，心理的支援の方法について考えることができるのか

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

授業ごとに資料を配付する。
テキストは特に設けない。参考文献については授業内で適宜紹介する。

その他(受講上の注意)

第一回目の講義内で、受講の方法や課題、課題の評価について説明する。必ず第一回目の講義から出席すること。
講義では，毎回小テストや課題を課しそれを評価の対象とするので、講義は必ず受講すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

知覚・認知心理学 (Psychology of Perception and Cognition)			担当教員	杉島　一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2230	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

知覚および記憶・言語・思考などの人間の認知に関するトピックについて学ぶ。認知心理学とは、環境との対応と環境に対する働きかけ、あるいは他者とのコミュニケーションといった、我々が生活していく上でその根幹となる機能について考えていく領域である。現象としてではなく、認知に関する理論や研究法について考察し、日常生活や社会における問題解決能力を身につけることを目指す。

授　業　の　到　達　目　標

・知覚・認知に関する理論について理解できる。
・知覚・認知に関する研究法について考察することができる。
・他者とのコミュニケーションを円滑にする方法を考えることができる。
・知覚・認知に関する知識をもとに、日常生活や社会における問題を考えることができる。
・発達障害における知覚・認知の問題について理解できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：認知心理学とは
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（4時間）
第2回：知覚［1］
　事前学習：錯視の例を調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第3回：知覚［2］
　事前学習：奥行知覚について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第4回：知覚［3］
　事前学習：聴覚について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第5回：注意
　事前学習：カクテルパーティー効果について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第6回：注意と発達障害
　事前学習：発達障害について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第7回：記憶［1］記憶の基本過程
　事前学習：記憶の2過程説について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）

第８回：記憶［２］短期記憶とワーキングメモリー
事前学習：「不思議な数字７±２」について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第９回：記憶［３］長期記憶（意味記憶、エピソード記憶、手続記憶）
事前学習：タルビングの記憶区分について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第10回：知識と記憶
事前学習：処理水準説について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第11回：スキーマとメタ記憶
事前学習：スキーマとメタ記憶について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第12回：言語の理解
事前学習：言語理解について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第13回：記憶・言語と発達障害
事前学習：言語発達の遅れを示す障害について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第14回：概念と推理
事前学習：概念獲得の研究を調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第15回：思考と問題解決
事前学習：問題解決について調べておくこと。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第16回：期末試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

毎回提出する課題・小レポート（30%）、期末試験（70%）

成　績　評　価　基　準

・知覚・認知に関する理論について説明することができるか。
・知覚・認知に関する研究法について考察することができるか。
・他者とのコミュニケーションを円滑にする方法を考えることができるか。
・知覚・認知に関する知識をもとに、日常生活や社会における問題を考えることができるか。
・発達障害における知覚・認知の問題について理解することができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキストは使用せず適宜プリントを配布する。

その他(受講上の注意)

授業には積極的に参加し、指示された課題・小レポートを提出ください。課題・小レポートの提出をもって出席とします。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

神経・生理心理学 (Neuro and Psysiological Psychology)			担当教員	水田　敏郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2231	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

人を含めた動物全般の心的活動には脳が大きくかかわっています。この授業では、様々な心理機能の基盤となる脳を中心とした生理学的メカニズムを理解するために、前半では脳や身体の基本構造と働きについて、後半では心的活動と関連の深い生理的活動について、そのアプローチ法とともに解説します。

授 業 の 到 達 目 標

脳の基本構造と働きについて理解する。生理心理学的アプローチの基本について理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション（授業の進め方と概要）
　事前学習：「心理学概論」で学んだ生理学的心理学の内容について復習する。（2時間）
　事後学習：次回分のプリントについて熟読し、質問をまとめておく。（2時間）
第2回：脳の構造①
　事前学習：第2回分のプリント（神経の分類）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第2回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第3回：脳の構造②
　事前学習：第3回分のプリント（中枢神経系の構造）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第3回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第4回：脳の信号①：神経細胞のはたらき
　事前学習：第4回分のプリント（神経細胞の機能）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第4回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第5回：脳の信号②：神経系のはたらき
　事前学習：第5回分のプリント（神経細胞の機能と発達）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第4回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第6回：知覚のメカニズム（グループワーク）
　事前学習：第6回分のプリント（知覚の生理学的基盤と障害）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第6回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第7回：記憶の脳内メカニズム（グループワーク）
　事前学習：第7回分のプリント（記憶の生理学的基盤と障害）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第7回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第8回：学習の脳内メカニズム①
　事前学習：第8回分のプリント（学習の種類とその生理学的基盤）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第8回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第9回：学習の脳内メカニズム②
　事前学習：第9回分のプリント（学習の生理学的基盤とその障害）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第9回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）

第10回：情動がおこる仕組み①
事前学習：第10回分のプリント（情動の生理学的基盤）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第10回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第11回：情動がおこる仕組み②
事前学習：第11回分のプリント（情動の生理学的基盤とその障害）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第11回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第12回：睡眠・覚醒の神経メカニズム
事前学習：第12回分のプリント（睡眠・覚醒の神経メカニズムとその障害）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第12回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第13回：生理心理学の応用①（グループワーク）
事前学習：第13回分のプリント（意識・注意の生理心理学的メカニズムとその障害）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第13回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第14回：生理心理学の応用②
事前学習：第14回分のプリント（臨床心理学との接点）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
事後学習：第14回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第15回：生理心理学に関するまとめ
事前学習：各回分のプリント全体の整理と質問項目をまとめておく（２時間）
事後学習：第15回で解説したの内容について、整理しておく（２時間）
第16回：定期試験
各回の講義を受講した後、当該部分の配布資料をよく読んで復習してください。また、予習にあたっても次の授業の内容部分をよく見て、疑問点などをもって授業に臨んでください。事後学習で整理された質問については、次の授業回でグループワークをして整理し、授業の初めに議論したいと思います。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70％）　平常点（30％）
（平常点は、授業への参加状況、質問用紙の提出状況などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

脳の基本構造と働きについて説明することができるか。生理心理学的アプローチの基本について説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
テキストは使用しない。資料の取得方法については、その都度指示します。 参考図書：「生理心理学と精神生理学」Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ巻　堀忠雄・尾崎久記監修　北大路書房（2017） 「生理心理学」 岡田隆　廣中直行・宮本孝史　サイエンス社（2005）
その他（受講上の注意）
身体と心の関係に対する基礎的な理解ができます。実験的な心理学研究に関心のある方には受講をすすめます。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会・集団・家族心理学Ⅰ (Social, Group and Family Psychology Ⅰ)			担当教員	山本　雅代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2235	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

人間の社会的行動について心理学の立場から解説する。
社会・集団・家族心理学Ⅰでは、社会の中の個人に注目し、自己意識、自己概念がどのように形成され、また個人が他者をどのように認知、理解し、自己の行動を表出させるのか、といった問題について解説する。
授業ではできるだけ実社会で起こっている現象をとりあげ社会心理的視点から理解していくことをめざす。

授　業　の　到　達　目　標

(1)社会心理学における基本的な概念について理解する。
(2)集団の中の個人の行動を理解する。
(3)現実社会での個人の行動を理解し、研究と結び付けて考えることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(ICT(Googleフォーム・Moodle等で課題，資料提示、インタラクティブに意見を収集)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：社会心理学について(ICT・課題提出)
　事前学習：授業前に社会心理学についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておくこと(2時間)
第2回：自己について(1)(ICT・レポート)
　事前学習：授業前に「自己・自己概念」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第3回：自己について(2)(ICT・課題提出)
　事前学習：授業前に「自己・客体的自覚・没個性化」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第4回：社会的比較(ICT・課題提出)
　事前学習：授業前に「社会的比較」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第5回：自己呈示について(ICT・課題提出)
　事前学習：授業前に「自己呈示」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第6回：動機づけについて(ICT・課題提出)
　事前学習：授業前に「動機づけ」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第7回：社会的動機(1)(ICT・課題提出)
　事前学習：授業前に「社会的動機」の種類についてまとめること(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第8回：社会的動機(2)(ICT・課題提出)
　事前学習：授業前に「社会的動機」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)
第9回：欲求不満・情動(ICT・課題提出)
　事前学習：授業前に「欲求不満・情動」についての本を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと(2時間)

第10回：対人認知（ICT・課題提出）
事前学習：授業前に「対人認知」についての本を読んでおくこと（２時間）
事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第11回：対人魅力（１）（ICT・討議・課題提出）
事前学習：授業前に「対人魅力」についての本を読んでおくこと（２時間）
事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第12回：対人魅力（２）（ICT・課題提出）
事前学習：授業前に「対人魅力」についての本を読んでおくこと（２時間）
事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第13回：対人魅力（３）（ICT・課題提出）
事前学習：授業前に「対人魅力」関連についての本を読んでおくこと（２時間）
事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第14回：対人魅力（４）（ICT・課題提出）
事前学習：授業前に「対人魅力」関連についての本を読んでおくこと（２時間）
事後学習：各講義における手書きノートを作るなどすることが望ましい（２時間）
第15回：まとめ確認テスト　（ICT）
事前学習：各講義における手書きノートを作るなどすること（２時間）
事後学習：分からなかったポイントについてまとめておく（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題・小テスト、課題レポート、授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。
【確認テスト50%　　課題・レポート・授業への参加態度50%】

成　績　評　価　基　準

社会心理学の基本的概念について説明できるか。
集団の中の個人の行動を理解できているか。
現実社会での個人の行動を理解し、研究と結び付けて考えることができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

授業中に適宜資料を配布する。

その他（受講上の注意）
毎回課題の提出を求める。提出には、ムードルやGoogleフォームなどを使用する（各講義において指定）かならず提出すること。 回収後の結果について講義内にて提示し、内容について考察することがある。講義内容と自らの行動について結び付け理解を深めてください。 提出課題に遅延した場合、提出物は受け取るが、減点の対象となる。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会・集団・家族心理学Ⅱ (Social, Group and Family Psychology Ⅱ)			担当教員	山本　雅代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2236	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

人間の社会的行動について心理学の立場から解説する。
社会・集団・家族心理学Ⅱでは、社会の中の個人、集団の中の個人に注目して授業を行う。
現実社会で起こる様々な人間行動について過去の実験や研究を紹介しながら解説していく。
主なテーマは、社会的動機、集団や群衆行動、リーダーシップ、援助行動、攻撃行動、同調と服従などである。
また特別講義として、模擬社会ゲームに参加してもらうこととする。模擬社会ゲームは社会でおこる様々な現象や構造を理解するゲームであり、これに参加することにより大学生活ではあまり遭遇しない社会、集団の概念を理解し、心理的葛藤、集団間葛藤等を体験し、問題解決能力を向上させることができる。このような社会生活に近い体験学習を通じ人間の行動に対する理解をより深め、社会や社会の中の一部である自己を探求し、自己成長することを目指す。

授　業　の　到　達　目　標

1）社会心理学における基本的な概念について理解する。
2）集団葛藤やコミュニケーションスキルについて理解する。
3）日常生活における対人間、集団間の心理学的法則について理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（シミュレーションゲーム：ICT（Googleフォーム・Moodleを使用し、課題を呈示、インタラクティブに意見を収集）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：状況の力とは（ICT・課題提出）
　事前学習：授業前に「環境や状況と心理学」について関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第2回：個人と集団（ICT・レポート）
　事前学習：授業前に「集団とは何か」関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第3回：集団の凝集性（ICT・課題提出）
　事前学習：授業前に「凝集性」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第4回：集団討議・集団意思決定（ICT・討議）
　事前学習：授業前に「意思決定」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第5回：リーダーシップ（ICT・討議・レポート）
　事前学習：授業前に「リーダーシップ」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第6回：同調と服従（1）（ICT・課題提出）
　事前学習：授業前に「同調」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第7回：同調と服従（2）（ICT・課題提出）
　事前学習：授業前に「服従」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）

第８回：囚人と看守実験　（ICT・課題提出）
　　事前学習：授業前に「役割取得」について関連する本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第９回：情報伝搬　（ICT・討議）
　　事前学習：授業前に「うわさ」が原因で社会問題に発展した事例について調べておく（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第10回：集団監視　（ICT・討議）
　　事前学習：授業前に「他者がそばに居る」ことにより生じる心理的作用を調べておく（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第11回：パニック　（ICT・課題提出）
　　事前学習：授業前に「パニックとは何か」関連した本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第12回：援助行動　（ICT・課題提出）
　　事前学習：授業前に「援助行動、災害、防災意識」関連ついての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第13回：攻撃行　（ICT・課題提出）
　　事前学習：授業前に「攻撃行動」についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第14回：模擬社会ゲームについて　（ゲーム・ICT・討議・レポート）
　　事前学習：講義中にゲームのルールブックを配布する。よく読み自主的に復習すること（２時間）
　　事後学習：模擬社会ゲームについてまとめておく（２時間）
第15回：まとめと小テスト（ICT）
　　事前学習：各講義における手書きノートを作るなどすること（２時間）
　　事後学習：分からなかった部分についてまとめる（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業中に実施する課題・小テスト、課題レポート、授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。
【小テスト50%　　課題レポート40%　　授業への参加態度10%】

成　績　評　価　基　準

社会心理学における基本的概念について説明できるか。
集団葛藤やコミュニケーションスキルについて説明できるか。
日常生活における対人間、集団間の心理学的法則について理解できているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
授業中に資料配布。
その他（受講上の注意）
基本的に講義形式で行う。より理解を深めるために必要に応じてVTR視聴、自己分析、グループディスカッション、ゲームを実施する。その際、レポート課題の提出を求めることがある。 講義中にQRコードを読み取り、回答を送信するシステムを利用し（googleフォーム）、受講者の実際の行動について即座に回答を求めることがある。 回収後、結果についてスクリーンに呈示し、ディスカッションすることにより、講義内容と実際の行動についてリンクを試みる。その際、スマートフォン又はPCが必要となる（現在、殆どの学生がスマートフォンで対応）。 よって、携帯持参、又はPCにより課題を閲覧、送信できるようにしておくことが必要。 回答時以外でのスマートフォンの利用は認められない。 使用を発見した場合、退出を願う場合が有る。 トイレは授業前に済ませ、意味のない入退出が無いようにする事。 授業に15分以上遅れた場合欠席になることがある。 SIMSOC（模擬社会ゲーム）を特別授業として行う。このゲームへの参加により、集団における心理的葛藤や協調、意思決定などを学ぶことができる。ゲームへの参加は任意ですが、参加表明された方は必ず出席すること。 人数が多い場合は抽選となることがある。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

産業・組織心理学Ⅰ (Industrial and Organizational Psychology Ⅰ)			担当教員	重森　雅嘉
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2233	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

社会や組織で必要とされる心理的スキルや知識を講義する。またコメントシートにより各自が当該事項について考え、グループディスカッション等により、それらを共有することにより深い理解をめざす。

授 業 の 到 達 目 標

社会や組織で必要とされる心理的なスキルや知識を理解し、簡潔に説明できる。またそれらについて自分の考えや疑問を示せる。積極的に社会や組織活動に取り組める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：産業・組織心理学の概略、授業の説明、グループディスカッション手法《グループディスカションで何を見るか》
　事前学習：グループディスカッション手法について事前に調べておく。（2時間）
　事後学習：グループディスカション経験について考察する。（2時間）
第2回：経営理念《就職したい企業の経営理念を調べ考察》
　事前学習：経営理念について事前に調べておく。（2時間）
　事後学習：就職したい企業の経営理念を調べ、考察する。（2時間）
第3回：職場で必要とされる心理スキル
　事前学習：職場で必要とされる心理スキルについて調べておく。（2時間）
　事後学習：職場で必要とされる心理スキルについて考察する。（2時間）
第4回：社会人基礎力《仁愛大学で学べる社会人基礎力に関する考察》
　事前学習：社会人基礎力について調べておく。（2時間）
　事後学習：仁愛大学で学べる社会人基礎力に関する考察について考察する。（2時間）
第5回：気づき（自己モニタリング、平均以上効果、危険予知)《自分の自己モニタリング傾向に関する考察》
　事前学習：気づき（自己モニタリング、平均以上効果、危険予知）について調べておく。（2時間）
　事後学習：自分の自己モニタリング傾向に関して考察する。（2時間）
第6回：印象評価
　事前学習：印象評価について調べておく。（2時間）
　事後学習：印象評価について考察する。（2時間）
第7回：評価方法
　事前学習：評価方法について調べておく。（2時間）
　事後学習：評価方法について考察する。（2時間）
第8回：公正性
　事前学習：公正性について調べておく。（2時間）
　事後学習：公正性について考察する。（2時間）
第9回：コメントによるディスカッション
　事前学習：チームについて調べておく。（2時間）
　事後学習：チームについて考察する。（2時間）

第10回：公正性、レポート課題説明
　　事前学習：チームワーク（チームワークの特性、集団意思決定、集団極性化）について調べておく。（２時間）
　　事後学習：《自分のチームでの役割》について、レポート（事後学習シート）作成及び修正。（２時間）
第11回：グループディスカッション：チームのいいところ悪いところ《グループディスカッション結果の整理と考察》
　　事前学習：グループディスディスカッションのテーマについて調べておく。（２時間）
　　事後学習：グループディスカッション結果の整理と考察。（２時間）
第12回：チームワーク
　　事前学習：チームワークについて調べておく。（２時間）
　　事後学習：チームワークについて考察する。（２時間）
第13回：リーダーシップ、最終レポート課題
　　事前学習：リーダーシップについて調べておく。（２時間）
　　事後学習：リーダーシップについて考察する。（２時間）
第14回：ヒューマンエラーと安全文化
　　事前学習：ヒューマンエラーと安全文化について調べておく。（２時間）
　　事後学習：ヒューマンエラーと安全文化について考察する。（２時間）
第15回：グループワーク：ピアレビューチェック
　　事前学習：グループワークの準備しておく。（２時間）
　　事後学習：グループワークの結果について考察する。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート（50%）コメントシート（40%）授業への取り組み（10%）

成　績　評　価　基　準

学習項目を簡潔に説明できるか、学習項目について自分の考えや疑問を示せるか、積極的に授業に取り組めるか

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　■メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

参考図書
外島裕（監修）・田中堅一朗（編）「産業・組織心理学エッセンシャルズ第４版」ナカニシヤ出版
重森雅嘉「ヒューマンエラー防止の心理学」日科技連

その他（受講上の注意）
レポートは手書きは不可です。状況により座席指定の可能性があります。 状況によりオンライン授業になる場合もあります。その場合、リアルタイムのオンライン授業となります。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

産業・組織心理学Ⅱ (Industrial and Organizational PsychologyⅡ)			担当教員	山本　雅代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2234	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

産業組織の中で働く人々の心理および行動について解説する。具体的には、ストレス、ワークモチベーション、勤労観等について解説する予定である。また、それぞれの課題においてディスカッションを行う。

授 業 の 到 達 目 標

産業組織の中で働く人々の心理、行動について理解できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ICT（Googleフォーム・Moodleを使用し、課題を呈示、インタラクティブに意見を収集）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション（ICT・レポート）
　事前学習：産業・組織心理学についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分かったことをレポートにまとめておくこと（2時間）
第2回：産業組織心理学のはじまり（1）（ICT・課題提出）
　事前学習：授業前に「産業組織心理学の歴史」について関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第3回：産業組織心理学のはじまり（2）（ICT・課題提出）
　事前学習：授業前に「産業組織心理学の歴史」について関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第4回：モチベーション（1）（ICT・課題提出）
　事前学習：授業前に「モチベーションの基本」について関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第5回：モチベーション（2）（ICT・課題提出）
　事前学習：授業前に「モチベーションの基本」について関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第6回：ワークモチベーション（1）（ICT・課題提出）
　事前学習：授業前に「ワークモチベーション」について調べておくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第7回：ワークモチベーション（2）（ICT・課題提出）
　事前学習：授業前に「ワークモチベーション」について関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第8回：職場のダイナミックス（ICT・課題提出）
　事前学習：授業前に「職場集団」について調べておくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第9回：職場集団の発達と葛藤（ICT・課題提出）
　事前学習：授業前に「職場集団の発達と葛藤」について自分なりの意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第10回：職場のコミュニケーション（ICT・課題提出）
　事前学習：授業前に「職場のコミュニケーション」について関連する本を読み、自分なりの意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）

第11回：リーダーシップ（ICT・課題提出）
　　事前学習：授業前に「リーダーシップ」について実際の事例をさがしておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第12回：組織とストレス（ICT・課題提出）
　　事前学習：授業前に「組織とストレス」について自分なりの意見をまとめておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第13回：職場のメンタルヘルス（ICT・課題提出）
　　事前学習：授業前に「職場のメンタルヘルス」について関連する本を読んでおくこと（2時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第14回：ストレスとコーピング（ICT・課題提出）
　　事前学習：授業前に「コーピング」について関連する本を読んでおくこと（2時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第15回：作業管理・安全管理・確認小テスト（ICT）
　　事前学習：授業前に「作業管理・安全管理」についての本を読んでおくこと（2時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
各回に関連する心理学的事象について講義前・講義後において理解を深めるよう努力すること。
その際、関連論文・参考文献等講義内にて指示する

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業中に実施する小テスト、課題レポート、授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。
【小テスト50%　課題・レポート40%　授業への参加態度10%】

成　績　評　価　基　準

産業組織の中で働く人々の心理および行動について、説明および考察することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
5）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

適宜授業で配布する。また、参考文献、関連文献を講義内で紹介する。

その他（受講上の注意）
講義形式だが、より理解を深めるため、必要に応じてVTR視聴、自己分析、を実施する。 講義中にQRコードを読み取り、回答を送信するシステムを利用し（googleフォーム）、受講者の実際の行動、産業組織における様々な問題について回答を求めることがある。 回収後の結果についてスクリーンに呈示し、ディスカッションすることにより、講義内容と実際の行動についてリンクを試みる。その際、スマートフォン又はPCが必要となる（現在、殆どの学生がスマートフォンで対応）。 よって、携帯持参、又はPCにより課題を閲覧、送信できるようにしておくことが必要。 回答時以外でのスマートフォンの利用は不可、使用は認められない。 使用を発見した場合、退出を願う場合が有る。 トイレは授業前に済ませ、意味のない入退出が無いようにする事。 授業に15分以上遅れた場合欠席になることがある。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学特別講義 (Special Lecture on Psychology)			担当教員	稲木康一郎、大森　慈子、坂井　祐円、 杉島　一郎、竹村　明子、西村　則昭、 水田　敏郎、三脇　康生、森　　俊之、 森本　文人、山岸　厚仁、山本　雅代、 吉水ちひろ、渡辺　克徳
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2239	2単位	2年前期	講義	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法や基礎的知識を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学科の全教員が1回の持ち回りで講義を行うオムニバス形式の授業である。各専任教員が専門とする心理学の諸分野を解説する。

授 業 の 到 達 目 標

心理学の諸分野について理解を深める。様々なトピックスに触れる中で、心理学に対する関心を高める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

オリエンテーション（学科ガイダンス時に実施する）
第1回：各教員が専門とする内容①稲木　康一郎
　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）
第2回：各教員が専門とする内容②大森　慈子
　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）
第3回：各教員が専門とする内容③坂井　祐円
　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）
第4回：各教員が専門とする内容④杉島　一郎
　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）
第5回：各教員が専門とする内容⑤竹村　明子
　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）
第6回：各教員が専門とする内容⑥西村　則昭
　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）
第7回：各教員が専門とする内容⑦水田　敏郎
　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）
第8回：各教員が専門とする内容⑧三脇　康生
　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）
第9回：各教員が専門とする内容⑨森　俊之
　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（2時間）
　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（2時間）

第10回：各教員が専門とする内容⑩森本　文人
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（２時間）
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（２時間）
第11回：各教員が専門とする内容⑪山岸　厚仁
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（２時間）
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（２時間）
第12回：各教員が専門とする内容⑫山本　雅代
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（２時間）
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（２時間）
第13回：各教員が専門とする内容⑬吉水　ちひろ
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（２時間）
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（２時間）
第14回：各教員が専門とする内容⑭渡辺　克徳
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（２時間）
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（２時間）
第15回：まとめ⑮竹村　明子
　　事前学習：関心のある心理学分野について調べておく（２時間）
　　事後学習：授業の内容を復習し、自分の興味・関心をまとめる（２時間）
＊担当教員全員が一回ずつ担当する授業になる。担当者の順はオリエンテーション時に伝える。
毎回担当教員が変わるため、疑問や予め知っておきたい事項があるときには、時間外（オフィスアワーなど）を活用して、担当教員に質問などをするようにして、予習・復習をする。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

小レポート（50%）　平常点（50%）
（毎回、授業後に小レポートを課す。平常点は授業への参加状況・受講態度などを総合して判断する。）

成　績　評　価　基　準

各授業において担当教教員の説明する心理学的トピックについて理解を深めることができたか。また、あわせて関心や疑問をもつことができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（各回の担当教員による方法）
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
使用しない
その他（受講上の注意）
①３年生から始まるゼミ（心理学特別演習Ⅰ・Ⅱ）の担当教員や４年生の卒業研究のテーマを決めるうえで、重要な授業となります。週ごとに担当教員が変わるので、毎回出席してください。 ②スケジュールに変更がある場合は、学科ガイダンス（オリエンテーション）にて説明し、心理学科掲示板に掲示するので必ず事前に確認して臨んでください。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

日本の言語文化 a (Japanese Language and Culture a)			担当教員	大河　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2205	2 単位	2 年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

近代以降の日本文学とそれを原作とした映画を取り上げ、言語と文化・社会の変化について考える。文字表現による文学と映像・音声表現による映画の特性に着目しながら、作中の日本語や文化・社会の表現について考察する。

授 業 の 到 達 目 標

・各作品の表現・内容と文化的・社会的背景の関係が理解できる。
・近代と現代の共通点・相違点を考え、日本の言語・文化について認識を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（課題提出）

授業の計画及び授業外の学習方法

第 1 回：オリエンテーション
　事前学習：テキストの概要を把握しておく。（2 時間）
　事後学習：テキストの概要と資料を復習する。（2 時間）
第 2 回：森鴎外「舞姫」（1）
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2 時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習する。（2 時間）
第 3 回：森鴎外「舞姫」（2）
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2 時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習する。（2 時間）
第 4 回：森鴎外「舞姫」（3）
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2 時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習する。（2 時間）
第 5 回：森鴎外「舞姫」（4）
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2 時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習し、課題を提出する。（2 時間）
第 6 回：映画「舞姫」
　事前学習：疑問点や関連事項について調べる。（2 時間）
　事後学習：資料を復習する。（2 時間）
第 7 回：泉鏡花「外科室」（1）
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2 時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習する。（2 時間）
第 8 回：泉鏡花「外科室」（2）
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2 時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習し、課題を提出する。（2 時間）
第 9 回：映画「外科室」
　事前学習：疑問点や関連事項について調べる。（2 時間）
　事後学習：資料を復習する。（2 時間）
第10回：伊藤左千夫「野菊の墓」（1）
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2 時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習する。（2 時間）

第11回：伊藤左千夫「野菊の墓」(２)
　　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習する。（２時間）
第12回：伊藤左千夫「野菊の墓」(３)
　　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習する。（２時間）
第13回：伊藤左千夫「野菊の墓」(４)
　　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習し、課題を提出する。（２時間）
第14回：映画「野菊の墓」
　　事前学習：疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：資料を復習する。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：期末レポートのテーマ設定、準備を行う。（２時間）
　　事後学習：期末レポートに取り組む。（２時間）

授業の形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（40%）、課題・小テスト（40%）、平常点（20%）
平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

課題：各作品の表現・内容や文化的・社会的背景等が理解できているか。
期末レポート：自ら設定したテーマについて十分に考察し、説得力のある結論が出せているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

森鴎外・井上靖　『現代語訳　舞姫』（ちくま文庫）　筑摩書房　2006年
泉鏡花　『外科室・海上発電 他五篇』(岩波文庫)　岩波書店　1991年
伊藤左千夫　『野菊の墓』(新潮文庫)　新潮社　1955年

その他（受講上の注意）
授業資料の提示、課題の提出には、eラーニングを利用する。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

言語コミュニケーション論 (Verbal Communication)			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2206	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群（理論）

求める学習成果（教育目標）

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

コミュニケーションにおける言語の役割について学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

円滑な人間関係を維持する上で、必要となる言語的要素について知識を得る。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：事前に言語を用いたコミュニケーションについて、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること（2時間）
第2回：ことばと社会（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること（2時間）
第3回：方言（1）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること（2時間）
第4回：方言（2）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること（2時間）
第5回：方言（3）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること（2時間）
第6回：呼称（1）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること（2時間）
第7回：呼称（2）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること（2時間）
第8回：呼称（3）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて、図書館で調べること（2時間）
第9回：対人関係の親密化（1）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること（2時間）
第10回：対人関係の親密化（2）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること（2時間）
第11回：自己開示（1）（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること（2時間）

第12回：自己開示（2）（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること（2時間）
第13回：自己呈示（1）（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること（2時間）
第14回：自己呈示（2）（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること（2時間）
第15回：まとめ（ディスカッション）
　　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（2時間）
　　事後学習：授業で課された課題や分からないについて調べること（2時間）
第16回：定期試験
予習として、各回に関連する資料を読み、あらかじめ疑問点を考えておくこと。また復習としては授業時の板書やハンドアウトに基づいて、各自のノートに授業内容をまとめておくこと。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）　授業内レポート（30%）　平常点（20%）
（平常点は、課題・質問用紙の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

コミュニケーションにおいて、言語が果たす役割を説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

飯間 浩明　『伝わるシンプル文章術』ディスカヴァー・トゥエンティワン　2018年
参考図書 原沢伊都夫　『日本語教師のための入門言語学』　スリーエーネットワーク　2016年
その他、適宜プリントを配布する。

その他（受講上の注意）

・遅刻3回で欠席1回とみなす。
・必ず国語辞書（電子辞書可）を持参すること。

オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報社会論 (Information and Society)			担当教員	小川　　慶
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2207	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

現代の社会は、財貨によって成立しており、その管理・統制がいかに重要であるかはもはや言うまでもない。その中で、財貨の流れを記録するための原理・技術として存在しているのが、簿記である。簿記は、会計学の最も基礎的な知識体系であると同時に、社会生活において有用な技術体系でもある。また、簿記で取り扱う財務数値は、国際基準が設置されていることにより、全世界規模のコミュニケーション・ツールであるとも位置づけられる。これを踏まえて、本講義では、財務情報の形成基盤となる簿記原理の基礎知識を修得することを目的とし、これを取り扱うものとする。また、本講義では、毎回の講義にて答練を行うものとする。

授　業　の　到　達　目　標

講義で扱った内容を理解し、仕訳や計算ができるようになることを到達目標と設定する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（答練）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ガイダンス（講義の目的や今後の流れ、評価方法等についての説明）
　事前学習：講義前にシラバスを読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第2回：貸借対照表・損益計算書
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第3回：現金・当座預金
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第4回：商品売買と付帯取引
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第5回：売掛金と買掛金、その他の債権債務
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第6回：約束手形と決済
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第7回：株式会社の資本と税金
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）

第８回：貸倒引当金と残高設定
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第９回：有形固定資産
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第10回：減価償却
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第11回：有価証券の取得と評価替え
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第12回：繰延べ
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第13回：見越し
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第14回：試算表と精算表
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第15回：総括と課題実施
事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。（２時間）
事後学習：講義全体を振り返り、質問した箇所や苦手箇所を抽出し、復習しておく。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

毎回の講義（最終回課題含む）で実施する答練の成績（70％）と学習態度（授業への取り組み姿勢や受講態度等）（30％）を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・講義に積極的に取り組めているかどうか。
・講義で取り扱った内容を理解し、修得できているかどうか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

吉田康久『簿記会計基礎論』中央経済社. 2020.

その他(受講上の注意)

本科目は、3年次開講科目の「企画開発論Ⅱ（原価計算論）」「企画開発演習Ⅱ（管理会計論）」「現代社会研究（財務会計論）」の布石となる基盤科目である。簿記・会計や、広く経営学に関心のある学生は、必ず履修しておくこと。
なお、本科目は、税理士受験資格（学識による受験資格）要件における「法律学又は経済学に属する科目」に該当する。税理士資格の取得を目指している場合は、自ら、国税庁のホームページで詳細を確認の上、本科目を履修することを勧める。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

公共政策 (Public Policy)			担当教員	竹内　直人
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2208	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎A群

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーションに関する知識を修得し、異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

自治体の現場で政策を作る職員や首長の話を聞くこと（講演）を出発点とする。講演を手掛かりに、公共政策の基礎理論を分かりやすく解説するとともに、具体的な政策提案レポートに取り組む。

授 業 の 到 達 目 標

我々の暮す社会は自由な社会であること。自由であるからこそ、公共政策が必要であることを理解するとともに、地域や社会への関心を広げることを目標とする。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（政策提案レポート（企画書）作成）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：自治体のしくみ1（二元代表制：首長と組織）
　事前学習：教科書第2章・3章の予習（2時間）
　事後学習：復習（2時間）
第2回：自治体のしくみ2（二元代表制：議会）
　事前学習：教科書第4章の予習（2時間）
　事後学習：復習（確認テスト）（2時間）
第3回：自治体の政策形成
　事前学習：教科書第6章の予習（2時間）
　事後学習：復習（2時間）
第4回：自治体の課題（少子高齢化）
　事前学習：配布資料を読む。（2時間）
　事後学習：復習（2時間）
第5回：首長（または職員）の講演「自治体の政策課題について」
　事前学習：配布資料の予習（2時間）
　事後学習：配布資料の復習（2時間）
第6回：政策課題研究（グループ研究）
　事前学習：課題を調べる。（2時間）
　事後学習：課題研究（2時間）
第7回：政策課題研究（グループ研究）
　事前学習：課題を調べる。（2時間）
　事後学習：課題研究（2時間）
第8回：予算と官民協働
　事前学習：教科書第12章（2時間）
　事後学習：復習（2時間）
第9回：政策研究（グループ発表）
　事前学習：政策案を考える。（2時間）
　事後学習：政策案を考える。（2時間）
第10回：政策研究（グループ発表）
　事前学習：政策案を考える。（2時間）
　事後学習：政策案を考える。（2時間）レポート作成

第11回：プレゼンテーション資料の作り方
　　事前学習：配布資料を読む。（２時間）
　　事後学習：資料づくり（２時間）
第12回：政策提案（プレゼンテーション）
　　事前学習：政策案を考える（２時間）
　　事後学習：政策案を考える（２時間）
第12回：政策提案（プレゼンテーション）
　　事前学習：政策案を考える。（２時間）
　　事後学習：政策案を考える。（２時間）
第13回：政策提案（プレゼンテーション）
　　事前学習：政策案を考える。（２時間）
　　事後学習：政策案を考える。（２時間）
第14回：首長（または職員）への政策提案（プレゼンテーション）
　　事前学習：プレゼンテーション資料作成（２時間）
　　事後学習：自己評価（２時間）
第15回：振り返り・講評

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

プレゼンテーション（40%）レポート（40 %）平常点（20%）

成　績　評　価　基　準

自由な社会の特徴とその課題および公共政策の必要性について説明できること。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　■その他（次回の授業においてポイントの説明を行う。）
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他（添削と評価を行い返却する。）
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

北山俊哉・稲継裕昭
テキストブック地方自治（第３版）

その他（受講上の注意）
指定された教科書の章を事前に読んでおくこと。 グループ学習が中心となるので、欠席しないこと。 政策提案レポートの提出を求めます。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報メディア (Information Media)			担当教員	安彦　智史
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−S−2110	2単位	2･3･4年後期	講義	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学基礎B群

求める学習成果(教育目標)

言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

本授業では、情報化社会の中で必要となる基礎知識の習得を目的とし、自学自習を中心とした反転学習を行う。本授業を通して、通信の仕組みやコンピュータの仕組み等のコンピュータサイエンスに関する基礎知識のほか、ITを業務やビジネスに活かすために必要な知識の習得を行う。

授 業 の 到 達 目 標

①企業や関連業務、経営戦略やビジネスインダストリに関する知識を習得する。
②情報システムの開発や運用に関する基礎知識を習得する。
③コンピュータシステムやネットワークに関する知識を習得する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ＩＴパスポート試験に関連するＣＢＴを実施）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：チュートリアル，授業の進め方，成績評価について
　事前学習：シラバスを読み、ＩＴパスポート資格について学習すること（2時間）
　事後学習：テキストを購入し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第2回：反転学習 ── 第1章：業務 ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第3回：反転学習 ── 第2章：法務 ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第4回：理解テスト ── 業務と法律 ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第5回：反転学習 ── 第3章：コンピュータシステム ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第6回：反転学習 ── 第4章：システム開発 ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第7回：理解テスト ── コンピュータシステムとシステム開発 ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第8回：反転学習 ── 第5章：ハードウェア ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）
第9回：反転学習 ── 第6章：基礎理論 ──（実技試験）
　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（2時間）
　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（2時間）

第10回：理解テスト ── ハードウェアと基礎理論 ──（実技試験）
　　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
　　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（２時間）
第11回：反転学習 ── 第７章：ソフトウェア ──（実技試験）
　　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
　　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（２時間）
第12回：反転学習 ── 第８章：ネットワーク ──（実技試験）
　　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
　　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（２時間）
第13回：理解テスト ── ソフトウェアとネットワーク ──（実技試験）
　　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
　　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（２時間）
第14回：反転学習 ── 第９章：セキュリティ ──（実技試験）
　　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
　　事後学習：教材を利用し、次の実技試験範囲について学習すること（２時間）
第15回：理解テスト ── セキュリティ ──（実技試験）
　　事前学習：教材を利用し、実技試験範囲について学習すること（２時間）
　　事後学習：教材を利用し、全範囲について学習すること（２時間）
第16回：期末試験
本授業は、国家資格であるITパスポートの獲得を目指した授業である。ITパスポートの教材は様々な出版社から出版され、試験の過去問題も公開されている。各自、自分に合った教材を選択し、自学自習を行うこと。また、推奨学習時間は復習２時間、予習２時間である。また、本授業で利用する教材は大学以外のインターネットアクセス環境からも学習可能である。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末の試験（40%）、全５回の理解度テスト（50%）、大福帳の記入内容（10%）

成　績　評　価　基　準

ITの基礎知識をえ、それを説明することができるか。
特に、授業の到達目標にも挙げた以下の項目についての知識を身についていることが評価基準となる。
①企業や関連業務、経営戦略やビジネスインダストリ
②情報システムの開発や運用に関する基礎知識
③コンピュータシステムやネットワークに関する知識

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他（反転学習　に対するフィードバックについて）
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（週に１度ヘルプデスクを設置し、自学自習を行いながら、わからない箇所を解決可能な環境を整える）

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
令和２年 ＩＴパスポート合格教本を利用する。 また、ＩＴパスポートドットコムというＷｅｂサイトを利用する。
その他（受講上の注意）
私語等、講義を妨害する学生には退出してもらう。単位を与えない場合もある。受講生の理解度によって授業計画には変更を加える可能性がある。 毎回eラーニングで理解度テストを実施し、大福帳を記入し双方向で学習状況を把握しながら進める。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

プレゼンテーション技法 (Presentation Skills)			担当教員	北神　慎司
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−S−2212	2単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学基礎B群

求める学習成果(教育目標)

言語スキルやその他のコミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、国際化・情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

Power Pointを用いて、プレゼンテーションのための技法を習得する演習を行う。その前段階として、図表をはじめとして、情報をわかりやすく伝えるための手段の一つであるビジュアライゼーション（視覚化）についての解説と絵集を行う。最後に、まとめとして、グループによるプレゼンテーションと相互評価を実施する。

授　業　の　到　達　目　標

ビジュアライゼーションのスキルやPower Pointの基本的な操作スキルを習得するだけでなく、自らのアイデアと適切な情報収集によって、プレゼンテーションの企画立案を行い、説得的なコミュニケーションという位置づけにおいて、魅力あるプレゼンテーションを実現できる能力を養成する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク　■発表（プレゼンテーション）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：イントロダクション（プレゼンテーションとは？）
　事前学習：授業のシラバスを十分理解できるまで読んでおく。（2時間）
　事後学習：Power Pointで自己紹介用のスライドを作成しておくこと。（2時間）
第2回：ビジュアル・コミュニケーションって何？
　事前学習：テキストのP.1〜10を熟読し，これに関することを事前に調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや，および，分からないことがあったら，図書館やインターネットを活用して調べておくこと。（2時間）
第3回：ビジュアル・コミュニケーションの概説（1）
　事前学習：テキストのP.11〜24を熟読し，これに関することを事前に調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや，および，分からないことがあったら，図書館やインターネットを活用して調べておくこと。（2時間）
第4回：ビジュアル・コミュニケーションの概説（2）
　事前学習：テキストのP.24〜28を熟読し，これに関することを事前に調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しや，および，分からないことがあったら，図書館やインターネットを活用して調べておくこと。（2時間）
第5回：ビジュアライゼーション（視覚化）の演習（1）
　事前学習：テキストのP.29〜39を熟読し，これに関することを事前に調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業時に行った演習課題について，別のプランでビジュアライゼーションを行っておくこと。（2時間）
第6回：ビジュアライゼーション（視覚化）の演習（2）
　事前学習：テキストのP.40〜58を熟読し，これに関することを事前に調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業時に行った演習課題について，別のプランでビジュアライゼーションを行っておくこと。（2時間）
第7回：ビジュアル・デザインの演習（1）
　事前学習：テキストのP.59〜74を熟読し，これに関することを事前に調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業時に行った演習課題について，別のプランでビジュアル・デザインを行っておくこと。（2時間）
第8回：ビジュアル・デザインの演習（2）
　事前学習：テキストのP.74〜90を熟読し，これに関することを事前に調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業時に行った演習課題について，別のプランでビジュアル・デザインを行っておくこと。（2時間）

第９回：プレゼンテーションの企画とスライドの作成（１）（グループワーク）
事前学習：グループでのプレゼンテーションのテーマを複数案考えてくること。（２時間）
事後学習：授業時にグループで決めプレゼンテーションのテーマについて，図書館やインターネットを利用して調べておくこと。（２時間）
第10回：プレゼンテーションの企画とスライドの作成（２）（グループワーク）
事前学習：スライドのコンテンツを整理しておくこと。（２時間）
事後学習：テキストを見返しながら授業時に作成したスライドをさらに洗練させておくこと。（２時間）
第11回：プレゼンテーションの企画とスライドの作成（３）（グループワーク）
事前学習：口頭での説明の原稿を作成しておくこと。（２時間）
事後学習：テキストを見返しながら授業時に作成したスライドをさらに洗練させておき，完成させておくこと。（２時間）
第12回：プレゼンテーション演習と評価（１）（グループワーク）
事前学習：自分のグループのプレゼンテーションの回であれば，十分な時間をかけてリハーサルを行ってくこと。そうでなければ，自分のグループのスライドやプレゼンテーションを見直し，さらに洗練させておくこと。（２時間）
事後学習：発表したグループのプレゼンテーションについて，評価表を用いて，再評価を行うこと。（２時間）
第13回：プレゼンテーション演習と評価（２）（グループワーク）
事前学習：自分のグループのプレゼンテーションの回であれば，十分な時間をかけてリハーサルを行ってくこと。そうでなければ，自分のグループのスライドやプレゼンテーションを見直し，さらに洗練させておくこと。（２時間）
事後学習：発表したグループのプレゼンテーションについて，評価表を用いて，再評価を行うこと。（２時間）
第14回：プレゼンテーション演習と評価（３）（グループワーク）
事前学習：自分のグループのプレゼンテーションの回であれば，十分な時間をかけてリハーサルを行ってくこと。そうでなければ，自分のグループのスライドやプレゼンテーションを見直し，さらに洗練させておくこと。（２時間）
事後学習：発表したグループのプレゼンテーションについて，評価表を用いて，再評価を行うこと。（２時間）
第15回：プレゼンテーション演習と評価（４）（グループワーク）
事前学習：自分のグループのプレゼンテーションの回であれば，十分な時間をかけてリハーサルを行ってくこと。そうでなければ，自分のグループのスライドやプレゼンテーションを見直し，さらに洗練させておくこと。（２時間）
事後学習：発表したグループのプレゼンテーションについて，評価表を用いて，再評価を行うこと。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題等の提出物を30％、授業における発表を50％、平常点を20％として評価する。なお、平常点は、授業への参加状況・受講態度・授業中の発言等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

ビジュアライゼーションの考え方を理解しそれを実践できること、Power Point を操作することによって、プレゼンテーションのスライド（資料）を作成することができること、また、そのスライドを用いて、プレゼンテーションの評価項目に留意しながら、魅力あるプレゼンテーションを行うことができることについて、受講生の評価も考慮に入れつつ評価します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

ワイルマン、R.E.・井上智義・北神慎司・藤田哲也『ビジュアル・コミュニケーション』北大路書房 2002年

その他(受講上の注意)

授業の中では、グループワークも予定しているため、できるだけ欠席をすることのないように留意すること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

企画開発論Ⅰ (Study of Planning and Development Ⅰ)			担当教員	野尻　昌明
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2216	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

本科目では、「企画開発」に必要となる知識の修得を目指します。
企業、組織、地域活性化のケーススタディをおこないながら、アイディア発想と論理的思考のためのフレームワーク、および誰にでも理解できるシンプルな「企画書作成・プレゼンテーション」の技術について学びます。

授　業　の　到　達　目　標

・アイディアを発想し、書面（またはメディア）に定着させるための具体的方法を修得する。
・ものごとを企画するための論理的思考の基礎を修得する。
・「企画書」を作成する意義と基本的方法を理解する。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：企画開発に必要な知識（プランナーの基本行動、考える能力）
　事前学習：企画というものを理解し、質問があればまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、企画についてリフレクションを実施すること。（2時間）
第2回：企画計画以前に確認すべきこと（なぜ企画するのか、発想、対象を思いやる力）
　事前学習：授業前に身の回りに派生している企画に気づき、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、企画発想・対象についてリフレクションを実施すること。（2時間）
第3回：課題の発見（対象となる企業・組織・個店の現状と悩み・要望とは）
　事前学習：授業前に注目する企業の改善点を考え、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、企画する意義のリフレクションを実施すること。（2時間）
第4回：企画目的の設定と対象者（誰が、誰に、何のために）
　事前学習：授業前に企画対象者の気持ちを理解し、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、対象者についてのストーリーを想定すること。（2時間）
第5回：企画内容（アイデア・問題解決）
　事前学習：授業前に問題解決のためのアイディアを発想し、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、情報収集などアイディア発想の準備をすること。（2時間）
第6回：期待する成果（何が得られるか）
　事前学習：授業前に企画による成果を想定し、まとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、企画の成果について物語を書きあげておくこと。（2時間）
第7回：実施計画（作業工程・配分、スケジュール、コスト、留意点の確認）
　事前学習：授業前に企画計画の実施内容を理解し、質問があればまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、実際の工程についての留意点をメモしておくこと。（2時間）
第8回：企画書制作に向けて①（コンセプトを考える）
　事前学習：授業前に企画にはどんな知識が必要かを考え、質問があればまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、コンセプトについてのリフレクションを実施すること。（2時間）
第9回：企画書制作に向けて②（コピーライティングを考える）
　事前学習：授業前に企画書制作について、質問があればまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、コピーライティングについての課題を完成すること。（2時間）
第10回：企画書制作に向けて③（デザイン・ビジュアル・動画等を考える）
　事前学習：授業前に企画書制作について、質問があればまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業内容を振り返り、ビジュアル発想についてのリフレクションを実施すること。（2時間）

第11回：企画書作成①
　　事前学習：授業前にクリエイティブを理解し、質問があればまとめておくこと。（2時間）
　　事後学習：授業内容を振り返り、チームの創造力について取材・研究・メモしておくこと。（2時間）
第12回：企画書作成②
　　事前学習：授業前にチームでの企画推進を理解し、質問があればまとめておくこと。（2時間）
　　事後学習：授業内容を振り返り、個々の能力についてリフレクションを実施すること。（2時間）
第13回：企画書作成③
　　事前学習：授業前に企画制作について、質問があればまとめておくこと。（2時間）
　　事後学習：授業内容を振り返り、企画書のためのメモを制作しておくこと。（2時間）
第14回：クリエイティブワーク①（プレゼンテーションの準備・技術）
　　事前学習：授業前にプレゼンツール・プレゼンテーション用のシナリオをまとめておくこと。（2時間）
　　事後学習：プレゼンテーションを想定し、リフレクションを実施すること。（2時間）
第15回：クリエイティブワーク②（見直し、反省し、PDCAを理解する）
　　事前学習：授業前に企画制作を振り返り、改善点があればまとめておくこと。（2時間）
　　事後学習：15回の授業内容を振り返り、企画開発についてのレポートをまとめておくこと。（2時間）
第16回：プレゼンテーションによる試験
（※受講者数・状況により変更の場合あり）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題に対する活動評価・提出物・定期試験（60%）平常点（40%）
平常点は、授業への参加状況、受講態度リアクションペーパーの内容、小課題等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・アイディア発想の知識を理解しているか
・論理的思考の知識を理解しているか
・コミュニケーションメディアに関する企画力・制作能力を高めることができているか。
・コミュニケーションの目的とする各種ベクトルを把握しながら、正しい表現能力を会得することができているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

使用しない。

その他（受講上の注意）
他者の学ぶ時間を奪ったり、学ぶ姿勢を阻害するような行動に対しては厳しく対処します。各自、講義を通じて問題意識を醸成してください。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

デザイン文化論 (Design Culture)			担当教員	舩山　俊克
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2217	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目 基幹科目 コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

近代日本の隆盛を支えたデザインの世界。西欧社会や我が国のデザイン教育および社会的なデザイン活動における歴史的検証から今後のデザイン活動のあり方について考察する。

授 業 の 到 達 目 標

デザインに関する本質的概念の理解と、日常生活やそれを取り巻く生活環境におけるデザイン（行為も含む）の存在意義や効果について多様な視点を持てるようになる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート）　■グループワーク　■発表（プレゼンテーション）　■実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：「デザイン」に対する「自分の考え」を漠然とで良いので考えること（2時間）
　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第2回：デザイン・designの意味
　事前学習：英語の辞書または英英辞書で「design」という言葉を調べ、それに関連する用語も調べてみること（2時間）
　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第3回：デザインの歴史①
　事前学習：これまでに学んできた「歴史」の授業を思い出し、その必要性について考えてみること（2時間）
　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第4回：デザインの歴史②
　事前学習：前回の授業を踏まえ、歴史を学ぶ上での自分自身のモチベーションを整理しておくこと（2時間）
　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第5回：デザイン基礎：文字
　事前学習：「デザインにおける文字」とはどういうことか、考えておくこと（2時間）
　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第6回：デザイン基礎：色彩
　事前学習：「デザインにおける色彩」とはどういうことか、考えておくこと（2時間）
　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第7回：デザイン基礎：レイアウト
　事前学習：「デザインにおけるレイアウト」とはどういうことか、考えておくこと（2時間）
　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第8回：実習①（PBL・グループワーク）
　事前学習：7回までの授業内容を振り返っておくこと（2時間）
　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）
第9回：実習②（ディスカッション）
　事前学習：前回の実習内容を振り返り、修正点などを明確にしておくこと（2時間）
　事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（2時間）

第10回：実習③（実技）
事前学習：前回の実習内容を振り返り、修正点などを明確にしておくこと（２時間）
事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（２時間）
第11回：プレゼンテーション
事前学習：プレゼンテーションする内容を整理し、リハーサルを行っておくこと（２時間）
事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（２時間）
第12回：振り返り
事前学習：11回までの内容を振り返っておくこと（２時間）
事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（２時間）
第13回：コンシリエンスデザインについて
事前学習：新しい言葉に向かう時にすべきことを整理しておくこと（２時間）
事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（２時間）
第14回：未来創成としてのデザイン
事前学習：自分にとっての未来と社会にとっての未来を考えておくこと（２時間）
事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（２時間）
第15回：総括
事前学習：14回までの内容を振り返っておくこと（２時間）
事後学習：授業内容をレポートにまとめておくこと。形式は授業内で指示（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート50%,平常点50%（平常点は，授業への参加状況、受講態度、レポートの提出等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

デザインに関する本質的概念を理解したか。日常生活やそれを取り巻く生活環境におけるデザイン（行為も含む）の存在意義や効果について多様な視点を持てる持ったか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

必要に応じて紹介する。

その他（受講上の注意）
授業時以外の調査などの作業を要する。 大学生ならではの行動力を生かし、生活環境や周辺社会での観察を活発に行う。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

地域経済論 (Regional Economics)			担当教員	禿　　寿
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOC-2223	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本講義では、地域経済学的な視点から、地域の経済活動を「人びとの営み」として包括的に理解するために必要な理論と知識の枠組みを学びます。そのうえで、具体的事例をもとに地域のこれからの経済のあり様に対する考えを深めます。

授 業 の 到 達 目 標

・地域活動に関する経済学を理解する知識を修得する。
・自ら必要なデータを収集し、事実に基づいて意見を述べ、説明できる。
・講義で学んだ内容を実社会と関連付けて議論することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：地域経済の基礎理論
　事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（2時間）
　事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：日本の産業構造（1）
　事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（2時間）
　事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：日本の産業構造（2）
　事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（2時間）
　事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：日本の産業構造（3）
　事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（2時間）
　事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：福井県の歴史
　事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（2時間）
　事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：福井県の経済の特徴（1）
　事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（2時間）
　事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（2時間）

第８回：福井県の経済の特徴（２）
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：福井県の製造業の実態（１）
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：福井県の製造業の実態（２）
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：福井県の非製造業の実態
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：地域経済の実態（１）-富山県を例に-
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：地域経済の実態（２）-福井県を考える-
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：福井県経済の課題
事前学習：前回のノートを見直しておくこと。（２時間）
事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：講義のまとめ
事前学習：全てのノートを見直し、全講義の要点をまとめておくこと（２時間）
事後学習：講義の内容および配布された資料についての見直しや復習をし、分からないことがあったら、図書館で調べたり、担当教員に質問すること。（４時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）平常点（30%）
・平常点は授業への参加状況、受講態度、課題小テスト、課題レポートなどの内容等を総合して判断します（出席点ではありません）。

成　績　評　価　基　準

・地域経済を理解する知識を修得しているか。
・自ら必要なデータを収集し、事実に基づいて意見を述べ、かつ批判的に説明できるか。
・講義で学んだ内容を実社会と関連付けて議論することができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他（担当教員の研究室にて）
5）その他（ディスカッション・ディベートに対するフィードバックについて）
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキストは特に指定しません。
参考図書は以下のとおりです。
『地域経営分析 ── 地域の持続的発展に向けて ──』 南保勝　晃洋書房　2019年

その他(受講上の注意)

私語等、講義を妨害する学生には退出を指示した上、単位を与えない場合もあります。
受講生の理解度にあわせて授業計画には変更を加える可能性があります。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報システム論 (Information Systems)			担当教員	安彦　智史
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2224	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

情報システムを支える基盤技術（データベース、ネットワーク、セキュリティ、認証など）の概念と原理を現実社会の例と照らし合わせて学ぶ。
講義の内容によっては座学だけでなく、ディスカッション等も取り入れる場合がある。

授 業 の 到 達 目 標

情報システムに関する知識を習得した上で、利用者、導入者、管理者、開発者等の様々な視点から情報システムを分析し、提案できる能力を身に着ける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（スマホを用いた実習・課題）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：チュートリアル　情報とは何か
　事前学習：シラバスを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：第1回授業資料を読み、課題を提出すること（2時間）
第2回：データの種類と拡張子について、コンピューターの特徴
　事前学習：第1回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：第2回授業資料を読み、課題を提出すること（2時間）
第3回：高度情報化社会とコンピューター
　事前学習：第2回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：第3回授業資料を読み、課題を提出すること（2時間）
第4回：コンピュータの仕組みと5大機能
　事前学習：第3回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：第4回授業資料を読み、課題を提出すること（2時間）
第5回：第1回から第4回のまとめ
　事前学習：第1回から第4回までの授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：第1回から第4回までの授業資料を読み、復習を行うこと（2時間）
第6回：情報の計算
　事前学習：期末テストに向けて前回までの範囲をまとめること（2時間）
　事後学習：第6回授業資料を読み、課題を提出すること（2時間）
第7回：情報の表現
　事前学習：第6回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：第7回授業資料を読み、課題を提出すること（2時間）
第8回：ネットワークをつなぐ
　事前学習：第7回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：第8回授業資料を読み、課題を提出すること（2時間）
第9回：ネチケットとインターネットの落とし穴
　事前学習：第8回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：第9回授業資料を読み、課題を提出すること（2時間）

第10回：第６回目から第９回目計算問題まとめ
　　事前学習：第６回から第９回までの授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：第６回から第９回までの授業資料を読み、復習を行うこと（２時間）
第11回：福祉と情報、プログラミング思考
　　事前学習：期末テストに向けて前回までの範囲を復習すること（２時間）
　　事後学習：第11回授業資料を読み、課題を提出すること（２時間）
第12回：情報システムにおけるアルゴリズム
　　事前学習：第11回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：第12回授業資料を読み、課題を提出すること（２時間）
第13回：フローチャートの記述（実習）
　　事前学習：第12回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：第13回授業資料を読み、課題を提出すること（２時間）
第14回：AIおよびその実社会へのデータ活用について
　　事前学習：第13回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：第14回授業資料を読み、課題を提出すること（２時間）
第15回：デザイン思考について
　　事前学習：第14回授業資料を読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：第15回授業資料を読み、課題を提出すること（２時間）
第16回：定期試験
この授業では、非常に多くの関連する用語について、その意味などを理解する必要があるので、情報関連の用語事典なども参考にすること。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験50%、授業内小テストおよび課題50%

成　績　評　価　基　準

情報システムの仕組みやネットワーク、コンピュータ、それらを制御する基盤技術について理解し、説明できているかを評価の基準とする。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
授業は自作スライドを中心に行う。特定のテキストは指定しないが、参考図書については講義中に適宜紹介する。
その他（受講上の注意）
真摯に学ぶ学生に対して、悪影響を与える学生には、単位を与えない。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

日本の言語文化b (Japanese Language and Culture b)			担当教員	大河　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2226	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

近代以降の日本文学とそれを原作とした映画を取り上げ、コミュニケーションの様相について考える。文字表現による文学、映像・音声表現による映画の特性に着目しながら、登場人物のコミュニケーションや文化・社会の表現について考察する。

授 業 の 到 達 目 標

・各作品の表現・内容と文化的・社会的背景の関係が理解できる。
・近代と現代の共通点・相違点を考え、コミュニケーションの様相について認識を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（課題提出）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキストの概要を把握しておく。（2時間）
　事後学習：テキストの概要と資料を復習する。（2時間）
第2回：宮沢賢治「銀河鉄道の夜」(1)
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習する。（2時間）
第3回：宮沢賢治「銀河鉄道の夜」(2)
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習する。（2時間）
第4回：宮沢賢治「銀河鉄道の夜」(3)
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習し、課題を提出する。（2時間）
第5回：映画「銀河鉄道の夜」
　事前学習：疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：資料を復習する。（2時間）
第6回：野坂昭如「火垂るの墓」(1)
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習する。（2時間）
第7回：野坂昭如「火垂るの墓」(2)
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習する。（2時間）
第8回：野坂昭如「火垂るの墓」(3)
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習し、課題を提出する。（2時間）
第9回：映画「火垂るの墓」
　事前学習：疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：資料を復習する。（2時間）
第10回：小川洋子「博士の愛した数式」(1)
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習する。（2時間）

第11回：小川洋子「博士の愛した数式」（２）
　　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習する。（２時間）
第12回：小川洋子「博士の愛した数式」（３）、
　　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習する。（２時間）
第13回：小川洋子「博士の愛した数式」（４）
　　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習し、課題を提出する。（２時間）
第14回：映画「博士の愛した数式」
　　事前学習：疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：資料を復習する。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：期末レポートのテーマ設定、準備を行う。（２時間）
　　事後学習：期末レポートに取り組む。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（40%）、課題（40%）、平常点（20%）
平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

課題：各作品の表現・内容や文化的・社会的背景等が理解できているか。
期末レポート：自ら設定したテーマについて、十分に考察し、説得力のある結論が出せているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

宮沢賢治　『新編 銀河鉄道の夜』（新潮文庫）　新潮社　1989年
野坂昭如　『アメリカひじき・火垂るの墓』（新潮文庫）　新潮社　1972年
小川洋子　『博士の愛した数式』（新潮文庫）　新潮社　2005年

その他（受講上の注意）
授業資料の提示、課題の提出には、eラーニングを利用する。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語学Ⅱ (English Linguistics Ⅱ)			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2230	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

英語学への理解を深め、体系的な英語の知識を身に付ける。国際共通語としての英語の運用面に焦点をあて、英語使用の多様性を学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

英語の概要・背景を学び、異文化理解力および英語力を多面的に向上させる。中学校および高等学校での英語教育において必要な英語学的知見を身につける。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、英語学Ⅰの復習を行うこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第2回：英語と社会的属性（1）地域方言（イギリスの地域方言的特徴・英語の変種と方言の関係）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第3回：英語と社会的属性（2）社会階層（階層方言・Trudgill (1943) によるイギリスのノリッジ調査・Labov (1966) によるアメリカのニューヨーク調査）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第4回：英語と社会的属性（3）ジェンダー（社会集団としてのジェンダー・英語運用にみられるジェンダー）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第5回：英語の発話行為（1）語用論とは（ソシュールのパロールとラング）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第6回：英語の発話行為（2）お礼（発話行為の仕組み・英語による「お礼」のストラテジー・「お礼」の日英比較）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第7回：英語の発話行為（3）侘び（「詫び」という発話行為・「詫び」の日英比較）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第8回：英語のポライトネス（1）協調の原理（談話分析・Grice・会話の含意）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第9回：英語のポライトネス（2）Brown & Levinson (1987)（ポライトネス理論・消極的面目と積極的面目）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）

第10回：英語のポライトネス（3）日米比較（日米の依頼行為にみるポライトネス）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第11回：談話分析とは（談話分析の研究対象）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第12回：英語文化とコミュニケーションスタイル（1）異文化コミュニケーション（国民文化・サブカルチャー）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第13回：英語文化とコミュニケーションスタイル（2）文化モデル（Hall（1976）モデル・Hofstede（1928）モデル）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第14回：英語文化とコミュニケーションスタイル（3）日英コミュニケーション（アカデミック談話にみる事例研究）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第15回：まとめ（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
予習として、教科書の各回に関連する頁を読み、あらかじめ疑問点等をまとめておいてください。講義を受けた後は、教科書の当該部分を見直して復習をしてください。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（50%）　授業内レポート（30%）　平常点（20%）
（平常点は、課題・質問用紙の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

英語学の基礎が理解できているのか。
英語コミュニケーションの観点より、異文化への理解ができているのか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
テキスト：平賀正子（著）『ベーシック新しい英語学概論』 ひつじ書房 2016年 参考図書：よくわかる社会言語学（田中春美、田中幸子著、ミネルヴァ書房 平成27年）
その他（受講上の注意）
履修条件として、「英語学Ⅰ」の単位取得済みであること。 ・遅刻３回で欠席１回とみなす。 ・必ず英和辞書（電子辞書可）を持参すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英文講読 a (English Reading a)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2232	2 単位	2 年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

小説、エッセイ、評論文、英字新聞や雑誌の記事、マニュアルなど多様な素材を用いて、英米文学や日常生活に必要な情報から文化論、環境問題、社会問題、教育問題など幅広いトピックをとりあげながら、読解力を養成する。

授 業 の 到 達 目 標

多読に親しみ、望ましい読書習慣を身につける。多様なリーディング・ストラテジーを理解し読みの目的に応じて使用できる。詩やスピーチを読んで暗唱できる。効果的な語彙学習の方法を知り語彙力を高めることができる。テキストに明示的に書かれていない内容を推測しながら読むことができる。英文パラグラフの構成を理解し、トピック、メインアイディアを把握できる。必要な情報を読み取り、その内容について自分の意見を述べることができる。物事を国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成する。中学校および高校で効果的なリーディングの指導ができる力を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第 1 回：多読：目的と読み方、望ましい読書習慣
　事前学習：事前にシラバスやテキストに目を通し、質問事項をまとめておく。（2 時間）
　事後学習：多読の目的と読み方、望ましい読書習慣を復習する。（2 時間）
第 2 回：多読：読書レポート、読書記録、本の選択
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（2 時間）
　事後学習：多読用の本を選択し、規則的に読む。（2 時間）
第 3 回：プレビューイング
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（2 時間）
　事後学習：多読用の本を規則的に読む。（2 時間）
第 4 回：スキャニング
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（2 時間）
　事後学習：スキャニングの練習をする。（2 時間）
第 5 回：レシテーション：英詩、発表（ストーリーテリング）
　事前学習：事前に詩人のプロフィールを読んでおく。（2 時間）
　事後学習：暗唱課題の英詩を読んで理解する。（2 時間）
第 6 回：スキミング
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（2 時間）
　事後学習：スキャニングの練習をする。（2 時間）
第 7 回：読みのストラテジー
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（2 時間）
　事後学習：読みのストラテジーを整理する。（2 時間）
第 8 回：語彙学習：辞書の活用
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（2 時間）
　事後学習：語彙学習：辞書の活用について復習し、課題をする。（2 時間）

第９回：語彙学習：品詞、語形成、文脈による語義の推測
　　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：品詞、語形成、文脈による語義推測の練習問題をする。（２時間）
第10回：情報収集のための読みとディスカッション（グループワーク）：環境問題
　　事前学習：事前に環境問題に関する資料を読む。（２時間）
　　事後学習：環境問題に関して、自分の意見を英語でまとめる。（２時間）
第11回：推論、レシテーション：スピーチ
　　事前学習：事前に人物のプロフィールを読む。（２時間）
　　事後学習：スピーチのスクリプトを読んで、理解する。（２時間）
第12回：パラグラフの理解：トピック、メインアイディア
　　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：パラグラフのトピック・メインアイディアについて復習課題をする。（２時間）
第13回：パラグラフの理解：パラグラフの構成
　　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：パラグラフの構成について復習課題をする。（２時間）
第14回：情報収集のための読みとディスカッション：社会問題
　　事前学習：事前に社会問題について調べておく。（２時間）
　　事後学習：社会問題の解決策を英語でまとめる。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：暗唱課題を復習する。（２時間）
　　事後学習：読みのストラテジー及びパラグラフの構成について復習課題をする。（２時間）
定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）、課題（25%）、授業への取り組み（25%）
※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

１．多読（reading for pleasure）に親しむことができたか。
２．多様なリーディング・ストラテジーを理解し、読みの目的に応じて使用できるか。
３．詩やスピーチを読んで暗唱できるか。
４．効果的な語彙学習の方法を知り、語彙力を高めることができるか。
５．明示的に書かれていない内容を推測しながら読むことができるか。
６．英文パラグラフの構成を理解し、トピック、メインアイディアを把握できるか。
７．必要な情報を読み取り、その内容について自分の意見を述べることができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
テキスト：MORE READING POWER Mikulecky, B.S., and L. Jeffries.　Addison-Wesley Publishing Company. 参考図書：英字新聞、インターネット・雑誌等の記事、NetAcademy
その他（受講上の注意）
なるべく多く英語を読むように心がけ、望ましい読書習慣を身につけてもらいたい。主体的な学習を期待する。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英文講読b (English Reading b)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2233	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

小説、エッセイ、評論文、英字新聞や雑誌の記事、マニュアルなど多様な素材を用いて、英米文学や日常生活に必要な情報から文化論、環境問題、社会問題、教育問題など幅広いトピックをとりあげながら、読解力を養成する。

授 業 の 到 達 目 標

多様なリーディング・ストラテジーを理解し、読みの目的に応じて使用できる。読んだ物語を英語で話すことができる。英文パラグラフの構成パターンを理解し、読む際に認識できる。新聞記事の見出しの規則や構成を理解し、必要な情報を読み取ることができる。読んだニュースを英語でレポートし、その内容に関して自分の意見を述べることができる。速読の方法を理解し、英文を速読できる。正確に深く精読して、読んだ内容について感想を述べることができる。物事を国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成する。中学校および高校で効果的なリーディングの指導ができる力を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：リーディング・ストラテジー
　事前学習：事前にシラバスやテキストに目を通し、質問事項をまとめておく。（2時間）
　事後学習：リーディング・ストラテジーを整理し、復習する。（2時間）
第2回：ストーリーテリング（発表）
　事前学習：ストーリーテリング用のメモを作成し、リハーサルしておく。（2時間）
　事後学習：多読用の本を選択し、規則的に読む。（2時間）
第3回：英文構成パターン：列挙・連続（時系列）・比較のパターン
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（2時間）
　事後学習：列挙・連続（時系列）・比較のパターンの復習課題をする。多読用の本を規則的に読む。（2時間）
第4回：英文構成パターン：因果関係・問題解決のパターン
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（2時間）
　事後学習：因果関係・問題解決のパターンの復習課題をする。多読用の本を規則的に読む。（2時間）
第5回：英字新聞の読み方：記事の構成、見出しのルール、リード
　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（2時間）
　事後学習：英字新聞の記事の構成、見出しのルール、リードについて復習する。多読用の本を規則的に読む。（2時間）
第6回：英字新聞の読み方：スキャニング、レポート
　事前学習：英字新聞の記事を読み、レポーティングの準備をする。（2時間）
　事後学習：多読用の本を規則的に読む。（2時間）
第7回：ニュース・レポーティングとディスカッション（グループワーク）：社会問題
　事前学習：事前に社会問題に関する記事を読み、理解しておく。（2時間）
　事後学習：社会問題についての意見をまとめる。多読用の本を規則的に読む。（2時間）
第8回：レシテーション：スピーチ
　事前学習：事前に人物のプロフィールを読む。（2時間）
　事後学習：スピーチのスクリプトを読んで、理解する。（2時間）多読用の本を規則的に読む。（2時間）

第９回：速読：目的と読み方
　　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：速読の目的と読み方を復習する。多読用の本を規則的に読む。（２時間）
第10回：速読：読むスピードの測定方法・記録
　　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：速読の練習課題をし、読むスピードを記録する。多読用の本を規則的に読む。（２時間）
第11回：ニュース・レポーティングとディスカッション：教育問題（発表）
　　事前学習：事前に教育問題に関する記事を読み、理解しておく。（２時間）
　　事後学習：教育問題についての意見をまとめる。多読用の本を規則的に読む。（２時間）
第12回：精読の方法
　　事前学習：事前に精読用資料を読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：多読用の本を規則的に読む。（２時間）
第13回：精読：説明文
　　事前学習：事前に説明文を読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：多読用の本を規則的に読む。（２時間）
第14回：精読：小説
　　事前学習：事前に小説を読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：多読用の本を規則的に読む。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：事前にテキストを読み、課題をしておく。（２時間）
　　事後学習：読みの目的に応じた読み方を再確認する。（２時間）
定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）、課題（25%）、授業への取り組み（25%）
※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

１．多様なリーディング・ストラテジーを理解し、読みの目的に応じて使用できるか。
２．読んだ物語を英語で話すことができるか。
３．英文パラグラフの構成パターンを理解し、読む際に認識できるか。
４．新聞記事の見出しの規則や構成を理解し、必要な情報を読み取ることができるか。
５．読んだニュースを英語でレポートし、その内容に関して自分の意見を述べることができるか。
６．速読の方法を理解し、英文を速読できるか。
７．正確に深く精読して、読んだ内容について感想を述べることができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
テキスト：MORE READING POWER Mikulecky, B.S., and L. Jeffries.　Addison-Wesley Publishing Company. 参考図書：英字新聞、インターネット・雑誌・BBC・CNN等の記事、NetAcademy
その他（受講上の注意）
なるべく多く英語を読むように心がけ、望ましい読書習慣を身につけてもらいたい。主体的な学習を期待する。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英米文化論 (Studies of Multicultural Societies)			担当教員	加藤　優子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2234	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

英国・米国の文化を、多文化共生という視点から理解を深める。また、日本の多文化共生という視点における現状や政策にも触れ、多文化化する社会のありようについても考える。

授 業 の 到 達 目 標

・英国・米国の文化を、多文化共生という視点から理解を深める。
・日本の多文化共生社会のありようについて考える力を身につける。
・上記の事柄に関し、調べ学習を通して理解を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（事前の調べ学習）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：参考文献に目を通すこと。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：英国の移民の歴史
　事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：英国の移民の特徴
　事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：英国の移民政策
　事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：英国の教育政策
　事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：価値観の教育
　事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：英国の多文化の現状
　事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第８回：移民との摩擦問題
事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：米国の移民の歴史
事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：米国の移民の特徴
事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：米国の“人種”問題
事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：差別の構造
事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：日本の移民の歴史と教育政策
事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：日本の多文化共生について考える
事前学習：授業で扱うテーマについて、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：復習をすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：授業で課された課題について、レポートをまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（30％）、授業内課題（60％）、平常点（10％）
平常点は、授業の受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・英国・米国の文化を、多文化共生という視点から理解を深めることができたか。
・日本の多文化共生社会のありようについて考える力を身についたか。
・上記の事柄に関し、調べ学習を通して理解を深めることができたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキストは使用しない。
【参考図書】
佐久間孝正（2011）『移民大国イギリスの実験』勁草書房
貴堂嘉之（2018）『移民国家アメリカの歴史』岩波新書
永吉希久子（2020）『移民と日本社会』中公新書

その他(受講上の注意)

本講義を受ける前に、「異文化理解a」「異文化理解b」の単位を取得すること。
５分以上20分未満の遅刻３回で欠席１回とみなす。
20分以上の遅刻は欠席とみなす。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

企画開発演習Ⅰ (Practice in Planning and Development Ⅰ)			担当教員	冨永　良史
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2252	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

多様な他者との対話・触発・協働によって、他者にとって有意義なコト（イベント、ゲームなど）を企画開発し、プロトタイピング（試作試行）し、磨き、振り返り、改善・革新へと結びつける体験を繰り返すことで、企画開発力を実践的に学ぶ。

授　業　の　到　達　目　標

1．多様な他者との対話・触発・協働によって自他の創造性を高めあい、斬新かつ発展性のある企画の実現ができる。
2．自分とは価値観が異なる他者にとって、有意義であるとはどういうことかへの想像力を獲得する。
3．企画の実現にとって事前、最中、事後にそれぞれ必要なことがわかる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：これからの世界と企画開発力の関係を理解する
　事前学習：授業に向けて調査、実体験、試行錯誤、アイディア出しなどを実施しておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容を整理してノートなどにまとめておくこと。（2時間）
第2回：伝わるとは、どういう状態だろうか（グループワーク）
　事前学習：自分に固有の楽しみを、それを知らない他者に伝えるための説明資料を作成する（2時間）
　事後学習：伝わるために必要な条件をまとめる（2時間）
第3回：伝えたい何かを生み出してみる。高速で。
　事前学習：身近にある気になる新商品・イベントとその特徴をリストアップしておくこと。（2時間）
　事後学習：既存の商品、イベントを革新するアイディアを生み出し、その魅力の説明資料を作成する（2時間）
第4回：伝えたい何かを生み出し、物語化する。①
　事前学習：授業に向けて調査、実体験、試行錯誤、アイディア出しなどを実施しておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容を整理してノートなどにまとめておくこと。（2時間）
第5回：伝えたい何かを生み出し、物語化する。②
　事前学習：授業に向けて調査、実体験、試行錯誤、アイディア出しなどを実施しておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容を整理してノートなどにまとめておくこと。（2時間）
第6回：自分が生み出した物語を他者に語る（プレゼンテーション）
　事前学習：授業に向けて調査、実体験、試行錯誤、アイディア出しなどを実施しておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容を整理してノートなどにまとめておくこと。（2時間）
第7回：ネタを変えて、同じことをやってみる。上達の感覚はあるか。
　事前学習：授業に向けて調査、実体験、試行錯誤、アイディア出しなどを実施しておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容を整理してノートなどにまとめておくこと。（2時間）
第8回：３つの視点（虫、鳥、魚）
　事前学習：授業に向けて調査、実体験、試行錯誤、アイディア出しなどを実施しておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容を整理してノートなどにまとめておくこと。（2時間）
第9回：新聞記者の取材に答える「外部目線への洞察」
　事前学習：授業に向けて調査、実体験、試行錯誤、アイディア出しなどを実施しておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容を整理してノートなどにまとめておくこと。（2時間）

第10回：引き算からの企画開発
事前学習：授業に向けて調査、実体験、試行錯誤、アイディア出しなどを実施しておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容を整理してノートなどにまとめておくこと。（２時間）
第11回：経験のデザイン
事前学習：授業に向けて調査、実体験、試行錯誤、アイディア出しなどを実施しておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容を整理してノートなどにまとめておくこと。（２時間）
第12回：空白の企画開発
事前学習：授業に向けて調査、実体験、試行錯誤、アイディア出しなどを実施しておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容を整理してノートなどにまとめておくこと。（２時間）
第13回：顧客体験を創造し、追体験する。物語のディテールを磨く。
事前学習：授業に向けて調査、実体験、試行錯誤、アイディア出しなどを実施しておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容を整理してノートなどにまとめておくこと。（２時間）
第14回：企画実現のプロセスを描く。いかにリソースを集め、活用するか。
事前学習：授業に向けて調査、実体験、試行錯誤、アイディア出しなどを実施しておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容を整理してノートなどにまとめておくこと。（２時間）
第15回：ゼロから企画開発する（最終レポート作成）
事前学習：授業に向けて調査、実体験、試行錯誤、アイディア出しなどを実施しておくこと。（２時間）
事後学習：授業の内容を整理してノートなどにまとめておくこと。（２時間）

企画の準備を授業だけで完結させるのは困難であるため、授業外での調査、実体験、試行錯誤、アイディア出しなどを実施していることが必要になる。授業外での取り組み方が授業内での成果に大きく影響する。
一部例示したが、授業各回において、事前準備と事後まとめを求める。詳細は各回ごとに伝える。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題への取り組み姿勢（50％）、課題の成果（30％）、最終レポート（20％）

成　績　評　価　基　準

１．企画開発の過程において、日頃の仲間関係を超えて、多様な他者の意見に耳を傾ける対話の姿勢が持てるか。
２．自分の価値観を保留して、他者の価値観にとって有意義であるとはどういうことかを想像できるか。
３．着想から実現、さらなる展開までの思考・実行プロセスを自分の言葉で表現できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
必要に応じてレジュメを配布する。
その他（受講上の注意）
「企画開発基礎演習」「企画開発論１」をベースとして、発展的に学ぶ科目であるため、両科目の受講を終えていることを推奨する。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション技法Ⅰ (Communication Techniques Ⅰ)			担当教員	大河　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2254	2単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

日常的・実用的な文章例やレポート・論文の文章例をもとに、その例の問題点を自分たちで考え、修正し、発表する。どのような人にどのような情報をどのような順序で書くか、読む人の側に立って書く力を身につける。

授 業 の 到 達 目 標

・対象や目的に沿った書き方を理解し、実践することができる。
・読む人の側に立った書き方を理解し、実践することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（課題提出）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキストのトレーニング1～11、13, 14の最初の文章例に目を通す。（2時間）
　事後学習：資料を復習する。（2時間）
第2回：お知らせのメール（ディスカッション・発表）
　事前学習：テキストのトレーニング1を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（2時間）
第3回：レストランのメニュー（ディスカッション・発表）
　事前学習：テキストのトレーニング2を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（2時間）
第4回：問い合わせのメール（ディスカッション・発表）
　事前学習：テキストのトレーニング3を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（2時間）
第5回：注意書きやサービス案内（ディスカッション・発表）
　事前学習：テキストのトレーニング4を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（2時間）
第6回：お願いのメール（ディスカッション・発表）
　事前学習：テキストのトレーニング5を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（2時間）
第7回：お店やイベントの広告（ディスカッション・発表）
　事前学習：テキストのトレーニング6を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（2時間）
第8回：わかりやすいマニュアル（ディスカッション・発表）
　事前学習：テキストのトレーニング7を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（2時間）
第9回：場所や交通の案内（ディスカッション・発表）
　事前学習：テキストのトレーニング8を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（2時間）
第10回：企画や提案を出す（ディスカッション・発表）
　事前学習：テキストのトレーニング9を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（2時間）

第11回：ニュースレターを作る（ディスカッション・発表）
　　事前学習：テキストのトレーニング10を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（２時間）
第12回：アンケート用紙を作る（ディスカッション・発表）
　　事前学習：テキストのトレーニング11を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（２時間）
第13回：日本語弱者のことを考えて書く（ディスカッション・発表）
　　事前学習：テキストのトレーニング13を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（２時間）
第14回：レポートや論文を書く（ディスカッション・発表）
　　事前学習：テキストのトレーニング14を読み、問題点を把握し、関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：課題を仕上げ、eラーニングで提出する。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：これまでの授業で取り上げた問題点を確認し、関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：期末レポートに取り組む。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（40％）、課題（40％）、平常点（20％）
平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・対象や目的に沿った書き方を理解し、実践することができるか。
・読む人の側に立った書き方を理解し、実践することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

『日本語を書くトレーニング』　第２版　野田尚史・森口稔著　ひつじ書房　2014年

その他（受講上の注意）

受身ではなく、自分たちで問題点を発見し、解決することが求められる。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション技法Ⅱ (Communication TechniquesⅡ)			担当教員	植月　百枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2255	2単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

・コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につける。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■問題解決能力

授　業　の　内　容

・コミュニケーションの原点は、相手の気持ちを察しながら自分の考えを的確に伝えることで、それを紡ぐのが「言葉」である。
・授業では、「話す」「きく」の基本に加え、「報告」「説明」「プレゼンテーション」などの演習を通し言葉による自己表現力を高めていく。
・非言語コミュニケーションスキルを磨き、総合的なコミュニケーション能力の向上をめざす。

授　業　の　到　達　目　標

・言葉を使って、自分の考えや情報を的確に過不足なく相手に伝える。
・人前で分かりやすく、相手の心をつかむ自己PR、説明、報告、発表ができる。
・グループワークを通して他者とのコミュニケーションが円滑に行える。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：コミュニケーションとは何か、真のコミュニケーション能力について自分なりの意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：失敗だったり、好ましくなかったコミュニケーションから自分の課題、目標を立ててみること（2時間）
第2回：コミュニケーション・スキルを身につける→必要性と理由
　事前学習：コミュニケーションの際に、特に気をつけていることはどのようなことかを考え、まとめておくこと（2時間）
　事後学習：プリントを熟読すること。課題問題を課す（2時間）
第3回：効果的な自己紹介①
　事前学習：自己紹介は自己PRに繋がる。自分のことを短時間で相手に伝えるために自分の長所を考えまとめておくこと（2時間）
　事後学習：後日対面授業で自己紹介をする。自身で自己紹介を録音・録画して気が付いたことをまとめておくこと（2時間）
第4回：効果的な自己紹介②実践
　事前学習：第3回の授業を参考に、発表に備え自己紹介を構成し練習すること（2時間）
　事後学習：自身や友人の自己紹介を振り返り、話し方、態度、内容についてチェックシートを見ながら気がついた点をまとめ、再度口頭で練習すること。（2時間）
第5回：「非言語コミュニケーション・スキル」を磨く
　事前学習：言語以外の手段でコミュニケーションをとるにはどのような方法があるのか考えまとめておくこと（2時間）
　事後学習：非言語コミュニケーションを具体的に理解し、実践する（2時間）
第6回：「話をきくためのスキル」→観察する、共感する
　事前学習：「傾聴」「観察」「共感」についてプリントを熟読し、理解を深めておくこと（2時間）
　事後学習：「傾聴」「観察」「共感」の課題を課す（2時間）

第７回：「会話力を考える」
事前学習：「ミラーニューロン仮説」「ペーシング」「自己開示の返報性」について調べ、まとめておく（２時間）
事後学習：自身のコミュニケーション力を振り返り、講義での気づき、意見、感想をまとめること（２時間）
第８回：理解を深めるためのスキル→質問する、確認する
事前学習：テキストを読み、日常的な会話の場面で質問・確認を実践し、自分なりの意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：プリントで提示した課題を課す（２時間）
第９回：情報を共有するためのスキル①→説明する
事前学習：考え方や理解力の異なる相手に正確に伝え、理解させる説明に必要なことは何かまとめる（２時間）
事後学習：プリントを熟読し、与えられたテーマについて説明をすること（２時間）
第10回：情報を共有するためのスキル②
事前学習：授業では、口頭で道案内や品物の説明を実践する。効果的な説明を考え発表に備えること（２時間）
事後学習：プリントを熟読し分かりやすい説明をするための組み立てや順序を理解すること（２時間）
第11回：頭の中を整理するためのスキル
事前学習：テキストP50～P56を熟読し、熟考・関連付け・優先順位について、プレワークを通して理解しておくこと（２時間）
事後学習：テキスト　P56ワーク３の課題を課す（２時間）
第12回：仕事をスムーズに進めるためのスキル「報告」「連絡」「相談」
事前学習：ビジネスシーンでよく使われる報告・連絡・相談の重要性について調べ、まとめること（２時間）
事後学習：プリントに記載している報告の課題を課す（２時間）
第13回：提案し、納得に導くためのスキル①→説得する、プレゼンテーション
事前学習：テキストP80～P85を熟読し、プレワークのそれぞれのシーンについて気づいたことをまとめること（２時間）
事後学習：テキストP86、87の説得の基礎ワークⅠ、ケース問題に答えることを課す（２時間）
第14回：提案し、納得に導くためのスキル②　プレゼンテーション
事前学習：テキストP86～P89のワーク１を課題とする（２時間）
事後学習：シナリオを完成し、次回のプレゼンテーションの準備をすること（２時間）
第15回：「プレゼンテーション」（発表）
事前学習：プリントを熟読し、テーマに沿ったプレゼンテーションのシナリオ作成の準備をしておくこと（２時間）
事後学習：心をつかむプレゼンテーションとはどのような発表か、他者の発表を通して考え、自身の意見をまとめる（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）演習（25%）平常点（25%）
＊平常点は出席状況、授業への参加態度、演習への取り組み姿勢等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・言葉を使って、自分の考えや情報を的確に過不足なく相手に伝えることができるか。
・人前で分かりやすく、相手の心をつかむ自己PR、説明、報告、発表ができるか。
・授業では積極的に演習に取り組み、距離を取りつつ友人とのノンバーバルコミュニケーションを心がけているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

監修者：中村健壽
書　名：社会人準備講座シリーズ②『ワークで学ぶコミュニケーション・スキル』
発行所：株式会社　西文堂
発行年：2019年３月15日第２版第３刷

その他(受講上の注意)

・上記の授業計画は予定である。授業の進行状況によって変更することもある。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ライティング技法 (Writing Strategies)			担当教員	野尻　昌明
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2256	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　ビジネスコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

メディアにおけるライティングの違いを検証。各メディア特性を確認しながらメディア（ライティング）を制作し効果を学ぶ。
最終的にデジタルメディアに集結するコミュニケーションを、企画制作する。

授 業 の 到 達 目 標

コミュニケーションメディアに関する企画力・制作能力を高める。
コミュニケーションの目的とする各種ベクトルを把握しながら、正しい表現能力を会得する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：コミュニケーションとコピーライティング
　事前学習：コミュニケーションツールとしてのコピー（広告用の言葉・フレーズ・惹句）について理解しておくこと。（2時間）
　事後学習：授業中に示された各種コピーについてのメモをレポート化しておくこと。（2時間）
第2回：コピーライティング概論（新聞・TV・ポスター・web・各種）
　事前学習：授業前に各媒体から興味のあるクリエイティブ作品を選択、記録しておく。（2時間）
　事後学習：授業後、媒体特性を理解し選択したクリエイティブ作品についての分析を行う。（2時間）
第3回：コピーライティングの制作実践
　事前学習：前回与えられた課題について、複数のキャッチコピーと説明を用意しておく。（2時間）
　事後学習：授業中制作したコピーについて、再度ブラッシュアップする。（2時間）
第4回：作品の評価・ミーティング
　事前学習：選択したコピーについての十分な説明を準備しておく。（2時間）
　事後学習：評価されたコピーについてさらにブラッシュアップを行う。（2時間）
第5回：コンセプトの必要性（クライアント設定～制作～効果）
　事前学習：予告されたクライアントについいてのコンセプト（企業・地域・広報等）を準備しておく。（2時間）
　事後学習：学習したブラッシュアップ法によって、コンセプトを再度確認する・。（2時間）
第6回：設定クライアント（製品）①におけるミーティング（グループワーク）
　事前学習：設定クライアントについての予備知識を用意しておく。（2時間）
　事後学習：設定クライアントに類似した表現方法を書籍、資料などで調査する。（2時間）
第7回：制作実践（課題1/コンセプトライティング）
　事前学習：設定クライアントがコピーを必要とする理由・目的を分析しておく。（2時間）
　事後学習：設定したコンセプトが正しいかどうかを、クライアント確認とともに精査する。（2時間）
第8回：制作実践（課題1/キャッチコピーライティング）
　事前学習：前回与えられた課題について、複数のキャッチコピーと説明を用意しておく。（2時間）
　事後学習：授業中制作したコピーについて、再度ブラッシュアップする。（2時間）
第9回：制作実践（課題1/ボディコピーライティング）
　事前学習：前回与えられた課題について、複数のボディコピーと説明を用意しておく。（2時間）
　事後学習：授業中制作したコピーについて、再度ブラッシュアップする。（2時間）

第10回：制作実践（課題１/ライティング発表）
　　事前学習：選択したコピーについての十分な説明を準備しておく。（２時間）
　　事後学習：評価されたコピーについてさらにブラッシュアップを行う。（２時間）
第11回：設定クライアント（製品）②におけるミーティング（グループワーク）
　　事前学習：設定クライアントについての予備知識を用意しておく。（２時間）
　　事後学習：設定クライアントに類似した表現方法を書籍、資料などで調査する。（２時間）
第12回：制作実践（課題２/コンセプトライティング）
　　事前学習：設定クライアントがコピーを必要とする理由・目的を分析しておく。（２時間）
　　事後学習：設定クライアントに類似した表現方法を書籍、資料などで調査する。（２時間）
第13回：制作実践（課題２/キャッチコピー＆ボディライティング）
　　事前学習：与えられた課題について、複数のキャッチ＆ボディコピーと説明を用意しておく。（２時間）
　　事後学習：授業中制作したコピーについて、再度ブラッシュアップする。（２時間）
第14回：制作実践（課題１～２についての総合企画書）
　　事前学習：課題１～２についてのプロセスを考慮しながら、企画骨子をまとめておく。（２時間）
　　事後学習：指定された企画シートに沿って内容をまとめる。（２時間）
第15回：課題１～２における企画プレゼンテーション制作準備（プレゼンテーション）
　　事前学習：総括した企画を１枚のシートにまとめる。（２時間）
　　事後学習：担当教員とのディスカッション後、プレゼンテーションツールを作成しておく。（２時間）
第16回：最終試験
（※受講者数・状況により変更の場合あり）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題に対する活動評価・提出物・定期試験（60%）平常点（40%）
平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

メディアを利用しての実践的制作プロセス（ライティング・コンセプトメイキング・企画）のスケジュール把握とデジタルツールへの効果的・効率的な情報運用。
コミュニケーションメディアに関する企画力・制作能力を高めることができているか。
コミュニケーションの目的とする各種ベクトルを把握しながら、正しい表現能力を会得することができているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
・経歴 （広告ディレクター） ・実務経験と授業内容との関連性 （広告ディレクターとしての業務経験を有する教員が、各メディアにおけるコピーライティングの技法について演習を行う。）
テキスト、参考図書
使用しない
その他（受講上の注意）
他者の学ぶ時間を奪ったり、学ぶ姿勢を阻害するような行動に対しては厳しく対処します。各自、講義を通じて問題意識を醸成してください。 原則としてコミュニケーション技法Ⅰ（２年前期）を履修したものに限る。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

メディア･コミュニケーション論 (Study of Media Communication)			担当教員	升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2257	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画･マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

情報社会と呼ばれる今日では、様々なメディアが私たちの生活に深く入り込み、日常のコミュニケーションを通じて社会のあり様を大きく変えている。授業では、情報が溢れかえる時代において、物事の本質を問う力、考える力、および表現する力の向上を狙いとする。

授　業　の　到　達　目　標

・メディア理論に関して、その要諦と社会的意味の位置づけを説明することができる。
・メディアと社会の変容について分析することができる。また、自身の意見をもち考えを述べることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：メディア・コミュニケーションとは
　事前学習：メディアの意味・役割について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：新聞と社会の変容
　事前学習：新聞と社会の変容について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたマトリクスについて、レポートにまとめておくこと。（2時間）
第3回：新聞Ⅰ（グループワーク）
　事前学習：「新聞」について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたマトリクスについて、レポートにまとめておくこと。（2時間）
第4回：新聞Ⅱ（グループワーク・発表）
　事前学習：前回に続き「新聞」について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたマトリクスについて、レポートにまとめておくこと。（2時間）
第5回：紙のメディアⅠ（グループワーク）
　事前学習：紙のメディアについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたマトリクスについて、レポートにまとめておくこと。（2時間）
第6回：紙のメディアⅡ（グループワーク）
　事前学習：前回に続き紙のメディアについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：紙のメディアⅢ（発表）
　事前学習：前回に続き紙のメディアについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第8回：聴覚メディア
　事前学習：聴覚メディアと社会の変容について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第９回：視覚メディア
事前学習：視覚メディアと社会の変容について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：ニューメディア
事前学習：ニューメディアと社会の変容について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：メディア・リテラシーⅠ
事前学習：メディア・リテラシーについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：メディア・リテラシーⅡ
事前学習：前回に続きメディア・リテラシーについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：地域メディアⅠ
事前学習：地域メディアによる情報発信について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：地域メディアⅡ
事前学習：前回に続き地域メディアによる情報発信について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：授業全体の振り返りおよび確認問題に取り組むので、これまでの授業内容を確認しておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題に対する活動内容・提出物・レポート（70％）、平常点（30％）
※平常点：授業への参加状況・受講態度等を総合して判断

成　績　評　価　基　準

・メディア理論に関して、その要諦と社会的意味の位置づけを説明することができるか。
・メディアと社会の変容について分析することができるか。また、自身の意見をもち考えを述べることができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（リアクションペーパーに対するフィードバックについて）
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

必用に応じて、授業中に提示します。

その他(受講上の注意)

「授業の計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、変更する場合があります。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

メディア・デザイン (Media Design)			担当教員	吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2258	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

映像表現を用いたコミュニケーション方法について、知識・技術の基礎を身に付ける。メディア（テレビ、ウェブ等）や目的（PV、CM等）に応じた映像表現の基本ルールの理解と平行して、コンピュータ／スマートフォンのアプリケーションを用いた映像表現の技法を習得していく。

授 業 の 到 達 目 標

現在において動画コンテンツが有効とされている理由を理解する。映像表現の基本ルール・手法について理解する。コンピュータを用いた映像表現の技法を習得する。映像表現を駆使してコミュニケーションを生み出す能力を身に付ける。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：制作ツールの紹介、データの管理方法、映像制作の流れ、著作権について（実習）
　事前学習（2時間）教科書の目次を読み、教科書中の図案を見る
　事後学習（2時間）動画編集ソフトの基本操作を覚える
第2回：撮影技法① 安全や周囲への配慮、カメラの構え方、カメラワーク（実習、グループワーク）
　事前学習（2時間）前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）撮影技法の基本に基づいて撮影を更に試す
第3回：撮影技法② 三脚固定、タイムラプス、スロー（実習、グループワーク）
　事前学習（2時間）前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）タイムラプスやスローの機能を更に試す
第4回：編集技法① カット編集、トランジション（実習）
　事前学習（2時間）前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）動画編集ソフトの操作を復習する、カット編集の基本を覚える
第5回：編集技法② テロップやサウンドの挿入（実習）
　事前学習（2時間）前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）動画編集ソフトの操作を復習する、テロップの作成方法を覚える
第6回：編集技法③ ワイプ、インサート編集、色補正（実習）
　事前学習（2時間）前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）動画編集ソフトの操作を復習する、色補正の方法を覚える
第7回：編集技法④ 時間操作（実習）
　事前学習（2時間）前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）動画編集ソフトの操作を復習する、タイプリマップの使い方を覚える
第8回：制作実践①SNS向け動画（課題解決型学習、グループワーク）
　事前学習（2時間）素材となる動画を撮影する
　事後学習（2時間）動画編集ソフトの操作を復習する、SNS用動画の様式を覚える
第9回：制作実践②インタビュー動画撮影（課題解決型学習、グループワーク）
　事前学習（2時間）コンテンツ（インタビュー内容）を準備する
　事後学習（2時間）ロケ撮影をする

第10回：制作実践②インタビュー動画編集（課題解決型学習、グループワーク）
事前学習（２時間）絵コンテを作成する
事後学習（２時間）協同で編集し完成度を高める
第11回：期末課題制作① オリエンテーション、絵コンテの作成（課題解決型学習、フィールドワーク）
事前学習（２時間）教科書を読み直して動画編集の基本について理解を深める
事後学習（２時間）ロケハンをする
第12回：期末課題制作② 編集（課題解決型学習、実習）
事前学習（２時間）撮影データを整理してMacに読み込んでおく
事後学習（２時間）撮影をする
第13回：期末課題制作③ 編集、中間チェック（課題解決型学習、実習）
事前学習（２時間）数人で途中経過をプレビューし意見交換する
事後学習（２時間）担当教員からのフィードバックをもとに品質を高める
第14回：期末課題制作④ ブラッシュアップ、作品完成・提出（課題解決型学習、実習）
事前学習（２時間）更に良い作品にするために何度もプレビューする
事後学習（２時間）作品データを完成、データはEラーニングより提出する
第15回：期末課題制作⑤ プレゼンテーション（課題解決型学習、発表）
事前学習（２時間）プレゼンテーションを準備する
事後学習（２時間）他の学生の作品を鑑賞し批評する
その他、１～15回目を通して授業外で学習してほしいこと
・「技法」を意識して、日常流れている動画を別の視点で見る。
・センスを鍛えるために自主制作をする。
・疑問や知りたいことがあればオフィスアワー等を利用して積極的に担当教員に質問する。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末課題作品（40%）　授業毎の作品（30%）　授業毎の小テスト・レポート（30%）

成　績　評　価　基　準

・映像表現の基本ルールが理解できているか。
・ツールを適切に使用できているか。
・映像表現の基本ルールを理解した上で、課題作品の制作ができているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
・経歴 （WEBデザイナー） ・実務経験と授業内容との関連性 （WEBデザイナーとしての業務経験を有する教員が、映像表現の技法について演習を行う。）
テキスト、参考図書
テキスト：久松慎一・江見真理子「動画マーケティング トーク術&撮影・制作テクニック」玄光社, 2020年 参考図書：授業内で紹介する
その他（受講上の注意）
撮影は必要に応じて授業時間外に実施することがある。 授業を欠席した場合は、eラーニングにて授業内容を確認し次回の授業までに課題を提出すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

プロジェクト・デザイン基礎（Project Design Ⅰ）			担当教員	野尻　昌明
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2462	2単位	2年通年	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　ビジネスコース

求める学習成果（教育目標）

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

2年生～4年生の3年間という長期的展望に立って、年度を重ねながら最終的に学年を超えたコラボレーションでプロジェクトを生み出し、実社会に貢献する授業に育てていく。プロジェクトはチーム単位で学内外の諸課題の解決に取り組み、学生自らが主体的にアイディアを出し、目標・計画を立て、実行し、評価し、改善・革新していく。

授　業　の　到　達　目　標

学生自ら授業・プロジェクトを生み出し、展開していけること。学生相互に学び合うだけでなく、異なるプロジェクトの間で学び合い、多様な学生・プロジェクトが触発しあいながら、次年度の授業・プロジェクトに向けた基盤・展望・意欲が形成できること。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（プロジェクトチームによるクリエイティブワーク）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション、前年度実績のプレゼンテーション、プロジェクトデザインについての理解
　事前学習：提案したい企画内容をまとめておく（2時間）
　事後学習：チームメンバーと交流し、互いの得意な領域を確認しておく（2時間）
第2回：企画内容、実施計画の検討、企画プロデュースの理解
　事前学習：企画内容、実施計画についてのグループ討議ができるようにアイディアをまとめておく（2時間）
　事後学習：企画の立案、修正を行う（2時間）
第3回：既存の行政・組織・企業プロジェクトの課題を考察し実社会の実務を理解　企画書作成についてのブレーンストーミング
　事前学習：プレゼンテーションの事前準備をする（2時間）
　事後学習：フィードバックの結果に沿って、実施計画書を加筆修正する（2時間）
第4回：プロジェクトの実施準備（学内・企業）/スケジュール・品質管理、制作サポートについて理解　クリエイティブチーム編成（プロデューサー、ディレクター、プランナー、ライター、デザイナー、マーケッターなど）
　事前学習：企画に必要な知識・技術を習得しておく（2時間）
　事後学習：進捗を確認し、遅延がないように準備をすすめる（2時間）
第5回：プロジェクトの選択（学内・企業）～制作①/スケジュール・品質管理、制作サポート（グループワーク）
　事前学習：企画に必要な知識・技術を習得しておく（2時間）
　事後学習：進捗を確認し、遅延がないように準備をすすめる（2時間）
第6回：プロジェクトの制作②/記録（グループワーク）
　事前学習：実施当日の計画を確認しておく（2時間）
　事後学習：実施結果について、反省をまとめておく（2時間）
第7回：プロジェクトの制作③評価、改善
　事前学習：実施結果の評価および改善策について、グループ討議ができるようにアイディアをまとめておく（2時間）
　事後学習：企画を改善する（2時間）

第８回：プロジェクトの制作④　プロジェクトの改善・修正２年基礎①内部レビュー（グループワーク）
事前学習：レビューのための事前準備をする（２時間）
事後学習：レビューの結果に沿って、実施計画書を加筆修正し、承認されるレベルに仕上げる（２時間）
第９回：プロジェクトの制作⑤　実施計画書のプロデュース、改善・修正２年基礎②内部レビュー（グループワーク）
事前学習：レビューのための事前準備をする（２時間）
事後学習：レビューの結果に沿って、実施計画書を加筆修正し、承認されるレベルに仕上げる（２時間）
第10回：プロジェクトの実施準備①（グループワーク）
報告会準備・改善　事前学習：企画に必要な知識・技術を習得しておく（２時間）
事後学習：最終チェックをして完成度を高める（２時間）
第11回：プロジェクトの実施準備②（グループワーク）
報告会準備・改善　事前学習：実施当日の計画を確認しておく（２時間）
事後学習：実施結果について、反省をまとめておく（２時間）
第12回：全体報告会　基礎班　２年生より報告および質疑応答を行います。
事前学習：報告会の事前準備をする（２時間）
事後学習：報告会をふりかえり、次年度への継続準備をすすめる（２時間）
第13回：全体報告会　演習班 ２年・３年・４年 合同授業　３年生からの報告および質疑応答を行います。
事前学習：報告会をまとめる（２時間）
事後学習：要点をチェックして次年度の参照資料として準備を行う（２時間）
第14回：全体報告会　研究班 ２年・３年・４年 合同授業　４年生からの報告および質疑応答を行います。
事前学習：報告会をまとめる（２時間）
事後学習：要点をチェックして次年度の参照資料として準備を行う（２時間）
第15回：プロジェクトの報告授業　全体を通しての振り返りを行い、授業と学びを総括します。
事前学習：年間の学びをまとめる（２時間）
事後学習：フィードバックの結果に沿って、報告書やポスターを最終修正し、次年度の基礎班参照資料として掲示・保存をする（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題に対する取組み内容・提出物（80%）、平常点（20%）

成　績　評　価　基　準

・プロジェクトを生み出し、展開できているか。
・プロジェクトチームに貢献できているか、また、プロジェクトチームとして成果がでているか。
・プロジェクトの進め方（基本）について説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
特に使用しない。参考となる資料は必要に応じて配布する。
その他（受講上の注意）
一貫してチーム編成にて作業を進行する。価値観の違いを面白がり、触発しあい、生み出しあう姿勢を持つこと。授業の進捗に応じて柔軟に内容を変更していく。詳細説明は第１回に行うので、必ず出席すること。 企画開発論Ⅰ（２年前期）を履修しているものが望ましい。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

オーラル・コミュニケーションⅡa (Oral Communication Ⅱa)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2265	2単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

最初に、テキストのトピック内の記事を読み、英文を読む訓練を行う。続いて語彙の確認や記事の背景を理解し、自分の意見やアイディアを整理する。各ユニットの最後に討論を行う。

授 業 の 到 達 目 標

自分の意見やアイディアを英語で話すだけでなく、他人の意見やアイディアを英語で聞いて理解し、さらに、その意見やアイディアに対して建設的な考えを英語で発言できることを目指す。また、物事を批評する力を身につけることを目指す。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特に読解・スピーキング能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ナウル島の問題（食べ物の選択はどんな影響を与えますか。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたナウル島の問題について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第2回：ナウル島の問題（食べ物の選択はどんな影響を与えますか。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたナウル島の問題について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第3回：情熱（情熱とは何ですか。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された情熱について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第4回：情熱（情熱とは何ですか。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された情熱について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第5回：良い教師の影響（良い教師はどんな影響を与えますか。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された良い教師の影響について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第6回：良い教師の影響（良い教師はどんな影響を与えますか。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された良い教師の影響について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第7回：復習（第1回～6回の内容についての復習）（グループワーク　討議　発表）
　事前学習：授業前にテキストの第2,3,4ユニットを復習する。（2時間）
　事後学習：テキストの第2,3,4ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（2時間）
第8回：ユーモアと笑い（何が面白いですか。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第5章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたユーモアと笑いについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第9回：ユーモアと笑い（何が面白いですか。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第5章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたユーモアと笑いについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第10回：デートの心得（デートのルールは何ですか。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第6章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたデートの心得について、ノートにまとめておくこと。（2時間）

第11回：デートの心得（デートのルールは何ですか。書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第６章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたデートの心得について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第12回：栄養と運動（栄養と運動について。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第７章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された栄養と運動について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第13回：栄養と運動（栄養と運動について。書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第７章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された栄養と運動について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第14回：脳の異なる層（脳の異なる層について。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第８章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された脳の異なる層について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：脳の異なる層（脳の異なる層について。書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第８章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業前にテキストの第5,6,7,8ユニットを復習する。（２時間）
定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

積極的な授業態度及び課題（45％）、定期試験（55％）

成　績　評　価　基　準

自分の意見やアイディアを英語で話すだけでなく、他人の意見やアイディアを英語で聞いて理解し、さらにその意見やアイディアに対して建設的な考えを英語で発言できるか。
物事を批評する力を身につけているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキスト Life Topics: Deeper Connections（総合英語ライフトピックス３） Takashi Shimaoka and Jonathan Berman 2016. NAN' UN-DO ISBN 978-4-523-17823-1 （島岡丘, ジョナサン・バーマン著　出版社：南雲堂　2016） 参考図書 中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）
その他（受講上の注意）
Self-motivation and effort are very important for successful completion of this course.
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

オーラル・コミュニケーションⅡb (Oral CommunicationⅡb)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2266	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

最初にテキストのトピック内の記事を読み、英文を読む訓練を行う。続いて語彙の確認や記事の背景を理解し、自分の意見やアイディアを整理する。各ユニットの最後に討論を行う。

授 業 の 到 達 目 標

自分の意見やアイディアを英語で話すだけでなく、他人の意見やアイディアを英語で聞いて理解し、さらにその意見やアイディアに対して建設的な考えを英語で発言できることを目指す。また物事を批評する力を身につけることを目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：テクノロジー中毒（テクノロジーの弱点。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第9章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたテクノロジー中毒について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第2回：テクノロジー中毒（テクノロジーの弱点。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第9章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたテクノロジー中毒について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第3回：ミラーニューロン（ミラーニューロンとは何ですか。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたミラーニューロンについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第4回：ミラーニューロン（ミラーニューロンとは何ですか。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたミラーニューロンについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第5回：幸福追求の科学（人間はどうやって幸せになるの。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された幸福追求の科学について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第6回：幸福追求の科学（人間はどうやって幸せになるの。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された幸福追求の科学について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第7回：復習（第1回～6回の内容についての復習）（グループワーク　討議　発表）
　事前学習：授業前にテキストの第9,10,11ユニットを復習する。（2時間）
　事後学習：テキストの第9,10,11ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（2時間）
第8回：糖分依存症（糖分が多くなるとどのような影響が現れるのか。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された 糖分依存症について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第9回：糖分依存症（糖分が多くなるとどのような影響が現れるのか。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された 糖分依存症について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第10回：結婚の進化（結婚の進化について。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第13章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された結婚の進化について、ノートにまとめておくこと。（2時間）

第11回：結婚の進化（結婚の進化について。書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第13章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された結婚の進化について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第12回：アクティブリスニング（アクティブリスニングについて。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第14章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたアクティブリスニングについて、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第13回：アクティブリスニング（アクティブリスニングについて。書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第14章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたアクティブリスニングについて、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第14回：男性の脳、女性の脳（男性の脳、女性の脳について。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第15章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された男性の脳、女性の脳について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：男性の脳、女性の脳（男性の脳、女性の脳について。書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第15章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業前にテキストの第12, 13, 14, 15ユニットを復習する。（２時間）
定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

積極的な授業態度及び課題（45％）、定期試験（55％）

成　績　評　価　基　準

自分の意見やアイディアを英語で話すだけでなく、他人の意見やアイディアを英語で聞いて理解し、さらにその意見やアイディアに対して建設的な考えを英語で発言できるか。
物事を批評する力を身につけているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキスト Life Topics: Deeper Connections（総合英語ライフトピックス３） Takashi Shimaoka and Jonathan Berman 2016. NAN' UN-DO ISBN 978-4-523-17823-1 （島岡丘, ジョナサン・バーマン著　出版社：南雲堂　2016） 参考図書 中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）
その他（受講上の注意）
Self-motivation and effort are very important for successful completion of this course.
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

TOEIC英語Ⅰ (TOEIC EnglishⅠ)			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2269	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

TOEICテストの各パートの出題形式を理解し 、問題に取り組むためのテクニックを学ぶ。TOEIC600点レベルの語彙400語を確かなものとする。

授 業 の 到 達 目 標

リスニング力・リーディング力の向上を図り、TOEICテストのスコアアップを目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第2回：Listening Part 1 写真描写問題（1）/ Reading Part 5　短文穴埋め問題（1）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第3回：Listening Part 1 写真描写問題（2）/ Reading Part 5 短文穴埋め問題（2）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第4回：Listening Part 1 写真描写問題（3）/ Reading Part 5　短文穴埋め問題（3）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第5回：Listening Part 2 応答問題（1）/ Reading Part 6　長文穴埋め問題（1）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第6回：Listening Part 2 応答問題（2）（実技）/ Reading Part 6　長文穴埋め問題（1）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第7回：Listening Part 2 応答問題（3）/ Reading Part 6　長文穴埋め問題（2）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第8回：Listening Part 3 会話問題（1）/ Reading Part 7　1つの文書（1）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第9回：Listening Part 3 会話問題（2）/ Reading Part 7　1つの文書（2）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第10回：Listening Part 3 会話問題（3）/ Reading Part 7　1つの文書（3）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）

第11回：Listening Part 4 説明文問題（1）/ Reading Part 7 複数の文書（1）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第12回：Listening Part 4 説明文問題（2）/ Reading Part 7 複数の文書（2）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第13回：Listening Part 4 説明文問題（3）/ Reading Part 7 複数の文書（3）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第14回：Listening Part 4 説明文問題（4）/ Reading Part 7 複数の文書（4）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第15回：まとめ
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）

・英語教育センター主催のTOEIC IPを受験すること
・予習として、教科書の各回に関連する頁を読み、あらかじめ辞書で未知語を調べておく。また復習としては授業時の板書やハンドアウトに基づいて、各自のノートに授業内容をまとめておくこと。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）

成 績 評 価 方 法

定期試験（50%） 授業内レポート（30%） 平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します。）

成 績 評 価 基 準

TOEIC600点レベルに関わる語彙・文法・解答技術を習得したか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時 □仁大eラーニング □メール □その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時 □仁大eラーニング □メール □その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時 □仁大eラーニング □メール □その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時 □仁大eラーニング □メール □その他
5）その他
□授業時 □仁大eラーニング □メール □その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
小石裕子　『はじめて受けるTOEIC（R）L&Rテスト 全パート完全攻略』 2018年　アルク TEX加藤　『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 2017年　朝日新聞出版 また、必要に応じて適宜ハンドアウトを配布する。
その他（受講上の注意）
・TOEIC英語Ⅱ との同時履修はできない。 ・遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。 ・必ず英和辞書（電子辞書可）を持参すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

メディア英語 (Media English)			担当教員	加藤　義治
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2274	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

メディアに関わる英語と、多様な文化や価値観について学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

メディアに関わる英語と、多様な文化や価値観を理解する能力を養成する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：授業前に英字紙新聞（The Japan Timesなど）を見て、興味のあるトピックを1つ選び、選んだ理由を1つ考える。（2時間）
　事後学習：授業の復習をする。また、授業の進め方等についてわからないことがあったら、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：英字新聞
　事前学習：配布された英字新聞の記事を予習する。（2時間）
　事後学習：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：英字新聞
　事前学習：配布された英字新聞の記事を予習する。（2時間）
　事後学習：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：英字新聞
　事前学習：配布された英字新聞の記事を予習する。（2時間）
　事後学習：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：英字新聞
　事前学習：配布された英字新聞の記事を予習する。（2時間）
　事後学習：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：英字新聞
　事前学習：配布された英字新聞の記事を予習する。（2時間）
　事後学習：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：英字新聞
　事前学習：配布された英字新聞の記事を予習する。（2時間）
　事後学習：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィスアワーを利用し担当教員に質問すること。（2時間）
第8回：英字新聞
　事前学習：配布された英字新聞の記事を予習する。（2時間）
　事後学習：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（2時間）

第９回：英字新聞
事前学習：配布された英字新聞の記事を予習する。（２時間）
事後学習：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：英字新聞
事前学習：配布された英字新聞の記事を予習する。（２時間）
事後学習：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：英字新聞
事前学習：配布された英字新聞の記事を予習する。（２時間）
事後学習：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：英字新聞
事前学習：配布された英字新聞の記事を予習する。（２時間）
事後学習：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：英字新聞
事前学習：配布された英字新聞の記事を予習する。（２時間）
事後学習：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：英字新聞
事前学習：配布された英字新聞の記事を予習する。（２時間）
事後学習：授業の復習をする。また、わからないことがあれば、オフィス アワーを利用し担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ（授業内容の統括）
事前学習：これまでの授業内容をもとに、英文レポートを仕上げる。（２時間）
事後学習：全ての授業において学習した内容を復習する。特に、覚えていない単語を再確認し、覚える。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50％）授業内レポート（10％）平常点（40％）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

多様な文化や価値観について理解したことを、英語で分析的に表現できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
テキストは使用しない
その他（受講上の注意）
必ず英和辞書（電子辞書可）を持参してください。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英作文演習 (English Writing)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2275	2単位	2年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

パラグラフ・ライティングに焦点を当て、基本的なパラグラフ構成を学習する。ペア・グループ学習等の様々な言語活動を通して、ライティングにおける流暢さと正確さを追及する。

授 業 の 到 達 目 標

1．基本的なパラグラフ構成を理解し、意図することを読み手に効果的に伝えるパラグラフを書くことができる。
2．与えられたテーマについて、意図することを読み手に正確に伝えるパラグラフを、10分間で80語程度書くことができる。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特に読解・文書作成能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：トピックセンテンスの書き方（グループワーク）
　事前学習：授業前にテキストの第1章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたトピックセンテンスについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第2回：サポーティングセンテンスの書き方（グループワーク）
　事前学習：授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたサポーティングセンテンスについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第3回：コンクルーディングセンテンスの書き方（グループワーク）
　事前学習：授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたコンクルーディングセンテンスについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第4回：描写のパラグラフの書き方（グループワーク）
　事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された描写のパラグラフについて、自分の描写のパラグラフを書いて、e-ラーニングシステムにアップロードする。（2時間）
第5回：物語のパラグラフの書き方（グループワーク　発表）
　事前学習：授業前にテキストの第5章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された物語のパラグラフについて、自分の物語のパラグラフを書いて、e-ラーニングシステムにアップロードする。（2時間）
第6回：説明のパラグラフの書き方（グループワーク　発表）
　事前学習：授業前にテキストの第6章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された説明のパラグラフについて、自分の説明のパラグラフを書いて、e-ラーニングシステムにアップロードする。（2時間）
第7回：復習（第1回～第6回）（グループワーク　発表）
　事前学習：授業前にテキストの第1～6ユニットを復習する。（2時間）
　事後学習：テキストの第1～6ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（2時間）
第8回：まとまりとは（グループワーク）
　事前学習：授業前にテキストの第7章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された内容について、前回授業で課されたパラグラフ一つを書いて、e-ラーニングシステムにアップロードする。（2時間）

第９回：結束とは（グループワーク　発表）
　　事前学習：授業前にテキストの第８と９章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された内容について、前回授業で課されたパラグラフ一つを書いて、e-ラーニングシステムにアップロードする。（２時間）
第10回：プロセス について/ Process（グループワーク　発表）
　　事前学習：授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された内容について、前回授業で課されたパラグラフ一つを書いて、e-ラーニングシステムにアップロードする。（２時間）
第11回：理由と結果の書き方 / Reasons and Results（グループワーク　発表）
　　事前学習：授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された内容について、前回授業で課されたパラグラフ一つを書いて、e-ラーニングシステムにアップロードする。（２時間）
第12回：意見の書き方/ Opinions（グループワーク　発表）
　　事前学習：授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された内容について、前回授業で課されたパラグラフ一つを書いて、e-ラーニングシステムにアップロードする。（２時間）
第13回：復習（第８回～第13回）（グループワーク　発表）
　　事前学習：授業前にテキストの第７～12ユニットを復習。（２時間）
　　事後学習：テキストの第７～12ユニットを復習して、わからないところをノートにを書くこと。（２時間）
第14回：英作文発表の準備（グループワーク　発表）
　　事前学習：授業前に英作文を書き、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの第７～12ユニットを復習して、わからないところをノートにを書くこと。（２時間）
第15回：英作文の発表（発表）
　　事前学習：授業前に書いた作文の発表することを練習する。（２時間）
　　事後学習：テキストの第７～12ユニットを復習して、わからないところをノートにを書くこと。（２時間）
定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業での言語活動15%、毎時間の小テスト20%、課題15%、定期試験50%

成　績　評　価　基　準

１．基本的なパラグラフ構成を理解し、意図することを読み手に効果的に伝えるパラグラフを書くことができるか。
２．与えられたテーマについて、意図することを読み手に正確に伝えるパラグラフを、10分間で80語程度書くことができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
テキスト "Writing to Communicate 1 -Paragraphs-" C. Boardman. Pearson/Longman. 2008. 参考図書 中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）
その他（受講上の注意）
英和辞書、和英辞書、英英辞書を必ず持参すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

家族社会学 (Sociology of the Family)			担当教員	織田　暁子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2279	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

「家族」について、さまざまな視点から考える。また、多様な家族のあり方を知る。

授 業 の 到 達 目 標

「家族」はあまりに身近な存在であるがために、自分の知る「家族」だけが、当たり前のものだと考えがちである。しかし「家族」は普遍的なものではなく、時代や社会によって大きく異なり、また同じ社会の中でもさまざまである。授業を通じて、家族を社会学的な視点からみつめ、家族の歴史や多様性を理解することをめざす。
また、さまざまなライフイベント（就職・結婚・育児・離婚など）に関する制度や法律について適切に理解することをめざす。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（リアクション・ペーパー）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：イントロダクション：「家族」とは何か？
　事前学習：シラバスや参考図書に目を通しておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第2回：「家族」を捉える
　事前学習：「家族」の捉え方について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第3回：ジェンダー：男は仕事、女は家庭？，メディアとジェンダー
　事前学習：「家族とジェンダー」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第4回：「近代家族」の誕生①
　事前学習：「近代家族とは何か」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第5回：「近代家族」の誕生②
　事前学習：「日本の近代家族」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第6回：パートナーシップ①：未婚化・晩婚化・非婚化、婚活
　事前学習：「未婚化・晩婚化」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第7回：パートナーシップ②：異性、同性、SOGI
　事前学習：「性の多様性」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第8回：パートナーシップ③：結婚と事実婚、婚姻と子ども
　事前学習：「婚姻制度」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）
第9回：子どもをつくる①：妊娠・出産、リプロダクティブヘルス・ライツ、妊活
　事前学習：「子ども」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（2時間）

第10回：子どもをつくる②：メディアが描く家族像を読み解く
事前学習：「メディアと家族」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第11回：子どもをつくる③：少子化
事前学習：「育児」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第12回：子どもを育てる①：保育の課題、待機児童、保活
事前学習：「保育の課題」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第13回：子どもを育てる②：家事労働・育児
事前学習：「ケアワーク」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第14回：貧困とジェンダー
事前学習：「貧困」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品などを確認すること（２時間）
第15回：まとめ：社会の中の家族、家族をめぐる「選択」、家族の「課題」
事前学習：「家族のオルタナティブ」について、自分なりの考えや意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業のレジュメを見直し、テーマに関連するニュースや映像作品を確認する（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）、平常点（50%）
※平常点は受講態度、小テスト、小レポート、授業への参加状況等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

現在の家族に関する制度や法律について正しく理解できているか。
家族の多様性や歴史的な変化を正しく理解し、具体的な事例を用いて説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキストは指定しない。 参考図書として、落合恵美子『21世紀家族へ（第４版）』有斐閣（2019年） 中野円佳『「育休世代」のジレンマ ── 女性活用はなぜ失敗するのか？』光文社（2014年） 岩上真珠『ライフコースとジェンダーで読む家族（第３版）』有斐閣（2013年）　など。 また、授業中に適宜紹介する。
その他（受講上の注意）
受講生の関心に応じて、「授業の計画」に提示した内容から若干変更する可能性がある。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会調査法 (Social Research Methods)			担当教員	織田　暁子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2280	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

社会調査によって資料やデータを収集し、分析しうる形にまで整理していく具体的な方法を解説する。調査目的と調査方法、調査方法の決め方、調査企画と設計、仮説構成、全数調査と標本調査、無作為抽出、標本数と誤差、サンプリングの諸方法、質問文・調査票の作り方、調査の実施方法(調査票の配布・回収法、調査データの整理など)を学ぶ。

授　業　の　到　達　目　標

・調査票調査の手順を理解する。
・調査票調査におけるデータ収集法の違いについて理解する。
・適切な質問と回答選択肢を作成するための方法を習得する。
・無作為抽出の意義を理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(模擬調査及およびパソコンを用いた演習)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキストの第1章を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第2回：調査方法の選択
　事前学習：テキストの第2章を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第3回：アンケート調査の進め方(1)　リサーチクエスチョン，仮説を構成する
　事前学習：テキストの第3章を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第4回：アンケート調査の進め方(2)　調査の企画
　事前学習：テキストの第4章(前半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第5回：調査票作成の基礎(1)　仮説と質問項目
　事前学習：テキストの第4章(後半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第6回：調査票作成の基礎(2)　ワーディング
　事前学習：テキストの第6章(前半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第7回：調査票作成の基礎(3)　質問文の形式と選択肢の構成
　事前学習：テキストの第6章(後半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)
第8回：サンプリング(1)　ランダム・サンプリングがなぜ必要か
　事前学習：テキストの第7章(前半)を読み、疑問点をまとめておく(2時間)
　事後学習：授業内容およびテキストを復習する(2時間)

第９回：サンプリング（２）　サンプリングと調査票の配布から回収まで
　　事前学習：テキストの第７章（後半）を読み、疑問点をまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容およびテキストを復習する（２時間）
第10回：模擬調査
　　事前学習：テキストの第８章を読み、疑問点をまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容およびテキストを復習する（２時間）
第11回：調査データの作成（１）　エディティング，コーディング
　　事前学習：テキストの第９章（前半）を読み、疑問点をまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容およびテキストを復習する（２時間）
第12回：調査データの作成（２）　データ入力，データクリーニング
　　事前学習：テキストの９章（後半）を読み、疑問点をまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容およびテキストを復習する（２時間）
第13回：データ分析（１）　記述統計
　　事前学習：テキストの第10章を読み、疑問点をまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容およびテキストを復習する（２時間）
第14回：データ分析（２）　クロス表分析
　　事前学習：テキストの第12章を読み、疑問点をまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容およびテキストを復習する（２時間）
第15回：報告書の作成
　　事前学習：テキストの13章を読み、疑問点をまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容およびテキストを復習する（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

・定期試験（40%）
・課題提出・受講態度（60%）

成　績　評　価　基　準

・調査票調査の手順を理解できているか。
・調査票調査におけるデータ収集法の違いについて理解できているか。
・適切な質問と回答選択肢を作成するための方法を習得しているか。
・無作為抽出の意義を理解できているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
『入門・社会調査法』（第四版）轟・杉野編　法律文化社　2021年
その他（受講上の注意）
この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、社会調査士資格認定科目【B】〔調査設計と実施方法に関する科目〕に相当する。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報・社会調査基礎 (Fundamentals of Information and Society)			担当教員	織田　暁子、江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2281	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

この講義は、社会調査(量的調査・質的調査)に関する本の論文を読み、社会調査に関する基礎的な理解を目指す。毎回の講義をとおして、情報・社会調査の基礎体力を習得することを目的とする。なお、読む論文の順序は入れ替わることがある。

授 業 の 到 達 目 標

情報・社会調査のスキルと概念を理解したうえで、現代社会を分析する視角として用いることができるようになる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション(織田・江南)
　事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておく。(2時間)
　事後学習：授業の内容を振り返り、e-learningを通じてリフレクションを実施する。(2時間)
第2回：論文講読方法の指導、担当者決定(織田・江南)
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておく。(2時間)
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する(2時間)
第3回：【講義】課題論文の解説(織田・江南)
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておく。(2時間)
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する(2時間)
第4回：論文報告(1)(2)(織田・江南)
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする(2時間)
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する(2時間)
第5回：論文報告(3)(4)(織田・江南)
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする(2時間)
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する(2時間)
第6回：論文報告(5)(6)(織田・江南)
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする(2時間)
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する(2時間)
第7回：論文報告(7)(8)(織田・江南)
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする(2時間)
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習すること(2時間)
第8回：論文報告(9)(10)(織田・江南)
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする(2時間)
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する(2時間)
第9回：【講義】課題論文の解説(織田・江南)
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておく。(2時間)
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する(2時間)
第10回：論文報告(11)(12)(織田・江南)
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする(2時間)
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する(2時間)

第11回：論文報告（13）（14）（織田・江南）
　　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする（２時間）
　　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する（２時間）
第12回：論文報告（15）（16）（織田・江南）
　　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする（２時間）
　　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する（２時間）
第13回：論文報告（17）（18）（織田・江南）
　　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする（２時間）
　　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する（２時間）
第14回：論文報告（19）（20）（織田・江南）
　　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめる。発表担当者は準備をする（２時間）
　　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施する。また授業内容を復習する（２時間）
第15回：まとめ（織田・江南）
　　事前学習：授業前に14回までを振り返り、質問項目をまとめておく。（２時間）
　　事後学習：e-learningを通じて授業全体のリフレクションを実施する。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レジュメの作成（40%）、プレゼンテーション（40%）、ディスカッションへの参加（20%）

成　績　評　価　基　準

情報・社会調査の基礎体力を習得できたか。講義中に扱った概念を用いて、日常生活世界の分析ができるようになったか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

必要な場合は講義内で指示します。

その他（受講上の注意）

講義で使用する論文は、保管場所を別途指示します。
必ず各自印刷の上で論文を読み、講義時に持参してください。

オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会調査方法論 (Social Data Analysis)			担当教員	織田　暁子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2283	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

この講義では、量的なデータを読み、正しく理解するために必要な統計学の知識について、基礎から説明していく。単純集計、度数分布、代表値、クロス集計などの記述統計データの読み方や、グラフの読み方、また、それらの計算や作成のしかた、さまざまな質的データの読み方と基本的なまとめ方を学ぶことで、官庁統計や簡単な調査報告・フィールドワーク論文を読めるようにする。

授 業 の 到 達 目 標

・必要に応じて、官庁統計を探し、それを読みこなせるようになる。
・基礎的な統計量について理解できるようになる。
・データをグラフなどを用いて要約できるようになる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（パソコンを用いた演習）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキストの第1章を読み、疑問点などをまとめておく（2時間）
　事後学習：授業内容を復習する（2時間）
第2回：統計データとはなにか
　事前学習：テキストの第2章を読み、疑問点などをまとめておく（2時間）
　事後学習：授業内容を復習する（2時間）
第3回：統計データの入手方法　官庁統計を利用する
　事前学習：テキストの第3章を読み、疑問点などをまとめておく（2時間）
　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第3章の「課題」に取り組む（2時間）
第4回：統計データの読み方（1）　単純集計・度数分布
　事前学習：テキストの第4章を読み、疑問点などをまとめておく（2時間）
　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第4章の「課題」に取り組む（2時間）
第5回：：統計データの読み方（2）　基本統計量：代表値・分散・標準偏差
　事前学習：テキストの第5章を読み、疑問点などをまとめておく（2時間）
　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第5章の「課題」に取り組む（2時間）
第6回：小テスト
　事前学習：これまでの授業で学んだ内容について復習する（2時間）
　事後学習：これまでの授業で学んだ内容について復習する（2時間）
第7回：統計データをグラフにする（1）　円グラフ、棒グラフ、折れ線グラフ
　事前学習：テキストの第7章（前半）を読み、疑問点などをまとめておく（2時間）
　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第7章の「課題」に取り組む（2時間）
第8回：統計データをグラフにする（2）　ヒストグラム、散布図
　事前学習：テキストの第7章（後半）を読み、疑問点などをまとめておく（2時間）
　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第7章の「課題」に取り組む（2時間）
第9回：関連性を探る（1）　相関係数
　事前学習：テキストの第8章を読み、疑問点などをまとめておく（2時間）
　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第8章の「課題」に取り組む（2時間）

第10回：関連性を探る（２）　クロス集計表
　　事前学習：テキストの第11章を読み、疑問点などをまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第11章の「課題」に取り組む（２時間）
第11回：関連性を探る（３）　クロス集計表
　　事前学習：テキストの第12章を読み、疑問点などをまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第12章の「課題」に取り組む（２時間）
第12回：小テスト
　　事前学習：これまでの授業で学んだパソコンの操作法について復習する（２時間）
　　事後学習：これまでの授業で学んだ内容について復習する（２時間）
第13回：相関係数と因果関係　みかけの相関に騙されないために
　　事前学習：テキストの第10章を読み、疑問点などをまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第10章の「課題」に取り組む（２時間）
第14回：質的データのまとめ方
　　事前学習：テキストの第13章を読み、疑問点などをまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第13章の「課題」に取り組む（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：テキストの第14章を読み、疑問点などをまとめておく（２時間）
　　事後学習：授業内容を復習し、テキストの第14章の「課題」に取り組む（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）
平常点・小テスト・課題提出（50%）
（平常点は授業への参加状況・受講態度を総合的に判断します）

成　績　評　価　基　準

・必要に応じて、適切な官庁統計を探せているか。また、それを読みこなせているか。
・基礎的な統計量について理解できているか。
・データをグラフなどを用いて要約できるようになっているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
『社会調査のための統計データ分析』 廣瀬毅士・寺島拓幸　オーム社　2010年
その他（受講上の注意）
この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、社会調査士資格認定科目【C】〔基本的な資料とデータの分析に関する科目〕に相当する。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

統計学 (Statistics)			担当教員	禿　　寿
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2284	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

社会調査の統計的データをまとめたり分析したりするために必要な基礎的統計学を学ぶ。まず推測統計の論理として確率論の基礎、基本統計量、検定・推定理論とその応用、抽出法の理論を学び、その後変数間の関連を表す統計量として、クロス表の統計量、相関係数、回帰分析についての基礎を学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

・統計的データをまとめることができる。
・推測統計に必要な知識と方法を理解している。
・変数間の関係性を表す統計量の知識と方法を持っている。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（パソコンを用いた演習）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキスト第1章・第2章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間）
　事後学習：社会調査のデータと変数に関するそれぞれの名称を確認しておくこと（2時間）
第2回：記述統計と推測統計との違い
　事前学習：テキスト第3章・第4章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間）
　事後学習：記述統計と推測統計の違いについて確認する（2時間）
第3回：部分から全体を推測する　社会を知るための諸条件
　事前学習：テキスト第9章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間）
　事後学習：推測統計が可能な条件について確認する（2時間）
第4回：確率分布について（1）　二項分布・ポアソン分布
　事前学習：二項分布・ポアソン分布とは何か、調べておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学んだ分布の具体例について確認しておくこと（2時間）
第5回：確率分布について（2）　正規分布・t分布
　事前学習：正規分布・t分布とは何か、調べておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学んだ分布の具体例について確認しておくこと（2時間）
第6回：確率分布について（3）　カイ二乗分布・F分布
　事前学習：カイ2乗分布・F分布とは何か、調べておくこと（2時間）
　事後学習：授業で学んだ分布の具体例について確認しておくこと（2時間）
第7回：推定の論理（1）　中心極限定理
　事前学習：テキスト第10章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間）
　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（2時間）
第8回：推定の論理（2）　信頼区間
　事前学習：テキスト第11章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間）
　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（2時間）
第9回：推定の論理（3）　帰無仮説の考え方
　事前学習：テキスト第11章を読み、疑問点を確認しておくこと（2時間）
　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（2時間）

第10回：検定の論理（１）　t検定
　　事前学習：テキスト第13章を読み、疑問点を確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（２時間）
第11回：検定の論理（２）　カイ二乗検定
　　事前学習：テキスト第12章を読み、疑問点を確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（２時間）
第12回：相関係数
　　事前学習：テキスト第５章を読み、疑問点を確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（２時間）
第13回：回帰分析
　　事前学習：テキスト第６章を読み、疑問点を確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（２時間）
第14回：回帰係数の検定
　　事前学習：テキスト第８章を読み、疑問点を確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：これまでの授業内容を復習し、疑問点や不明点を確認しておくこと（２時間）
　　事後学習：授業の内容に関連する練習問題や統計ソフトを用いた分析に取り組む（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）、授業中の小レポートと受講態度（50%）

成　績　評　価　基　準

・統計的データをまとめることができるか。
・推測統計に必要な知識と方法を理解しているか。
・変数間の関係性を表す統計量の知識と方法を持っているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
参考図書 『社会調査のための統計学 ── 生きた実例で理解する ──』 神林博史・三輪哲 著　技術評論社　2011年
その他（受講上の注意）
この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、社会調査士資格認定科目【D】〔社会調査に必要な統計学に関する科目〕に相当する。 数学的知識を必要とするが、全員あまり数学的知識を持っていないものとして授業をすすめる。 なお、「社会調査方法論」で学ぶ記述統計学の知識を前提とする。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

データ解析法a (Qualitative Data Analysis a)			担当教員	江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2285	2単位	2年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

この講義では、まず、さまざまな質的データの収集や分析方法について解説をおこなう。具体的には、聞き取り調査、参与観察法、会話分析の他、活字や映像などのメディア・テクスト(コンテンツ)に関する質的データの分析法について、実例を通して学ぶ。そのうえで、実習として、インタビュー調査の経験をしてもらう。

授　業　の　到　達　目　標

質的データの収集や分析方法を理解したうえで、実際にインタビュー調査を企画し、実施、報告をおこなうことができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること(2時間)
第2回：量的調査の可能性と限界
　事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①第1章を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること(2時間)
第3回：質的データとは何か　(討議(ディスカッション、ディベート))
　事前学習：前回のノートを見直し、参考文献②を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること(2時間)
第4回：質的調査の手法(1)インタビュー調査
　事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②のインタビュー調査に該当する部分を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。また、インタビューの手法についても理解しておくこと(2時間)
第5回：質的調査の手法(2)参与観察法
　事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②の参与観察に該当する部分を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること。また、出来れば参与観察による研究論文をciniiなどで調べ、読んでおくことが望ましい(2時間)
第6回：質的調査の手法(3)会話分析　(討議(ディスカッション、ディベート))
　事前学習：前回のノートを見直し、上述の参考文献・論文等を読んでおくこと(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、会話分析に関する参考書籍(授業内に指示)を図書館等で調べ、精読すること(2時間)
第7回：質的調査の手法(4)ドキュメント分析(活字メディア)
　事前学習：前回のノートを見直し、上述の参考文献を読んでおくこと。(2時間)
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること(2時間)

第８回：質的調査の手法（５）ドキュメント分析　（映像メディア）
事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②を読んでおくこと（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること（２時間）
第９回：インタビュー法の習得（１）インタビューの企画　（フィールドワーク）
事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②を読んでおくこと（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、フィールドワークに関する書物を図書館等で調べ、精読すること。また、グループ内で実施するフィールドワークの方向性について議論し、検討すること（２時間）
第10回：インタビュー法の習得（２）対象者と質問内容の決定　（討議（ディスカッション、ディベート））
事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②を読んでおくこと（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、調査の最終準備を行うこと（２時間）
第11回：インタビュー法の習得（３）インタビューの実施　（グループワーク）
事前学習：前回のノートを見直し、インタビュー法の手順などを覚えてくること（２時間）
事後学習：インタビューで得られたデータを記録し、グループ内で共有できるようにすること（２時間）
第12回：調査データの分析（１）　（討議（ディスカッション、ディベート）を実施）（グループワーク）
事前学習：前回のノートを見直し、参考文献①②を読んでおくこと。（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、グループ内でデータ内容やレポートテーマ等を批判的に検討すること（２時間）
第13回：調査データの分析（２）（課題解決型学習（PBL）を実施）
事前学習：前回のデータ分析をもとに、講義内で必要な資料収集やデータの精査をすすめること（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、グループ内で具体的な分析をおこなった上で、考察を行うこと（２時間）
第14回：質的調査の可能性と限界
事前学習：これまでのノートや調査データを見直し、参考文献①②の該当箇所を読んでおくこと（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を購読すること（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：前回のノートを見直し、これまで学んだ内容、調査で得られたデータなどを整理すること（２時間）
事後学習：講義後ノートを見直して復習し、全ての講義内で講じられた内容を整理し、理解するように努めること（４時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

講義中の発表、レポート（70%）平常点（30 %）
平常点は授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します（出席点ではありません）。

成　績　評　価　基　準

①質的データの収集や分析方法を理解しているか
②質的調査、特に実際にインタビュー調査を企画し、実施、報告をおこなうことが出来ているか

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　■メール　■その他（オンラインコミュニケーションツール（Teams）などを利用）
5）その他（講義内での討論・議論などに対するフィードバックについて）
■授業時　□仁大eラーニング　■メール　■その他（担当教員の研究室、もしくはオンラインコミュニケーションツール（Teamsなど）にて）

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

参考文献①：大谷信介・後藤範章・小松洋・木下栄二編著，2013,『新・社会調査へのアプローチ ── 論理と方法』ミネルヴァ書房
参考文献②：佐藤郁哉，2006,『フィールドワーク増補版 ── 書を持って街へ出よう』新曜社
参考文献③：宮内泰介，2004,『自分で調べる技術』岩波書店

その他(受講上の注意)

私語等、講義を妨害する学生には退出してもらう。単位を与えない場合もある。受講生の理解度によって授業計画には変更を加える可能性がある。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

観光社会学 (Tourism and Society)			担当教員	江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2291	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本講義では、「観光」という現象を理解するために必要な知識の枠組みを主に社会学・文化人類学の観点から学びます。また地域と観光の関係について、学外実習を踏まえながら、グループワークと個人ワークを通じて考えを深めます。
なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目です

授 業 の 到 達 目 標

・観光における複数の立場を理解し、観光現象を論じることができる
・自ら必要なデータを収集し、事実に基づいた議論ができるようになる
・コミュニケーション・ツールを活用し、グループワークを運営できる

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：授業前にシラバスを読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の内容を振り返り、e-learningを通じてリフレクションを実施すること。（2時間）
第2回：観光研究の輪郭――観光社会学と観光人類学
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第3回：社会現象としての観光の構造――構成要素と変遷
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること（2時間）
第4回：RESAS（地域経済分析システム）からみる福井の観光動向
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第5回：オルタナティヴ・ツーリズム、エコ・ツーリズム、Pro-Poor Tourism
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第6回：Special Interest Tourism①ー教育志向のツーリズム
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第7回：Special Interest Tourism②ー体験志向のツーリズム
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）
第8回：観光とまちづくり、あるいは観光まちづくり
　事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。また授業内容を復習すること。（2時間）

第９回：グループワーク①── テーマ設定とリサーチ（グループワーク）
事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。またグループで定めた作業を進めること。（２時間）
第10回：スタディ・ツーリズム実習（フィールドワーク）
事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、調査項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。またグループで定めた作業を進めること。（２時間）
第11回：グループワーク②── データの整理（グループワーク）
事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。またグループで定めた作業を進めること。（２時間）
第12回：グループワーク③── コンセプト・メイキング（グループワーク）
事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。またグループで定めた作業を進めること。（２時間）
第13回：グループワーク④── ブラッシュアップ（グループワーク）
事前学習：授業前にe-learningの資料を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。またグループで定めた作業を進めること。（２時間）
第14回：グループ課題の発表（プレゼンテーション）
事前学習：グループごとに発表準備を進めること。（２時間）
事後学習：e-learningを通じてリフレクションを実施すること。（２時間）
第15回：講義のまとめ
事前学習：授業前に14回までを振り返り、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：e-learningを通じて授業全体のリフレクションを実施すること。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点（グループ課題を含む）（30%）最終レポート（70%）
平常点は授業への参加状況、受講態度、グループ課題への参加度等を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

・観光現象における複数の立場を理解できたか
・各種統計や観察データをもとに観光現象を論じることができたか
・グループのメンバーと共同し、魅力的な観光プランを計画できたか

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
5）その他（ディスカッションなどに対するフィードバックについて）
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（担当教員の研究室（E104B）を訪れるか、オンラインコミュニケーションツール（Teams）を用いて）

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

教科書：安村克己・堀野正人・遠藤英樹・寺岡伸悟編著，2011,『よくわかる観光社会学』　ミネルヴァ書房
参考図書：西川克之・岡本亮輔・奈良雅史編著，2019,『フィールドから読み解く観光文化学　──「体験」を「研究」にする16章──』　ミネルヴァ書房

その他(受講上の注意)

・受講者の理解度により講義内容を変更することがあります
・固定メンバーによるグループワークがあるため、責任ある受講を求めます

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語Ⅲa (EnglishⅢa)			担当教員	M　クズィフ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2341	1単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

A pre-reading warm-up activity will be held before reading the essay for each unit. Comprehension exercises, including pair-work, will follow the introduction of new vocabulary. After discussing the topic in groups, a short writing exercise will be given.

授 業 の 到 達 目 標

The goal of this course is to develop reading and discussion skills. Students will deepen their understanding of the world around them. Students will learn to engage in thoughtful and effective communication that is representative of an increasingly global world.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Introductions（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第2回：Who Is J.K. Rowling? ①（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第3回：Who Is J.K. Rowling? ②（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第4回：What Are Some New Year's Customs? ①（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第5回：What Are Some New Year's Customs? ②（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第6回：Where Is Buckingham Palace? ①（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第7回：Where Is Buckingham Palace? ②（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第8回：Mid-term Examination / Why Are Cows Special In India? ①（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第9回：Why Are Cows Special In India? ②（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）

第10回：Why Do People Give Gifts For Weddings? ①（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第11回：Why Do People Give Gifts For Weddings? ②（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第12回：What's Special About The Blowfish? ①（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第13回：What's Special About The Blowfish? ②（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第14回：Who Are The Sami? ①（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第15回：Who Are The Sami? ②（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
Students are encouraged to consult the Internet for information on topics introduced in the textbook.

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

Proactive In-class Participation - 20%
Homework and Assignments - 30%
Final Discussion - 50%

成　績　評　価　基　準

Students are expected to and will be evaluated on their role during in-class discussions and on assigned material as well as their performance on the mid-term and final evaluations.

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
Broukal, Milada. What A World Reading 1 : Amazing Stories from Around the Globe. Pearson Longman. ISBN 978-0-13-247267-8
その他（受講上の注意）
Active participation in class is essential for success in this course.
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語Ⅲb (EnglishⅢb)			担当教員	M　クズィフ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2342	1単位	3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　外国語科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

A pre-reading warm-up activity will be held before reading the essay for each unit. Comprehension exercises, including pair-work, will follow the introduction of new vocabulary. After discussing the topic in groups, a short writing exercise will be given.

授 業 の 到 達 目 標

The goal of this course is to develop reading and discussion skills. Students will deepen their understanding of the world around them. Students will learn to engage in thoughtful and effective communication that is representative of an increasingly global world.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Introductions（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第2回：Why Are Rain Forests Important? ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第3回：Why Are Rain Forests Important? ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第4回：What Is Tornado Alley? ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第5回：What Is Tornado Alley? ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第6回：Who Was Andrew Carnegie? ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第7回：Who Was Andrew Carnegie? ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第8回：Mid-term Examination / Why Do People Decorate Their Bodies? ①（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第9回：Why Do People Decorate Their Bodies? ②（ディスカッション）
　事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
　事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）

第10回：What Is Canada's Favorite Sport? ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第11回：What Is Canada's Favorite Sport? ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第12回：What's Special About New Zealand? ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第13回：What's Special About New Zealand? ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第14回：Who Were The Men Sailing Dragon Ships? ①（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
第15回：Who Were The Men Sailing Dragon Ships? ②（ディスカッション）
事前学習：前回の授業を振り返り、分からないことについて質問項目をまとめておくこと（30分）
事後学習：授業で課された課題を解き、分からないことについて図書館で調べること（30分）
Students are encouraged to consult the Internet for information on topics introduced in the textbook.

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

Proactive In-class Participation - 20%
Homework and Assignments - 30%
Final Discussion - 50%

成　績　評　価　基　準

Students are expected to and will be evaluated on their role during in-class discussions and on assigned material as well as their performance on the mid-term and final examinations.

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
Broukal, Milada. What A World Reading 1 : Amazing Stories from Around the Globe. Pearson Longman. ISBN 978-0-13-247267-8
その他（受講上の注意）
Active participation in class is essential for success in this course.
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報処理演習 a (Information Processing Practicum a)			担当教員	竹村　順吾
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2250	2 単位	2 年前期・ 3 年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

情報技術の基礎とその社会における利用について学び、情報技術を有効に活用するための知識と態度を習得する。

授 業 の 到 達 目 標

一般企業などにおける情報システムの利用者側としての必要な知識技能を主に習得し、業務の情報化を推進できる幅広い活用能力の獲得を目指す。
本授業では、情報処理技術者試験の一つである「ITパスポート試験（iパス）」に合格できるレベルの知識と技能を獲得することを目標とする。
参考　IT パスポート試験シラバス
https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/about/range.html

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第 1 回：概説、第 1 章 企業と法務（1）
　事前学習：テキスト「試験の概要」「1-1-1」「1-1-2」を読み予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第 2 回：第 1 章 企業と法務（2）
　事前学習：テキスト「1-1-3」を読み予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第 3 回：第 1 章 企業と法務（3）
　事前学習：テキスト「1-2」を読み予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第 4 回：第 2 章 経営戦略
　事前学習：テキスト「2-1」〜「2-3」を読み予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第 5 回：第 3 章 システム戦略
　事前学習：テキスト「3-1」〜「3-2」を読み予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第 6 回：第 4 章 開発技術
　事前学習：テキスト「4-1」〜「4-2」を読み予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第 7 回：第 5 章 プロジェクトマネジメント
　事前学習：テキスト「5-1」を読み予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第 8 回：第 6 章 サービスマネジメント
　事前学習：テキスト「6-1」〜「6-2」を読み予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）
第 9 回：第 7 章 基礎理論（1）
　事前学習：テキスト「7-1」を読み予習する（2時間）
　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（2時間）

第10回：第７章 基礎理論（２）
　　事前学習：テキスト「7-2」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（２時間）
第11回：第８章 コンピュータシステム
　　事前学習：テキスト「8-1」～「8-4」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（２時間）
第12回：第９章 技術要素（１）
　　事前学習：テキスト「9-1」～「9-2」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（２時間）
第13回：第９章 技術要素（２）
　　事前学習：テキスト「9-3」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（２時間）
第14回：第９章 技術要素（３）
　　事前学習：テキスト「9-4」～「9-5」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（２時間）
第15回：第10章 表計算、CBT試験対策
　　事前学習：テキスト「10-1」～「10-3」、「CBT試験対策」を読み予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲について復習、課題提出（２時間）
　　ITパスポート試験疑似体験用ソフトウェアで過去問題を試行（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（80%）演習課題（10%）平常点（10%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

ITパスポート試験に合格できるレベルの知識と技能を獲得できたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

・経歴
（インターネット関連企業勤務）
・実務経験と授業内容との関連性
（IT関連企業でマーケティングや開発経験を有する教員が、社会におけるＩＴ技術の役割を実例豊富に紹介し、企業で求められる実践的リテラシーとスキルを解説する。）

テキスト、参考図書

テキスト
『令和４-５年度版　ITパスポート試験　対策テキスト＆過去問題集』 FOM出版　2021年
参考図書
『令和04年 イメージ＆クレバー方式でよくわかる 栢木先生のITパスポート教室』 技術評論社　2021年
『【令和４年度】いちばんやさしいITパスポート 絶対合格の教科書+出る順問題集』 SBクリエイティブ　2022年

その他（受講上の注意）

テキスト必携必須

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報処理演習b (Information Processing Practicum b)			担当教員	竹村　順吾
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2251	2単位	2年後期・ 3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　情報科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

情報技術の基礎とその社会における利用について学び、情報技術を有効に活用するための知識と態度を習得します。

授 業 の 到 達 目 標

一般企業などにおける情報システムの利用者側としての必要な知識技能を主に習得し、業務の情報化を推進できる幅広い活用能力の獲得を目指す。
本授業では、情報処理技術者試験の一つである「ITパスポート試験（iパス）」に合格できるレベルの知識と技能を獲得することを目標とする。
参考　IT パスポート試験シラバス
https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/about/range.html

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

テキストを順次進めるほか、前回課題の解説を行う
第1回：概説、第1章 企業と法務（1）
　　事前学習：Lesson01～8を読み、予習する（2時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（2時間）
第2回：第1章 企業と法務（2）、課題解説
　　事前学習：Lesson09～16を読み、予習する（2時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（2時間）
第3回：第2章 経営戦略（1）、課題解説
　　事前学習：Lesson17～22を読み、予習する（2時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（2時間）
第4回：第2章 経営戦略（2）、課題解説
　　事前学習：Lesson23～29を読み、予習する（2時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（2時間）
第5回：第3章 システム戦略、課題解説
　　事前学習：Lesson30～37を読み、予習する（2時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（2時間）
第6回：第4章 開発技術、課題解説
　　事前学習：Lesson38～47を読み、予習する（2時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（2時間）
第7回：第5章 プロジェクトマネジメント、第6章 サービスマネジメント、課題解説
　　事前学習：Lesson48～57を読み、予習する（2時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（2時間）
第8回：第7章 基礎理論、課題解説
　　事前学習：Lesson58～65を読み、予習する（2時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（2時間）

第９回：第８章 コンピュータシステム（１）、課題解説
　　事前学習：Lesson66～72を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（２時間）
第10回：第８章 コンピュータシステム（２）、課題解説
　　事前学習：Lesson73～80を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（２時間）
第11回：第９章 技術要素（１）、課題解説
　　事前学習：Lesson81～90を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（２時間）
第12回：第９章 技術要素（２）、課題解説
　　事前学習：Lesson91～99を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（２時間）
第13回：第９章 技術要素（３）、課題解説
　　事前学習：Lesson100～106を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（２時間）
第14回：第９章 技術要素（４）、課題解説
　　事前学習：Lesson107～112を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（２時間）
第15回：第10章 疑似言語、課題解説
　　事前学習：Lesson113～116を読み、予習する（２時間）
　　事後学習：本日採り上げた範囲を復習、課題提出（２時間）
　　ITパスポート試験疑似体験用ソフトウェアで過去問題を試行（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）演習課題（20%）平常点（10%）
　（平常点は、授業への参加状況・受講態度等）

成　績　評　価　基　準

ITパスポート試験に合格できるレベルの知識と技能を獲得できたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

・経歴
（インターネット関連企業勤務）
・実務経験と授業内容との関連性
（IT関連企業でマーケティングや開発経験を有する教員が、社会におけるＩＴ技術の役割を実例豊富に紹介し、企業で求められる実践的リテラシーとスキルを解説する。）

テキスト、参考図書

テキスト
『令和04-05年 ITパスポート 試験によくでる問題集』 技術評論社　2022年
参考図書
『令和 4 - 5 年度版　ITパスポート試験　対策テキスト＆過去問題集』 FOM出版　2021年

その他（受講上の注意）

テキスト必携必須
前期の「情報処理演習a」を受講している者を前提としている。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(インターンシップ) (Fieldwork Practice - Internship)			担当教員	升田　法継、森本　文人
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2361	2単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・フィールドワーク科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

本授業は、主として「福井県インターンシッププログラム」(3年生対象)に沿って、民間企業や各種団体、自治体等における就業体験(原則として5日間)を夏期休業中に行う。インターンシップ参加者(福井県外での参加者含む)は、事前の本学教員および主催者によるガイダンスや面接等を受講し、事後の報告会等に参加することを義務づけ、就業意識の高揚をねらう。

授　業　の　到　達　目　標

民間企業や各種団体・自治体等で就業体験(実習)を行い、以後の学習・研究のための動機付けを得ること、また社会人・職業人となるための自己認識、自己啓発につなげること。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

■準備・事前研修期間
4月上旬：本学ガイダンスへの参加(学内実施)
4月上旬：インターンシップ志望動機書の提出(学内実施)
4月下旬：面接(学内実施)※結果発表：5月上旬
4月下旬：合同ガイダンスへの参加(学外実施)
5月中旬：エントリーシートの提出(学内実施)
6月上旬：本学事前研修会への参加(学内実施)
6月下旬：就業体験先企業・団体の通知(学内実施)
7月中旬：合同事前研修会への参加(学外実施)
■就業体験期間
7月上旬～：就業体験先企業・団体と事前調整
8月上旬～9月下旬：就業体験
■事後研修期間
10月下旬：合同事後研修会への参加(学外実施)(グループワークおよび発表)
事後学習：授業で課された「インターンシップで学んだこと」について、レポートにまとめておくこと。
11月下旬：レポートの提出(学内実施)※テーマ：インターンシップで学んだこと
※授業外の基本的な学習(60時間)方法として、就業体験先企業・団体の組織概要や事業内容について調べたり、あらかじめ疑問点を考えておくなどし、問題意識をもって就業体験に参加してください(予習)。また、就業体験、研修の内容や気づいたことなどを整理・確認するなどし、次回プログラムに備えてください(復習)。

授業の形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第1回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第2回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第3回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第4回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第5回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第6回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第7回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第8回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)

第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

就業体験先企業・団体の評価（35%）、レポート（30%）、平常点（35%）
平常点は事前研修（ガイダンス・面接を含む）の参加状況、参加意欲（志望動機）等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

インターンシップ先の研修において、期待される行動・態度がとれているか。
就業体験をとおして、今後自己に必要な学習・研究について明確化することができているか。
民間企業や各種団体等での就業体験によって、自己の就業意識を向上することができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

企業（業種：情報通信、社員数：約26万人）の管理職（主な担当業務：人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システム コンサルタント等）経験のある教員が、学生の就業体験にあたっての心構えや留意点についての解説や就業体験後の振り返り（反省・成果の確認）の場を提供するとともに、振り返りを踏まえた今後の課題について、学生生活を関連づけて考えることができるよう促す。

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

使用しない。

その他（受講上の注意）

本科目の履修登録については、それぞれの担当教員がガイダンスなどを実施し、各プログラムの参加者をもって受講者とするため、通常の受講登録手続きを要しない。
・受講希望者には、「志望動機書」の提出および面接を行い、就業意欲を認めたうえで実施する。
・授業計画は、協力団体などの都合により、前後したり変更する場合がある。
・第１回キャリアガイダンスにおいてスケジュールなどについて説明するので、必ず出席すること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(ボランティア)(心理) (Fieldwork Practice - Volunteer)			担当教員	大森　慈子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2163	2単位	1年～4年	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

学内外でのボランティア活動、社会的イベントなどへの参画や参加を通し、実際の地域社会における直接的体験を得て、優れた社会人となるための自己認識、自己啓発の機会とする。当該活動や体験の意義と内容をよく理解し、取り組み後には自身の経験と反省点を具体的に報告する。

授　業　の　到　達　目　標

■ボランティアの社会的意義を理解する。
■必要な情報の収集と課題の解決に、積極的に取り組むことができる。
■活動内容の記録と考察によって、自己の役割と能力を広げる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

活動内容と時期によって計画と学習方法は異なるが、概ね下記に従う。なお、活動は前期に行われる場合、後期に行われる場合、前後期通して行われる場合が想定される。
1．ガイダンス（2時間）
2．活動参加の計画呈示（2時間）
3．活動の実施（24時間以上）
4．活動報告（2時間）
・事前学習（30時間）：活動に関する情報収集、活動に求められる課題、活動報告の準備など。
・事後学習（30時間）：活動記録の執筆、活動における課題の整理など。

授業の形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

活動や取り組みの状況（50%）、報告書またはプレゼンテーション（50%）

成　績　評　価　基　準

■ボランティアの社会的意義を理解しているか。
■必要な情報の収集と課題の解決に、積極的に取り組むことができたか。
■活動内容の記録と考察によって、自己の役割と能力を広げられるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（活動報告に対するフィードバックについて）
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（報告時）

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

使用しない。

その他(受講上の注意)

■履修登録については、通常の受講登録手続きを要しない（ガイダンス時に説明）。
■履修にあたっては、必ず担当教員へ問い合わせること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(ボランティア)(コミュニケーション) (Fieldwork Practice - Volunteer)			担当教員	小川　　慶
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2163	2単位	1年～4年	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

本プログラムには、学内外でのボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験が含まれる。教室や研究室で学習や研究をするのではなく、実際に社会での直接的体験を通して、優れた社会人となるための自己認識、自己啓発の機会とすることを目的とする。担当教員や活動支援団体による説明会への参加をもとに受講の意思を明らかにし、プログラムへの参加とする。
なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目である。

授　業　の　到　達　目　標

・それぞれが今後学ぶ、または学んでいることの社会的意義を見いだすことができる。
・学生間はもとより、地域社会で仕事や生活をしている社会人とのコミュニケーションが、円滑に行える。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

地域社会からのニーズを元にプログラムを立てるため、その解決すべき課題を元に授業計画を設定する。
1．事前ガイダンスの実施と計画の提示（2時間）
2．現地にて研修（26時間以上）
3．事後報告として、レポート・プレゼンテーション等の実施，課題に関連する情報の収集（2時間）

・事前学習（30時間）…受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組み。レポート・プレゼンテーションの準備など。
・事後学習（30時間）…研修記録の執筆、受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組みなど。

授業の形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成 績 評 価 方 法

活動や取り組みの状況（50%）、レポートまたはプレゼンテーション（50%）

成 績 評 価 基 準

課題について、的確な視点を持ち、その解決に向けて自身の考察による提案ができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
5）その他（上記以外の内容に対するフィードバックについて）
□授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

使用しない。

その他（受講上の注意）

本科目の履修登録については、それぞれの担当教員がガイダンスなどを実施し、各プログラムの参加者をもって受講者とするため、通常の受講登録手続きを要しない。
※個人参加のボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験等も対象とする場合があるので、受講希望者は、事前に科目担当者へ問い合わせること。
※単位認定については、参加するボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションのプログラム終了後、担当教員より課される課題等を全て提出し、単位認定するにあたり適当であると認めた場合のみとする。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(国際交流) (Fieldwork Practice - International Exchange)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2164	2単位	1年～4年	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

原則としてアメリカ・カリフォルニア州立大学フラトン校（本学姉妹校）での集中講義（2週間）の形式で実施するが、英語教育センターで承認を受けた場合は個人留学による語学研修でも履修可能である。フラトン校での集中講義では、授業あるいはワークショップの参加・見学、キャンパス内外での視察、クラブ活動参加、観光等を通じて国際交流を体験し、以後の学修・研究のための動機付けを得ることを目指す。前期に事前授業10回・後期に事後授業5回を実施する。

授業の到達目標

・学外における自主的な活動や体験を通して、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得する。
・「仁愛大学海外短期研修プログラム（2週間）」への参画体験演習を通して、以後の学修・研究のための動機付けを得る。
・異文化理解を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

事前学習（30時間）
・全体説明会（目的、日程、研修内容、宿泊、準備物［パスポート、航空券、クレジットカードなど］）
・ビザの申請
・ホストファミリーへの紹介文
・研修地に関する事前学習
・場面別英会話の学習
・プレゼンテーションの準備・練習
・プレースメントテスト
・経験者の話・質疑応答
・最終確認
＜集中講義（夏期休暇中）＞
留学（40時間）
・英語の授業（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング、文法、語彙など）
・日本語の指導
・文化施設見学
・ホストファミリーとの交流（ホームステイ）
・体験ツアー
・歴史、文化授業参加、ディスカッション
・他の大学生との交流

事後学習（30時間）
・研修のふりかえり・レポート
・プレゼンテーション準備
・体験報告会

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

事前授業の取り組み（30%）、現地評価（50%）、事後授業の取り組み、およびレポート課題（20%）を総合評価する。

成　績　評　価　基　準

学外における自主的な活動や体験をとおして、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得できたか。
学修・研究のための動機付けを得て、優れた社会人となるための自己認識を深めることができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

特になし

その他（受講上の注意）

受講生が少ない場合、非開講とすることがある。本科目の履修登録については、担当教員等が行うガイダンスおよび本プログラム参加をもって履修登録とするため、通常の履修登録手続きを要しない。
【フラトン校・アルバータ大学での集中講義以外の履修について】
履修要件：　英語教育センターで（１）～（４）を行うこと
（１）留学相談（留学先・方法など決定）
（２）審査　　（本科目としての適切性）
（３）事前指導（提出書類準備・渡航準備）
（４）事後指導（必要な課題提出・発表・単位認定審査）
研修期間：　夏期休暇期間または春期休暇期間
単位認定時期：　夏期休暇期間の場合は当該年度後期、春期休暇期間の場合は翌年度前期
※卒業年次生は、夏期休暇中の実施のみ

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理検査演習 (Training Course of Psychological Testing)			担当教員	吉水ちひろ、坂井　祐円、青井　利哉
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2310	2単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法や基礎的知識を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

この授業では、心理検査の背景理論や実施方法について学習した後、実際に検査者と被検者の双方を体験する。これを通して、心理検査を正しく理解するだけでなく、その効用と限界の認識、さらに倫理性をわきまえた態度を身につけていく。また、一定の決められた実施法や解釈の仕方などを習得する中で、新たな自分への気づきや他者理解へと繋げることを目的とする。

授　業　の　到　達　目　標

・心理検査の種類を理解し、各検査の効用と限界について説明できる。
・心理検査の実施に際して、実施手順や分析手順を理解し施行できる。
・心理検査を用いるときの倫理的配慮や注意事項について説明することができる。
・自分自身の性格を多角的に分析し、他者に説明できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

この授業では、さまざまな心理検査について体験的学習を行うためにグループ別にて演習を行う。以下のように4週ごとに異なる検査について学ぶ。

第1回：オリエンテーション
　事前学習：心理的アセスメントを振り返り、基礎的な知識の復習をしておく。（2時間）
　事後学習：テキストを参照し、質問項目をまとめておく。（2時間）
第2回：アセスメントにおける心理検査法の役割・レポートの書き方についての説明
　事前学習：授業のテーマについてテキストを見直し、自分なりの意見をまとめておく。（2時間）
　事後学習：関連することを参考文献等で調べ、ポイントを整理しまとめておく。（2時間）
第3回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）①実習
　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（2時間）
第4回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）②実習
　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（2時間）
第5回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）③実習
　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（2時間）
第6回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）④実習
　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（2時間）
第7回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）①実習
　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（2時間）
第8回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）②実習
　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（2時間）

第９回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）③実習
　　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（２時間）
　　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（２時間）
第10回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）④実習
　　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（２時間）
　　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（２時間）
第11回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）①実習
　　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（２時間）
　　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（２時間）
第12回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）②実習
　　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（２時間）
　　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（２時間）
第13回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）③実習
　　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（２時間）
　　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（２時間）
第14回：質問紙法検査（STAI、MAS、CMI）・投影法検査（風景構成法、SCT）・知能検査（WAIS-Ⅲ）④実習
　　事前学習：テキストの該当する章や参考文献を読み、質問項目をまとめておく。（２時間）
　　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておく。（２時間）
第15回：演習の振り返りとまとめ
　　事前学習：これまでの演習を復習しておく。（２時間）
　　事後学習：授業の到達目標に達しているかを確認する。（２時間）
※各検査の担当者は［　　］に示す通りである。質問紙法検査［青井］、投影法検査［吉水］、知能検査［坂井］
予習：テキストおよび参考文献を用いて各回で取り上げる心理検査について予習し、基本的な事柄について理解しておくこと。
復習：授業で体験した心理検査を通して、考えたことや感じたことをまとめておくこと。また、授業時間だけでは作業が終わらない場合は、残った作業を遂行して次回の授業に臨むこと。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業への参加状況や受講態度（30%）、検査ごとに作成する課題レポート（60%）、演習全体を通した小レポート（10%）などから総合的に評価する。心理検査を用いた演習を行うため、出席状況や受講態度が悪い場合は、厳しく減点する。

成　績　評　価　基　準

・心理検査の種類を理解し、各検査の効用と限界について説明できるか。
・心理検査の実施に際して、実施手順や分析手順を理解し施行できるか。
・心理検査を用いるときの倫理的配慮や注意事項について説明することができるか。
・自分自身の性格を多角的に分析し、他者に説明できるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴
（公認心理師，臨床心理士）
・実務経験と授業内容との関連性
（公認心理師の教員の指導の下、心理検査法の背景理論や実施方法、効用と限界の認識について理解するために演習を行う。）

テキスト、参考図書

＜テキスト＞願興寺礼子・吉住隆弘（編）「心理検査の実施の初歩」（ナカニシヤ出版,2011年発行）
そのほか、各検査毎に必要な資料を配布したり、参考図書を指示する。

その他(受講上の注意)

・実習を含むので、出席と熱心な受講態度を期待する。
・自分自身の性格等の自己開示が必要な場合がある。
・心理検査の学習者・実施者の倫理（授業時に説明）を守り、検査の知識を安易に使用しないこと。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理面接演習 (Training Course of Clinical Interviewing)			担当教員	稲木　康一郎、坂井　祐円
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−F−2312	2単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学基礎

求める学習成果(教育目標)

心理学の研究方法と基礎的な知識・技能・技術

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学分野で用いられる面接法（個人アプローチ・グループアプローチ）について学ぶ。
具体的には、心理面接法に関する基礎知識についての講義を行い、演習によって学生が体験的に学習する。

授 業 の 到 達 目 標

①心理面接法（個人アプローチ・グループアプローチ）の基本的な理論や技法を理解する。
②心理面接法を行う際に必要な倫理的態度を理解し、身につける。
③積極的な演習への参加を通して、人の意見を聞き自分の意見を言える能力を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ロールプレイ））

授業の計画及び授業外の学習方法

2つのグループ（A・B）が交替で2つの演習（個人アプローチ・グループアプローチ）を行う。
全体の授業計画は以下のとおり。
第1回：全体授業）オリエンテーション・グループ分け【稲木・坂井】
第2回：第7回（グループ別）A：個人アプローチ【坂井】、B：グループアプローチ【稲木】
第8回：全体授業）中間まとめと課題【坂井・稲木】
第9回：第14回（グループ別）A：グループアプローチ【稲木】、B：個人アプローチ【坂井】
第15回：全体授業）演習全体のまとめと課題【稲木・坂井】
なお、演習の進行状況など、場合によっては、スケジュールが変更されることもあります。
以下に、Aグループの授業計画を示す。
第1回：全体授業　オリエンテーション・グループ分け
　事前学習：シラバスを熟読すること。（2時間）
　事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、eラーニングを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：講義　傾聴カウンセリングの理念とスキルについて
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
　事後学習：「ふり返り用紙」（講義の内容をまとめる・一人でできる傾聴ワークの感想）を提出すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、eラーニングを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：演習　傾聴のスキル ── 受容・くり返し・明確化（ロールプレイ）
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
　事後学習：演習の体験と課題について「ふり返り用紙」にまとめ、提出すること。（2時間）
第4回：演習　クライエントの語り（ロールプレイ）
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
　事後学習：演習の体験と課題について「ふり返り用紙」にまとめ、提出すること。（2時間）

第５回：演習　カウンセラーからの質問（ロールプレイ）
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：演習の体験と課題について「ふり返り用紙」にまとめ、提出すること。（２時間）
第６回：演習　沈黙とリード・対話と沈黙　（ロールプレイ）
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：演習の体験と課題について「ふり返り用紙」にまとめ、提出すること。（２時間）
第７回：演習　対話分析・フリートーク（ロールプレイ）
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：演習の体験と課題について「ふり返り用紙」にまとめ、提出すること。（２時間）
第８回：全体授業　中間まとめと課題
事前学習：課題の準備をすること。（２時間）
事後学習：課題の復習をすること。（２時間）
第９回：講義　グループアプローチと多様なエクササイズについて
事前学習：新聞やＴＶ、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、ｅラーニングを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：演習　アイスブレイキング（グループワーク）
事前学習：新聞やＴＶ、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：演習の体験について、受講生どうしで話し合うこと。（２時間）
第11回：演習　心理劇（グループワーク）
事前学習：新聞やＴＶ、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：演習の体験について、受講生どうしで話し合うこと。（２時間）
第12回：演習　ＫＪ法（グループワーク）
事前学習：新聞やＴＶ、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：演習の体験について、受講生どうしで話し合うこと。（２時間）
第13回：演習　ワールドカフェ（討議・ディスカッション）
事前学習：新聞やＴＶ、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：演習の体験について、受講生どうしで話し合うこと。（２時間）
第14回：講義　SCによる心理教育
事前学習：新聞やＴＶ、インターネット上の報道にふれ、社会の動きに関心を深めること。心理学のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：課題の準備をすること。（２時間）
第15回：全体授業　演習全体のまとめと課題
事前学習：課題の準備をすること。（２時間）
事後学習：課題の復習をすること。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成 績 評 価 方 法

授業への積極的な参加（40%）、および、課題（60%）で評価する。
授業への積極的な参加は、出席・態度・発言・ワークシートの内容などを総合的に評価する。
また、演習形式の授業であるため、授業への欠席や遅刻などは厳重に減点を行う。

成 績 評 価 基 準

①心理面接法の基礎的かつ実践的な知識が身についているか。
②心理面接法を行う際に必要な倫理的態度を理解し、身につけているか。
③演習に積極的に参加し、人の意見を聞き自分の意見を言える能力を身につけているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

・経歴
（公認心理師，臨床心理士）
・実務経験と授業内容との関連性
（公認心理師の教員が、心理面接法の基本的な理論や技法、必要な倫理的態度について解説する。）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

テキストはオリエンテーション時に示す。

その他(受講上の注意)

２つのグループに分かれ、交替して、個人アプローチとグループアプローチの２つの演習を行う。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

司法・犯罪心理学 (Forensic and Criminal Psychology)			担当教員	廣井　亮一
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2324	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

講義内容を3部で構成する。
第1部では、少年犯罪の現状をもとに現代の少年犯罪の特徴を考察する。
第2部では、少年非行の歴史的変遷をもとに、非行や犯罪につながる「攻撃性」の質的変質を説明したうえで、現代の社会問題になっている児童虐待と非行、現代型いじめについて講義する。
第3部では、ストーカー犯罪についての解説を行いながら司法臨床の必要性を明示する。
＊以上について、ワークとディスカッションを行いながら講義をすすめる。

授　業　の　到　達　目　標

・非行少年や犯罪者を十分に理解して、彼らの更生の援助ができる。
・人と人との関係性を修復することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：講義の進め方、犯罪心理学への導入
　事前学習：授業前にテキストの第6章を読んで、疑問点、各自の考えを整理しておくこと。（2時間）
　事後学習：授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（2時間）
第2回：現代の少年犯罪の特徴
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（2時間）
第3回：少年犯罪の現状
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（2時間）
第4回：非行少年とは
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（2時間）
第5回：少年事件と家庭裁判所、犯罪者と地方裁判所
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（2時間）
第6回：少年非行の歴史的変遷－その1
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（2時間）
第7回：なぜ人を殺してはいけないのか
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（2時間）
第8回：少年非行の歴史的変遷－その2
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（2時間）
第9回：愛着障害と非行－広島少女遺体遺棄事件
　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（2時間）

第10回：現代型いじめ
　　事前学習：テキストの第６章を読んで、疑問点、各自の考えを整理しておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（２時間）
第11回：現代の子どもの死生観
　　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（２時間）
第12回：ストーカー犯罪の理解と対応－逗子ストーカー事件をもとに
　　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（２時間）
第13回：ストーカー犯罪の検証－大阪府警の100ケースをもとに
　　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト、配布資料で授業の復習を行うこと。授業で課された復習課題をやること。（２時間）
第14回：非行・犯罪と攻撃性と依存性
　　事前学習：前回の授業内容でよく分からない点や質問をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト、配布資料、ノートで今まで総復習を行うこと。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：テストに備えた学修をすること。（２時間）
　　事後学習：テキスト、配布資料、ノートで今まで総復習を行うこと。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

テスト（50％）平常点（50％）：授業態度、出席等

成　績　評　価　基　準

・非行少年や犯罪者を十分に理解しているか。
・人と人との関係性を修復するために必要な知識を得たか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

テキスト：『司法・犯罪心理学 ── 司法臨床のアプローチ』 廣井亮一著　放送大学教育振興会　2020年３月
（＊テキストは予習・復習、講義とテストに使用するので、各自必ず準備すること）

その他（受講上の注意）
授業中のスマホ・携帯は禁止。パソコン使用については講義中に説明する。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育・学校心理学 (Educational and School Psychology)			担当教員	竹村　明子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−G−2332	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

教育とは、子どもの発達と自己形成の支援を行うものである。このような「教育」について、心理学の視点から考える学問が教育心理学である。
本講義では，児童・生徒の発達や学習、人間関係に関する特徴について学び、各子どもに適切な学習指導や生徒指導について考察する。また標準的発達とは異なる特徴を示す児童・生徒についても，知識や理解を深め，彼らへの支援法について考えていく。

授 業 の 到 達 目 標

①児童・生徒の発達や学習の特徴，障害について，基本的な知識を習得できる
②教育心理学の理論や知見を基に学校教育について考えることができる
③現在の教育上の問題について，考察することができる

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション：教育・学校心理学とは
　事前学習：シラバスを読み，質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第2回：発達を促す
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第3回：動機づけ（欲求と内発的動機づけ）
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第4回：動機づけ（目標理論　原因帰属）
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第5回：問題解決としての学習
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）
第6回：学習指導法
　事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（2時間）
　事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（2時間）

第７回：教育評価
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第８回：まとめと中間評価
事前学習：第１回目から７回目までに提示された重要ポイントについて勉強をし，中間試験に臨むこと（２時間）
事後学習：中間試験問題を持ち帰り，自己採点をして間違った解答について復習をすること（２時間）
第９回：知的能力と教育
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第10回：社会性の発達と教育
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第11回：学級集団の心理学
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第12回：発達障がいと特別支援教育
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第13回：不登校の理解
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第14回：いじめの理解
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第15回：学校不適応行動の理解
事前学習：事前にE-Learning上に配付資料を提示しておく。各自プリントアウトし，内容を読み質問項目をまとめる（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第16回：まとめと期末評価
日頃から教育に関連する書籍・新聞を読み，興味を持って授業に臨むこと

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

成績評価は，①授業毎に課される課題の内容（30%），②中間試験またはレポートおよび期末試験またはレポート（70%）で総合的に評価をする。

成　績　評　価　基　準

①児童・生徒の発達や学習の特徴，障害について，基本的な知識をどの程度習得できているか
②教育心理学の理論や知見を基に学校教育について，どの程度適切に考えることができるか
③現在の教育上の問題について，どの程度論理的・具体的に考察することができるか

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

授業ごとに資料を配付する。
テキストは特に設けない。参考文献については授業内で適宜紹介する。

その他（受講上の注意）

毎回の講義に小レポートの提出を課すので，必ず講義に出席し小レポートを提出すること。講義では，自分の意見をまとめ表現できるよう，心がけてほしい。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

交通心理学 (Traffic Psychology)			担当教員	森本　文人
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2337	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

心理学の各領域における基礎的かつ一般的な知識

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

交通心理学の主な目標のひとつは，車社会における道路利用者の安全と事故の防止です．交通場面での安全確保と発生する事故の防止のためには，それらにつながる人的要因とそれ以外の要因について，心理学領域より明らかにされてきた事象を理解し，有効に活用することが求められます．
本授業では，交通心理学の歴史を紹介し，得られた研究成果をもとに，上記の目標につながる知見を獲得していきます．また地域の抱える交通問題や現代の交通事情についての理解を深めていきます．

授 業 の 到 達 目 標

■交通心理学の基礎的な概念と主要な研究成果について理解する．
■事故防止などの社会的問題の解決に向けて交通心理学の果たす役割・手法について理解する．
■福井の交通事情における地域特有の問題について説明できる．

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：交通心理学概説1
　事前学習：なし
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．（2時間）
第2回：交通心理学概説2
　事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（2時間）
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．（2時間）
第3回：ドライバーの知覚・認知・応答特性
　事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（2時間）
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．（2時間）
第4回：外界からの情報入力～運動出力
　事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（2時間）
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．（2時間）
第5回：事故につながるリスクを好む行動傾向
　事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（2時間）
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．（2時間）
第6回：運転支援システム
　事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（2時間）
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．（2時間）
第7回：運転適性
　事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（2時間）
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．（2時間）
第8回：運転に必要な注意1
　事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（2時間）
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．（2時間）
第9回：運転に必要な注意2
　事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（2時間）
　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．（2時間）

第10回：運転に必要な注意３
　　事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（２時間）
　　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．（２時間）
第11回：地域の交通心理学（福井の交通事情）
　　事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（２時間）
　　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．（２時間）
第12回：高齢者と子どもの交通心理学
　　事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（２時間）
　　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．（２時間）
第13回：あおり運転について考える１
　　事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（２時間）
　　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．（２時間）
第14回：あおり運転について考える２
　　事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（２時間）
　　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：事前にWebで公開される資料に目を通し，質問項目をまとめておく．（２時間）
　　事後学習：授業で紹介されたスライドおよび板書に基づいて，その内容を各自で整理する．（４時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（85%）平常点（15%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

■交通心理学の基礎的な概念と主要な研究成果について理解したか.
■事故防止などの社会的問題の解決に向けて交通心理学の果たす役割・手法について理解したか.
■福井の交通事情における地域特有の問題について説明できるか.

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキストは使用しない.
その他（受講上の注意）
心理学の応用領域を身近が問題と捉えて理解を深めて欲しい.
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

スポーツ心理学 (Sport Psychology)			担当教員	野田　政弘
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-G-2338	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

スポーツ心理学は応用科学としてスポーツ行動における心理学的事象を解明し、それらに対処できるようにすることを目的としたものである。スポーツ全般における心理学的な諸問題をとりあげ今日までの研究成果に基づいて学習する。

授 業 の 到 達 目 標

スポーツ心理学の各領域（運動心理学、競技スポーツ心理学、健康スポーツ心理学、アダプテッドスポーツ心理学）の内容について理解し説明できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（授業の最後に今回の内容について意見を交換する）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：運動のメカニズム（意見交換）
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第1章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（2時間）
第2回：運動学習の原理
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（2時間）
第3回：効果的な運動指導
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（2時間）
第4回：運動の制御
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（2時間）
第5回：内発的動機づけと外発的動機づけ
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第5章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（2時間）
第6回：目標設定と動機づけ
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第6章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（2時間）
第7回：スポーツにおける集団
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第7章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（2時間）
第8回：パーソナリティとスポーツ
　事前学習：テキストの第Ⅰ部第8章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（2時間）
第9回：スポーツ選手と心理サポート
　事前学習：テキストの第Ⅱ部第1章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（2時間）

第10回：スポーツメンタルトレーニング
　　事前学習：テキストの第Ⅱ部第２章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（２時間）
第11回：スポーツカウンセリング
　　事前学習：テキストの第Ⅱ部第３章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（２時間）
第12回：健康スポーツ心理学の基礎
　　事前学習：テキストの第Ⅲ部第１章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（２時間）
第13回：健康増進を目的とした身体活動・運動の参加と継続
　　事前学習：テキストの第Ⅲ部第２章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（２時間）
第14回：スポーツ傷害の心理学、バーンアウト（燃え尽き症候群）
　　事前学習：テキストの第Ⅲ部第３章、第４章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（２時間）
第15回：アダプテッド・スポーツ心理学
　　事前学習：テキストの第Ⅳ部第１章～第４章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：テキストの見直しや関連項目について図書館等で調べておくこと。（２時間）
第16回：定期試験
各回の講義の前にテキストを読んで概要を把握し、疑問点を整理しておく。
講義の後は、ノートや配布資料を見直して復習しておく。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）、レポート（30%）。

成　績　評　価　基　準

スポーツ心理学の各領域（運動心理学、競技スポーツ心理学、健康スポーツ心理学、アダプテッドスポーツ心理学）の内容について理解し説明できる。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
荒木雅信編著「これから学ぶスポーツ心理学　改訂版」大修館書店 2018
その他（受講上の注意）
スポーツや運動に関するできごとや情報に積極的に関心を向けること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

臨床心理学演習 (Training Course of Clinical Psychology)			担当教員	渡辺　克徳、坂井　祐円
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−API−2355	2単位	3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　臨床系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

2クラスに分かれ前後半7回ごとに、いずれかの教員の指導のもと、ペアまたは少人数のグループで、いろいろな対話や表現を体験する。これらの体験を通して、自己理解・他者理解を促すとともに、傾聴などカウンセリング等の対人援助の基本的態度を身に付ける。

授 業 の 到 達 目 標

カウンセリングにおける話の聴き方の基本を理解する。
自分自身のコミュニケーションの特徴について理解する。
ものの捉え方や考え方、コミュニケーションの仕方などの多様性について考える。
他者と円滑にコミュニケーションできる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション　【担当：　渡辺、坂井　】
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
　事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：自他理解のためのグループ体験①　【担当：　渡辺　】グループワーク・発表を行う。
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
　事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：自他理解のためのグループ体験②　【担当：　渡辺　】グループワーク・発表を行う。
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
　事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：自他理解のためのグループ体験③　【担当：　渡辺　】グループワーク・発表を行う。
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
　事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：自他理解のためのグループ体験④　【担当：　渡辺　】グループワーク・発表を行う。
　事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（2時間）
　事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第６回：自他理解のためのグループ体験⑤ 【担当： 渡辺 】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第７回：自他理解のためのグループ体験⑥ 【担当： 渡辺 】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：自他理解のためのグループ体験⑦ 【担当： 渡辺 】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くために、該当する心理学領域のみならず幅広い分野に積極的に目を向け学習すること。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：箱庭療法① 講義 箱庭療法とイメージ 【担当： 坂井 】
事前学習：箱庭療法について積極的に関心をもち、関連する図書を読んでみる。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べるか、オフィスアワーを利用して担当教員に質問する。（２時間）
第10回：箱庭療法② 演習 グループによる箱庭作り 【担当： 坂井 】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。（２時間）
事後学習：演習で体験した内容や感じたこと、考えたことをノートにまとめる。（２時間）
第11回：箱庭療法③ 演習 箱庭を作る・見守る・解釈する 【担当： 坂井 】グループワーク・発表を行う。
事前学習：どのような箱庭を作りたいのか、各自でイメージしてくる。（２時間）
事後学習：演習で体験した内容や感じたこと、考えたことをノートにまとめる。（２時間）
第12回：箱庭療法④ 演習 夢と箱庭 【担当： 坂井 】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分が見た夢について思い出し、ストーリーをまとめてくる。（２時間）
事後学習：演習で体験した内容や感じたこと、考えたことをノートにまとめる。（２時間）
第13回：サイコドラマ① 講義 サイコドラマとカタルシス 【担当： 坂井 】
事前学習：サイコドラマについて積極的に関心をもち、関連する図書を読んでみる。（２時間）
事後学習：講義の内容を各自で復習すること。わからないところがあったら、図書館で調べるか、オフィスアワーを利用して担当教員に質問する。（２時間）
第14回：サイコドラマ② 演習 サイコドラマの３つの基本技法と役割選択、練習 【担当： 坂井 】グループワーク・発表を行う。
事前学習：自分自身について気づきを深め感受性を磨くこと。（２時間）
事後学習：演習で体験した内容や感じたこと、考えたことをノートにまとめる。（２時間）
第15回：サイコドラマ③ 演習 サイコドラマの実演とシェアリング 【担当： 坂井 】グループワーク・発表を行う。
事前学習：サイコドラマでの自分の役割をイメージして、技法を意識して練習してくる。（２時間）
事後学習：演習で体験した内容や感じたこと、考えたことをノートにまとめる。（２時間）
※第１回の際にクラス分けを行う。第２回～第８回（前半）と第９回～第15回（後半）でそれぞれに異なる担当教員のもとで演習を行う。渡辺（言語的アプローチ）、坂井（表現芸術アプローチ）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業中に課す課題（60%）と授業への参加態度（40%）で評価する。
授業への参加態度については、演習活動への積極性や授業中の発言の内容などから総合的に評価する。
体験型学習ですので出席を重視し、欠席は厳しく減点する。

成　績　評　価　基　準

カウンセリングにおける話の聴き方の基本について説明できるか。また、それを模擬的に実践できるか。
自分自身の考え方やコミュニケーションなどの特徴について説明できるか。
考え方やコミュニケーションの仕方の多様性について考えられるか。
他者と円滑にコミュニケーションが行えるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

授業時に資料を配付する。
そのほか、参考書については、授業時に随時、紹介する。

その他（受講上の注意）

授業の中で状況に応じて、自分の感じたことや考えたことについて他者に話してもらうことがある。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学的支援法 (Methods of Psychological Support)			担当教員	西村　則昭
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−APO−2351	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　臨床系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

無意識に着目する、フロイト以来の深層心理学的（力動的）心理療法を中心に学習する。

授 業 の 到 達 目 標

・無意識について実感をもって理解し、人間存在をより深く理解することができる。
・自己の無意識を見つめ、自分の将来像や人生設計を構築することができる。
・無意識の問題が心の病理と本質的な繋がりのあることを理解し、心を病んだ人の気持ちを理解し、寄り添うことができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキストの著者である山中康裕と、力動的心理療法について調べておくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：攻撃性退行から道づくりへ1
　事前学習：テキストのpp.3－9を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：攻撃性退行から道づくりへ2
　事前学習：テキストのpp.9－13を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：攻撃性退行から道づくりへ3（授業の終わりに小レポートを書いてもらう）
　事前学習：テキストのpp.13－25を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：緘黙の入口と出口1
　事前学習：テキストのpp.26－32を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：緘黙の入口と出口2
　事前学習：テキストのpp.32－48を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：反対の国からの帰還1
　事前学習：テキストのpp.49－67を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第８回：反対の国からの帰還２
　　事前学習：テキストのpp.67－78を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：反対の国からの帰還３（授業の終わりに小レポートを書いてもらう）
　　事前学習：テキストのpp.78－106を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：死者たちへの鎮魂歌
　　事前学習：テキストのpp.107－114を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：赤鬼・青鬼の夢
　　事前学習：テキストのpp.115－125を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：『あんたお母さんじゃない』
　　事前学習：テキストのpp.126－137を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：写真を媒体にした精神療法１
　　事前学習：テキストのpp.138－152を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：写真を媒体にした精神療法２（授業の終わりに小レポートを書いてもらう）
　　事前学習：テキストのpp.152－173を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：文通の中で自己を発見
　　事前学習：テキストのpp.174－205を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：テキスト等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

最終レポート（50%）小レポート（30%）平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

・力動的心理療法の考え方を正しく理解し、他の心理療法（特に「科学的」な心理療法）との違いを説明できるか。
・無意識という概念を正しく理解し、それを組み込んだ人生観や世界観を持つことができるか。
・心を病んだ人のことを適切に理解し、その心に寄り添う姿勢を持つことができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：山中康裕・『少年期の心』・中公新書・1978年
参考図書：西村則昭・『アニメと思春期のこころ』・創元社・2004年

その他(受講上の注意)

質問はメールでも受け付けます（nisimura@jindai.ac.jp）。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

精神疾患とその治療Ⅰ (Psychiatric Disorders and Treatments Ⅰ)			担当教員	三脇　康生
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−APO−2353	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

精神医学は日本が近代化される中で構築された。そこには日本の近代化の遅れが投影されている。その歴史を学び改善をする方向性について、外国のシステムを参考にしながら考える。具体的な病気についても、重い病気を中心に学ぶが、それが軽症化してきている現代社会の特徴についても考える。

授　業　の　到　達　目　標

歴史をふまえて日本の精神医療がどのように成立したか説明でき、他国と比較でき、これからの姿を各自で考えられること。さらに疾患の基礎知識を獲得すること。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：精神病院の様子の紹介
　事前学習：精神病院に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、歴史に関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）
第2回：近代精神医学の歴史　日本1
　事前学習：精神医学に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、歴史に関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）
第3回：近代精神医学の歴史　日本2　日本の状況に関して討議を行う
　事前学習：精神医学に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、歴史に関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）
第4回：近代精神医学の歴史　ヨーロッパ1
　事前学習：精神医学に関係する新聞記事、ネット情報を集める。テキスト9－69ページを熟読する。本を読みたい人は、歴史に関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）
第5回：近代精神医学の歴史　ヨーロッパ2
　事前学習：精神医学に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、歴史に関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）
第6回：精神障害と人権
　事前学習：人権に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、人権に関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）

第７回：統合失調症１
事前学習：統合失調症に関係する新聞記事、ネット情報を集める。統合失調症の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第８回：統合失調症２
事前学習：統合失調症に関係する新聞記事、ネット情報を集める。統合失調症の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第９回：地域と病院の協力のしかた１
事前学習：地域に関係する新聞記事、ネット情報を集める。テキスト171－185ページを熟読する。地域精神医療の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第10回：地域と病院の協力のしかた２
事前学習：精神医療に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、地域精神医療の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第11回：気分障害１
事前学習：気分障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、気分障害の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第12回：気分障害２
事前学習：気分障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、気分障害の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第13回：気分障害３
事前学習：気分障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、気分障害の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第14回：パニック障害１
事前学習：パニック障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、パニック障害の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第15回：パニック障害２
事前学習：パニック障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、パニック障害の歴史に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポートも期末テストと同時に提出。期末テスト70%レポート30%で評価する。
テストにはかならずテキストを持ち込むこと。持ち込まないと、テストは受けられない。

成　績　評　価　基　準

日本の精神医療がどのように成立したかレポートを書かせ確認する。疾患の基礎知識についてテストを行い確認する。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□ 授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他（解答を配る）
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

テキスト・多賀茂　三脇康生「医療環境を変えるー制度を使った精神療法の実践と思想」京都大学学術出版会2008年

その他(受講上の注意)

学則上は5回まで欠席は認められているが、この講義では文系理系の多様な分野を扱うので3回までしか認めない。公式の用事がある場合は欠席に数えない。証明書を提出すること。まずこれをクリアーしたらテストを受けられる。
私語は一切禁じる。二度注意されたら自ら教室を去ること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

精神疾患とその治療Ⅱ (Psychiatric Disorders and TreatmentsⅡ)			担当教員	三脇　康生
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−APO−2354	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　基幹科目　心理学専門

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

精神疾患とその治療Ⅰは原因がわからない重病について学んだが、精神疾患とその治療Ⅱではその原因が現代社会で問題になっている病について学ぶ。災害や職場や学校での暴力から生じる病について学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

現代はハラスメント社会とも呼ばれる状況にある。この外的なトラウマと精神分析的な精神的なトラウマの関係はフロイトですら明確には出来なかった。この二つのトラウマについて考え、各自の意見をこの問題に持てるようになり、ハラスメント社会を生き抜く方法を考える。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：PTSDとは何か1
　事前学習：PTSDに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、PTSDに関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）
第2回：PTSDとは何か2
　事前学習：PTSDに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、PTSDに関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）
第3回：PTSDとは何か3
　事前学習：PTSDに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、PTSDに関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）
第4回：PTSDとは何か4
　事前学習：PTSDに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、PTSDに関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）
第5回：PTSDとは何か5　ここまでの内容で討議を行う
　事前学習：PTSDに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、PTSDに関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）
第6回：解離
　事前学習：解離に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、解離に関する本を図書館で探すとよい。（2時間）
　事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（2時間）

第７回：解離
事前学習：解離に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、解離に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第８回：解離とと多重人格
事前学習：解離に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、解離に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第９回：人格障害
事前学習：人格障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、人格障害に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第10回：社会的ひきこもり（摂食障害の説明も含む）1
事前学習：社会的引きこもりに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、引きこもりに関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第11回：社会的引きこもり２
事前学習：社会的引きこもりに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、引きこもりに関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第12回：社会的引きこもり３
事前学習：社会的引きこもりに関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、引きこもりに関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第13回：東日本大震災特講
事前学習：東日本大震災に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、東日本大震災に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第14回：性同一性障害
事前学習：性同一性障害に関係する新聞記事、ネット情報を集める。本を読みたい人は、性同一性障害に関する本を図書館で探すとよい。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第15回：現代社会において、それぞれ個人でできることは何だろうか？
事前学習：PTSDやハラスメントに関する本を図書館で読むこと。自分がバイトさきなどで経験したことを分析して考察することも出来る。（２時間）
事後学習：わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して質問すること。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成 績 評 価 方 法

平常点20パーセント　期末テスト50パーセント　レポート30パーセント
（平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します。）

成 績 評 価 基 準

ハラスメント社会を深く理解し、それを切り抜ける方法を身につけたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他（解答を配る）
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

テキスト：子安 増生、村井 俊哉、野間 俊一「公認心理師のための精神医学　精神疾患とその治療」金芳堂 2020年
参考図書　就労と教育システムに関して：
大野正和『自己愛化する仕事』労働調査会　2011年　（レポートを書くとき必ず必要）
参 考 書　PTSDへのアートセラピーに関して：
三脇康生他 『アート×セラピー潮流』 フィルムアート社　2002年

その他（受講上の注意）

私語は厳禁とする。二度注意を受けたら自から教室を去ること。東日本大震災の講義は実施時期がゲスト講師の都合により変わり得るので注意すること。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

深層心理学 (Depth Psychology)			担当教員	西村　則昭
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−APO−2352	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　臨床系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

「本当の自分」とは何か、深層心理学の立場から考える。

授 業 の 到 達 目 標

・「本当の自分」とか「本当の幸福」が何か、自ら論理的（心理学的＝哲学的）に考え、イメージとしても思い描くことができる。
・本来的自己と非本来的自己、性別など、アイデンティティの問題について自ら考えたことに基づいて、自分の将来像や人生設計を構築することができる。
・アイデンティティの問題が心の病理と本質的な繋がりのあることを理解し、心を病んだ人の気持ちを理解し、寄り添うことができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：フロイト、ユング、ラカンのことをインターネット等で調べ、自分の心理傾向に関していろいろと振り返っておくこと。（2時間）
　事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：同一化
　事前学習：ラカンの症例エメについて、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：ラカンの鏡像段階1
　事前学習：ラカンの「鏡像段階」という考え方について、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：ラカンの鏡像段階2（授業の終わりに小レポートを書いてもらう）
　事前学習：ラカンの「双数的関係」と「寸断された身体」について、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：自我と主体1
　事前学習：ラカンの「自我」と「主体」の区別について、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：自我と主体2
　事前学習：「自我心理学」と「防衛メカニズム」について、インターネット等で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第７回：ラカンの現実界
事前学習：ラカンの「現実界」という考え方について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：無気味なもの（授業の終わりに小レポートを書いてもらう）
事前学習：フロイトの論文「無気味なもの」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：写真論
事前学習：写真家のアッジェおよびアーバスについて、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：ファッション論
事前学習：デザイナーのシャネルおよび川久保玲について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：ラカンの象徴界１
事前学習：ラカンの「象徴界」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：ラカンの象徴界２
事前学習：ラカンの「父の名」という概念について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：ラカンの象徴界３
事前学習：ラカンの「対象ａ」という概念について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：性別（授業の終わりに小レポートを書いてもらう）
事前学習：「性同一性障害」について、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：禅に学ぶマインドフルネス
事前学習：臨済禅師と白隠禅師、そしてマインドフルネスについて、インターネット等で調べておくこと。（２時間）
事後学習：資料等を見直し、わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
講義で説明したことを、自分の日常的な思考や観察される現象と重ね合わせ、理解を深めるようにしてください。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

最終レポート（50％）、小レポート（30％）、平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問等を総合して判断します）

成 績 評 価 基 準

・深層心理学の考え方を自ら思索し直しつつ、「本当の自分」や「本当の幸福」を思索できるか。
・その上で、自分の将来像や人生設計を構築し、その意義を論理的（心理学的＝哲学的）に説明することができるか。
・心を病む人におけるアイデンティティの問題が何かを理解し、その心に寄り添う姿勢を持つことができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

テキストは使用しない。プリント資料を配布する。また参考文献は、適宜紹介する。

その他（受講上の注意）

質問はメールでも受け付けます（nisimura@jindai.ac.jp）。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

生理心理学実習 (Training Course of Physiological Psychology)			担当教員	水田　敏郎、大森　慈子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−BPI−2363	2単位	3年前期	実験	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　行動・支援系

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学、特に生理心理学的実験研究の全過程について実習を行う。実験に関連した文献研究、問題設定、実験計画の立案と実行、さらに分析と結果に対する考察すべてを行う。特定の心理機能に注目し、その働き、メカニズムや変化を反映する指標とその記録や分析の方法を実習を通じて学ぶ。本授業では、感情・コミュニケーション・言語・注意・認知・記憶などの心理機能を主題として扱う。実験上の独立変数は先行研究（文献）の講読を通じて学生自身が選択し、従属変数にはテーマに即した生理心理学的指標、各種行動指標、質問紙などによる認知尺度を用いる。これらの過程で、生理心理学実験で用いる機器・装置類の取り扱い方や、各種刺激づくりを学生自らが体験、習得する。また、実験内容をレポートにまとめ、最終発表会を行うことで論文作成とプレゼンテーションのスキルを培う。

授　業　の　到　達　目　標

■先行研究等を参考に自ら進んで課題を設定する。
■実験に必要な事項を理解し、実験計画を立案することができる。
■実験の実施にあたって、履修者同士が協力して実行することができる。
■生理心理学的指標を中心に、様々な心理機能の評価に適した従属変数や尺度を用いることが出来る。
■実験結果に対して理論的に考察をすることができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：「心理学実験」や「心理学基礎実験Ⅱ」で学習したことを見直し、質問項目をまとめておく。（1時間）
　事後学習：生理心理学実験と一般の心理学実験の共通点と相違点についてまとめておく。（1時間）
第2回：生理心理学実験の基礎とその技術①「ヒトの生理反応のメカニズムと心理的意義について」
　事前学習：生体反応と行動の測定を熟読し、確認テスト（第3回の授業中に実施）の予習をする。（1時間）
　事後学習：生体反応と行動の測定の解説部分を振り返り、ノートにまとめる。（1時間）
第3回：生理心理学実験の応用とその技術②「ヒトの生理反応の記録方法について」
　事前学習：生体反応と行動の測定を熟読し、確認テスト（第3回の授業中に実施）の予習をする。（1時間）
　事後学習：確認テストの内容、生体反応と行動の測定の解説部分を振り返り、ノートにまとめる。（1時間）
第4回：生理心理学実験に関する文献検索と講読（目的と実験計画の設定のためのグルーピング＊1）（PBL、討議）
　A（感情・コミュニケーション・言語）　B（注意・認知・記憶）
　　＊1：学生は4～5人のグループに分かれ、上記AまたはBの中からテーマを選び実験計画を立て、実験を実施する。
　事前学習：文献を講読し、内容をまとめレジュメを作成する。質問をまとめておく。（1時間）
　事後学習：文献を講読で出された質問や議論をまとめておく。実験の計画の草案を立てる。（1時間）
第5回：・コンピュータによる実験刺激の作製①（PBL、グループワーク）　・実験計画の立案と発表①（発表）
　事前学習：実験計画の立案、レジュメ作成。（1時間）
　事後学習：実験計画の立案発表で出された質疑をまとる。コンピュータによる刺激づくりの復習。（1時間）

第６回：・コンピュータによる実験刺激の作製②（PBL、グループワーク）　・実験計画の立案と発表②（発表）
・レポートの書き方①（序論、目的の組み立てについて）
事前学習：実験計画の立案、レジュメ作成。（１時間）
事後学習：レポートの「第１章　序論」の作製。（１時間）
第７回：・予備実験①（実験、グループワーク）　・生理心理学的指標のデータ分析方法の説明と実施①
・レポートの書き方②（方法について）
事前学習：生理心理学的指標のデータ分析方法を予習し質問をまとめておく。（１時間）
事後学習：レポートの「第２章　方法」の作製。（１時間）
第８回：・予備実験②（実験、グループワーク）　・生理心理学的指標のデータ分析の実施②
・行動指標・認知系尺度の分析　　・実験計画の立案、発表と決定③（発表）
事前学習：予備実験に必要な書類、器具、機器設定の準備。実験計画の立案、レジュメ作成。（１時間）
事後学習：実験計画の最終修正。（１時間）
第９回：・本実験①（実験、グループワーク）　生理心理学的指標、行動指標、認知系尺度（質問紙）を全グループが記録・分析する。
事前学習：本実験に必要な書類、器具、機器設定の準備。（１時間）
事後学習：実験データの分析。（１時間）
第10回：・本実験②（実験、グループワーク）　・本実験のデータ分析①
事前学習：本実験に必要な書類、器具、機器設定の準備。（１時間）
事後学習：実験データの分析。（１時間）
第11回：・本実験③（実験、グループワーク）　・本実験のデータ分析②
事前学習：本実験に必要な書類、器具、機器設定の準備。（１時間）
事後学習：実験データの分析。（１時間）
第12回：・本実験のデータ分析③（実験・実技、グループワーク）　・結果の中間報告
事前学習：中間報告に必要なレジュメ類の準備。（１時間）
事後学習：実験データの分析。（１時間）
第13回：・研究発表会の準備　・抄録の書き方
事前学習：抄録の書き方の予習と質問をまとめておく。（１時間）
事後学習：研究発表会の準備。（１時間）
第14回：・研究発表会の予行演習（発表、グループワーク）　・効果的なプレゼンテーションについて
事前学習：研究発表会の予行演習に必要なレジュメ類の準備。（１時間）
事後学習：研究発表会の予行演習で指摘された課題の修正。（１時間）
第15回：・研究発表会（プレゼンテーション・ソフトを使用）（発表、グループワーク）
事前学習：研究発表会に必要なレジュメ類の準備。（１時間）
事後学習：レポート・抄録作成。（１時間）
全15回すべてを２名の教員が担当する。
第４回：降は上のA、Bのテーマ別のグループを教員１名づつがついて指導する。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート（60％）平常点（40％）
（平常点は、授業の参加状況・受講態度などを総合して判断します。）

成 績 評 価 基 準

■先行研究等を参考に自ら進んで課題を設定することができるか。
■実験に必要な事項を理解し、実験計画を立案することができるか。
■実験の実施にあたって、履修者同士が協力して実行することができるか。
■生理心理学的指標を中心に、様々な心理機能の評価に適した従属変数や尺度を用いることができるか。
■実験結果に対して理論的に考察をすることができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

テキストは使用しないが、実験実習マニュアルを配布する。
参考図書：「生理心理学と精神生理学」Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ巻　堀忠雄・尾崎久記監修　北大路書房（2017）
認定心理士資格準拠　実験・実習で学ぶ心理学の基礎　日本心理学会認定心理士資格認定委員会編　金子書房（2015）

その他(受講上の注意)

原則として、心理学統計法Ⅰ・Ⅱ、心理学実験、心理測定実習の単位を修得していること。少人数グループでの活動が多くなります。個人の役割が明確になるので、責任感をもって課題に取り組んでください。実験は長時間におよぶこともあります。授業時間以外にもグループごとに協力してデータ整理などを行い、時間を有効に活用する必要があります。２年次の神経・生理心理学を履修し、人間の生理学的メカニズムについて学習しておくことが望ましい。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

行動解析実習 (Practice of Behavior Analysis)			担当教員	森本　文人、大森　慈子、山岸　厚仁
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−BPI−2364	2単位	3年後期	実験	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　行動・支援系

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学における実験的研究のなかで用いられる行動指標の記録方法と解析技術を、実験実習を通じて身につける。具体的には、人や動物（ラット）を対象にして行われる心理学実験を数週間にわたり実施する。その中で、行動観察・記録に用いる測定装置に関する基本的知識、取り扱い技術を学び、実際に記録したデータを解析し、結果に対する考察を行う。

授 業 の 到 達 目 標

■自ら進んで課題が設定できる。
■実験に必要な事項を理解し、計画を立案しそれに基づき実行することができる。
■実験で用いる装置の基本的な知識をもち、適切に取り扱うことができる。
■人や動物の様々な行動を客観的に分析できる。
■関連文献を適切に講読し、実験結果に対して理論的な考察をすることができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
①心理学実験で用いられる行動指標について（授業全般、テーマ共通の概要）
②学生を方法論に基づいて設けられたテーマ別に3グループ（A：単一被験者を対象とした実験、B：2人以上の小集団を対象とした実験、C：動物（ラット）を対象とした実験）に分け、オリエンテーションを行う。

第2回：降の内容と進め方は以下の通り。
履修学生は5週間ごとに1つのテーマに関する実験を実施し、レポートとしてまとめた後に次のテーマへ移動（ローテーション）する。最終的には学生全員が3つの異なる方法論に基づく心理学実験を完遂する。

A：単一被験者を対象とした実験（担当：森本）
①単一被験者を対象とした実験で用いられる行動指標（文献講読）・・・・・1週（PBL、討議）
②単一被験者を対象とした実験で用いられる行動指標の測定（PCを用いた反応時間およびエラーなどのパフォーマンス測定のためのプログラミングと記録、バイオセンサー等を用いた活動量の記録）・・・・・1週（PBL、実験、グループワーク）
③実際の実験を計画・実施・・・・・2週（PBL、グループワーク、実験、発表）
④③で行った実験データの行動解析と考察・・・・・1週（実技）（次週レポート提出）

B：2人以上の小集団を対象とした実験（担当：大森）
①2人以上の小集団を対象とした実験で用いられる行動指標（文献講読）・・・・・1週（PBL、討議）
②2人以上の小集団を対象とした実験で用いられる行動指標の測定（アイマークレコーダ──等を用いた視線行動の記録、小集団活動場面のＡＶ記録に基づく会話分析と行動解析）・・・・・1週（PBL、実験、グループワーク）
③実際の実験を計画・実施・・・・・2週（PBL、グループワーク、実験、発表）
④③で行った実験データの行動解析と考察・・・・・1週（実技）（次週レポート提出）

C：ラットを対象とした実験（担当：山岸）
①ラットなどの動物を対象とした実験で用いられる行動指標（文献講読）・・・・・１週（PBL、討議）
②ラットを対象とした実験で用いられる行動指標の測定（オープンフィールドや回転輪等を用いた活動量の記録、各種迷路を用いた学習実験での移動軌跡等の記録）・・・・・１週（PBL、実験、グループワーク）
③実際の実験を計画・実施・・・・・２週（PBL、グループワーク、実験、発表）
④③で行った実験データの行動解析と考察・・・・・１週（実技）（次週レポート提出）

A、B、Cの事前・事後学習については、原則以下の通り共通とする。
①事前学習：「生理心理学実習」で学習したことを見直し、質問項目をまとめておく。（１時間）
事後学習：文献を講読し、内容をまとめ疑問点を明確にしておく。（１時間）
②事前学習：実験装置の準備、取り扱いについてあらかじめ予習しておく。（１時間）
事後学習：分析と実験結果の整理。（１時間）
③事前学習：実験計画の立案とレジュメ作成。（１時間×２）
事後学習：分析と実験結果の整理。（１時間×２）
④事前学習：実験結果のまとめ、発表準備、レジュメ作成。（１時間）
事後学習：レポート作成。（１時間）

実験心理学や生理心理学に関連する文献や卒業研究などを参考に、課題設定の方向性や具体的な実験方法について調べておくこと。
得られた実験データは、その都度、ノートにまとめたりパソコンなどに入力したりしておくこと。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

実験レポート（60％）、平常点（40％）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

■自ら進んで課題が設定できるか。
■実験に必要な事項を理解し、計画を立案しそれに基づき実行することができるか。
■実験で用いる装置の基本的な知識をもち、適切に取り扱うことができるか。
■人や動物の様々な行動を客観的に分析できるか。
■関連文献を適切に講読し、実験結果に対して理論的な考察をすることができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
テキストは使用しないが、実験実習マニュアルを配布する。 参考図書：「生理心理学と精神生理学」Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ巻　堀忠雄・尾崎久記監修　北大路書房（2017） 認定心理士資格準拠　実験・実習で学ぶ心理学の基礎　日本心理学会認定心理士資格認定委員会編　金子書房（2015）
その他（受講上の注意）
原則として、生理心理学実習の単位を修得していること。実験は長時間に及ぶこともあり、授業時間以外にもグループごとに協力してデータ整理などを行い、時間を有効に活用する必要がある。また、人や動物の生理学的メカニズムについて学習しておくことが望ましい。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

人体の構造と機能及び疾病 (Human Body Structure, Function and Diseases)			担当教員	岸　慎治
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−BPO−2362	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　行動・支援系

求める学習成果(教育目標)

心身機能と身体構造及びさまざまな疾病や障害について概説できる。
心理に関する支援が必要な主な疾病について概説できる。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

公認心理師に必要な正常な人体のしくみを、その構成単位である細胞レベルから組織、器官、器官系レベルまで、構造と機能との密接な関連のもとに、体系的に理解できるよう教授する。心理に関する支援が必要な主な疾病について疾患診断・治療の概要を理解し、各臓器、各器官別の疾病の成因、病態、診断、治療、予防等を体系的に理解できるように教授する。

授 業 の 到 達 目 標

心身機能と身体構造及びさまざまな疾病や障害について概説できる。
心理に関する支援が必要な主な疾病について概説できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：細胞、組織
　事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
　事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）
第2回：消化器系、呼吸器系、血液系の構造と機能
　事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
　事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）
第3回：循環器系、泌尿器系、生殖期系、の構造と機能
　事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
　事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）
第4回：運動器系、内分泌系の構造と機能
　事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
　事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）
第5回：神経系の構造と機能①
　事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
　事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）
第6回：神経系の構造と機能②、感覚器系の構造と機能
　事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
　事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）
第7回：小児の成長発達と疾患
　事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（2時間）
　事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（2時間）

第８回：生活習慣病①　肥満、脂質異常症　循環器疾患
事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（２時間）
事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（２時間）
第９回：生活習慣病②　糖尿病
事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（２時間）
事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（２時間）
第10回：加齢と疾患、運動器疾患
事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（２時間）
事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（２時間）
第11回：神経疾患
事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（２時間）
事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（２時間）
第12回：難病、がん①
事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（２時間）
事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（２時間）
第13回：がん②　周産期医療
事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（２時間）
事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（２時間）
第14回：感染症
事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（２時間）
事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（２時間）
第15回：健康と健康増進の理解
事前学習：授業前にテキストの該当箇所を読み質問事項をまとめておく事（２時間）
事後学習：授業で配布された資料を再度確認し、わからない事があれば、図書館で調べたり、担当教員に質問する事。他の参考書も参照する事。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（80%）平常点（20%）割合は授業形態、試験形態により変わる事があります。
（平常点は、授業への参加状況・受講態度・小テストの成績等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

心身機能と身体構造及びさまざまな疾病や障害、心理に関する支援が必要な主な疾病について概説できる。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト
人体の構造と機能及び疾病　竹田克彦、岩田 敦、小林 靖 編　医歯薬出
参考書
公認心理師の基礎と実践21　人体の構造と機能及び疾病　斉藤清二　清見書房

その他(受講上の注意)

講義中の私語は厳重に禁止し、減点対象とする。疑問点や不明点があればすぐに質問する事。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

比較心理学 (Comparative Psychology)			担当教員	山岸　厚仁
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−BPO−2361	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　行動・支援系

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

動物の行動や認知機能について比較分析した諸研究を紹介しながら，比較心理学がどのような学問であるかの理解を深める。

授 業 の 到 達 目 標

ヒトを含めた動物の行動およびその背後にある心的機序について科学的視点から評価・議論する能力を養う。
様々な認知機能について，ヒトとヒト以外の動物におけるそれぞれの特徴を説明できるようになる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（リアクションペーパー）

授業の計画及び授業外の学習方法

※授業毎にリアクションペーパー・小テストへの回答を求めます
第1回：比較心理学とは／動物の分類と進化
（事後学習：動物の分類と進化についてノートにまとめる（2時間））
第2回：比較心理学の歴史と研究法1
（事前学習：前回の復習・比較心理学の歴史と研究法について関連箇所を調べる（2時間））
（事後学習：心理学の歴史と研究法についてノートにまとめる（2時間））
第3回：比較心理学の歴史と研究法2
（事前学習：前回の復習・比較心理学の歴史と研究法について関連箇所を調べる（2時間））
（事後学習：心理学の歴史と研究法についてノートにまとめる（2時間））
第4回：動物の感覚1
（事前学習：前回の復習・動物の感覚について関連箇所を調べる（2時間））
（事後学習：動物の感覚の特徴についてノートにまとめる（2時間））
第5回：動物の感覚2
（事前学習：前回の復習・動物の感覚について関連箇所を調べる（2時間））
（事後学習：動物の感覚の特徴についてノートにまとめる（2時間））
第6回：動物の感覚3
（事前学習：前回の復習・動物の感覚について関連箇所を調べる（2時間））
（事後学習：動物の感覚の特徴についてノートにまとめる（2時間））
第7回：動物の本能1
（事前学習：前回の復習・動物の本能ついて関連箇所を調べる（2時間））
（事後学習：動物の本能の特徴についてノートにまとめる（2時間））
第8回：動物の本能2
（事前学習：前回の復習・動物の本能ついて関連箇所を調べる（2時間））
（事後学習：動物の本能の特徴についてノートにまとめる（2時間））
第9回：動物の学習1
（事前学習：前回の復習・動物の学習に関連箇所を調べる（2時間））
（事後学習：動物の学習の特徴についてノートにまとめる（2時間））
第10回：動物の学習2
（事前学習：前回の復習・動物の学習に関連箇所を調べる（2時間））
（事後学習：動物の学習の特徴についてノートにまとめる（2時間））

第11回：動物の記憶
（事前学習：動物の記憶について関連箇所を調べる（２時間）
（事後学習：動物の記憶の特徴についてノートにまとめる（２時間））
第12回：動物のコミュニケーション
（事前学習：前回の復習・動物のコミュニケーションについて関連箇所を調べる（２時間））
（事後学習：動物のコミュニケーションの特徴についてノートにまとめる（２時間））
第13回：動物の思考１
（事前学習：前回の復習・動物の思考について関連箇所を調べる（２時間））
（事後学習：動物の思考の特徴についてノートにまとめる（２時間））
第14回：動物の思考２
（事前学習：前回の復習・動物の思考について関連箇所を調べる（２時間））
（事後学習：動物の思考の特徴についてノートにまとめる（２時間））
第15回：動物の社会性
（事前学習：前回の復習・動物の社会性について関連箇所を調べる（２時間））
（事後学習：動物の社会性についてノートにまとめる，これまでの講義内容の総復習（４時間））
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70％）
平常点（30％）※授業への参加態度，リアクションペーパー内容，小テスト成績から総合的に判断します.

成　績　評　価　基　準

ヒトを含めた動物の行動およびその背後にある心的機序について科学的視点から議論することができるか。
様々な認知機能において，ヒトとヒト以外の動物におけるそれぞれの特徴を説明できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（定期試験結果は希望者にのみ口頭またはメールでフィードバックする）
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

参考図書：中島定彦著 「動物心理学～心の射影と発見～」昭和堂（2019）

その他（受講上の注意）
授業中，履修者にスマートフォン等の各自の通信機器を用いてe-learningにアクセスしてもらい，小テストやリアクションペーパーへの回答を求める場合があります．授業内容に関する質問は基本的にe-learning上のリアクションペーパー上か，口頭で直接受け付けます．
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

障害者・障害児心理学 (Psychology for Adults & Children with Disabilities)			担当教員	水田　敏郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−BPO−2366	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　行動・支援系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

感覚障害や知的障害、肢体不自由など様々な障害の概念について解説する。また、特に最も発生率の高い知的障害について分類や障害メカニズムについて解説し、心理的な特徴とその支援の方法について述べる。

授 業 の 到 達 目 標

障害の概念、定義について理解することができる。様々な障害について特定の基準をもとに分類することができる。知的障害の心理的な諸特徴と支援の方法について理解することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ガイダンス
　事後学習：次回分のプリントについて熟読し、質問をまとめておく。（2時間）
第2回：障害の概要と定義
　事前学習：第2回分のプリント（障害の概要と定義）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第2回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第3回：知的障害のアセスメント①
　事前学習：第3回分のプリント（知的障害のアセスメント①）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第3回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第4回：知的障害のアセスメント②（グループワーク）
　事前学習：第4回分のプリント（知的障害のアセスメント②）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第4回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第5回：感覚の発達と障害
　事前学習：第5回分のプリント（感覚の発達と障害）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第4回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第6回：知覚の発達と障害①
　事前学習：第6回分のプリント（知覚の発達と障害①）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第6回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第7回：知覚の発達と障害②（グループワーク）
　事前学習：第7回分のプリント（知覚の発達と障害②）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第7回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第8回：学習の発達と障害
　事前学習：第8回分のプリント（学習の発達と障害）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第8回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第9回：言語の発達と障害①
　事前学習：第9回分のプリント（言語の発達と障害①）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第9回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）
第10回：言語の発達と障害②（グループワーク）
　事前学習：第10回分のプリント（言語の発達と障害②）について穴あき部分を埋めておく。（2時間）
　事後学習：第10回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（2時間）

第11回：運動の発達と障害①
　　事前学習：第11回分のプリント（運動の発達と障害①）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
　　事後学習：第11回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第12回：運動の発達と障害②（グループワーク）
　　事前学習：第12回分のプリント（運動の発達と障害②）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
　　事後学習：第12回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第13回：知的障害以外の発達障害
　　事前学習：第13回分のプリント（知的障害以外の発達障害）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
　　事後学習：第13回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第14回：障害と支援（グループワーク）
　　事前学習：第14回分のプリント（障害と支援）について穴あき部分を埋めておく。（２時間）
　　事後学習：第14回で解説したの重点内容について、内容と質問をそれぞれまとめておく（２時間）
第15回：障害者心理学に関するまとめ
　　事前学習：各回分のプリント全体の整理と質問項目をまとめておく（３時間）
　　事後学習：第15回で解説したの内容について、整理しておく（３時間）
第16回：定期試験
各回の講義を受講した後、当該部分の配布資料をよく読んで復習してください。また、予習にあたっても次の授業の内容部分をよく見て、問題意識をもって授業に臨んでください。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70％）平常点（30％）
（平常点は、授業への参加状況、質問用紙の提出状況などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

障害の概念、定義について説明することができるか。様々な障害について特定の基準をもとに分類することができるか。知的障害の心理的な諸特徴と支援の方法について説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

講義資料は適宜配布する。

その他（受講上の注意）
障害に対する理解を得たり、疑問点を解決しようとするなど、目的意識をもって受講することを期待します。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

福祉心理学 (Psychology for Social Welfare)			担当教員	坂井　祐円
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−BPO−2365	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　行動・支援系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

福祉心理学は応用心理学の一端として発展してきた学問であり、主には高齢者や障害者、生活困窮者、養育的保護を必要とする児童等を対象とする。授業では、生きるうえで苦しい立場で置かれがちな人々に対する適切な心理支援とは何かを考えていく。また、福祉心理学は、すべての人々がより豊かに、幸福に生きることにつながるwell-being(よりよい生き方、あり方)の考えにつながる学問であることを明らかにする。

授　業　の　到　達　目　標

・様々な福祉現場における心理支援のあり方と課題を理解する。
・福祉現場における心理職の立場、他職種との連携について理解する。
・福祉社会について自分なりの考え方や見方をもち、福祉的な生き方についての関心を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　■その他(リアクションペーパー)

授業の計画及び授業外の学習方法

講義形式ですすめる。必要に応じて視聴覚教材を用いながら、福祉現場での心理支援の実際について学んでいく。
第1回：オリエンテーション　福祉 well-being という考え方　福祉現場での心理支援　ケアの思想　QOLとは？
　事前学習：シラバス全体に目を通し授業全体の流れとイメージを掴んでおくこと(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)
第2回：福祉心理学の基礎知識　少子高齢化社会を考える(ディスカッション)
　事前学習：少子高齢化社会について、図書館やメディアなどで調べておくこと
　　少子高齢化社会についてディスカッションするので、自分の意見をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)
第3回：児童虐待への心理支援
　事前学習：児童虐待の分類、児童相談所の役割について、図書館やメディアなどで調べておくこと(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)
第4回：貧困家庭、一人親家庭、養育不全の家庭環境への心理支援(ディスカッション)
　事前学習：近年の家族問題の課題について、図書館やメディアなどで調べておくこと
　　家族やきょうだいについてディスカッションするので、自分の意見をまとめておくこと(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)
第5回：不登校・ひきこもりへの心理支援・就労支援
　事前学習：不登校・ひきこもりの現状について、図書館やメディアなどで調べておくこと(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)
第6回：中高年のひきこもりへの心理支援と孤独死の問題
　事前学習：厚生労働省のひきこもりガイドラインや孤独死について、図書館やメディアなどで調べておくこと(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)
第7回：高齢者への心理支援①　老いの不安、うつ、喪失体験など
　事前学習：発達心理学の復習をし、高齢期における心理的特徴について調べておくこと(2時間)
　事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと(2時間)

第８回：高齢者への心理支援②　認知症　（実技：検査の実施）　授業内で、スクリーニング検査を実施し、認知症への理解を深める。
事前学習：認知症について調べ、地域包括支援センターの役割と介護の問題を整理しておくこと（２時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第９回：自殺予防の心理支援
事前学習：自殺者数の推移、自殺予防についての国の政策などを図書館やメディアなどで調べておくこと
死についてどのように考えているのか、自分の意見をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第10回：疾病や障害をもつ人への心理支援
事前学習：障害とは何なのか、差別や優性思想について、図書館やメディアなどで調べておくこと（２時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第11回：発達障害の心理支援
事前学習：発達障害という概念について、図書館やメディアなどで調べておくこと（２時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第12回：福祉現場における家族・職員への心理支援
事前学習：介護する人の心理、バーンアウトや感情労働について、図書館やメディアなどで調べておくこと（２時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第13回：福祉現場での心理職の役割と多職種との連携
事前学習：心理的援助とは何か、コミュニティ心理学について、図書館やメディアなどで調べておくこと（２時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第14回：被災地でのボランティア活動と心のケア
事前学習：災害ボランティアとは何か、災害心理学について、図書館やメディアなどで調べておくこと（２時間）
事後学習：授業で学んだ内容について、ノートにまとめておくこと（２時間）
第15回：幸福な人生とは何かについて考える（ディスカッション）
事前学習：幸福とは何かについてディスカッションするので、自分なりの意見や考えをまとめておくこと（２時間）
事後学習：学んだ内容についてノートにまとめ、さらに関心のある内容について調べておくことておくこと（２時間）
毎回、授業後に、リアクションペーパー（小課題）を実施する。
日常生活の中で、福祉に関するニュースなどに関心を持つだけでなく、福祉の現場で心理職として働くことになったときのことを想像し、自分はどんなことができるかなどを考えながら授業に臨んでください。
最後に課題レポートを提出してもらいます。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート（45%）、平常点（30%）、小課題（25%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度などから総合的に判断します）

成　績　評　価　基　準

・様々な福祉現場における心理支援のあり方と課題を理解できたか。
・福祉現場における心理職の位置、多職種との連携について理解し、説明できるか。
・福祉社会について、自分なりの考え方や見方をもつことができたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキストは特に指定しない。必要に応じて随時プリントを配布する。

その他(受講上の注意)

授業の進行状況によって、授業計画に変更を加える可能性もある。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会心理学演習 (Training Course of Social Psychology)			担当教員	山本　雅代、竹村　明子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−CPI−2372	2単位	3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　産業・社会系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

社会心理学領域の問題を、どのように研究していくのかについて、実験実証的技法を用いて学ぶ。受講者は2グループに分かれ、順次、社会心理学的実験課題（対人魅力に関する実験）と社会心理学的調査課題（対人関係調査）に取り組む。課題ごとに先行研究の情報収集、実験・調査の実施（被験者・実験者双方を経験）、データ収集と分析、結果のまとめ、考察する方法について、実習を通して学ぶ。その中で、研究計画をたて、実行する力を身につける。また、ディスカッション・研究発表やレポート提出をおこなう。これにより社会心理学的な研究の方法や発表の仕方を学ぶ。

授　業　の　到　達　目　標

1）社会心理学領域における考え方、実験・実証方法を習得する。
2）データの分析方法や結果のまとめ方を学び、考察、集団討議ができるようになる。
3）目的に沿って研究計画をたて、実行する力をにつける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

現在の授業計画及び授業外の学習方法
この授業では，多様な社会心理学的研究を体験するために2つのグループ（A・B）に分かれ，7週ごとに社会心理学的実験課題【担当：山本】と社会心理学的調査課題【担当：竹村】について，実験者と被験者の双方を体験する。
第1回：オリエンテーション
　　事前学習：授業前に社会心理学の関する知識を学んでおくこと。（2時間）
　　事後学習：実験する内容について関連する本を読んでおく。（2時間）
Aグループ
第2回：社会心理学的実験課題①（対人魅力実験①）
　　事前学習：関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（2時間）
　　事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（2時間）
第3回：社会心理学的実験課題②（分析・結果・考察）
　　事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念について確認しておくこと。（2時間）
　　事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（2時間）
第4回：社会心理学的実験課題③（まとめとレポート作成）
　　事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念、レポートの書き方について理解しておくこと。（2時間）
　　事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（2時間）
第5回：社会心理学的実験課題④（対人魅力実験②・計画・方法）
　　事前学習：関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（2時間）
　　事後学習：概念、実験計画の内容・方法についてまとめる。（2時間）
第6回：社会心理学的実験課題⑤（実験・ディスカッション）
　　事前学習：実験計画の内容・方法を確認、実験の手順や概念について理解しておくこと。（2時間）
　　事後学習：データや授業内容を確認、実験についてまとめる。（2時間）
第7回：社会心理学的実験課題⑥（分析・結果の確認・発表）
　　事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念について確認しておくこと。（2時間）
　　事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（2時間）

第８回：社会心理学的実験課題⑦（まとめとレポート作成）
事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念、レポートの書き方について確認しておくこと。（２時間）
事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（２時間）
第９回：社会心理学的調査課題①（対人関係調査の説明）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第10回：社会心理学的調査課題②（データの収集と入力）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：収集した資料に関して，コンピュータにデータ入力をおこなう（２時間）
第11回：社会心理学的調査課題③（分析方法１）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業内で課された課題について復習をする（２時間）
第12回：社会心理学的調査課題④（分析方法２）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業内で課された課題についてE-Learningに提出をする（２時間）
第13回：社会心理学的調査課題⑤（方法・結果の書き方）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業内で課された課題について復習をする（２時間）
第14回：社会心理学的調査課題⑥（目的・考察の書き方）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業内で課された課題について復習をする（２時間）
第15回：社会心理学的調査課題⑦（まとめとレポート作成）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業内で課された課題についてE-Learningに提出をする（２時間）

Ｂグループ
第２回：社会心理学的調査課題①（対人関係調査の説明）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業時に提示された重要ポイントについて，図書館で調べたり，担当教員に質問するなどしてまとめを行っておくこと（２時間）
第３回：社会心理学的調査課題②（データの収集と入力）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：収集した資料に関して，コンピュータにデータ入力をおこなう（２時間）
第４回：社会心理学的調査課題③（分析方法１）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業内で課された課題について復習をする（２時間）
第５回：社会心理学的調査課題④（分析方法２）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業内で課された課題についてE-Learningに提出をする（２時間）
第６回：社会心理学的調査課題⑤（方法・結果の書き方）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業内で課された課題について復習をする（２時間）
第７回：社会心理学的調査課題⑥（目的・考察の書き方）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業内で課された課題について復習をする（２時間）

第８回：社会心理学的調査課題⑦（まとめとレポート作成）
事前学習：事前にE-Learning上に資料を提示する。各自プリントアウトし，内容を読み質問をまとめておくこと（２時間）
事後学習：授業内で課された課題についてE-Learningに提出をする（２時間）
第９回：社会心理学的実験課題①（対人魅力実験①）
事前学習：関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（２時間）
事後学習：データを確認、実験についてまとめる。（２時間）
第10回：社会心理学的実験課題②（分析・結果・考察）
事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念について確認しておくこと。（２時間）
事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（２時間）
第11回：社会心理学的実験課題③（まとめとレポート作成）
事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念、レポートの書き方について理解しておくこと。（２時間）
事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（２時間）
第12回：社会心理学的実験課題④（対人魅力実験②・計画・方法）
事前学習：関連する本を読み、実験の手順や概念について確認しておくこと。（２時間）
事後学習：概念、実験計画の内容・方法についてまとめる。（２時間）
第13回：社会心理学的実験課題⑤（実験・ディスカッション）
事前学習：実験計画の内容・方法を確認、実験の手順や概念について理解しておくこと。（２時間）
事後学習：データや授業内容を確認、実験についてまとめる。（２時間）
第14回：社会心理学的実験課題⑥（分析・結果の確認・発表）
事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念について確認しておくこと。（２時間）
事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（２時間）
第15回：社会心理学的実験課題⑦（まとめとレポート作成）
事前学習：関連する本を読み、実験の手順、分析方法、概念、レポートの書き方について確認しておくこと。（２時間）
事後学習：授業内容を確認し、実験についてまとめる。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

各２つのレポート課題や授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。
【レポート課題 60%　実験・授業への参加態度 40%　】

成　績　評　価　基　準

社会心理学における実験方法や実証方法が習得できているか。結果についての整理、分析や考察ができ、論理的に議論できているか。科学論文の執筆ができているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

特になし。随時資料を配布する。

その他(受講上の注意)

第１回目の授業（オリエンテーション）では、受講に際しての注意を行うので、必ず出席すること。課題レポートに関して、各教員の指示に従い、期限を守り提出すること。再提出等の指示があった場合には、指示に従い期限までに再提出すること。連絡事項は基本的に掲示で行うが、場合によりメールで連絡することがある。自分の携帯アドレスを変更した場合には、必ず大学に登録したアドレスも変更すること。出席できない場合は、あらかじめ連絡すること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

多変量解析演習 (Multivariate Statistical Analysis)			担当教員	杉島　一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−CPI−2373	2単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　産業・社会系

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学のデータを用いて、多変量解析（因子分析，重回帰分析など）の基本的な考え方を理解した上で、実際の心理調査データを用いて分析手法を学ぶ。また、各自がテーマを決定し調査票を作成し、得られたデータを統計解析ソフトで分析し、その結果に対する解釈や考察の方法を学ぶ。

授業の到達目標

調査票を作成し、統計解析ソフトを利用して多変量解析（因子分析，重回帰分析）を行える知識を修得することを目標とする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：多変量解析とは？
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（4時間）
第2回：多変量解析を用いた心理学研究論文の講読1
　事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第3回：多変量解析を用いた心理学研究論文の講読2
　事前学習：事前に配布する論文を熟読しておくこと。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第4回：因子分析1
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。また、SPSSの使用法について調べておくこと。（4時間）
第5回：因子分析2（実習を含む）
　事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（4時間）
第6回：因子分析3（実習を含む）
　事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（4時間）
第7回：因子分析4（実習を含む）
　事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（4時間）
第8回：因子分析5
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（4時間）

第９回：重回帰分析１
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。また、SPSSの使用法について調べておくこと。（４時間）
第10回：重回帰分析２
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。また、SPSSの使用法について調べておくこと。（４時間）
第11回：重回帰分析３（実習を含む）
　事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（４時間）
第12回：重回帰分析４（実習を含む）
　事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（４時間）
第13回：調査のレポート作成１
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。また、SPSSの使用法について調べておくこと。（４時間）
第14回：調査のレポート作成２（実習を含む）
　事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（４時間）
第15回：講義のまとめ
　事前学習：これまでの授業でわかなかったことなどを考えておき、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
　事後学習：実際に授業で取ったデータについてエクセルで処理を行い課題として提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（50%）、毎回提出する課題（50%）

成　績　評　価　基　準

多変量解析（因子分析・重回帰分析など）について理解し、説明ができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

＜テキスト＞山際勇一郎・服部環（2016）．文系のためのSPSSデータ解析　ナカニシヤ出版

その他(受講上の注意)

受講には、２年次の「心理調査法」の単位を取得していることが望ましいです。授業時間以外にも、解析、レポート作成等の学習が必要になります。真に、多変量解析をマスターしたい学生のみ受講してください。コンピュータ教室で授業を行うので、履修者が60名以上になった場合、履修を制限することがあります。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

消費者心理学 (Consumer Psychology)			担当教員	山本　雅代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−CPO−2371	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　産業・社会系

求める学習成果(教育目標)

人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

私たちは毎日何気なく消費行動を行っている。一方で企業は、どのようなモノやサービス、状況であれば消費行動が行われるのか研究し、戦略を練る。消費者マインドがどのような法則に従って変動するのか、企業はそれをどのように捉えようとしているのか、社会心理学や行動経済学等の視点を取り入れながら解説する。
講義では消費者行動の基礎的な知識を習得するとともに、国内外における企業のマーケティング戦略をとりあげながら応用について学んでいくこととする。

授　業　の　到　達　目　標

1）消費者心理学における基本的な概念を理解する。
2）消費行動や意思決定について理解する。
3）消費者リスクについて理解する。
4）実社会における企業戦略について理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（ICT（Googleフォームを使用し、課題を呈示、インタラクティブに意見を収集。Moodleでの資料提示）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：消費者心理について　（ICT・課題提出）
　事前学習：授業前に消費行動について課題を提出してもらいます。消費者行動について本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で課された課題について、レポートにまとめておくこと（2時間）
第2回：消費行動について（1）（ICT・レポート課題提出）
　事前学習：授業ではこれまでの消費行動の背景を学びます。「消費行動と心理学」に関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第3回：消費行動について（2）（ICT・課題提出）
　事前学習：授業では,「消費社会」について学びます。「消費社会」とは何か考えておくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第4回：消費行動について（3）（ICT・課題提出）
　事前学習：授業前に「消費行動と購買行動」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第5回：消費行動と知覚（1）（ICT・課題提出）
　事前学習：授業前に「知覚」に関連する本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第6回：消費行動と知覚（2）（ICT・課題提出）
　事前学習：授業前に「選択的注意」についての本を読んでおくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）
第7回：広告情報の知覚とマーケティング戦略（1）（ICT・課題提出）
　事前学習：授業前に「広告」についてどのようなものが心に残っているかまとめておくこと（2時間）
　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（2時間）

第８回：広告情報の知覚とマーケティング戦略（２）（ICT・課題提出）
　　事前学習：授業前に「ブランドランキング」について調べておくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第９回：消費者行動と意志決定（１）（ICT・課題提出）
　　事前学習：授業前に「意思決定」について調べておくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第10回：消費者行動と意思決定（２）（ICT・課題提出）
　　事前学習：授業前に「購買意思決定」についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第11回：消費者行動と意思決定（３）（ICT・課題提出）
　　事前学習：授業前に「プロスペクト理論」に関連する本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第12回：消費者の態度　（ICT・課題提出）
　　事前学習：授業前に「説得と態度変容」についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第13回：消費行動と企業戦略　（ICT・課題提出）
　　事前学習：授業前に「消費行動と企業戦略」についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第14回：口コミと消費行動（ICT・課題提出）
　　事前学習：授業前に「口コミと消費行動」についての本を読んでおくこと（２時間）
　　事後学習：授業で分からなかったポイントについてまとめておくこと（２時間）
第15回：まとめと確認テスト（ICT）
　　事前学習：各講義における手書きノートを作るなどすること（２時間）
　　事後学習：分からなかったポイントについてまとめておく（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題・レポート、確認テスト・授業への参加態度等を総合的に判断し評価する。
【確認テスト50%　課題・レポート・授業への参加態度50%】

成　績　評　価　基　準

消費者行動についての基本的概念が理解できたか。
消費者リスクについて説明できたか。
実社会における企業戦略を分析できたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　　■仁大eラーニング　　□メール　　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
５）その他
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
ムードルにて資料配布する
その他（受講上の注意）
毎回課題の提出を求める。提出には、ムードルやGoogleフォームなどを使用する（各講義において指定）かならず提出すること。 回収後の結果について講義内にて提示し、内容について考察することがある。講義内容と自らの行動について結び付け理解を深めてください。 提出課題に遅延した場合、提出物は受け取るが、減点の対象となる。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

産業カウンセリング (Industrial Counseling)			担当教員	黒田　優希
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−CPO−2375	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　産業・社会系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

産業カウンセリングの実際や職場のメンタルヘルス対策について学習する。

授 業 の 到 達 目 標

産業現場における問題や、メンタルヘルス対策について、自分の考えを持つ。
自身のストレスに気づき、対処する技能について知る。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション、産業現場の問題　−働くことは『　』より大切か−
　事前学習：現在の日本の職場環境についてニュースなどで調べておく。（2時間）
　事後学習：講義で扱った内容について情報収集を行う。新聞記事を読む。（2時間）
第2回：産業をとりまく環境の変化　−文明の利器は人を幸せにするか−
　事前学習：産業の歴史について調べておく。（2時間）
　事後学習：講義で扱った内容について情報収集を行う。（2時間）
第3回：働く人の心の病　−うつ病は誰の責任か−
　事前学習：うつ病について知識を得ておく。（2時間）
　事後学習：様々なタイプのうつ病について調べる。講義の中で紹介した文献を調べる（2時間）
第4回：うつ病からの回復、休職と復職　−もしうつ病になったらどうなる−
　事前学習：活用できる資源、制度について調べておく。（2時間）
　事後学習：講義で扱った内容について情報収集を行う。（2時間）
第5回：自殺の問題と対策　−自殺は個人の自由意思によるか−
　事前学習：自殺者数の推移や自殺対策、国による考えの違いについて調べる。（2時間）
　事後学習：自殺対策について復習をする。講義の中で紹介した文献を調べる。（2時間）
第6回：多様な精神疾患の紹介、ここまでの論点のまとめ
　事前学習：うつ病以外の精神疾患について調べておく。ここまでの資料を読み直す。（2時間）
　事後学習：中間レポートの課題について、情報を収集する。（2時間）
第7回：ストレスの理論　−労働者のストレス−
　事前学習：ストレスのモデルについて調べておく。（2時間）
　事後学習：自身にとってのストレッサーやストレス反応について検討をする。（2時間）
第8回：ストレスと健康　−ストレスチェックの導入−
　事前学習：ストレスによる健康被害やストレスチェック制度について調べる。（2時間）
　事後学習：ストレスチェックに関連した情報を振り返る。働き方改革について調べる。（2時間）
第9回：ストレスマネジメントとコーピング　−セルフケアの重要性−
　事前学習：ストレスコーピングについて情報収集を行う。（2時間）
　事後学習：自身がすでに行っている対処法について振り返る。（2時間）
第10回：セルフケア①　−リラックスして働いてみる−　（実習）
　事前学習：リラクゼーションの方法について調べておく。自分なりのリラックス法を振り返る。（2時間）
　事後学習：講義の中で実習したリラックス法を試してみる。（2時間）

第11回：セルフケア②　－物事の受け止め方を変えてみる－　（実習・ディスカッション）
　　事前学習：認知行動療法について文献で調べておく。（２時間）
　　事後学習：講義で使用したワークシートを用いてみる。（２時間）
第12回：セルフケア③　－自己主張をしてみる－（実習）
　　事前学習：アサーティブなコミュニケーションについて調べておく。自分のスタイルを考える。（２時間）
　　事後学習：アサーティブなコミュニケーションについて、講義の内容をもとに考える。（２時間）
第13回：対人関係療法の紹介とセルフケアのまとめ　－
　　事前学習：自分自身のストレッサーやライフイベントを把握し整理しておく。（２時間）
　　事後学習：ストレスとコーピングのワークシートを作成する。（２時間）
第14回：事例をもとに考える　（ディスカッション）
　　事前学習：事例を多角的に理解するため、ここまでに学習したことについて振り返る。（４時間）
第15回：産業カウンセリングに関するまとめ　－働くことは『　』より大切か－
　　事前学習：期末レポートの課題について、わからないところを質問する。（２時間）
　　事後学習：期末レポートを作成する。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

中間レポート（30％）＋期末レポート（30％）＋平常点（40％）
（平常点は授業の参加状況、受講態度、質問カードの提出内容などで総合的に判断します。）

成　績　評　価　基　準

産業領域におけるメンタルヘルスについて、問題点と対策が説明できるか。
講義で取り扱う問題について、自分の考えを持つことができるか。
ストレスへの対応について説明ができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

参考図書については講義の中で紹介する。

その他（受講上の注意）

授業の進行状況によって、授業計画に変更を加える可能性もある。

オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

関係行政論 (Legal and Administrative Systems)			担当教員	岸野　　徹、白崎　俊一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−CPO−2374	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　産業・社会系

求める学習成果(教育目標)

保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の各分野の公認心理師にかかわる法規や制度について学ぶ。
関係機関における公認心理師の役割および、関係機関と公認心理師の連携等について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野で心理職が活動する際に、どのような法律や制度がかかわっており、どのような役割が求められているかについて講義する。報道事例など身近な題材を通して理解を深める。

授 業 の 到 達 目 標

保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野で心理職が活動する際に、どのような法律や制度がかかわっており、どのような役割が求められているかについて理解し、概説できる。社会における心理職の役割への関心と自覚を持つ。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（必要に応じてディスカッション）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：保健医療分野における法規や制度について：岸野
　事前学習：保健医療分野の法規や制度について調べる（2時間）
　事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる（2時間）
第2回：保健医療分野における社会的課題と法制度の実際：岸野
　事前学習：保健医療分野における社会的課題について調べる（2時間）
　事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる（2時間）
第3回：前2回の授業の補足および保健医療分野関係するトピックス（新聞記事などから考える）：岸野
　事前学習：保健医療分野に関係する新聞記事などについて調べる（2時間）
　事後学習：保健医療分野のなかで特に関心を持った事項についてレポート作成・提出（2時間）
第4回：刑事事件・矯正・更生保護における法制度の実際：岸野
　事前学習：刑事事件の捜査、裁判、刑の執行について調べておく（2時間）
　事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる（2時間）
第5回：少年事件における法制度の実際：岸野
　事前学習：少年事件の取り扱いの流れについて調べておく（2時間）
　事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる（2時間）
第6回：家庭裁判所、被害者・加害者支援の法制度の実際：岸野
　事前学習：家庭裁判所がとりあつかう家事事件について調べる（2時間）
　事後学習：司法・犯罪分野のなかで特に関心を持った事項についてレポート作成・提出（2時間）
第7回：学校・教育分野に関する法律と制度の概要：岸野
　事前学習：学校や教育に関する法律にどのようなものがあるかを調べる。（2時間）
　事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる（2時間）
第8回：スクールカウンセリング・教育相談における法的対応の実際：岸野
　事前学習：過去に出会ったスクールカウンセラーからのかかわり内容や印象についてまとめる（2時間）
　事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる（2時間）
第9回：いじめ・不登校・特別支援教育等における法的対応の実際：岸野
　事前学習：いじめ、ひきこもり、発達障がいに関する新聞記事等の収集（2時間）
　事後学習：教育分野のなかで特に関心を持った事項についてレポート作成・提出（2時間）

第10回：児童福祉・児童虐待について：白崎
事前学習：児童福祉・児童虐待について調べる（２時間）
事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる（２時間）
第11回：障害福祉・高齢者福祉について：白崎
事前学習：障害福祉・高齢者福祉について調べる（２時間）
事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる（２時間）
第12回：前２回の授業の補足および福祉分野関係するトピックス（新聞記事などから考える）：白崎
事前学習：福祉分野に関係する新聞記事などについて調べる（２時間）
事後学習：福祉分野のなかで特に関心を持った事項についてレポート作成・提出（２時間）
第13回：産業・労働分野の法令について：白崎
事前学習：産業・労働分野の法令について調べる（２時間）
事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる（２時間）
第14回：労働者の心の健康に関する法令や指針について：白崎
事前学習：労働者の心の健康に関する法令や指針について調べる（２時間）
事後学習：授業で取り上げた事項で特に関心を持ったことについて深堀して調べる（２時間）
第15回：前２回の授業の補足および産業・労働分野関係するトピックス（新聞記事などから考える）：白崎
事前学習：産業・労働分野に関係する新聞記事などについて調べる（２時間）
事後学習：産業・労働分野のなかで特に関心を持った事項についてレポート作成・提出（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート（60%）平常点（40%　授業への参加状況　受講態度を総合的判断）

成　績　評　価　基　準

学習項目を簡潔に説明できるか、学習項目について自分の考えや疑問を示せるか、積極的に授業に取り組めるか

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

『元永拓郎』・『関係行政論（第２版）公認心理師の基礎と実践　第23巻』・『遠見書房』・『2020年』

その他（受講上の注意）

携帯電話は使用禁止です。レポートの手書きは不可です。

オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学特別演習Ⅰ (Special Psychology SeminarⅠ)			担当教員	稲木康一郎、大森　慈子、坂井　祐円、 杉島　一郎、竹村　明子、西村　則昭、 水田　敏郎、三脇　康生、森　　俊之、 森本　文人、山岸　厚仁、山本　雅代、 吉水ちひろ、渡辺　克徳
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-OPI-2381	4単位	3年通年	演習	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

卒業研究の準備段階として、学生自ら研究課題を設定することを目標にして演習を行います。テーマの設定に必要な文献や図書を精読し、発表や議論などを行います。(配属先のゼミの担当教員によって演習内容は異ります。)

授 業 の 到 達 目 標

自らの研究課題を設定する。研究課題に関連する文献などを適切に講読できる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：30回：各担当教員の進め方に沿って行われる。
ゼミによっては、ディスカッションや発表が取り入れられたり、自分の研究課題を設定し、実験や調査などの計画を立て実行することがある。
(課題解決型学習)(討議)(グループワーク)(発表)(実験、実技)
第1回～30回の事前学習：担当教員の指示に従って準備を行う(2時間)。
第1回～30回の事後学習：担当教員の指示に従って学習を進める(2時間)。

授業の形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第1回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第2回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第3回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第4回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第5回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第6回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第7回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第8回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第9回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第10回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第11回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第12回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第13回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第14回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第15回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第16回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第17回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第18回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)

第19回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第20回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第21回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第22回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第23回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第24回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第25回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第26回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第27回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第28回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第29回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第30回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポートや発表（50%）平常点（50%）
（レポートや発表の形式は担当教員により異なります。平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

自らの研究課題を設定することができるか。研究課題に関連する文献などを適切に講読できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　　□仁大eラーニング　　□メール　　□その他
5）その他（レポートや発表、平常点に対するフィードバックについて　　）
　□授業時　　□仁大eラーニング　　□メール　　■その他（各ゼミの担当教員の方法）

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

担当教員から指示されます。

その他（受講上の注意）

担当教員から指示されます。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ビジネス能力論 (Study of Business Skills)			担当教員	野尻　昌明
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2318	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

企業理念の重要度を理解する。そのうえで企業と社会、企業と生活者を結ぶビジネス・コミュニケーション（広報・広告・メディア・社内外）の在り方について仮想企業を想定し実践を通して学習します。
既存の行政・組織・企業プロジェクトの課題を考察・参加し、実際に組織の理念・イメージを売る。

授 業 の 到 達 目 標

IT、グローバリゼーション、パーソナル化、少子高齢化によって急速に変化するビジネスを的確にとらえ、コミュニケーションビジネスの新たな価値創造を養うことを目的とします。
企業側の立場に立つことで、企業理念・存在価値を伝えるためのコミュニケーションスキルを学ぶ。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他（チームによるクリエイティブワーク）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1部：「ひとり企業（Individual company）とはなにか！？」
　　実際の地域・企業プロジェクトを設定し、事業・人・組織を学ぶ。
　　地域・企業イメージを創るということ。
第1回：企業イメージ①（イメージをつくるということ）。
　　事前学習：会社のため、自分のため、社会のため、はたらくとはどういうことかをまとめておく。（2時間）
　　事後学習：企業人を知ることで、自分ならなにを起こせるかをレポートする。（2時間）
第2回：企業イメージ②（企業イメージをプロモーションするということ）。
　　事前学習：今までになかった商品・製品を考えておく。（2時間）
　　事後学習：発想を変えることで、開発できる製品を創造してみる。（2時間）
第3回：企業イメージ③（技術イメージ/技術を社会に紹介するということ）。
　　事前学習：インダストリアルの背景にある発想、発明を調査しておく。（2時間）
　　事後学習：商品・製品の存在理由を複数レポートする。（2時間）
第4回：企業イメージ④（ブランドイメージ/ブランドは想いから生まれるということ）。
　　事前学習：使っている製品や、広告から得るブランドイメージを複数社準備しておく。（2時間）
　　事後学習：ブランドイメージとは何かを研究しておく。（2時間）
第5回：企業イメージは「理念」によって生まれる。
　　事前学習：各企業の理念とイメージについて研究しておく。（2時間）
　　事後学習：企業の「理念」を考察してみる。（2時間）

第2部：「既存の行政・組織・企業プロジェクトの課題を考察する」。
　　組織の理念・イメージを売る。
第6回：既存行政・組織・企業の理念と、消費者。
　　事前学習：行政・組織・企業などの理念を考察しておく。（2時間）
　　事後学習：理念に従うとはどういうことなのかを自分に置き換え考える。（2時間）
第7回：想定した企業の行動指針とスローガン。
　　※既存の企業（プロジェクト）となる場合もある。
　　事前学習：各企業におけるスローガンを複数選択し、その意味を探っておく。（2時間）
　　事後学習：スローガン制作を学び、（株）COMに応用する。（2時間）

第８回：企業のイメージ戦略とコスト。
事前学習：各企業におけるイメージ戦略を複数選択しておく。（２時間）
事後学習：短期・中期・長期イメージ戦略を学び（株）COMへの応用を考える。（２時間）
第９回：企業のクリエイティブイメージ。
事前学習：広報におけるクリエイティブを、自由に記録しておく。（２時間）
事後学習：クリエイティブ制作を学び（株）COMへの応用を考える。（２時間）
第10回：企業の広告表現（ビジネスを言葉にするということ）。
事前学習：一貫した企業広告を選択しておく。（２時間）
事後学習：広告のノウハウを学び、応用をまとめる。（２時間）

第３部：組織と理念。
企業イメージをつくる。
第11回：「ひとり企業」とは。
事前学習：自分ができるクリエイティブ（仕事）とは何かをまとめておく。（２時間）
事後学習：ひとりで完結できることを探求し、成立させてみる。（２時間）
第12回：理念を踏まえて企業パンフレット/ポスター/CM等を企画する。
企業理念・イメージを伝える。
事前学習：企業パンフレット（webにも応用可）を複数選択しておく。（２時間）
事後学習：企業内での自分の役割、得意分野を探求する。（２時間）
第13回：ひとりひとりの能力が理念に行き着くその時、組織のパワーとなる。
事前学習：企業理念と、自分の能力の重なりを探っておく。（２時間）
事後学習：理念と能力を反応させることで、どのような表現が可能かを考える。（２時間）
第14回：パーソナルページ（ひとり企業）の集合体が１冊となり「企業パンフレット（ポスター）」となる。
事前学習：パンフレット内の自分ページのラフを完成させておく。（２時間）
事後学習：自分ページのブラッシュアップを行い次回授業に備える。（２時間）
第15回：「企業パンフレット（ポスター）」のブラッシュアップ。
「自分とは、企業とは」を、プレゼンテーションする。（グループワーク・プレゼンテーション）
事前学習：自分ページの役割を発表する準備を行う。（２時間）
事後学習：自分ページと他ページのバランスを考慮し、さらなる応用を考える。（２時間）
第16回：定期試験
※履修人数、社会状況等により内容・計画第１部～３部を変更する場合があります。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題に対する活動評価・提出物・定期試験（60%）平常点（40%）。
平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

実践的で現場型の※少数人数教育を通じて、これからのビジネスを理解・創造できる人材育成を目指します。
基本的な職業能力を源にしてなお「自立・独立型」の幅広い知識とともに成長することを期待します。
組織の中にあっても幅広いコミュニケーション能力ですべての分野を網羅する思考を持つ企業人（ひとり企業）への可能性があるかを見極めます。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

なし

その他(受講上の注意)

他者の学ぶ時間を奪ったり、学ぶ姿勢を阻害するような行動に対しては厳しく対処します。各自、講義を通じて問題意識を醸成してください。
企画開発論Ⅰ（2年前期）・ライティング技法（2年後期）を履修したものが望ましい。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ビジネスコミュニケーション研究 (Business Communication)			担当教員	升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-ABC-2319	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。
異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。
コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

情報通信媒体を介したバーチャルコミュニケーションが著しく拡大している今日において、ますます対面のコミュニケーション能力の重要性が問われる時代となっている。授業では、実社会において自身の個性や資質をより活かせるようにするための実践的なコミュニケーション能力の向上を狙いとする。

授 業 の 到 達 目 標

・コミュニケーション能力を高めるための視点や要件について説明することができる。
・他者とのコミュニケーションが円滑に行える。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

授業では、組織や職場における基本的なコミュニケーションパターンを学ぶとともに、コミュニケーション力を高めるためのアプローチ方法について考えていく。

第1回：組織とは
　事前学習：「組織」について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第2回：管理部門と現場のコミュニケーションⅠ
　事前学習：「管理部門」と「現場」のコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第3回：管理部門と現場のコミュニケーションⅡ
　事前学習：前回に続き「管理部門」と「現場」のコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第4回：現場力を高めるコミュニケーション
　事前学習：「現場力」を高めるコミュニケーションについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第5回：リーダーシップ
　事前学習：リーダーシップについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第６回：セルフ・リーダーシップ（グループワーク）
事前学習：セルフ・リーダーシップについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第７回：上司と部下のコミュニケーションⅠ（グループワーク）
事前学習：上司と部下のコミュニケーションの留意点について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第８回：上司と部下のコミュニケーションⅡ（グループワーク・発表）
事前学習：前回に続き上司と部下のコミュニケーションの留意点について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：会議のコミュニケーションⅠ
事前学習：会議の進め方における留意点について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：会議のコミュニケーションⅡ（グループワーク・発表）
事前学習：前回に続き会議の進め方における留意点について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：テキストのコミュニケーションⅠ（グループワーク）
事前学習：「効果的な議事録・メール」について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：テキストのコミュニケーションⅡ（グループワーク・発表）
事前学習：前回に続き「効果的な議事録・メール」について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
第13回：就活のコミュニケーションⅠ
事前学習：「ＥＳ」作成にあたっての留意点について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：就活のコミュニケーションⅡ
事前学習：「面接」の留意点について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：授業全体の振り返りおよび確認問題を実施するので、これまでの授業内容を確認しておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題に対する活動内容・提出物・レポート（70%）、平常点（30%）
※平常点：授業への参加状況・受講態度等を総合して判断するもの

成　績　評　価　基　準

・コミュニケーション能力を高めるための視点や要件について説明することができるか。
・他者とのコミュニケーションが円滑に行えるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（リアクションペーパーに対するフィードバックについて）
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

企業（業種：情報通信、社員数：約26万人）の管理職（主な担当業務：人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システムコンサルタント等）経験のある教員が、組織内および組織対組織で展開されるコミュニケーションについて解説する。

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

必用に応じて、授業中に提示します。

その他（受講上の注意）

・「授業の計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、変更する場合があります。
・「組織と情報（前：企業と情報）」（3年前期）を履修していることが望ましい。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

日本文化論 (Japanese Culture)			担当教員	大河　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2327	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　基幹科目　コミュニケーション学専門

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

近代以降に書かれた小説・詩をもとに、〈日本〉について考える。近代国家構築に関する意識や戦前・戦後の〈日本〉の姿、現在の〈日本〉の多様性などへの理解を通して、〈日本〉の歴史・文化を批評的に捉える眼を養う。

授 業 の 到 達 目 標

・各作品の表現・内容と文化的・社会的背景の関係が理解できる。
・近代と現代の共通点・相違点を考え、自己の〈日本〉観を見直し、認識を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（課題提出）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：テキストの概要を把握しておく。（2時間）
　事後学習：テキストの概要と資料を復習する。（2時間）
第2回：森鴎外「普請中」
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習し、課題を提出する。（2時間）
第3回：国木田独歩「武蔵野」(1)
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習する。（2時間）
第4回：国木田独歩「武蔵野」(2)
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習し、課題を提出する。（2時間）
第5回：太宰治「十二月八日」
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習し、課題を提出する。（2時間）
第6回：中島敦「マリヤン」(1)
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習する。（2時間）
第7回：中島敦「マリヤン」(2)
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習し、課題を提出する。（2時間）
第8回：牛島春子「祝という男」(1)
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習する。（2時間）
第9回：牛島春子「祝という男」(2)
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習し、課題を提出する。（2時間）
第10回：金鍾漢「幼年」「辻詩　海」「合唱について」「くらいまつくす」
　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（2時間）
　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習し、課題を提出する。（2時間）

第11回：小島信夫「アメリカン・スクール」（１）
　　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習する。（２時間）
第12回：小島信夫「アメリカン・スクール」（２）
　　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習し、課題を提出する。（２時間）
第13回：目取真俊「水滴」（１）
　　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習する。（２時間）
第14回：目取真俊「水滴」（２）
　　事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点や関連事項について調べる。（２時間）
　　事後学習：テキスト該当部分と資料を復習し、課題を提出する。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：期末レポートのテーマ設定、準備を行う。（２時間）
　　事後学習：期末レポートに取り組む。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（40％）、課題（40％）、平常点（20％）
平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

課題：各作品の表現・内容や文化的・社会的背景等が理解できているか。
期末レポート：自ら設定したテーマについて十分に考察し、説得力のある結論が出せているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

飯田祐子・日高佳紀・日比嘉高編『文学で考える〈日本〉とは何か』・翰林書房・2016年

その他（受講上の注意）

授業資料の提示、課題の提出には、eラーニングを利用する。

オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

企画開発論Ⅱ (Study of Planning and Development Ⅱ)			担当教員	小川　　慶
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2351	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本講義では、経営組織における企画やマネジメントに有用となる経営管理手法を修得することを目的とし、その初段階として、経営管理の基盤情報となる原価の構成要素や測定・評価技法について学習する。また、本講義では、毎回の講義にて演習を行うものとする。

授 業 の 到 達 目 標

講義で扱った内容を理解し、原価計算ができるようになることを到達目標と設定する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（演習）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ガイダンス（講義の目的や今後の流れ、評価方法等についての説明）
　事前学習：講義前にシラバスを読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第2回：材料費①（概説）
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第3回：材料費②（総平均法）
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第4回：材料費③（先入先出法）
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第5回：労務費
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第6回：経費
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第7回：製造間接費①（概説）
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）

第８回：製造間接費②（予算差異分析）
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第９回：総合演習①
事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第10回：月末仕掛品①（概説）
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第11回：月末仕掛品②（総平均法）
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第12回：月末仕掛品③（先入先出法）
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第13回：工程別計算
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第14回：総合演習②
事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第15回：総括
事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。（２時間）
事後学習：講義全体を振り返り、質問した箇所や苦手箇所を抽出し、復習しておく。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

毎回の講義（総合演習含む）で実施する演習問題の成績（70%）と学習態度（授業への取り組み姿勢や受講態度等）（30%）を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・講義に積極的に取り組めているかどうか。
・講義で取り扱った内容を理解し、修得できているかどうか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■ 授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

吉田康久『原価計算基礎論』中央経済社. 2012.

その他(受講上の注意)

本科目は、後期開講科目の「企画開発演習Ⅱ」の受講要件である。また、これに併せて、後期開講科目の「現代社会研究」を履修することを勧める。
なお、本科目は、税理士受験資格（学識による受験資格）要件における「法律学又は経済学に属する科目」に該当する。税理士資格の取得を目指している場合は、自ら、国税庁のホームページで詳細を確認の上、本科目を履修することを勧める。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

企画開発演習Ⅱ (Practice in Planning and DevelopmentⅡ)			担当教員	小川　　慶
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2353	2単位	3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

本講義では、経営組織における企画やマネジメントに有用となる経営管理手法を修得することを目的とし、企画開発論Ⅱの内容を踏まえた上で、原価管理や損益分析、価格決定、投資意思決定といった管理会計技法について学習する。また、本講義では、毎回の講義にて演習を行うものとする。

授　業　の　到　達　目　標

講義で扱った内容を理解し、管理会計手法が利用できるようになることを到達目標と設定する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（演習）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ガイダンス（講義の目的や今後の流れ、評価方法等についての説明）
　事前学習：講義前にシラバスを読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第2回：原価管理①（直接材料費差異分析）
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第3回：原価管理②（直接労務費差異分析）
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第4回：原価管理③（製造間接費差異分析）
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第5回：損益分析①（CVP）
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第6回：損益分析②（安全余裕率）
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）
第7回：総合演習①
　事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（2時間）

第８回：価格決定
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第９回：投資意思決定①（期待値と期待効用）
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第10回：投資意思決定②（DCF）
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第11回：予算管理
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第12回：利益管理①（資本コスト）
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第13回：利益管理②（WACC）
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第14回：総合演習②
事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第15回：総括
事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。（２時間）
事後学習：講義全体を振り返り、質問した箇所や苦手箇所を抽出し、復習しておく。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

毎回の講義（総合演習含む）で実施する演習問題の成績（70%）と学習態度（授業への取り組み姿勢や受講態度等）（30%）を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・講義に積極的に取り組めているかどうか。
・講義で取り扱った内容を理解し、修得できているかどうか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

吉田康久『管理会計基礎論』中央経済社.2016.

その他(受講上の注意)

本科目は、前期開講科目の「企画開発論Ⅱ」に連なる科目である。そのため、受講にあたり上記の科目を修得していることを前提で講義を進める。また、これと併せて、後期開講科目の「現代社会研究」を履修することを勧める。
なお、本科目は、税理士受験資格（学識による受験資格）要件における「法律学又は経済学に属する科目」に該当する。税理士資格の取得を目指している場合は、自ら、国税庁のホームページで詳細を確認の上、本科目を履修することを勧める。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

マルチメディア演習 (Practice in Multimedia)			担当教員	吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2359	2単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

ウェブメディアにおけるコミュニケーション方法について、知識・技術の基礎を身に付ける。ウェブメディアの理解と共に、ウェブサイト制作の技法（HTML／CSSによるページ制作、スマートフォン最適化）を習得していく。

授 業 の 到 達 目 標

現在におけるウェブメディアの役割を理解する。ウェブサイトの構築手法および技法を習得する。ウェブを介してコミュニケーションを生み出す能力を身に付ける。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ウェブ概論、制作ツールの紹介、制作の流れ（実習）
　事前学習（2時間）普段の生活でよく利用するウェブサイトを10個ピックアップする
　事後学習（2時間）制作の流れを覚える
第2回：Web制作の基礎① 見出し、本文、コンテンツの埋め込み（実習）
　事前学習（2時間）前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）エディタの操作を復習する、HTMLの基礎を覚える
第3回：Web制作の基礎② 見出し、画像、リンク（実習）
　事前学習（2時間）前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）エディタの操作を復習する
第4回：Web制作の基礎③ CSSによるスタイリング（実習）
　事前学習（2時間）前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）エディタの操作を復習する、CSSの記法を理解する
第5回：Web制作の基礎④ Web用に画像を編集して利用する（実習）
　事前学習（2時間）前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）エディタの操作を復習する、用途に応じた画像の形式を覚える
第6回：Web制作の基礎⑤ CSSによるレイアウト
　事前学習（2時間）前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）エディタの操作を復習する、レイアウトの方法を覚える
第7回：Web制作の基礎⑥ 見やすくレイアウトする（実習）
　事前学習（2時間）前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）エディタの操作を復習する、余白をつける方法を覚える
第8回：Web制作の基礎⑦ 線と内側の余白（実習）
　事前学習（2時間）前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）エディタの操作を復習する、さらに見やすくする方法を覚える
第9回：Web制作の基礎⑧ %でレイアウトする（実習）
　事前学習（2時間）前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）エディタの操作を復習する、レスポンシブデザインを理解する
第10回：Web制作の基礎⑨ セレクタの書き方（実習）
　事前学習（2時間）前回の授業で配布された資料を読む
　事後学習（2時間）エディタの操作を復習する、CSSの記法を理解する

第11回：Web制作の基礎⑩ 複数ページのWebサイトを作成する（実習）
事前学習（２時間）前回の授業で配布された資料を読む
事後学習（２時間）エディタの操作を復習する、複数ページの構成方法を理解する
第12回：期末課題制作① コンテンツの準備（課題解決型学習、実習）
事前学習（２時間）これまでの配布資料を読み直しウェブ制作の技法について理解を深める
事後学習（２時間）コンテンツを準備する
第13回：期末課題制作② HTMLの作成（実習）
事前学習（２時間）コンテンツを準備する
事後学習（２時間）グループでレビューを行い、作品の完成度を高める
第14回：期末課題制作③ CSSの作成（グループワーク、実習）
事前学習（２時間）更に良い作品にするためにブラッシュアップをする
事後学習（２時間）グループでレビューを行い、作品の完成度を高める
第15回：期末課題制作④ 全体調整、完成、プレゼンテーション（実習、発表）
事前学習（２時間）プレゼンテーションを準備する
事後学習（２時間）作品データを完成、データはEラーニングより提出する、他の学生の作品を鑑賞し批評する

その他、１～15回目を通して授業外で学習してほしいこと
・「使いやすさ」「デザインパターン」を意識して、日常利用しているウェブサイトやアプリを別の視点で見る。
・センスを鍛えるために自主制作をする。※制作ツールは無料で利用可能
・疑問や知りたいことがあればチャットやオフィスアワー等を利用して積極的に担当教員に質問する。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末課題作品（40%）授業毎の作品（30%）授業毎の小テスト・レポート（30%）

成　績　評　価　基　準

・ウェブの基本が理解できているか。
・ツールを適切に使用できているか。
・ウェブの基本を理解した上で、課題作品の制作ができているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
・経歴 （WEBデザイナー） ・実務経験と授業内容との関連性 （WEBデザイナーとしての業務経験を有する教員が、WEBサイト制作の技法について演習を行う。）
テキスト、参考図書
テキスト：　　栗谷 幸助 ほか「Webデザイン基礎入門」エムディエヌコーポレーション, 2019年 参考図書：授業内で紹介する
その他（受講上の注意）
授業を欠席した場合は、eラーニングにて授業内容を確認し次回の授業までに課題を提出すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

デザイン実務演習 (Practice in Business Design)			担当教員	浅野　桃子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2360	2単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画･マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

ビジュアルスキルを修得、活用し、課題解決や問題提起ができる力を養い、さらに高いビジュアルスキルとコミュニケーションスキルを身につける。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

ビジュアルやコミュニケーションに関する知識を基に、基礎的な物事の見方や描き方、視覚効果などから表現方法を学び、演習を通して思考/試行する。それによって伝達できたか、反響や影響があるか検証し、課題解決や問題提起ができるように演習を繰り返し研究する。

授 業 の 到 達 目 標

コミュニケーション手段の一つとして、ビジュアルスキルを充分に活かし、伝わる効果的表現をすることができ、さらに、独創的な伝達方法を提案できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション・わたしの紹介（実習）　……＜課題1：「自己紹介シート」提出＞
　事前学習：自己紹介シートを制作する（2時間）
　事後学習：課題1「自己紹介シート」を更新する（2時間）
第2回：自己紹介をビジュアル化する1（実習）　……＜課題2：ミニレポート提出＞
　事前学習：課題1「自己紹介シート」を仕上げる（2時間）
　事後学習：講義2のミニレポートを作成する（2時間）
第3回：自己紹介をビジュアル化する2（実習）　……＜課題3：ミニレポート提出＞
　事前学習：画材を準備をする（2時間）
　事後学習：課題3ミニレポートを作成する（2時間）
第4回：自己紹介をビジュアル化する3（実習）　……＜課題4：「自己紹介ボード」提出＞
　事前学習：画材を準備をする（2時間）
　事後学習：講義4「自己紹介ボード」を仕上げる（2時間）
第5回：スケッチを楽しむ・デッサンを学ぶ1 画材や道具について（実技）
　……＜課題5：ミニレポートを提出＞
　事前学習：画材を準備をする（2時間）
　事後学習：課題5：ミニレポートを作成する（2時間）
第6回：スケッチを楽しむ・デッサンを学ぶ2（実習）　……＜課題6：ミニレポートを提出＞
　事前学習：画材を準備をする（2時間）
　事後学習：講義6ミニレポートを作成する（2時間）
第7回：いろんな図解/わたしの部屋1（実習）　……＜課題7：アイディアスケッチを提出＞
　事前学習：部屋が360°分かる画像を準備し観察する、構想を練る（2時間）
　事後学習：アイディアスケッチを進める（2時間）
第8回：いろんな図解/わたしの部屋2（実技）　……＜課題8：アイディアスケッチを提出＞
　事前学習：アイディアスケッチを進める（2時間）
　事後学習：アイディアスケッチを進める（2時間）
第9回：いろんな図解/わたしの部屋3（実技）　……＜課題9：「わたしの部屋」提出＞
　事前学習：アイディアスケッチを進める（2時間）
　事後学習：課題10：「わたしの部屋」を仕上げる（2時間）

第10回：地域を伝える１（実習）　……＜課題10：ミニレポートを提出＞
　　事前学習：使用する福井の地域に伝承されている祭りや催事をしらべる（２時間）
　　事後学習：アイディアスケッチを制作する（２時間）
第11回：地域を伝える２（実習）　……＜課題11：アイディアスケッチ提出＞
　　事前学習：使用する情報を精査しテキストを準備する、必要があればリサーチを追加する（２時間）
　　事後学習：アイディアスケッチを進める（２時間）
第12回：地域を伝える３（実習）　……＜課題12：アイディアスケッチ提出＞
　　事前学習：アイディアスケッチを進める（２時間）
　　事後学習：アイディアスケッチを進める（２時間）
第13回：地域を伝える４（実習）　……＜課題13：アイディアスケッチ提出＞
　　事前学習：本制作を進める（２時間）
　　事後学習：本制作を進める（２時間）
第14回：地域を伝える５（実習）　……＜課題14：アイディアスケッチ提出＞
　　事前学習：本制作を進める（２時間）
　　事後学習：本制作を進める（２時間）
第15回：地域を伝える６/最終プレゼンテーション（発表）……＜課題15：「地域を伝える」を提出＞
　　事前学習：「地域を伝える」を仕上げる（２時間）
　　事後学習：講義内容や制作物を全て見直し最終レポート「地域を伝える」を作成する（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題毎の提出物による理解度と達成度70%、最終課題の提出物とプレゼンテーションによる理解度、リサーチ等の探索能力と達成度、完成度 30%

成　績　評　価　基　準

課題毎の内容を理解し、ビジュアルスキルの基礎知識を効果的に活用し、また、その効果を考察して表現することができているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

講義内で適宜紹介指定する。

その他（受講上の注意）
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

プロジェクト・デザイン演習 (Project Design Ⅱ)			担当教員	禿　　寿
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2363	2単位	3年通年	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

2年生～4年生の3年間という長期的展望に立って、年度を重ねながら最終的に学年を超えたコラボレーションでプロジェクトを生み出し、実現する授業に育てていく。プロジェクトはチーム単位で学内外の諸課題の解決に取り組み、学生自らが主体的にアイディアを出し、目標・計画を立て、実行し、評価し、改善・革新していく。

授 業 の 到 達 目 標

学生自ら授業・プロジェクトを生み出し、展開していけること。学生相互に学び合うだけでなく、異なるプロジェクトの間で学び合い、多様な学生・プロジェクトが触発しあいながら、次年度の授業・プロジェクトに向けた基盤・展望・意欲が形成できること。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション、プロジェクトチームの編成
　事前学習：前年度の企画内容をまとめておく（2時間）
　事後学習：チームメンバーと交流し、互いの得意な領域を確認しておく（2時間）
第2回：テーマ設定、企画内容、実施計画の検討Ⅰ（グループワーク）
　事前学習：テーマ設定、テーマ選定理由および目的目標、企画内容、実施計画についてのグループ討議ができるようにアイディアをまとめておく（2時間）
　事後学習：企画の立案、修正を行う（2時間）
第3回：テーマ設定、企画内容、実施計画の検討Ⅱ（グループワーク）
　事前学習：テーマ設定、テーマ選定理由および目的目標、企画内容、実施計画についてのグループ討議ができるようにアイディアをまとめておく（2時間）
　事後学習：企画の立案、修正を行う（2時間）
第4回：取り組み内容・アクションプランの検討Ⅰ（グループワーク）
　事前学習：取り組み内容についての具体的な検討についてのグループ討議ができるようにアイディアをまとめておく（2時間）
　事後学習：取り組み内容の立案、修正を行う（2時間）
第5回：取り組み内容・アクションプランの検討Ⅱ（グループワーク）
　事前学習：アクションプランについての具体的な検討についてのグループ討議ができるようにアイディアをまとめておく（2時間）
　事後学習：アクションプランの立案、修正を行う（2時間）
第6回：企画書（プロジェクト実施計画書）作成・報告Ⅰ（グループワーク）
　事前学習：企画内容、実施計画についてのグループ討議ができるようにアイディアをまとめておく（2時間）
　事後学習：企画書の加筆修正を行う（2時間）
第7回：企画書（プロジェクト実施計画書）作成・報告Ⅱ（グループワーク）
　事前学習：企画内容、実施計画についてのグループ討議ができるようにアイディアをまとめておく（2時間）
　事後学習：企画書の加筆修正を行う（2時間）
第8回：プロジェクトの実施準備Ⅰ（グループワーク）
　事前学習：中間レビューの事前準備をする（2時間）
　事後学習：進捗を確認し、遅延がないように準備をすすめる（2時間）

第９回：プロジェクトの実施準備Ⅱ（グループワーク）
事前学習：最終レビューの事前準備をする（２時間）
事後学習：最終チェックをして完成度を高める（２時間）
第10回：プロジェクトの実施（グループワーク）
事前学習：実施当日の計画を確認しておく（２時間）
事後学習：実施結果について、反省をまとめておく（２時間）
第11回：プロジェクトの評価、振り返り
事前学習：実施結果の評価および改善策について、グループ討議ができるようにアイディアをまとめておく（２時間）
事後学習：取り組みの評価および全体報告会プレゼンに向けた準備を行う（２時間）
第12回：全体報告会基礎班２年・３年・４年合同授業Ⅰ（２年生からの報告および質疑応答）
事前学習：発表会の事前準備をする。（２時間）
事後学習：最終チェックをして完成度を高める。（２時間）
第13回：全体報告会基礎班２年・３年・４年合同授業Ⅱ（３年生からの報告および質疑応答）
事前学習：発表会の事前準備をする。（２時間）
事後学習：最終チェックをして完成度を高める。（２時間）
第14回：全体報告会基礎班２年・３年・４年合同授業Ⅲ（４年生からの報告および質疑応答）
事前学習：発表会の事前準備をする。（２時間）
事後学習：最終チェックをして完成度を高める。（２時間）
第15回：総括
事前学習：これまでの講義内容の振り返りを行っておく。（２時間）
事後学習：フィードバックの結果に沿って、報告書やポスターを修正し、次年度の参照資料として掲示・保存をする（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題に対する取組み内容・提出物（80%）、平常点（20%）

成　績　評　価　基　準

・プロジェクトを生み出し、展開できているか。
・プロジェクトチームに貢献できているか、また、プロジェクトチームとして成果がでているか。
・プロジェクトの進め方（基本）について説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
特に使用しない。参考となる資料は必要に応じて配布する。
その他（受講上の注意）
一貫してチーム編成にて作業を進行する。価値観の違いを面白がり、触発しあい、生み出しあう姿勢を持つこと。 授業の進捗に応じて柔軟に内容を変更していく。詳細説明は第１回に行うので、必ず出席すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語コミュニケーションa (English Communication a)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2367	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

世界の様々な出来事について述べている記事を聞いて読む。さらに、記事の内容から自分の意見や考えを英語で書き、最後に他者と話し合う。

授 業 の 到 達 目 標

SDGsに関して色々なトピックスに関する十分な理解を深める。四つのスキルを使用して各ユニットの内容を身につけ、自分の意見や考えを伝える力を身につける。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特に読解・スピーキング能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：グローバルな視点（SDGsの紹介　聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第1章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたナウル島の問題について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第2回：グローバルな視点（SDGsの紹介　書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第1章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたナウル島の問題について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第3回：:気候変動（SDG13：気候変動対策について。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された情熱について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第4回：気候変動（SDG13：気候変動対策について。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第2章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された情熱について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第5回：水（SDG6：きれいな水と衛生について。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された良い教師の影響について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第6回：水（SDG6：きれいな水と衛生について。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第3章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された良い教師の影響について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第7回：復習（第1回～6回の内容についての復習）（グループワーク　討議　発表）
　事前学習：授業前にテキストの第1,2,3ユニットを復習する。（2時間）
　事後学習：テキストの第1,2,3ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（2時間）
第8回：クリーンエネルギー（SDG7:手頃でクリーンなエネルギー。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたユーモアと笑いについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第9回：クリーンエネルギー（SDG7:手頃でクリーンなエネルギー。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第4章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたユーモアと笑いについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）

第10回：貧困（SDG１:貧困をなくす。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第５章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたデートの心得について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第11回：貧困（SDG１:貧困をなくす。書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第５章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたデートの心得について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第12回：空腹（SDG２:空腹をなくす。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第６章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された栄養と運動について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第13回：空腹（SDG２:空腹をなくす。書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第６章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された栄養と運動について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第14回：子供（SDG４:質の高い教育。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第７章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された脳の異なる層について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：子供（SDG４:質の高い教育。書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第７章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業前にテキストの第4,5,6,7ユニットを復習する。（２時間）
定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

積極的な授業態度及び課題（45％）、定期試験（55％）

成　績　評　価　基　準

色々なトピックスに関する十分な理解を深めているか。四つのスキルを使用して各ユニットの内容を身につけ、自分の意見や考えを伝える力を身につけているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト
Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals（地球市民として生きる：英語で学ぶSDGs実践入門）
Kazuya Oseki and Kevin M. McManus 2020. NAN' UN-DO ISBN 978-4-523-17931-3
（小関一也, ケビン・マクマナス著　出版社：南雲堂　2020）
参考図書
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）

その他（受講上の注意）

Students must be fully prepared and proactively participate in each in-class activity.
This is not a lecture course. This course is taught exclusively in English.

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語コミュニケーションb (English Communication b)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2368	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

世界の様々な出来事について述べている記事を聞いて読む。さらに、記事の内容から自分の意見や考えを英語で書き、最後に他者と話し合う。

授 業 の 到 達 目 標

SDGsに関して色々なトピックスに関する十分な理解を深める。四つのスキルを使用して各ユニットの内容を身につけ、自分の意見や考えを伝える力を身につける。これにより、中学校・高校で英語を教える際の、特に読解・スピーキング能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：性別（SDGs 5 ：男女平等。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第8章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたテクノロジー中毒について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第2回：性別（SDGs 5 ：男女平等。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第8章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたテクノロジー中毒について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第3回：難民（SDGs10：不平等の削減。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第9章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたミラーニューロンについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第4回：難民（SDGs10：不平等の削減。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第9章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課されたミラーニューロンについて、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第5回：虫（SDGs15：陸上での生活。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された幸福追求の科学について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第6回：虫（SDGs15：陸上での生活。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第10章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された幸福追求の科学について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第7回：復習（第1回～6回の内容についての復習）（グループワーク　討議　発表）
　事前学習：授業前にテキストの第8,9,10ユニットを復習する。（2時間）
　事後学習：テキストの第8,9,10ユニットを復習して、わからないところをノートに書くこと。（2時間）
第8回：菜食主義（SDGs 3 ：健康と幸福。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　事前学習：授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された 糖分依存症について、ノートにまとめておくこと。（2時間）
第9回：菜食主義（SDGs 3 ：健康と幸福。書く、話す）（討議　発表）
　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第11章を読み、質問項目をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業で課された 糖分依存症について、ノートにまとめておくこと。（2時間）

第10回：プラスチック汚染（SDGs14：水面下での生活。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された結婚の進化について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第11回：プラスチック汚染（SDGs14：水面下での生活。書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第12章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された結婚の進化について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第12回：買い物する（SDGs12：責任ある消費と生産。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第13章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたアクティブリスニングについて、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第13回：買い物する（SDGs12：責任ある消費と生産。書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第13章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたアクティブリスニングについて、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第14回：パートナーシップ（SDGs17：パートナーシップ。聞く、読む）（グループワーク　討議）
　　事前学習：授業前にテキストの第14章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業で課された男性の脳、女性の脳について、ノートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：パートナーシップ（SDGs17：パートナーシップ。書く、話す）（討議　発表）
　　事前学習：引き続き、授業前にテキストの第14章を読み、質問項目をまとめておくこと。（２時間）
　　事後学習：授業前にテキストの第11, 12, 13, 14ユニットを復習する。（２時間）
定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

積極的な授業態度及び課題（45％）、定期試験（55％）

成　績　評　価　基　準

色々なトピックスに関する十分な理解を深めているか。四つのスキルを使用して各ユニットの内容を身につけ、自分の意見や考えを伝える力を身につけているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト
Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals（地球市民として生きる：英語で学ぶSDGs実践入門）
Kazuya Oseki and Kevin M. McManus 2020. NAN' UN-DO ISBN 978-4-523-17931-3
（小関一也, ケビン・マクマナス著　出版社：南雲堂　2020）
参考図書
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）

その他（受講上の注意）

Much outside-class preparation is necessary in order to fully participate in this course.
This course is taught exclusively in English.

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

TOEIC英語Ⅱ （TOEIC EnglishⅡ）			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2370	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果（教育目標）

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

TOEICテストの問題に取り組むためのテクニックを向上させる。TOEIC730点レベルの語彙300語を習得する。

授　業　の　到　達　目　標

リスニング力・リーディング力の向上を図り、TOEICテストのさらなるスコアアップを目指す。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第2回：Listening Part 2 応答問題（1）/ Reading Part 5　短文穴埋め問題（1）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第3回：Listening Part 3 会話問題（1）/ Reading Part 6　長文穴埋め問題（1）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第4回：Listening Part 4 説明文問題（1）/ Reading Part 7　1つの文書（1）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第5回：Listening Part 1 写真描写問題（1）/ Reading Part 5 短文穴埋め問題（2）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第6回：Listening Part 2 応答問題（2）/ Reading Part 6　長文穴埋め問題（2）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第7回：Listening Part 3 会話問題（2）/ Reading Part 7　1つの文書（2）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第8回：Listening Part 4 説明文問題（2）/ Reading Part 5　短文穴埋め問題（3）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第9回：Listening Part 1 写真描写問題（2）/ Reading Part 6　長文穴埋め問題（3）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第10回：Listening Part 2 応答問題（3）/ Reading Part 7　1つの文書（3）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）

第11回：Listening Part 3 会話問題（3）/ Reading Part 5 短文穴埋め問題（4）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第12回：Listening Part 4 説明文問題（3）/ Reading Part 6 長文穴埋め問題（4）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第13回：Listening Part 1 写真描写問題（3）/ Reading Part 7 複数の文書（4）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第14回：Listening Part 2 応答問題（4）/ Reading Part 5 短文穴埋め問題（5）（ディスカッション）
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）
第15回：まとめ
事前学習：事前にテキストを読み、CALL演習室で附属CDを用いて予習すること（2時間）
事後学習：テキスト等の見直しを行い、CALL演習室で附属CDを用いて復習をすること（2時間）

・英語教育センター主催のTOEIC IPを受験すること
・予習として、教科書の各回に関連する頁を読み、あらかじめ辞書で未知語を調べておく。また復習としては授業時の板書やハンドアウトに基づいて、各自のノートに授業内容をまとめておくこと。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業 □遠隔授業（□オンデマンド □リアルタイム □オンデマンドとリアルタイムの併用）

成 績 評 価 方 法

定期試験（50%）授業内レポート（30%）平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します。）

成 績 評 価 基 準

TOEIC730点レベルに関わる語彙・文法・解答技術を習得したか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時 □仁大eラーニング □メール □その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時 □仁大eラーニング □メール □その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時 □仁大eラーニング □メール □その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時 □仁大eラーニング □メール □その他
5）その他
□授業時 □仁大eラーニング □メール □その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

小石裕子　『はじめて受けるTOEIC（R）L&Rテスト 全パート完全攻略』 2018年　アルク
TEX加藤　『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 2017年　朝日新聞出版
また、必要に応じて適宜ハンドアウトを配布する。

その他（受講上の注意）

・履修条件として、下記①～③のいずれかであること（＝どれか１つに該当すればOK）。
　①「TOEIC英語Ⅰ単位取得済」
　②「TOEIC スコア600点以上」
　③「実用英語検定準１級合格」
・TOEIC英語Ⅰとの同時履修はできない。
・遅刻３回で欠席１回とみなす。
・必ず英和辞書（電子辞書可）を持参すること。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ビジネス英語a (Business English a)			担当教員	加藤　優子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2371	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

ビジネスを行う上で必要とされる英語表現とマナーについて学ぶ。主にペアワークを用いて、学生主体の英会話の練習を中心に行う。

授 業 の 到 達 目 標

ビジネスで多用される英語表現を使うことが出来る。
職務上でのやり取りを英語でスムーズに行うことができる。
ビジネス上のマナーを理解している。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Introduction / Business English　（一部ディスカッション）
　事前学習：シラバスとテキストのIntroductionとContentsに目を通し、質問事項をメモにまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：授業のシラバスの説明を参考にして、自己の到達目標をまとめること。（2時間）
第2回：Lesson 1 ：Introducing Yourself to a Business Colleague
　事前学習：授業前にテキストのUnit 1を音読し、わからない単語を調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業中に学んだ会話表現を用いて、初めて会う目上の人への自己紹介を作成する。（2時間）
第3回：Lesson 2 ：Making a Self-Introduction at a Business Meeting
　事前学習：授業前にテキストのUnit 2を音読し、わからない単語を調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業中に学んだ会話表現を用いて、会議の場での自己紹介を作成する。（2時間）
第4回：Lesson 3 ：Introducing Business Guests to Colleagues
　事前学習：授業前にテキストのUnit 3を音読し、わからない単語を調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業中に学んだ会話表現を用いて、同僚（友人でもよい）を来訪者に紹介する文を作成する。（2時間）
第5回：Lesson 4 ：Leaving a Message on an Answering Machine or Voice Mail
　事前学習：授業前にテキストのUnit 4を音読し、わからない単語を調べておくこと。（2時間）
　事後学習：どこかの店に電話をかける状況を設定し、授業中に学んだ会話表現を用いて、伝言文を作成する。（2時間）
第6回：Lesson 5 ：Leaving a Message by Phone
　事前学習：授業前にテキストのUnit 5を音読し、わからない単語を調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業中に学んだ会話やリスニングCDから、電話応対表現をまとめる。（2時間）
第7回：Lesson 6 ：Taking a Message in Person for a Colleague
　事前学習：授業前にテキストのUnit 6を音読し、わからない単語を調べておくこと。（2時間）
　事後学習：授業中に学んだ会話やリスニングCDから、応対表現をまとめる。（2時間）
第8回：Lesson 7 ：Getting Ready to Go: Checking-In at the Airport
　事前学習：授業前にテキストのUnit 7を音読し、わからない単語を調べる。（2時間）
　事後学習：空港のチェックイン時に希望の席を伝える文を授業中に学んだ表現を用いて作成する。（2時間）
第9回：Lesson 8 ：Getting through Immigration and Customs
　事前学習：授業前にテキストのUnit 8を音読し、わからない単語を調べる。（2時間）
　事後学習：空港の入国審査時に渡航目的を伝える文を授業中に学んだ表現を用いて作成する。（2時間）

第10回：Lesson 9 ：Settling into your Hotel
事前学習：授業前にテキストのUnit 9を音読し、会話状況を想像しながら、わからない単語を調べる。（2時間）
事後学習：ホテル内での「トラブル」を1つ設定し、解決を要望する文を作成する。（2時間）
第11回：Lesson 10：Conducting a Business Meeting
事前学習：授業前にテキストのUnit 10を音読し、会議の状況を想像しながら、わからない単語を調べる。（2時間）
事後学習：授業中に学んだ会話やリスニングCDから、会議での表現をまとめる。（2時間）
第12回：Lesson 11：Making Appointments with Customers
事前学習：授業前にテキストのUnit 11を音読し、会話の状況を想像しながら、わからない単語を調べる。（2時間）
事後学習：テキストのDialogueやMini-Dialoguesのいずれかを利用し、「約束をする」会話文を作成する。（2時間）
第13回：Lesson 12：Making Small-Talk with Colleagues
事前学習：授業前にテキストのUnit 12を音読し、会話の状況を想像しながら、わからない単語を調べる。（2時間）
事後学習：授業中に学んだ会話やリスニングCDの表現を利用し、Small-Talk文を作成する。（2時間）
第14回：Lesson 13：Writing and Responding to Business-Related E-Mails
事前学習：授業前にテキストのUnit 13を音読し、会話の状況を想像しながら、わからない単語を調べる。（2時間）
事後学習：テキストのMini-Dialoguesのいずれかのemailに対する質問をするemail文を作成する。（2時間）
第15回：Lesson 14：Writing and Responding to an Informal E-Mailとまとめ
事前学習：授業前にテキストのUnit 14を音読し、会話の状況を想像しながら、わからない単語を調べる。（2時間）
事後学習：テキストのMini-Dialoguesを参考に、友人にイベント開催についてのemail文を作成する。（2時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート（50%）授業への積極的参加および授業毎の発表内容（50%）

成　績　評　価　基　準

ビジネス上用いられる英語表現を使用することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
Leonard, T. J. (2006) "Business as Usual" Seibido BBC Learning English http://www.bbc.co.uk/learningenglish/english/features/english-at-work
その他（受講上の注意）
５分以上20分未満の遅刻３回で欠席１回とみなす。 20分以上の遅刻は欠席とみなす。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

ビジネス英語b (Business English b)			担当教員	加藤　優子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2372	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

国内外の企業の歴史について英語で学ぶ。読解能力を高めるための語彙を増やす。

授 業 の 到 達 目 標

各企業の歴史について英語で読むことができる。
各企業の歴史について経営的な観点から理解することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（調べ学習）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：Introduction
　事前学習：教科書に目を通すこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：Lesson 1 ：Kirin
　事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：Lesson 2 ：Edwin
　事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：Lesson 3 ：NPC
　事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：Lesson 4 ：Kobayashi Pharmaceutical
　事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：Lesson 5 ：Itochu
　事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：Lesson 6 ：Kameda Seika
　事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第8回：Lessn 7 ：Urawa Red Diamonds
　事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（2時間）
　事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第９回：Lesson ８：Terumo
事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：Lesson ９：Daiseki
事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：Lesson 10：Kikkoman
事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：Lesson 11：Shoei
事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：Lesson 12：Yamaha
事前学習：本授業の企業について、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：Various Companies 1
事前学習：興味のある企業について、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：Various Companies 2
事前学習：興味のある企業について、図書館で調べておくこと。（２時間）
事後学習：教科書の見直しをすること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（40%）、授業内課題（40%）、平常点（20%）
平常点は、授業の受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

国内外で活躍する企業の歴史を理解したか。
英語の読解能力が身に付いたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Hayashi, Brenda., 岡田圭子、嶋林昭治、鈴木充夫『Moving ahead in the 21st Century: 12 Forward-looking Companies』(2009) 松柏社

その他(受講上の注意)

5分以上20分未満の遅刻3回で欠席1回とみなす。
20分以上の遅刻は欠席とみなす。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語文章表現法 (English Essay Writing)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2276	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

書くプロセスを重視したコミュニカティブ・ライティングにより、メッセージを効果的にわかりやすく読み手に伝えるライティングの力を養成する。

授　業　の　到　達　目　標

英語でのライティング能力を高め、メッセージをグローバルに発信できるコミュニケーション能力を育成する。プロセス･ライティングの方法を理解し、英文を書く際に用いることができる。パラグラフの構成・展開の方法、多様なパラグラフの書き方、エッセイの構成、アウトラインの書き方や効果的なイントロダクション・コンクルージョンの書き方を理解し、文章の統一性やまとまりに留意して、英文を書くことができる。中学校および高校で効果的なライティングの指導ができる力を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：プロセス・ライティングの理解
　事前学習：事前にシラバスやテキストに目を通し、質問事項をまとめておく。（2時間）
　事後学習：授業で学習したプロセス・ライティングについての復習課題をする。（2時間）
第2回：書く前の活動
　事前学習：事前にテキストの第1章を読み、課題をしておく。（2時間）
　事後学習：書く前の活動の内容、ブレインストーミングの方法について復習課題をする。（2時間）
第3回：パラグラフの構成について
　事前学習：事前にテキストの第2章を読み、課題をしておく。（2時間）
　事後学習：パラグラフの構成について復習課題をする。（2時間）
第4回：パラグラフの展開のしかた
　事前学習：事前にテキストの第3章を読み、課題をしておく。（2時間）
　事後学習：パラグラフの展開のしかたについて復習課題をする。（2時間）
第5回：まとめ①（第1回～4回の内容についての復習）、グループワーク（ピアエディティング）
　事前学習：事前にテキストの第1章～第3章を読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：他者からのコメントを元に作文を書き直す。（2時間）
第6回：記述・プロセスパラグラフの書き方
　事前学習：事前にテキストの第4章を読み、課題をしておくこと。（2時間）
　事後学習：記述・プロセスパラグラフの書き方について復習課題をする。（2時間）
第7回：意見パラグラフの書き方
　事前学習：事前にテキストの第5章を読み、課題をしておくこと。（2時間）
　事後学習：意見パラグラフの書き方について復習課題をする。（2時間）
第8回：比較・対比パラグラフの書き方
　事前学習：事前にテキストの第6章を読み、課題をしておくこと。（2時間）
　事後学習：比較・対比パラグラフの書き方について復習課題をする。（2時間）
第9回：問題・解決パラグラフの書き方
　事前学習：事前にテキストの第7章を読み、課題をしておくこと。（2時間）
　事後学習：問題・解決パラグラフの書き方について復習課題をする。（2時間）

第10回：まとめ②（第６回～９回の内容についての復習）、ディスカッション・発表（AD-Task）
　　事前学習：事前にテキストの第４章～第７章を復習し、質問項目をまとめておく。（２時間）
　　事後学習：課題作文を書く。（２時間）
第11回：エッセイの構成について
　　事前学習：事前にテキストの第８章を読み、課題をしておくこと。（２時間）
　　事後学習：エッセイの構成について復習課題をする。（２時間）
第12回：エッセイのアウトラインの書き方
　　事前学習：事前にテキストの第９章を読み、課題をしておくこと。（２時間）
　　事後学習：エッセイのアウトラインの書き方について復習課題をする。（２時間）
第13回：序論および結論の書き方
　　事前学習：事前にテキストの第10章を読み、課題をしておくこと。（２時間）
　　事後学習：序論および結論の書き方について復習課題をする。（２時間）
第14回：統一性と首尾一貫性
　　事前学習：事前にテキストの第11章を読み、課題をしておくこと。（２時間）
　　事後学習：統一性と首尾一貫性について復習課題をする。（２時間）
第15回：まとめ③（第11回～14回の内容についての復習）、ディスカッション・発表（PS-Task）
　　事前学習：事前にテキストの第８章～第11章を復習し、質問項目をまとめておく。（２時間）
　　事後学習：課題作文を書く。（２時間）
定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）、課題（25%）、授業への取り組み（25%）
※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

1．Process writing の方法を理解し、英文を書く際に用いることができるか。
2．パラグラフの構成を理解し、それを踏まえて英文を書くことができるか。
3．パラグラフの展開の方法を理解し、それを活用して英文を書くことができるか。
4．記述パラグラフの書き方を理解し、それを用いて英文を書くことができるか。
5．プロセスパラグラフの書き方を理解し、それを用いて英文を書くことができるか。
6．意見パラグラフの書き方を理解し、それを用いて英文を書くことができるか。
7．比較・対比パラグラフの書き方を理解し、それを用いて英文を書くことができるか。
8．問題・解決パラグラフの書き方を理解し、それを用いて英文を書くことができるか。
9．エッセイの構成を理解し、それを活用して英文を書くことができるか。
10．アウトラインの書き方を理解し、それを用いて英文を書くことができるか。
11．効果的なイントロダクション・コンクルージョンの書き方を理解し、それを活用して英文を書くことができるか。
12．統一性やまとまりのある英文を書くことができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

Writing Essays: From Paragraph to Essay Zemach, D. E. MACMILLAN LANGUAGE HOUSE 2013
他に随時プリントを使う。

その他(受講上の注意)

なるべく多く英文を書いて、書くことに対する抵抗が少なくなるよう努力してもらいたい。主体的な学習を期待する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語学研究 (Studies on English Linguistics)			担当教員	矢橋　知枝
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2377	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

言語学観点に基づき、英語を体系的に分析・理解する手法を学ぶ。国際共通語としての英語の構造面に焦点をあて、異文化コミュニケーションで営まれる英語を理解する。

授 業 の 到 達 目 標

英語という言語の概要・背景を学び、確かな異文化理解力および英語力を育成する。中学校および高等学校での英語教育において必要な英語学的知見を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、「英語学Ⅱ」の復習をすること（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第2回：英語の非言語コミュニケーション（1）近接空間学（人との距離関係と位置関係・空間把握）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第3回：英語の非言語コミュニケーション（2）パラ言語学（話し方と声の出し方によるコミュニケーションへの意味づけ）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第4回：英語の非言語コミュニケーション（3）身体動作学（身振り・手振り・表情・姿勢）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第5回：語彙からみる英語らしさ（1）歴史的観点（イギリス英語とアメリカ英語に見られる借用語・日本語からの借用語）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第6回：語彙からみる英語らしさ（2）認知的観点（英語らしいカテゴリー化・英語らしい喩え方）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第7回：語彙からみる英語らしさ（3）婉曲語法と政治的正しさ（婉曲的語法と政治的正しさの機能）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）
第8回：文法からみる英語らしさ（1）文法関係（主語・述語・目的語・補語）（ディスカッション）
　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（2時間）

第９回：文法からみる英語らしさ（２）品詞（動詞と名詞にみる英語らしさ）
　　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）
第10回：文法からみる英語らしさ（３）構文（英語らしい構文と言い回し）（ディスカッション）
　　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）
第11回：音韻からみる英語らしさ（１）音声学と音韻論（言語音の物理的側面）（ディスカッション）
　　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）
第12回：音韻からみる英語らしさ（２）英語の音声（音素・母音と子音・音節とモーラ）（ディスカッション）
　　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）
第13回：音韻からみる英語らしさ（３）英語のアクセント・イントネーション・リズム（語レベルの音韻現象・文と発話レベルの音韻現象）（ディスカッション）
　　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）
第14回：音韻からみる英語らしさ（４）国際共通語的観点（共通語としてのintelligibilityに関わる音韻的特徴）（ディスカッション）
　　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）
第15回：まとめ（ディスカッション）
　　事前学習：事前にテキストを読み、質問項目をまとめておくこと（２時間）
　　事後学習：テキスト等の見直しを行い、分からないことがあれば調べること（２時間）
予習として、教科書の各回に関連する頁を読み、あらかじめ疑問点等をまとめておいてください。講義を受けた後は、教科書の当該部分を見直して復習をしてください。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末レポート（50%）授業内レポート（30%）平常点（20%）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、質問用紙の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

英語学の基礎が理解できているのか。
英語コミュニケーションの観点より、英語の発話を分析することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
テキスト：平賀正子（著）『ベーシック新しい英語学概論』　ひつじ書房　2016年 参考図書：英語学を学ぼう：英語学の知見を英語学習に活かす（高橋勝忠著、開拓社　平成29年）
その他（受講上の注意）
履修条件として、「英語学Ⅰ」「英語学Ⅱ」の単位取得済みであること。 遅刻３回で欠席１回とみなす。必ず英和辞書（電子辞書可）を持参すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語文学研究 (English Literature)			担当教員	原口　　治
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2378	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

イギリス文学(＝小説、詩、演劇、批評)の著名な諸作品の解説及び原典(抜粋)を精読し、作品の政治、文化的背景等の知識を深めることで、文学研究の基礎的能力を修得します。尚、最終的に個人発表と定期試験の基準達成が必須です。

授　業　の　到　達　目　標

文学研究により自他の個性の多様性を理解し、多様な集団・組織の中でのコミュニケーション能力の育成を目指します。また、課題や個人プレゼンテーション、及び定期試験の実施により、様々な情報の収集及び選択能力の養成を図ります。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：テキストP 1～P343 本講義のガイダンス，図書館における事前学習及び事後学習方法の各種指導
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間)
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)

第2回：テキストP217～P240 イギリス小説(Ⅰ)・『プライドと偏見』，『オリヴァ ── ・テュイスト』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間)
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)

第3回：P270～P292 イギリス小説(Ⅱ)・『嵐が丘』，『ダロウェイ夫人』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間)
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)

第4回：テキストP161～P188 イギリス小説(Ⅳ)・『ロビンソン・クルーソー』，『ガリバー旅行記』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間)
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)

第5回：テキストP196～P216 イギリス詩(Ⅰ)・ワーズワス，キーツ(ロマン派詩人)
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間)
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)

第6回：テキストP140～P160 イギリス詩(Ⅱ)・ブレイク，ロバート・バーンズ
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。(2時間)
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。(2時間)

第７回：テキストＰ２～Ｐ29 イギリス詩（Ⅲ）・『ベオウルフ』,『カンタベリー物語』,『サーガーウェンと円卓の騎士』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第８回：テキストＰ293～Ｐ308 イギリス演劇（Ⅰ）・『ピグマリオン』,『マイ・フェア・レディ』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第９回：テキストＰ60～Ｐ73 イギリス演劇（Ⅱ）・演劇創世記
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第10回：テキストＰ96～Ｐ107 イギリス演劇（Ⅲ）・『ジェームス朝』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第11回：テキストＰ74～Ｐ94，Ｐ310～Ｐ311 イギリス演劇（Ⅳ）・シェイクスピア（Ⅳ）
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第12回：テキストＰ284～Ｐ292『ダウントン・アビー』
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第13回：テキスト発表会準備（個別指導）
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第14回：テキストＰ１～Ｐ343　発表会（個人プレゼンテーション及び討議）
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第15回：テキストＰ１～Ｐ343　発表会（個人プレゼンテーション及び討議）
事前学習：テキスト該当部分を読み、疑問点等をまとめると同時に、課題を作成し、講義において提出する。（２時間）
事後学習：返却された課題等で学習内容を復習し，プレゼンテーションや定期試験でその学修成果を示す。（２時間）
第16回：テキストＰ１～Ｐ343 定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成 績 評 価 方 法

定期試験 60% 毎回の課題提出 10%　個人発表（講義に関する任意のテーマについてのプレゼンテーション）30%

成 績 評 価 基 準

イギリス文学の作品や文化研究を通して、自他の個性の多様性を理解し、発表等において自分の意見を公表できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

秋篠 憲一（他）『イギリス文学への招待』 朝日出版社　1999年

その他（受講上の注意）

講義（特に第１回）において、本講義受講上の注意や説明等を詳細に行ないます。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

現代社会研究 (Studies of Contemporary Society)			担当教員	小川　　慶
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2382	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

我々が生きる現代社会において、実体経済を写像し、財務情報として提供する会計システムは、もはや市場経済が機能するための社会インフラであると言っても過言ではない。これを踏まえて、本講義では、企業を取り巻く会計制度や財務諸表(貸借対照表・損益計算書)を理解することを目的とし、会計法規や会計基準、財務諸表の諸概念、財務分析の手法などについて学習する。また、本講義では、毎回の講義にて演習を行うものとする。

授 業 の 到 達 目 標

講義で扱った内容を理解し、財務諸表を読み解けるようになることを到達目標と設定する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他(演習)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ガイダンス(講義の目的や今後の流れ、評価方法等についての説明)
　事前学習：講義前にシラバスを読み、質問項目をまとめておく。(2時間)
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
第2回：会社は誰のものか
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間)
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
第3回：株式投資(実践)
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間)
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
第4回：簿記と会計
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間)
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
第5回：会計法規と会計基準
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間)
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
第6回：総合演習①
　事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。(2時間)
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)
第7回：貸借対照表①(流動資産)
　事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。(2時間)
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。(2時間)

第８回：貸借対照表②（固定資産）
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第９回：貸借対照表③（負債・純資産）
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第10回：損益計算書①（概説）
事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第11回：損益計算書②（利益区分）
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第12回：総合演習②
事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第13回：財務分析①（概説）
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第14回：財務分析②（実践）
事前学習：講義で取り扱う単元を、事前に確認しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておくこと。（２時間）
第15回：総括
事前学習：これまでの講義で取り扱った単元を、事前に復習しておく。（２時間）
事後学習：講義全体を振り返り、質問した箇所や苦手箇所を抽出し、復習しておく。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

毎回の講義（総合演習含む）で実施する演習問題の成績（70％）と学習態度（授業への取り組み姿勢や受講態度等）（30％）を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

・講義に積極的に取り組めているかどうか。
・講義で取り扱った内容を理解し、修得できているかどうか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

佐藤誠二ほか（2019）『会計のしくみ　第２版』森山書店。

その他(受講上の注意)

本科目に併せて、前期開講科目の「企画開発論Ⅱ」、後期開講科目の「企画開発演習Ⅱ」を履修することを勧める。なお、本科目は、税理士受験資格（学識による受験資格）要件における「法律学又は経済学に属する科目」に該当する。税理士資格の取得を目指している場合は、自ら、国税庁のホームページで詳細を確認の上、本科目を履修することを勧める。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

データ解析法b (Quantitative Data Analysisb)			担当教員	織田　暁子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2386	2単位	3年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

社会学的データ分析で用いる基礎的な多変量解析法について、その基本的な考え方と主要な計量モデルを解説する。分散分析や単回帰分析そして重回帰分析を中心に、その考え方と実際の使い方を学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

・データのタイプに応じて、適切な分析手法を選択できるようになる。
・多変量解析の考え方を理解できるようになる。
・多変量解析の基礎的な手法を、コンピューターソフトを用いて実践出来るようになる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（パソコンを用いた演習）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：これまでの授業で使用したテキストで記述統計学・推測統計学について復習しておく（2時間）
　事後学習：統計ソフトの使い方を確認しておく（2時間）
第2回：復習（1）――尺度水準、記述統計量
　事前学習：記述統計量の求め方について確認しておくこと（2時間）
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第3回：復習（2）――検定の考え方
　事前学習：検定とは何か、確認しておくこと（2時間）
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第4回：多変量解析の考え方：変数をコントロールするとは、どういうことか？
　事前学習：変数のコントロールとは何か、確認しておくこと（2時間）
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第5回：分散分析の理論と演習
　事前学習：分散分析とはどのような分析か、確認しておくこと（2時間）
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第6回：単回帰分析の理論と演習
　事前学習：単回帰分析とはどのような分析か、確認しておくこと（2時間）
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第7回：重回帰分析の理論と演習（1）
　事前学習：重回帰分析とはどのような分析か、確認しておくこと（2時間）
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第8回：重回帰分析の理論と演習（2）――独立変数が2つの場合
　事前学習：独立変数が2つの場合の重回帰分析について、確認しておくこと（2時間）
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第9回：重回帰分析の理論と演習（3）――独立変数が3つ以上の場合
　事前学習：独立変数が3つの場合の重回帰分析について、確認しておくこと（2時間）
　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）

第10回：カテゴリカル・データの間の連関を探る（1）
　　事前学習：カテゴリカル・データとは何か、確認しておくこと（2時間）
　　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第11回：カテゴリカル・データの間の連関を探る（2）
　　事前学習：カテゴリカル・データの連関について確認しておくこと（2時間）
　　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第12回：因子分析と主成分分析
　　事前学習：主成分分析とは何か、確認しておくこと（2時間）
　　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第13回：因子分析の理論と演習（1）
　　事前学習：因子分析とは何か、確認しておくこと（2時間）
　　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第14回：因子分析の理論と演習（2）
　　事前学習：因子分析と主成分分析の違いについて確認しておくこと（2時間）
　　事後学習：レジュメを見直し、授業で行った分析を復習する（2時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：統計分析を用いたレポートを執筆する（2時間）
　　事後学習：レポートを修正する（2時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（30%）平常点（70%）
（平常点は提出物・小テスト・レポートを総合的に判断します）

成　績　評　価　基　準

・データのタイプに応じて、適切な分析手法を選択できているか。
・多変量解析の考え方を理解できているか。
・多変量解析の手法を、コンピューターソフトを用いて実践出来ているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキストは定めない。
その他（受講上の注意）
この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、社会調査士資格認定科目【E】〔多変量解析の方法に関する科目〕に相当する。 「社会調査方法論」、「統計学」、SPSSの使い方の知識を前提として、授業をすすめる。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

プログラミング (Programming)			担当教員	安彦　智史
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2387	2単位	3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

プログラミングの実習では、基礎的なプログラミングについて学んでいきます。前半はプログラミングの知識について学んでいきます。プログラム言語には様々な種類がありますが、本実習ではPythonとVBAを扱います。そして、後半は、実際にプログラミングを行います。プログラミングを行うことで、自身の想像したアルゴリズムをフローチャートとして可視化しそれをコーディングする力を養います。これらの能力を養うことで、企業や地域社会における様々問題を解決するために必要な論理的思考力を育みます。

授 業 の 到 達 目 標

・情報システムの仕組みやネットワーク、コンピュータ、それらを制御する基盤技術について理解できているか
・自分の問題解決手段の一つとしてプログラミングを利活用することが可能となること。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：ガイダンス　プログラミングの基本と種類、開発環境
　事前学習：シラバスについてよく読み、プログラミングの概念について調査すること（2時間）
　事後学習：プログラミングの基本と種類についての資料を熟読し、理解すること（2時間）
第2回：プログラミングの基礎　マイクロビットの開発環境（双方向型理解度チェック）
　事前学習：マイクロビットの開発方法やスタイルについて調査すること（2時間）
　事後学習：マイクロビットの開発環境について慣れ、課題に取り組むこと（2時間）
第3回：プログラミングの基礎　マイクロビットの基礎
　事前学習：マイクロビットの仕組みについて理解し、コーディングに慣れること（2時間）
　事後学習：マイクロビットの基礎課題に取り組むこと（2時間）
第4回：マイクロビットを使ったプログラミング実習　フローチャートの記述（双方向型理解度チェック）
　事前学習：マイクロビットに搭載された各センサーの実装方法を習得すること（2時間）
　事後学習：マイクロビットの基礎課題について取り組むこと（2時間）
第5回：マイクロビットを使ったプログラミング実習　プログラミングの実装
　事前学習：マイクロビットの付随アクセサリーの実装方法を理解すること（2時間）
　事後学習：発表の準備に取り掛かること（2時間）
第6回：マイクロビットを使ったプログラミング発表
　事前学習：応用課題の発表準備に取り組むこと（2時間）
　　なお、発表の仕方等については、事前学習用教材として短期大学のオンデマンド教材を用いて学習すること
　事後学習：他の発表に用いられた工夫や技術について考察し、まとめること（2時間）
第7回：Pythonの基礎　開発環境
　事前学習：Pythonという言語について事前に学習し、その特徴を理解すること（2時間）
　事後学習：Pythonのコーディング環境について学ぶこと（2時間）
第8回：Pythonを使った手続き型プログラミング
　事前学習：Pythonを使ったコーディング環境でサンプルプログラムを作成すること（2時間）
　事後学習：Pythonを使った手続き型プログラミングの基本構文を理解すること（2時間）

第９回：Pythonを使ったプログラミング　対話型プログラミング　実装
　　事前学習：Pythonを使った基本的なコーディングについて学ぶこと（２時間）
　　事後学習：繰り返し構造、順次構造、条件分岐について理解を深めること（２時間）
第10回：Pythonを使ったプログラミング　対話型プログラミング　検証・実験
　　事前学習：順次構造、繰り返し構造、条件分岐を使ったプログラムのコーディングに取り組むこと（２時間）
　　事後学習：応用課題の発表準備を行うこと（２時間）
第11回：Pythonプログラムの発表
　　事前学習：応用課題の発表準備に取り組むこと（２時間）
　　事後学習：他の発表に用いられた工夫や技術について考察し、まとめること（２時間）
第12回：VBAの基礎
　　事前学習：VBAという言語について事前に学習し、その特徴を理解すること（２時間）
　　事後学習：VBAのコーディング環境について学ぶこと（２時間）
第13回：VBAの応用
　　事前学習：VBAを使ったコーディング環境でサンプルプログラムを作成すること（２時間）
　　事後学習：VBAを使った手続き型プログラミングの基本構文を理解すること（２時間）
第14回：VBAの応用
　　事前学習：順次構造、繰り返し構造、条件分岐を使ったプログラムのコーディングに取り組むこと（２時間）
　　事後学習：VBAの関数を調査し、それを利用する練習に取り組むこと（２時間）
第15回：VBAの応用
　　事前学習：インターネットで調査しながらプログラムのコーディングに取り組むこと（２時間）
　　事後学習：応用課題に取り組み提出を行うこと（２時間）
プログラミングの書籍は出版社から様々なものが販売されている。
講義のみで不明瞭な点があった場合は、自分にあった書籍で学習し、補完に取り組むこと

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業の評価方法
演習課題・宿題（50%），応用課題（50%）
授業中に演習課題を提出できなかった場合、宿題とする
十分な提出期間を設けているため、必ず提出すること
定期試験は実施しない

成　績　評　価　基　準

・情報システムの仕組みやネットワーク、コンピュータ、それらを制御する基盤技術について理解できているか
・自分の問題解決手段の一つとしてプログラミングを利活用することが可能か
以上の二つを評価の基準とする。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
門脇香奈子『これからはじめるExcelVBAの本』技術評論社（2019年） 参考図書については講義中に適宜紹介する.
その他（受講上の注意）
真摯に学ぶ学生に対して、悪影響を与える学生には、単位を与えない。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報・社会調査演習 a (Practice in Information and Social a)			担当教員	江南　健志、織田　暁子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2388	2 単位	3 年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

調査の企画から報告書の作成までにまたがる社会調査の全過程をひととおり実習を通じて体験的に学習する。調査の企画、仮説構成、調査項目の設定、質問文・調査票の作成、対象者・地域の選定、サンプリング、調査の実施（調査票の配布・回収）、エディティング、集計、分析、仮説検証、報告書の作成までを通して行っていく。

授 業 の 到 達 目 標

・社会調査の企画と実施ができるようになる。
・仮説を立て、それを適切な手順と方法で検証できるようになる。
・統計ソフトを使いこなせるようになる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第 1 回：オリエンテーションとグループ決定
　事前学習：量的調査法と質的調査法の違いについて確認しておくこと（2 時間）
　事後学習：自分が選択した調査法について復習しておくこと（2 時間）
第 2 回：グループごとにテーマについての話し合い（1）
　事前学習：調査テーマについて下調べをしておくこと（2 時間）
　事後学習：テーマに関連する文献を調査する（2 時間）
第 3 回：グループごとにテーマについての話し合い（2）
　事前学習：テーマに関連する文献を読んでおくこと（2 時間）
　事後学習：調査テーマを決定する（2 時間）
第 4 回：テーマについてのグループ発表
　事前学習：調査テーマについての発表資料を作成する（2 時間）
　事後学習：授業での指摘を受けて、資料を修正する（2 時間）
第 5 回：テーマについての文献レビュー
　事前学習：テーマに関連する文献を複数探す（2 時間）
　事後学習：文献レビューをまとめる（2 時間）
第 6 回：仮説構成（1）
　事前学習：テーマに関連する複数の仮説を立てる（2 時間）
　事後学習：仮説を修正する（2 時間）
第 7 回：仮説構成（2）
　事前学習：仮説に関連する文献を収集する（2 時間）
　事後学習：仮説に関連する文献をまとめる（2 時間）
第 8 回：仮説の発表
　事前学習：発表資料を作成する（2 時間）
　事後学習：発表資料を修正する（2 時間）
第 9 回：質問作成（1）
　事前学習：質問項目を検討する（2 時間）
　事後学習：質問項目を修正する（2 時間）

第10回：質問作成（２）
　　事前学習：質問選択肢を検討する（２時間）
　　事後学習：質問選択肢を修正する（２時間）
第11回：質問案発表
　　事前学習：発表資料を作成する（２時間）
　　事後学習：発表資料を修正する（２時間）
第12回：質問紙の作成（１）
　　事前学習：質問紙の内容を検討する（２時間）
　　事後学習：質問紙の内容を修正する（２時間）
第13回：質問紙の作成（２）
　　事前学習：質問紙のレイアウトを検討する（２時間）
　　事後学習：質問紙のレイアウトを修正する（２時間）
第14回：実査準備（１）
　　事前学習：調査対象について検討する（２時間）
　　事後学習：調査計画を修正する（２時間）
第15回：実査準備（２）
　　事前学習：調査場所・日時について検討する（２時間）
　　事後学習：質問紙を修正・調整し、印刷する（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点（100％）
（平常点はグループでの活動への積極性や発表の評価等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

・社会調査の企画と実施ができるようになっているか。
・仮説を立て、それを適切な手順と方法で検証できているか。
・統計ソフトを使いこなせているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

授業開始時に各教員から指示がある。

その他（受講上の注意）
この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する「社会調査士」資格に必要な標準カリキュラムのG科目に対応するものである。本年度後期に開講される「情報・社会調査演習b」と連続して受講すること。情報・社会調査演習aあるいはbのみの履修は認めない。 また、この授業は授業時間を使って調査を企画・実施する演習科目である。無断欠席は禁じる。事前連絡がある場合も欠席は３回までとする。 初回授業で、質的調査・量的調査のクラス分けを行う。 ・質的調査班の履修条件は下記のとおり。 ①既に「社会学入門」「社会調査法」「データ解析法a」を履修済であること。 ・量的調査班の履修条件は下記のとおり。 ①既に「社会学入門」「社会調査法」「社会調査方法論」を履修済であること。 ②「データ解析法b」を受講すること、もしくは履修済であること。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

情報・社会調査演習b (Practice in Information and Social b)			担当教員	江南　健志、織田　暁子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2389	2単位	3年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

調査の企画から報告書の作成までにまたがる社会調査の全過程をひととおり実習を通じて体験的に学習する。調査の企画、仮説構成、調査項目の設定、質問文・調査票の作成、対象者・地域の選定、サンプリング、調査の実施(調査票の配布・回収)、エディティング、集計、分析、仮説検証、報告書の作成までを通して行っていく。

授 業 の 到 達 目 標

・社会調査の企画と実施ができるようになる。
・仮説を立て、それを適切な手順と方法で検証できるようになる。
・統計ソフトを使いこなせるようになる。
・自分の主張を論理的に報告書にまとめられるようになる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：実査①
　事前学習：実査のアポイントメントを調整する・実査を行う(2時間)
　事後学習：実査のデータの管理・整理(2時間)
第2回：実査②
　事前学習：実査のアポイントメントを調整する・実査を行う(2時間)
　事後学習：実査のデータの管理・整理(2時間)
第3回：コーディング・データ整理①
　事前学習：エディティング・コーディングガイドを作成する(2時間)
　事後学習：コーディング作業を行う(2時間)
第4回：コーディング・データ整理②
　事前学習：入力マニュアルを作成する(2時間)
　事後学習：データ入力作業を行う(2時間)
第5回：コーディング・データ整理③
　事前学習：クリーニングガイドを作成する(2時間)
　事後学習：クリーニング作業を行う(2時間)
第6回：データ分析①
　事前学習：データ分析の方針を立てる(2時間)
　事後学習：データ分析の方針を修正する(2時間)
第7回：データ分析②
　事前学習：単純集計を確認する(2時間)
　事後学習：データを概観し、エラーを確認する(2時間)
第8回：データ分析③
　事前学習：分析モデルについて検討する(2時間)
　事後学習：データ分析を行う(2時間)
第9回：データ分析④
　事前学習：データ分析を行う(2時間)
　事後学習：データ分析結果を修正する(2時間)

第10回：データ分析⑤
事前学習：データ分析を行う（２時間）
事後学習：データ分析結果を修正する（２時間）
第11回：報告書作成①
事前学習：報告書原稿を執筆する（２時間）
事後学習：報告書原稿を修正する（２時間）
第12回：報告書作成②
事前学習：報告書原稿を執筆する（２時間）
事後学習：報告書原稿を修正する（２時間）
第13回：報告書作成③
事前学習：報告書原稿を執筆する（２時間）
事後学習：報告書原稿を修正する（２時間）
第14回：報告書作成④
事前学習：レイアウトを調整する（２時間）
事後学習：レイアウトを修正する（２時間）
第15回：報告書作成⑤
事前学習：校正作業を行う（２時間）
事後学習：データを修正する（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点（100％）
（平常点はグループでの活動への積極性や発表や報告書の評価等を総合して判断します）

成　績　評　価　基　準

・社会調査の企画と実施ができるようになっているか。
・仮説を立て、それを適切な手順と方法で検証できているか。
・統計ソフトを使いこなせているか。
・自分の主張を論理的に報告書にまとめられているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　■メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
授業開始時に各教員から指示がある。
その他（受講上の注意）
この授業は、一般社団法人社会調査協会が認定する、「社会調査士」資格に必要な標準カリキュラムのG科目に対応するものである。本年度前期に開講された「情報・社会調査演習a」と継続して受講すること。情報・社会調査演習bのみの履修は認めない。履修者の調査演習報告書の執筆をもって、単位認定を行う。 また、この授業は授業時間を使って調査を企画・実施する演習科目である。無断欠席は禁じる。事前連絡がある場合も欠席は３回までとする。 質的調査班・量的調査班とも、受講条件は下記のとおり。 ・同一年度・同一クラスの「情報・社会調査演習a」の単位を取得していること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

企業と情報 (Information and Organization)			担当教員	升田　法継
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2390	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

授業では、企業と（企業にとって人・モノ・金に次ぐ第4の経営資源といわれる）情報の関わりについて考察し、情報化社会における企業活動の概況や課題について理解を深めることを狙いとする。

授 業 の 到 達 目 標

・ホームページや新聞から企業に関する情報を収集し、自身の考えを述べることができる。
・情報社会における企業のしくみや課題について説明することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：企業と経済活動
　事前学習：企業と経済活動との関係性について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第2回：企業形態とガバナンス
　事前学習：企業形態とガバナンスについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第3回：組織文化と企業理念Ⅰ
　事前学習：組織文化と企業理念について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第4回：組織文化と企業理念Ⅱ
　事前学習：前回に続き組織文化と企業理念について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第5回：マーケティングⅠ
　事前学習：マーケティングについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第6回：マーケティングⅡ（グループワーク）
　事前学習：前回に続きマーケティングについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：マーケティングⅢ（発表）
　事前学習：前回続きマーケティングについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（2時間）

第８回：経営戦略（グループワーク）
事前学習：経営戦略について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第９回：事業戦略（グループワーク）
事前学習：事業戦略について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第10回：ビジネスモデル（グループワーク・発表）
事前学習：ビジネスモデルについて考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第11回：ビジネスタイプ
事前学習：ビジネスタイプについて意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第12回：日本経済と労働市場
事前学習：日本市場と労働市場について意見交換をするため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第13回：企業と採用・人事
事前学習：企業と採用・人事について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第14回：自己分析（グループワーク）
事前学習：自己分析について考えるため、自分なりの意見をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：授業全体の振り返りおよび確認問題を実施するので、これまでの授業内容を確認しておくこと。（２時間）
事後学習：わからないことがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問すること。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題に対する活動内容・提出物・レポート（70％）平常点（30％）
（平常点は、授業への参加状況・受講態度、提出物の提出状況等を総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

・ホームページや新聞から企業に関する情報を収集し、自身の考えを述べることができるか。
・情報社会における企業のしくみや課題について説明することができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（リアクションペーパーに対するフィードバックについて）
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

企業（業種：情報通信、社員数：約26万人）の管理職（主な担当業務：人事、社長・取締役秘書、マーケティング、新規ビジネス開発、システム コンサルタント等）経験のある教員が、組織内および組織対組織で展開されるコミュニケーションについて解説する。

テキスト、参考図書

必要に応じて、授業中に提示します。

その他(受講上の注意)

「授業の計画」は、進捗や学生の反応・理解度に応じて、前後したり変更する場合があります。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション特別演習Ⅰa (Special Seminar in Communication Ⅰa)			担当教員	安彦　智史、江南　健志、大河　晴美、 小川　　慶、織田　暁子、加藤　優子、 紺渡　弘幸、禿　　寿、M　ハウカ、 升田　法継、矢橋　知枝、吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-G-2393	2単位	3年前期	演習	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

地域の文化創造・発展に向けて課題解決に主体的に取り組む力を身につけ、地域社会や産業界のリーダーとなる意欲を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

卒業研究の準備段階として、学生自らが問題意識を持ち、研究課題を設定できるようになることを目標とする。そのために、文献、論文、資料、データを精読し、ディスカッションや発表を行う。(配属先のゼミによって、演習内容は異なる。)
研究課題によっては、企業や自治体等の外部団体と連携し、実際のデータ分析や課題解決に取り組んだり、地域連携活動を行ったりすることがある。また、国連が定める持続可能な開発目標(SDGs)に関する活動に取り組むことがある。

授　業　の　到　達　目　標

自らの問題意識を明確にし、研究課題を設定する。研究課題に関連する文献などを適切に選択、講読できる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　■実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

演習のテーマについて基礎的知識を養うための研究・実践を行う。
概ね以下の通りだが、各担当教員の演習テーマや学生の問題意識に依拠した指導に従い、PBL、フィールドワーク、グループワーク、実験等のアクティブラーニングを適宜行う。(以下は一例である。)
第1回：オリエンテーション(各ゼミで取り扱うテーマに沿った先行研究の提示、ディスカッション)
　事前学習：自らが取り組みたいテーマについて考え、まとめてくる。(2時間)
　事後学習：輪読の対象となる先行文献を学ぶ。(2時間)
第2回：輪読(発表、ディスカッション)
　事前学習：輪読対象となる章を熟読し、質問項目をまとめておく。発表担当者は発表内容の準備をする。(2時間)
　事後学習：ディスカッションのテーマについて復習し、関連する文献を読み進め、自らの考えをまとめる。(2時間)
第3回：輪読(発表、ディスカッション)
　事前学習：輪読対象となる章を熟読し、質問項目をまとめておく。発表担当者は発表内容の準備をする。(2時間)
　事後学習：ディスカッションのテーマについて復習し、関連する文献を読み進め、自らの考えをまとめる。(2時間)
第4回：輪読(発表、ディスカッション)
　事前学習：輪読対象となる章を熟読し、質問項目をまとめておく。発表担当者は発表内容の準備をする。(2時間)
　事後学習：ディスカッションのテーマについて復習し、関連する文献を読み進め、自らの考えをまとめる。(2時間)

第５回：輪読（発表、ディスカッション）
事前学習：輪読対象となる章を熟読し、質問項目をまとめておく。発表担当者は発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：ディスカッションのテーマについて復習し、関連する文献を読み進め、自らの考えをまとめる。（２時間）
第６回：輪読（発表、ディスカッション）
事前学習：輪読対象となる章を熟読し、質問項目をまとめておく。発表担当者は発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：ディスカッションのテーマについて復習し、関連する文献を読み進め、自らの考えをまとめる。（２時間）
第７回：第１～６回の先行研究を振り返り、自らの研究テーマを決める（ディスカッション）
事前学習：これまで輪読した先行研究を振り返り、研究テーマを決めてくる。（２時間）
事後学習：ディスカッションにて得られた知見をもとに、研究テーマに対する考えを深める。（２時間）
第８回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第９回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第10回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第11回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第12回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第13回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第14回：卒論・文献研究（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマの先行研究となる卒論、または文献を調べる。発表担当者は、発表内容の準備をする。（２時間）
事後学習：発表内容を振り返り、関連する文献を読み進め、自らの研究テーマへの考えを深める。（２時間）
第15回：まとめと今後の課題について（発表、ディスカッション）
事前学習：自らの研究テーマをより明確にし、発表できるようにする。（２時間）
事後学習：ディスカッションで指摘された課題も考慮し、自らの研究テーマをレポートにまとめる。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点（100%）
平常点は演習への取り組み状況やその態度などから総合的に判断する。

成　績　評　価　基　準

自らの問題意識を明確にできているか。研究課題に関連する文献などを適切に選択、講読ができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

必要に応じて指示する。

その他（受講上の注意）

担当教員から指示がある。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション特別演習Ｉb (Special Seminar in Communication Ｉb)			担当教員	安彦　智史、江南　健志、大河　晴美、 小川　　慶、織田　暁子、加藤　優子、 紺渡　弘幸、禿　　寿、M　ハウカ、 升田　法継、矢橋　知枝、吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-G-2394	2単位	3年後期	演習	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

地域の文化創造・発展に向けて課題解決に主体的に取り組む力を身につけ、地域社会や産業界のリーダーとなる意欲を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

卒業研究の準備段階として、学生自らが問題意識を持ち、研究課題を設定できるようになることを目標とする。そのために、文献、論文、資料、データを精読し、ディスカッションや発表を行う。(配属先のゼミによって、演習内容は異なる。)
研究課題によっては、企業や自治体等の外部団体と連携し、実際のデータ分析や課題解決に取り組んだり、地域連携活動を行ったりすることがある。また、国連が定める持続可能な開発目標(SDGs)に関する活動に取り組むことがある。

授　業　の　到　達　目　標

自らの問題意識を明確にし、研究課題を設定する。研究課題に関連する文献などを適切に選択、講読できる。論文の書き方、調査の仕方の基礎を身につける。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　■実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

演習のテーマについて専門的知識を深めるための研究・実践を行う。概ね以下の通りだが、各担当教員の演習テーマや学生の問題意識に依拠した指導に従い、PBL、フィールドワーク、グループワーク、実験等のアクティブラーニングを適宜行う。(以下は一例である。)

第1回：オリエンテーション
　事前学習：卒業論文のテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
　事後学習：自らの卒業論文テーマについて文献調査等を通し考えを深める。(2時間)
第2回：論文の書き方：学術論文を書く上での注意点(ディスカッション)
　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
第3回：論文の書き方：背景(発表、ディスカッション)
　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
第4回：論文の書き方：背景(発表、ディスカッション)
　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
第5回：論文の書き方：背景(発表、ディスカッション)
　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
第6回：論文の書き方：定義(発表、ディスカッション)
　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
第7回：論文の書き方：定義(発表、ディスカッション)
　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。(2時間)
　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。(2時間)

第８回：論文の書き方：定義（発表、ディスカッション）
　　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）
第９回：論文の書き方：定義（発表、ディスカッション）
　　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）
第10回：論文の書き方：調査方法（発表、ディスカッション）
　　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）
第11回：論文の書き方：調査方法（発表、ディスカッション）
　　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）
第12回：論文の書き方：調査方法（発表、ディスカッション）
　　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）
第13回：論文の書き方：結果の示し方（発表、ディスカッション）
　　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）
第14回：論文の書き方：結果の示し方（発表、ディスカッション）
　　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）
第15回：論文の書き方：まとめと参考文献（発表、ディスカッション）
　　事前学習：論文の書き方に関する文献を読む。（２時間）
　　事後学習：授業で課されたテーマについてレポートをまとめる。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点（100％）
平常点は演習への取り組み状況やその態度などから総合的に判断する。

成　績　評　価　基　準

卒業研究に取り組むことができるだけの専門的な知識をつけられているか。文献などの講読を通して、自らの問題意識を明確にし、研究課題を設定できるようになったか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
必要に応じて指示する。
その他（受講上の注意）
問題意識の明確化、研究課題の設定のために必要な、本演習以外の授業を履修すること。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(ボランティア)(心理) (Fieldwork Practice - Volunteer)			担当教員	大森　慈子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2163	2単位	1年～4年	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

学内外でのボランティア活動、社会的イベントなどへの参画や参加を通し、実際の地域社会における直接的体験を得て、優れた社会人となるための自己認識、自己啓発の機会とする。当該活動や体験の意義と内容をよく理解し、取り組み後には自身の経験と反省点を具体的に報告する。

授　業　の　到　達　目　標

■ボランティアの社会的意義を理解する。
■必要な情報の収集と課題の解決に、積極的に取り組むことができる。
■活動内容の記録と考察によって、自己の役割と能力を広げる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

活動内容と時期によって計画と学習方法は異なるが、概ね下記に従う。なお、活動は前期に行われる場合、後期に行われる場合、前後期通して行われる場合が想定される。
1．ガイダンス（2時間）
2．活動参加の計画呈示（2時間）
3．活動の実施（24時間以上）
4．活動報告（2時間）
・事前学習（30時間）：活動に関する情報収集、活動に求められる課題、活動報告の準備など。
・事後学習（30時間）：活動記録の執筆、活動における課題の整理など。

授業の形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

活動や取り組みの状況（50%）、報告書またはプレゼンテーション（50%）

成　績　評　価　基　準

■ボランティアの社会的意義を理解しているか。
■必要な情報の収集と課題の解決に、積極的に取り組むことができたか。
■活動内容の記録と考察によって、自己の役割と能力を広げられるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（活動報告に対するフィードバックについて）
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（報告時）

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

使用しない。

その他(受講上の注意)

■履修登録については、通常の受講登録手続きを要しない（ガイダンス時に説明）。
■履修にあたっては、必ず担当教員へ問い合わせること。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(ボランティア)(コミュニケーション) (Fieldwork Practice - Volunteer)			担当教員	小川　　慶
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2163	2単位	1年～4年	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

本プログラムには、学内外でのボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験が含まれる。教室や研究室で学習や研究をするのではなく、実際に社会での直接的体験を通して、優れた社会人となるための自己認識、自己啓発の機会とすることを目的とする。担当教員や活動支援団体による説明会への参加をもとに受講の意思を明らかにし、プログラムへの参加とする。
なお、本科目は国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」に向けて地域の社会的課題に取り組むSDGs関連科目である。

授　業　の　到　達　目　標

・それぞれが今後学ぶ、または学んでいることの社会的意義を見いだすことができる。
・学生間はもとより、地域社会で仕事や生活をしている社会人とのコミュニケーションが、円滑に行える。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

地域社会からのニーズを元にプログラムを立てるため、その解決すべき課題を元に授業計画を設定する。
1．事前ガイダンスの実施と計画の提示（2時間）
2．現地にて研修（26時間以上）
3．事後報告として、レポート・プレゼンテーション等の実施，課題に関連する情報の収集（2時間）

・事前学習（30時間）…受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組み。レポート・プレゼンテーションの準備など。
・事後学習（30時間）…研修記録の執筆、受け入れ担当者から指示された課題やタスクへの取り組みなど。

授業の形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成 績 評 価 方 法

活動や取り組みの状況（50%）、レポートまたはプレゼンテーション（50%）

成 績 評 価 基 準

課題について、的確な視点を持ち、その解決に向けて自身の考察による提案ができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　■メール　□その他
5）その他（上記以外の内容に対するフィードバックについて）
□授業時　□仁大eラーニング　■メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

使用しない。

その他（受講上の注意）

本科目の履修登録については、それぞれの担当教員がガイダンスなどを実施し、各プログラムの参加者をもって受講者とするため、通常の受講登録手続きを要しない。
※個人参加のボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションなどへの参画体験等も対象とする場合があるので、受講希望者は、事前に科目担当者へ問い合わせること。
※単位認定については、参加するボランティア活動体験、社会的イベント・コンペティションのプログラム終了後、担当教員より課される課題等を全て提出し、単位認定するにあたり適当であると認めた場合のみとする。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

フィールドワーク演習(国際交流) (Fieldwork Practice - International Exchange)			担当教員	M　ハウカ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
HS−2164	2単位	1年～4年	演習	選択

<科目区分>　人間学部学部共通科目　修学基礎・キャリア形成科目

求める学習成果(教育目標)

大学生としての基礎的能力ならびに専門的・実際的な知識を習得し、探求的な意欲と協同的な態度を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

原則としてアメリカ・カリフォルニア州立大学フラトン校（本学姉妹校）での集中講義（2週間）の形式で実施するが、英語教育センターで承認を受けた場合は個人留学による語学研修でも履修可能である。フラトン校での集中講義では、授業あるいはワークショップの参加・見学、キャンパス内外での視察、クラブ活動参加、観光等を通じて国際交流を体験し、以後の学修・研究のための動機付けを得ることを目指す。前期に事前授業10回・後期に事後授業5回を実施する。

授 業 の 到 達 目 標

・学外における自主的な活動や体験を通して、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得する。
・「仁愛大学海外短期研修プログラム（2週間）」への参画体験演習を通して、以後の学修・研究のための動機付けを得る。
・異文化理解を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

事前学習（30時間）
・全体説明会（目的、日程、研修内容、宿泊、準備物［パスポート、航空券、クレジットカードなど］）
・ビザの申請
・ホストファミリーへの紹介文
・研修地に関する事前学習
・場面別英会話の学習
・プレゼンテーションの準備・練習
・プレースメントテスト
・経験者の話・質疑応答
・最終確認
＜集中講義（夏期休暇中）＞
留学（40時間）
・英語の授業（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング、文法、語彙など）
・日本語の指導
・文化施設見学
・ホストファミリーとの交流（ホームステイ）
・体験ツアー
・歴史、文化授業参加、ディスカッション
・他の大学生との交流

事後学習（30時間）
・研修のふりかえり・レポート
・プレゼンテーション準備
・体験報告会

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

事前授業の取り組み（30%）、現地評価（50%）、事後授業の取り組み、およびレポート課題（20%）を総合評価する。

成　績　評　価　基　準

学外における自主的な活動や体験をとおして、通常の講義や演習で得られない視点や考察点を体得できたか。
学修・研究のための動機付けを得て、優れた社会人となるための自己認識を深めることができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

特になし

その他（受講上の注意）

受講生が少ない場合、非開講とすることがある。本科目の履修登録については、担当教員等が行うガイダンスおよび本プログラム参加をもって履修登録とするため、通常の履修登録手続きを要しない。
【フラトン校・アルバータ大学での集中講義以外の履修について】
履修要件：　英語教育センターで（１）～（４）を行うこと
（１）留学相談（留学先・方法など決定）
（２）審査　　（本科目としての適切性）
（３）事前指導（提出書類準備・渡航準備）
（４）事後指導（必要な課題提出・発表・単位認定審査）
研修期間：　夏期休暇期間または春期休暇期間
単位認定時期：　夏期休暇期間の場合は当該年度後期、春期休暇期間の場合は翌年度前期
※卒業年次生は、夏期休暇中の実施のみ

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

学校臨床心理学 (Clinical Psychology in Schools)			担当教員	廣澤　愛子
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−APO−2456	2単位	4年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　臨床系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

学校現場で生じている問題のうち、臨床心理学的支援が有効に働く課題について、その実態と支援の在り方を学ぶ。

授 業 の 到 達 目 標

学校現場における有効な臨床心理学的支援を、他者と議論し、情報を収集し、自ら主体的に考えることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：臨床心理学とは──理論的背景──
　事前学習：臨床心理学とは何かについて、インターネットを使って調べ、自分の言葉で説明する。（2時間）
　事後学習：授業を踏まえて、臨床心理学とは何かについて、自分の新たな考えを追加し、事前学習の時点で考えていた説明を修正する。（2時間）
第2回：臨床心理学とは──グループワークを通して──
　事前学習：前回の授業後にまとめた「臨床心理学とは何か」について、他者に伝わる言葉でまとめ、配布資料を作る。（2時間）
　事後学習：他者の意見を聴き、自分の「臨床心理学とは何か」の定義を加筆修正する。（2時間）。
第3回：学校における臨床心理学的支援の実際その1 ──特別支援教育に係わる支援の在り方──
　事前学習：実践事例を事前に読み、自分なりに理解したことをまとめておく（2時間）
　事後学習：教員の授業を踏まえて、実践事例における支援方法について、自分なりの考えをまとめておく（2時間）
第4回：特別支援教育に係わる支援についてのグループディスカッション
　事前学習：グループディスカッションで配布する資料を作成する（2時間）
　事後学習：グループディスカッションで出た他者の意見を踏まえ、グループ全体の意見をまとめた資料を作成する（2時間）
第5回：グループごとのプレゼンテーション①
　事前学習：プレゼンテーションの資料を作成する（2時間）
　事後学習：他のグループのプレゼンテーションを踏まえて、自分の考えを再構成する（2時間）
第6回：学校における臨床心理学的支援の実際その2 ──いじめに係わる支援の在り方──
　事前学習：事前に支援事例を読み、理解を深める（2時間）
　事後学習：いじめ事例への対応について、自分なりの考えをまとめる（2時間）
第7回：いじめについてのグループディスカッション
　事前学習：グループディスカッションに提示するための資料を作成する（2時間）
　事後学習：他の人のの発表も踏まえ、自分の考えを再構成する（2時間）
第8回：グループごとのプレゼンテーション②
　事前学習：プレゼンテーションの資料を作成する（2時間）
　事後学習：他のグループのプレゼンテーションを踏まえて、自分たちのグループの考えを再構成する（2時間）。
第9回：学校における臨床心理学的支援の実際その3 ──保護者支援について──
　事前学習：事前に資料を読み、理解を深める（2時間）
　事後学習：授業を踏まえて、保護者支援の要諦について、自分の考えをまとめる。（2時間）。

第10回：保護者支援についてのグループディスカッション
事前学習：グループディスカッションで配布する資料を作成する（2時間）。
事後学習：他の人の意見を聴いて、自分の意見を再構成してまとめる（2時間）。
第11回：グループごとのプレゼンテーション③
事前学習：プレゼンテーションの資料を作成する（2時間）
事後学習：他のグループのプレゼンテーションを踏まえて、自分たちのグループの考えを再構成する（2時間）。
第12回：学校現場でも活用できる心理技法の紹介 ── 体験実習を通して ──
事前学習：事前に資料を読み、理解を深める（2時間）
事後学習：実習を踏まえて、技法の特性についてまとめる。（2時間）。
第13回：心理技法の実際 ── その用い方と有効性 ──
事前学習：この技法を使った支援事例を検索し、まとめる。（2時間）
事後学習：技法についての授業を踏まえて、技法の応用方法についてまとめる（2時間）
第14回：心理技法についてのグループディスカッション
事前学習：これまでの授業の中で、最も印象に残ったトピックについて自分の考えをまとめる。（2時間）
事後学習：グループディスカッションを通して、学校における臨床心理学が果たす役割について自分の考えをまとめる。（2時間）
第15回：総括
事前学習：プレゼンテーションのための資料を作成する（2時間）
事後学習：他の人の発表も踏まえて、自分の資料を再構成して提出する（2時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

小レポート（40%）+ディスカッション（30%）+プレゼンテーション（30%）

成　績　評　価　基　準

他者と議論し、的確に情報を収集し、それらを踏まえて主体的に考え、課題解決に導くことができているか。
さらに、その解決策を他者に分かりやすく提示することができているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

テキストは使用せず、適宜、授業の中で紹介するか、講師がレジュメを配布する。

その他（受講上の注意）
※授業の積み重ねの中で、自分なりの考えや観点を生成していくことを心がけてください。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

社会福祉概論 (Survey of Social Welfare)			担当教員	下山　久之
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−CPO−2476	2単位	4年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　産業・社会系

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

社会保障および、社会福祉とは何かについて考える。現代社会において、福祉は、医療・教育とともに、私たちのよりよい生活に必要不可欠なものである。その福祉の理念やあゆみ、ソーシャルワークと政策の連関など仕組みと方法を解説し、基礎的な理解を深める。

授　業　の　到　達　目　標

ソーシャルワーク実践と福祉政策の関連性を理解することができる。
社会保障の基礎的な枠組みを理解することができる。
社会福祉の専門職と対象者観について理解を深める。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション 福祉とはその語源を探る、学習の仕方の説明－視点と枠組み－等
　事前学習：社会福祉や地域の福祉の取組など身近な福祉の取り組みについて新聞記事やメディア、書籍を読んで自身の理解を深めておくこと。（2時間）
　事後学習：講義で紹介した書籍等を通じて復習、福祉の枠組みについてまとめておく（2時間）
第2回：社会の変化と福祉
　事前学習：現代社会の変化とそれに伴う社会的課題について考えておく（2時間）
　事後学習：講義資料をもとに復習し、現代社会の中での社会的課題について考えをまとめておく（2時間）
第3回：福祉と福祉政策
　事前学習：現代社会における社会福祉制度をまとめておく（2時間）
　事後学習：社会福祉の拡大と限定についてまとめておく（2時間）
第4回：福祉の思想と哲学
　事前学習：福祉は、どのような思想のもとに展開されてきたのかを予習しておく（2時間）
　事後学習：福祉の思想と、市場の論理と倫理ついて参考文献等からまとめる（2時間）
第5回：社会政策と福祉政策
　事前学習：社会政策と福祉政策の関係について予習しておく（2時間）
　事後学習：社会政策の体系と社会福祉政策についてまとめる。（2時間）
第6回：福祉政策の発展過程
　事前学習：近代化と福祉政策の形成過程について予習する。（2時間）
　事後学習：戦後改革と高度経済成長期の福祉政策を理解しておく。（2時間）
第7回：少子高齢化時代の福祉政策
　事前学習：1970年代の福祉政策と1990年代および2000年以降の福祉政策についての調べておく。（2時間）
　事後学習：社会の変化に合わせて福祉政策が変動してくる過程をまとめる。（2時間）
第8回：福祉政策における必要と資源
　事前学習：福祉政策における必要と需要の考え方について予習する。（2時間）
　事後学習：必要の判定と福祉政策の資源についてまとめる。（2時間）
第9回：福祉政策の理念・主体・手法
　事前学習：福祉政策の多様な理念について予習する。（2時間）
　事後学習：福祉政策の手法と政策決定過程・評価について理解を深める。（2時間）

第10回：福祉政策の関連領域
事前学習：福祉政策の関連領域について予習しておく。（２時間）
事後学習：雇用政策、教育政策、住宅政策と福祉政策の関連性についてまとめておく（２時間）
第11回：社会福祉制度の体系
事前学習：社会福祉制度の構造について理解を深めておく（２時間）
事後学習：社会福祉制度と福祉サービスについてまとめておく。（２時間）
第12回：福祉サービスの提供
事前学習：福祉サービスの提供過程について予習しておく。（２時間）
事後学習：福祉サービスの運営管理部門についてまとめておく（２時間）
第13回：福祉サービスと援助活動
事前学習：相談援助の原則・視点・考え方と方法について予習しておく。（２時間）
事後学習：地域福祉への展開についてまとめておく（２時間）
第14回：福祉政策の国際比較
事前学習：欧米の福祉政策について予習しておく（２時間）
事後学習：欧米と東アジア諸国の福祉政策の共通点と相違点をまとめる（２時間）
第15回：福祉政策の課題と展望
事前学習：社会不安と福祉政策の課題について予習しておく。（２時間）
事後学習：包括的福祉政策への展開について考える。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート試験（60%）　小レポート（40%）

成　績　評　価　基　準

社会福祉および社会保障の理念と政策・実践の連関を理解することができるか。
社会保障の基礎的な枠組みを理解することができるか。
社会福祉の専門職と対象者観について理解を深めるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（レポート提出後）
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

テキスト『新・社会福祉士養成講座４　現代社会と福祉（第４版）』中央法規出版

その他（受講上の注意）
社会保障の理解を通じて、身近な福祉の取り組みを自身の生活に生かす。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理学特別演習Ⅱ (Special Psychology SeminarⅡ)			担当教員	稲木康一郎、大森　慈子、坂井　祐円、 杉島　一郎、竹村　明子、西村　則昭、 水田　敏郎、森　　俊之、森本　文人、 山岸　厚仁、山本　雅代、吉水ちひろ、 渡辺　克徳
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-OPI-2482	4単位	4年通年	演習	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

卒業研究の計画・実行段階として、心理学特別演習Ⅰで学生自らが設定した課題の解決にむけて、それらを遂行するために考えられる様々なアプローチ方法を立案します。さらに、それらの中から実行が妥当かつ可能なものを選択・吟味していきます。その際に、必要な文献や図書を精読し、発表や議論などを行います。(担当教員によって演習内容は異ります。)

授　業　の　到　達　目　標

自ら設けた研究課題に向けて、研究のアプローチ方法を吟味し選択する能力を身につける。研究を実施できる。
研究課題に関連する文献などを適切に講読できる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：30回：各担当教員の進め方に沿って取り組んでいく。
特別演習Ⅰ同様、授業では、ディスカッションや発表が取り入れられる。
ゼミによっては、自分の研究課題を設定し、実験や調査などの計画を立て実行する。
(課題解決型学習)(討議)(グループワーク)(発表)(実験、実技)
各受講生の課題解決に向けて必要と思われる本演習以外の授業を履修し、または以前に受講した授業で関連のある内容について全般的に復習する。
第1回～30回の事前学習：担当教員の指示に従って準備を行う(2時間)。
第1回～30回の事後学習：担当教員の指示に従って学習を進める(2時間)。

授業の形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第1回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第2回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第3回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第4回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第5回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第6回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第7回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第8回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第9回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第10回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第11回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第12回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第13回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)
第14回：■面接授業　□遠隔授業(□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用)

第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第16回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第17回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第18回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第19回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第20回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第21回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第22回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第23回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第24回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第25回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第26回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第27回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第28回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第29回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第30回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポートや発表（50％）　平常点（50％）
（レポートや発表の形式は担当教員により異なります。平常点は、授業への参加状況・受講態度などを総合して判断します。）

成　績　評　価　基　準

自ら設けた研究課題に向けて、研究のアプローチ方法を立案し選択する能力を身につけることができたか。研究を実施できたか。研究課題に関連する文献などを適切に講読できたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（レポートや発表、平常点に対するフィードバックについて）
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（各ゼミの担当教員の方法）

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト、参　考　図　書

担当教員から指示されます。

その他（受講上の注意）

担当教員から指示されます。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

卒業研究 (Graduation Research)			担当教員	稲木康一郎、大森　慈子、坂井　祐円、 杉島　一郎、竹村　明子、西村　則昭、 水田　敏郎、森　　俊之、森本　文人、 山岸　厚仁、山本　雅代、吉水ちひろ、 渡辺　克徳
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-OPI-2483	6単位	4年通年	演習	必修

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理学特別演習Ⅰ・Ⅱを通して学生自らが設定した研究テーマや計画をもとに、研究を進めて卒業論文に仕上げます。

授 業 の 到 達 目 標

心理学研究として適切な課題の設定を行う。妥当な研究の方法を選択する能力を身につける。結果の分析能力とそれらに対して考察する力を身につけ、レポート(論文)としてまとめ発表することができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

担当教員の指導に従って取り組んでいきますが、おおむね以下のようなスケジュールになります。
4～5月　課題・研究計画の立案と決定
6～8月　研究の実行
9～10月　結果の分析
11～12月　考察や論文のまとめ
1月下旬～2月上旬　卒業研究発表会
(課題解決型学習)(討議)(グループワーク)(発表)(実験、実技)
※卒業研究発表会に関しては全学生が同じスケジュールで行われますが、それまでのスケジュールは配属先のゼミにより異なることがあります。
担当の教員から適宜指示されます。

授業の形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

成　績　評　価　方　法

論文(50%)　平常点(40%)　発表(10%)
(平常点は卒業研究と発表への参加・取り組み状況や、取り組む態度などを総合して判断します。)

成　績　評　価　基　準

心理学研究として適切な課題が設定されているか。妥当な研究の方法を選択する能力が身についているか。結果の分析能力とそれらに対して考察する力を身につけ、レポート(論文)としてまとめ発表することができているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（論文、平常点、発表に対するフィードバックについて）
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（各ゼミの担当教員の方法、および、卒業研究発表会）

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

担当教員から指示されます。

その他(受講上の注意)

心理学の様々な専門分野から自らがテーマや方法を決めて研究を進めます。4年間の集大成ともいえる研究となります。全力で取り組んでください。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

公認心理師の職責 (Professionalism of Licensed Psychologists)			担当教員	稲木康一郎、森　　俊之、吉水ちひろ、 渡辺　克徳、坂井　祐円
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS-S-2491	2単位	4	講義	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　公認心理師に関する科目

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　□情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□■課題解決能力

授　業　の　内　容

公認心理師に必要な、公認心理師の役割、公認心理師の法的義務及び倫理、要心理支援者の安全の確保、情報の適切な取扱い、自己課題発見・解決能力、生涯学習への準備、多職種連携及び地域連携についての知識を身につけます。また、保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務について理解します。

授　業　の　到　達　目　標

① 公認心理師の役割を理解し、法的義務や倫理、チーム支援、守秘義務のあり方等について知る。
② 保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務について説明できる。
③ 心理職としての自己課題とその課題解決能力を理解し、生涯学習に取り組む態度を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習(PBL)　□討議(ディスカッション、ディベート)　□グループワーク　□発表(プレゼンテーション)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

公認心理師の主要5分野の教員によるオムニバス授業です。集中講義形式で1日に3回の講義を合計5日間行います。各テーマの内容の多少によって、各教員内で順番や時間数を入れ替えることがあります。開講日は概ね毎月1回、時間割や掲示を参照してください。
第1日【渡辺】保健医療分野ほか
第1回：オリエンテーション
　事前学習：シラバスを熟読すること(2時間)。
　事後学習：講義の内容を各自で復習すること。(2時間)
第2回：公認心理師の役割
　事前学習：テキスト第1章を読み、疑問点をメモしておくこと(2時間)。
　事後学習：講義の内容について受講生どうしで話し合うこと(2時間)。
第3回：保健医療分野における公認心理師の具体的な業務
　事前学習：テキスト第5章を読み、疑問点をメモしておくこと(2時間)。
　事後学習：小レポートを作成すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問したりすること(2時間)。
第2日【森】福祉分野ほか
第4回：公認心理師の法的義務・倫理
　事前学習：テキスト第2章を読み、疑問点をメモしておくこと(2時間)。
　事後学習：講義の内容を各自で復習すること(2時間)。
第5回：要心理支援者の安全の確保
　事前学習：テキスト第3章を読み、疑問点をメモしておくこと(2時間)。
　事後学習：講義の内容について受講生どうしで話し合うこと(2時間)。
第6回：福祉分野における公認心理師の具体的な業務
　事前学習：テキスト第6章を読み、疑問点をメモしておくこと(2時間)。
　事後学習：小レポートを作成すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問したりすること(2時間)。
第3日【坂井】教育分野ほか
第7回：情報の適切な取り扱い
　事前学習：テキスト第4章を読み、疑問点をメモしておくこと(2時間)。
　事後学習：講義の内容を各自で復習すること(2時間)。

第８回：支援者としての自己課題発見・解決能力
　　事前学習：テキスト第10章を読み、疑問点をメモしておくこと（２時間）。
　　事後学習：講義の内容について受講生どうしで話し合うこと（２時間）。
第９回：教育分野における公認心理師の具体的な業務
　　事前学習：テキスト第７章を読み、疑問点をメモしておくこと（２時間）。
　　事後学習：小レポートを作成すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問したりすること（２時間）。
第４日【吉水】司法・犯罪分野ほか
第10回：生涯学習への準備
　　事前学習：テキスト第11章を読み、疑問点をメモしておくこと（２時間）。
　　事後学習：講義の内容を各自で復習すること（２時間）。
第11回：多職種連携と地域連携
　　事前学習：テキスト第12章を読み、疑問点をメモしておくこと（２時間）。
　　事後学習：講義の内容について受講生どうしで話し合うこと（２時間）。
第12回：司法・犯罪分野における公認心理師の具体的な業務
　　事前学習：テキスト第８章を読み、疑問点をメモしておくこと（２時間）。
　　事後学習：小レポートを作成すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問したりすること（２時間）。
第５日【稲木】産業・労働分野ほか
第13回：公認心理師の今後の展開
　　事前学習：テキスト第13章を読み、疑問点をメモしておくこと（２時間）。
　　事後学習：講義の内容を各自で復習すること（２時間）。
第14回：産業・労働分野における公認心理師の具体的な業務
　　事前学習：テキスト第９章を読み、疑問点をメモしておくこと（２時間）。
　　事後学習：講義の内容について受講生どうしで話し合うこと（２時間）。
第15回：まとめ
　　事前学習：これまでテキストを読んでメモした疑問点を整理しておくこと（２時間）。
　　事後学習：小レポートを作成すること。わからないところがあったら、図書館で調べたり、オフィスアワーを利用して担当教員に質問したりすること（２時間）。
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点（15%）、小レポート（テスト）（25%）、および、定期試験（60%）で評価する。
平常点は出席・態度・発言・課題（ワークシート等）の提出状況などを総合的に評価する。
また、小テスト（レポート）は各教員が１回ずつ行うので指示に従うこと。
定期試験は資料の持込を不可とする。

成　績　評　価　基　準

①公認心理師の役割が理解できているか。
②公認心理師の具体的な業務を説明できるか。
③生涯学習に取り組む態度が身についているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

野島一彦（編）『公認心理師の職責』遠見書房　2018年　2,200円　ISBN:978-4-86616-051-1

その他(受講上の注意)

公認心理師資格に必要な特設科目です。
原則として、1日つき3回の集中講義を5セット行います。
国家試験対策として、大学院生が聴講する場合があります。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理演習 (Seminar in Psychology)			担当教員	渡辺　克徳、稲木　康一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−S−2492	2単位	4年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　公認心理師に関する科目

求める学習成果(教育目標)

公認心理師に必要な知識及び技能の基本的な水準を修得すること

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

(ア) 心理に関する支援を要する者等に関する以下の知識及び技能の修得
(1) コミュニケーション (2) 心理検査 (3) 心理面接 (4) 地域支援 等
(イ) 心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成
(ウ) 心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ
(エ) 多職種連携及び地域連携
(オ) 公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解

授 業 の 到 達 目 標

ロールプレイや事例検討を通じて，公認心理師に必要な知識及び技能の基本的な水準を修得することを目的とする.

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習 (PBL)　■討議 (ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク (Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　□発表・プレゼンテーション (Teams、Zoom等)　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他 (ロールプレイング)

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：【オ】オリエンテーション (稲木・渡辺)
シラバスの説明，演習の心構え，公認心理師の法的義務
事前学習：シラバスを熟読すること (2時間)
事後学習：公認心理師法について復習すること (2時間)
第2回：【ア (1)】コミュニケーション (傾聴・共感・質問・承認など) (渡辺・稲木)
対人援助現場で使える諸技法 (ロールプレイング・コミュニケーション技術の理解)
事前学習：参考資料を読んでおくこと (2時間)
事後学習：対人援助現場で使える諸技法について復習すること (2時間)
第3回：【ア (1)】コミュニケーション (傾聴・共感・質問・承認など) (渡辺・稲木)
心理面接のロールプレイング (逐語・DVDなどの教材を用いて)、グループディスカッション
事前学習：参考資料を読んでおくこと (2時間)
事後学習：逐語記録を作成すること (2時間)
第4回：【ア (2) イ・保健医療】心理検査 (精神疾患簡易構造化面接法M.I.N.I.) (渡辺・稲木)
支援を要する者の心理・対象者のニーズの把握・適切なフィードバックの方法・支援計画のたてかた、グループディスカッション
事前学習：参考資料を読んでおくこと (2時間)
事後学習：心理検査について復習すること (2時間)
第5回：【イ・保健医療】認知行動理論を用いたニーズの把握と支援計画の作成 (渡辺・稲木)
うつ病・不安症／不安関連障害・摂食障害など、グループディスカッション
事前学習：参考資料を読んでおくこと (2時間)
事後学習：認知行動理論について復習すること (2時間)
第6回：【ア (3)・教育】心理面接 (SC事例の初回面接を検討) (稲木・渡辺)
事例検討を通して，要心理支援者とのラポールの形成を理解、グループディスカッション
事前学習：参考資料を読んでおくこと (2時間)
事後学習：心理面接について復習すること (2時間)

第７回：【ア（３）イ・教育】心理面接（ＳＣ事例の２回目の面接を検討）（稲木・渡辺）
事例検討とロールプレイングを通して，要心理支援者のニーズ把握と支援計画の作成、グループディスカッション
事前学習：参考資料を読んでおくこと（２時間）
事後学習：心理面接について復習すること（２時間）
第８回：【ウ・教育】チームアプローチ（ＳＣ事例の支援者会議を検討）（稲木・渡辺）
事例検討と支援会議（ＳＣ，担任，養護教諭などが参加）のロールプレイング、グループディスカッション
事前学習：参考資料を読んでおくこと（２時間）
事後学習：チームアプローチについて復習すること（２時間）
第９回：【ウ・福祉】チームアプローチ（地域支援のチームアプローチの理解）（渡辺・稲木）
生物・心理・社会の視点でアセスメントを行う
認知行動的な視点からチームアプローチの心得を学ぶ、グループディスカッション
事前学習：参考資料を読んでおくこと（２時間）
事後学習：チームアプローチについて復習すること（２時間）
第10回：【エ・福祉】連携（地域支援のチームアプローチの理解）（渡辺・稲木）
多職種連携の心得・地域連携の心得，事例・論文等での学習，リハ・カンファレンスなど、グループディスカッション
事前学習：参考資料を読んでおくこと（２時間）
事後学習：連携について復習すること（２時間）
第11回：【アイ・司法犯罪】嗜癖問題への理解と認知行動療法を用いた介入（渡辺・稲木）
事例・論文・ビデオ教材等での学習、グループディスカッション
事前学習：参考資料を読んでおくこと（２時間）
事後学習：認知行動療法について復習すること（２時間）
第12回：【アイ・司法犯罪】心理面接（集団アプローチ）（渡辺・稲木）
矯正教育，集団療法（SST・グループワーク）の理解、グループディスカッション
事前学習：参考資料を読んでおくこと（２時間）
事後学習：心理面接（集団アプローチ）について復習すること（２時間）
第13回：【ア（４）・産業労働】事業場におけるメンタルヘルス活動（稲木・渡辺）
ストレスマネジメントの予防教育の研修計画と教材の作成、グループディスカッション
事前学習：参考資料を読んでおくこと（２時間）
事後学習：メンタルヘルス活動について復習すること（２時間）
第14回：【ア（４）・産業労働】事業場におけるメンタルヘルス活動（稲木・渡辺）
ストレスマネジメントの予防教育の実際をプレゼンテーション、グループディスカッション
事前学習：プレゼンテーションのリハーサルを行うこと（２時間）
事後学習：プレゼンテーションの振り返りについて受講者どうし話し合うこと（２時間）
第15回：【オ】職業倫理の理解とまとめ（稲木・渡辺）
倫理的ジレンマの模擬事例をもとに討論，演習全体のシェアリングと講評
事前学習：参考資料を読んでおくこと（２時間）
事後学習：公認心理師の職業倫理について復習すること（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成 績 評 価 方 法

平常点（40%），ロールプレイング（30%），支援計画（30%）
平常点は出席，参加態度，討論での発言を総合的に評価する．
ロールプレイングは逐語記録，振り返りレポートなどの内容を評価する．
支援計画は支援計画，研修計画（教材）などの内容を評価する．

成 績 評 価 基 準

公認心理師に必要な基本的な知識を説明できる．
公認心理師に必要な基本的な技能を実行できる．

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

スライド資料や参考資料をｅラーニングに掲載します．
以下，参考図書です．
『対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖（現場で使える便利帖）』大谷佳子著　翔泳社
『対人援助の現場で使える 質問する技術 便利帖（現場で使える便利帖）』大谷佳子著　翔泳社
『対人援助の現場で使える 承認する・勇気づける技術 便利帖（現場で使える便利帖）』大谷佳子著　翔泳社
『M.I.N.I.── 精神疾患簡易構造化面接法 日本語版5.0.0（2003）』David V.Sheehan（著）　星和書店
『公認心理師養成のための保健・医療系実習ガイドブック』鈴木 伸一（編集代表）　北大路書房

その他(受講上の注意)

授業の中で状況に応じて、自分の感じたことや考えたことについて他者に話してもらうことがある。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

心理実習 (Practical Training in Psychology)			担当教員	森　　俊之、吉水　ちひろ
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
PS−S−2493	3単位	4年通年	実習	選択

<科目区分>　人間学部心理学科専門科目　公認心理師に関する科目

求める学習成果(教育目標)

教育、福祉、医療現場での心理臨床の理論と実践のしかたを習得する。
人の心や行動を科学的に分析する方法や支援する方法を習得する。
組織や集団における行動の原理を理解し、実社会における人間関係の心理について学ぶ。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

心理に関する支援を行う9の施設の訪問学習およびその事前・事後学習を通して、心理に関する支援を行う施設の理解を深めるとともに、心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、多職種連携や地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的義務について考察する。

授　業　の　到　達　目　標

①心理に関する支援を行うさまざまな施設を理解するとともに、その施設における心理職の役割や具体的な業務について理解する。
②公認心理師の職業倫理や法的義務、多職種連携や地域連携のあり方等について理解する。
③心理職としての自己の能力や課題を理解し、生涯学習に取り組む態度を身に付ける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
第2回：福祉領域の理解①（事前学習）
第3回：福祉領域の理解①（施設訪問）
　　家庭での事前事後学習：施設訪問での様子を記録としてまとめておく（1.5時間）
第4回：福祉領域の理解①（事後学習）
第5回：福祉領域の理解②（事前学習）
第6回：福祉領域の理解②（施設訪問）
　　家庭での事前事後学習：施設訪問での様子を記録としてまとめておく（1.5時間）
第7回：福祉領域の理解②（事後学習）
第8回：産業領域の理解①（事前学習）
第9回：産業領域の理解①（施設訪問）
　　家庭での事前事後学習：施設訪問での様子を記録としてまとめておく（1.5時間）
第10回：産業領域の理解①（事後学習）
第11回：産業領域の理解②（事前学習）
第12回：医療領域の理解①（事前学習）
第13回：実習前期のふりかえり
第14回：医療領域の理解②（事前学習）
第15回：教育領域の理解①（事前学習）
第16回：医療領域の理解①（施設訪問）
　　家庭での事前事後学習：施設訪問での様子を記録としてまとめておく（1.5時間）
第17回：医療領域の理解②（施設訪問）
　　家庭での事前事後学習：施設訪問での様子を記録としてまとめておく（1.5時間）
第18回：産業領域の理解②（施設訪問）
　　家庭での事前事後学習：施設訪問での様子を記録としてまとめておく（1.5時間）
第19回：医療領域の理解①（事後学習）
第20回：医療・産業領域の理解②（事後学習）

第21回：教育領域の理解①（施設訪問）
　　家庭での事前事後学習：施設訪問での様子を記録としてまとめておく（1.5時間）
第22回：教育領域の理解①（事後学習）
第23回：教育領域の理解②（事前学習）
第24回：教育領域の理解②（施設訪問）
　　家庭での事前事後学習：施設訪問での様子を記録としてまとめておく（1.5時間）
第25回：教育領域の理解②（事後学習）
第26回：司法領域の理解（事前学習）
第27回：司法領域の理解（施設訪問）
　　家庭での事前事後学習：施設訪問での様子を記録としてまとめておく（1.5時間）
第28回：司法領域の理解（事後学習）
第29回：他の領域の理解
　　家庭での事前事後学習：１年間の実習を振り返り、まとめの討論に向けての意見を整理しておく（1.5時間）
第30回：まとめの討論
※施設の都合等により、順番が変更になることがあります。
事前学習では、訪問予定施設の設置目的、業務内容、職員構成、心理職の役割、利用者の概要などについて確認し、施設訪問時に見学するべきポイント等をグループワーク等を取り入れながら討議・検討する。
施設訪問（実習・フィールドワーク）の際には、個々の施設の実情に応じて、施設見学、施設職員との事例検討、要心理支援者との関わりなどを体験する。
事後学習では、施設での体験を振り返り、多職種連携・地域連携等がどのように行われていたかグループワーク等を取り入れながら討議・検討する。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第16回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第17回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第18回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第19回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第20回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第21回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第22回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第23回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第24回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第25回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第26回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第27回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第28回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第29回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第30回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

実習記録ノート（50%）、平常点（50%）
（平常点は、授業への参加状況、受講態度、授業時の討論内容等により総合的に評価する。）

成　績　評　価　基　準

①心理に関する支援を行うさまざまな施設やその施設における心理職の役割や具体的な業務について説明できるか。
②公認心理師の職業倫理や法的義務、多職種連携や地域連携のあり方について説明できるか。
③生涯学習に取り組む態度が身についているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

教科書は指定しない。適宜、補助資料を配付する。
参考書は授業中、随時、紹介する。

その他(受講上の注意)

公認心理師資格に必要な特設科目です。
授業料とは別に実習費が必要となります。
学外の施設に訪問するため、対外的なマナー等にも留意してください。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

デザインマネジメント論 (Design Management)			担当教員	吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2461	2単位	4年前期	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画･マネジメントコース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　■計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

図解やアイデアスケッチの技法を学び、それらを活用して「デザイン思考」をもとにした課題解決法を実践的に探求する。

授 業 の 到 達 目 標

アイデアやコンテンツをわかりやすく伝える方法を理解し、そのための手法および技法を習得する。さらにスケッチによりアイデアを拡張していく技法を実践と通して習得する。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション、ビジュアルシンキングの基本（実習）
　事前学習（2時間）教科書の目次を読み、教科書の1章を読む
　事後学習（2時間）身の回りを観察して、ビジュアルシンキングをやってみる
第2回：伝わる絵の描き方①（実習）
　事前学習（2時間）教科書の2-1～2-4章を読む
　事後学習（2時間）教科書の2-1～2-4章を試す
第3回：伝わる絵の描き方②（実習）
　事前学習（2時間）教科書の2-5～2-7章を読む
　事後学習（2時間）教科書の2-5～2-7章を試す
第4回：伝わる言葉の書き方①（実習）
　事前学習（2時間）教科書の3-1～3-2章を読む
　事後学習（2時間）教科書の3-1～3-2章を試す
第5回：伝わる言葉の書き方②（実習）
　事前学習（2時間）教科書の3-3～3-4章を読む
　事後学習（2時間）教科書の3-3～3-4章を試す
第6回：伝わる図の作り方（実習）
　事前学習（2時間）教科書の4章を読む
　事後学習（2時間）教科書の4章を試す
第7回：伝わるデザイン（実習）
　事前学習（2時間）教科書の5章を読む
　事後学習（2時間）教科書の5章を試す
第8回：グラフィックレコーディングの実践①（グループワーク）
　事前学習（2時間）教科書の6-1～6-4章を読む
　事後学習（2時間）教科書の6-1～6-4章を試す
第9回：グラフィックレコーディングの実践②（グループワーク）
　事前学習（2時間）教科書の6-5～6-8章を読む
　事後学習（2時間）教科書の6-5～6-8章を試す
第10回：アイデアを図解する① アイデアスケッチの方法論（実習）
　事前学習（2時間）配布資料を読む
　事後学習（2時間）「アイデアスケッチ」を試す

第11回：アイデアを図解する② アイデアスケッチの準備（実習）
事前学習（２時間）配布資料を読む
事後学習（２時間）「アイデアスケッチ」により企画をたてる
第12回：アイデアを図解する③ アイデアスケッチで企画をたてる（実習）
事前学習（２時間）配布資料を読む
事後学習（２時間）「アイデアスケッチ」により企画をより良くする
第13回：期末課題① プロジェクトの準備（グループワーク）
事前学習（２時間）配布資料を読む
事後学習（２時間）プロジェクトの準備を完了する
第14回：期末課題② プロジェクトの実践（グループワーク）
事前学習（２時間）配布資料を読む
事後学習（２時間）プロジェクトを実施する
第15回：期末課題③ プロジェクトの報告
事前学習（２時間）プレゼンテーションの発表内容を準備する（発表）
事後学習（２時間）他者の発表についてレビューをする

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

期末課題作品（40%）　授業毎の作品（30%）　授業毎の小テスト・レポート（30%）

成　績　評　価　基　準

・図解やアイデアスケッチの基本が理解できているか。
・図解やアイデアスケッチの技法を用いて、企画をより良くできたか。
・図解やアイデアスケッチの技法を用いて、プロジェクトをわかりやすくプレゼンテーションできたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

・経歴
（WEBデザイナー）
・実務経験と授業内容との関連性
（WEBデザイナーとしての業務経験を有する教員が、WEBサイト制作の技法について演習を行う。）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

テキスト：久保田 麻美「はじめてのグラフィックレコーディング」翔泳社, 2020年
参考図書：授業内で紹介する

その他（受講上の注意）
授業を欠席した場合は、eラーニングにて授業内容を確認し次回の授業までに課題を提出すること。
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

プロジェクト・デザイン研究（Project Design Ⅲ）			担当教員	小川　　慶
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-AOO-2464	2単位	4年通年	演習	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　企画・マネジメントコース

求める学習成果（教育目標）

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、課題解決のための構想力と判断力を身につけます。

身につけることを目指す社会的・職業的能力（汎用的能力）

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

プロジェクト・デザイン（基礎・演習・研究）は、2年生～4年生の3年間という長期的展望に立って、年度を重ねながら最終的に学年を超えたコラボレーションでプロジェクトを生み出し、実現する授業に育てていくことを目指す科目である。
本講義は、プロジェクト・デザインシリーズの最終学年配当科目であることから、①これまでの活動を多面的に振り返り、②より良いプロジェクトの実施ならびに自己実現へと繋げ、③それを他者にきちんと伝達するという一連のプロセスを経験することを目的としている。

授　業　の　到　達　目　標

これまで自身が実施したプロジェクトを基に、①そのアウトカムや効果、当時の自身の行動・姿勢等について幅広く内省し、それを見える化することを通じて、②次年度の授業・プロジェクトに向けた展望や今後の自身の行動指針や目標を見出し、③それを他者にきちんと伝達できるようになること。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション、グループ編成
　事前学習：前年度の企画内容をまとめておく。（2時間）
　事後学習：チームメンバーと交流し、互いの得意な領域を確認しておく。（2時間）
第2回：ブレイン・ストーミング①（概要）
　事前学習：講義前にシラバスを読み、質問項目をまとめておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。（2時間）
第3回：ブレイン・ストーミング②（実践）（グループワーク）
　事前学習：講義にスムーズに参加できるよう、前回の講義内容を復習しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。（2時間）
第4回：ブレイン・ストーミング③（実践）（グループワーク）
　事前学習：講義にスムーズに参加できるよう、前回の講義内容を復習しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。（2時間）
第5回：アウトプットのまとめ作業（文章化）①（グループワーク）
　事前学習：講義にスムーズに参加できるよう、前回の講義内容を復習しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。（2時間）
第6回：アウトプットのまとめ作業（文章化）②（グループワーク）
　事前学習：講義にスムーズに参加できるよう、前回の講義内容を復習しておく。（2時間）
　事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。（2時間）

第７回：アウトプットのまとめ作業（文章化）③（グループワーク）
事前学習：講義にスムーズに参加できるよう、前回の講義内容を復習しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。（２時間）
第８回：発表準備①（グループワーク）
事前学習：講義にスムーズに参加できるよう、前回の講義内容を復習しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。（２時間）
第９回：発表準備②（グループワーク）
事前学習：講義にスムーズに参加できるよう、前回の講義内容を復習しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。（２時間）
第10回：発表準備③（グループワーク）
事前学習：講義にスムーズに参加できるよう、前回の講義内容を復習しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。（２時間）
第11回：模擬報告会（グループワーク）
事前学習：講義にスムーズに参加できるよう、前回の講義内容を復習しておく。（２時間）
事後学習：講義で学習した内容を復習し、分からないことがあった場合は、次回の講義時に質問できるよう、質問内容をまとめておく。（２時間）
第12回：２～４年生合同授業①（参加）
事前学習：発表会の事前準備をする。（２時間）
事後学習：最終チェックをして完成度を高める。（２時間）
第13回：２～４年生合同授業②（参加）
事前学習：発表会の事前準備をする。（２時間）
事後学習：最終チェックをして完成度を高める。（２時間）
第14回：２～４年生合同授業③（発表）
事前学習：発表会の事前準備をする。（２時間）
事後学習：最終チェックをして完成度を高める。（２時間）
第15回：総括
事前学習：これまでの講義内容の振り返りを行っておく。（２時間）
事後学習：フィードバックの結果に沿って発表内容を修正する。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題に対する取組み内容・提出物（80%）、平常点（20%）

成　績　評　価　基　準

・これまで実施したプロジェクトのアウトカムや効果について検討し、良かった点・悪かった点を踏まえて、より良い結果を出すための是正措置まで検討できているか。
・これまで実施したプロジェクトにおける自身の行動やスタンスについて内省し、今後の行動指針や目標を見出せているか。
・上記を言語化し、文書ないし口頭発表という形態により、きちんと他者に伝達することができているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

特に使用しない。参考となる資料は必要に応じて配布する。

その他(受講上の注意)

本講義は、これまで実施したプロジェクトを基に進めるため、「プロジェクト・デザイン演習」を３年次に履修している必要がある。
また、本講義はアウトプットが中心となるため、履修者の進捗に応じて、柔軟に内容を変更していくものとする。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

異文化コミュニケーション (Cross-Cultural Communication)			担当教員	加藤　義治
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OBO-2473	2単位	4年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　英語コミュニケーションコース

求める学習成果(教育目標)

異文化を理解し、国際社会や地域社会を広い視野からとらえる技能と言語スキルを身につけ、国際社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　□課題解決能力

授　業　の　内　容

記事の分析と批判的思考に焦点を当て、異文化コミュニケーション構成を学習する。ペア・グループ学習等の様々な言語活動を通して、論理的な議論における流暢さと正確さを追及する。

授 業 の 到 達 目 標

グローバルな課題について、記事を読む。各ユニットの内容を身につけ、自分の意見や考えを伝える力を身につける。記事の内容からディスカッションをする。与えられた課題について、各学生が口頭発表をする。異文化コミュニケーションや批判的思考能力の向上を目指す。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：米国、フィリピン、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、東チモールまたはモーリシャスについて現状について下調べをして、その際、興味ある国を一つ選び、選んだ理由を英文レポートに纏める。（2時間）
　事後学習：関連の英単語を纏める。（2時間）
第2回：米国の新型コロナウィルスの現状
　事前学習：米国の新型コロナウィルスの現状を調べ、現状を英文に纏める。（2時間）
　事後学習：関連の英単語を纏める。（2時間）
第3回：米国の日系人社会
　事前学習：米国の日系人社会に関する英文資料を読み、現状を英文に纏める。（2時間）
　事後学習：関連の英単語を纏める。（2時間）
第4回：フィリピンの貧困問題
　事前学習：フィリピンの貧困問題の現状を調べ、現状を英文に纏める。（2時間）
　事後学習：関連の英単語をまとめておくこと。（2時間）
第5回：フィリピンと日本の関係
　事前学習：フィリピン人看護婦や介護福祉士の日本への受け入れの現状を調べ、現状を英文に纏める。（2時間）
　事後学習：関連の英単語を纏める。（2時間）
第6回：インドネシアの多様性
　事前学習：インドネシアの種族や文化・習慣を調べ、現状を英文に纏める。（2時間）
　事後学習：関連の英単語を纏める。（2時間）
第7回：インドネシアと日本の関係
　事前学習：インドネシアと日本との関係の現状を調べ、現状を英文に纏める。（2時間）
　事後学習：関連の英単語を纏める。（2時間）
第8回：2～7の復習
　事前学習：授業前に第2～7ユニットを復習する。課題について意見を英作文に纏める。（2時間）
　事後学習：各ユニットの英単語を纏めておく。（2時間）
第9回：マレーシアの東方政策
　事前学習：マレーシアと日本との関係の現状を調べる。特に、Look East Policyについて、現状を英文にまとめる。（2時間）
　事後学習：関連の英単語を纏める。（2時間）

第10回：ブルネイ・ダルサラム国
事前学習：ブルネイについて現状を調べる。特に、日本との関係について調べ英文に纏める。（２時間）
事後学習：関連の英単語を纏める。（２時間）
第11回：東チモール
事前学習：東ティモールについて現状を調べる。特に、東ティモールと日本との関係の現状を調べ、その結果を英文にまとめる。（２時間）
事後学習：関連の英単語を纏める。（２時間）
第12回：モーリシャス
事前学習：モーリシャス共和国について現状を調べる。特に、モーリシャスと日本との関係の現状を調べる。その結果を英文にまとめる。
事後学習：関連の英単語を纏める。（２時間）
第13回：小島嶼開発途上国（SIDS: Small Island Developing States）
事前学習：小島嶼開発途上国について調べ、一つの国を選んで、その国のが概要や課題を英文に纏める。（２時間）
事後学習：関連の英単語を纏める。（２時間）
第14回：持続可能な開発目標（SDGs）
事前学習：SDGｓに関する資料を読み、取り組みや成果について調べ、英文に纏める。（２時間）
事後学習：関連の英単語を纏める。（２時間）
第15回：属可能な開発目標（SDGs）（発表）
事前学習：それまで学んできた国の中から一カ国を選び、その国のSDGｓに対する取り組みについて調べ、英文に纏める。（２時間）
事後学習：関連の英単語を纏める。（２時間）
定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業での言語活動（25％）、課題（25％）、定期試験（50％）

成　績　評　価　基　準

与えられた課題を調べ、英文に纏めることができたか。
自分の意見や考えを英文に纏める力を身につけることができたか。
与えられた課題について、各学生が口頭発表をすることができたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
テキストは使用しない。
その他（受講上の注意）
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

現代文化研究 (Contemporary Cultural Studies)			担当教員	江南　健志
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-OOC-2492	2単位	4年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　情報社会コース

求める学習成果(教育目標)

コミュニケーション・ツールの活用スキルを修得し、情報化社会において文化の相互交流に資する豊かな表現力を育成します。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

□自他の理解能力　□コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　□社会・職業理解能力
□役割把握・認識能力　□計画実行能力　□選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

社会学の対象としての「文化現象」は、今日では様々なサブカルチャーを含めて多岐にわたります。そこで、多様な文化のあり方を概観するとともに、現代社会について考える社会学的な枠組み・視点の獲得を目指します。

授 業 の 到 達 目 標

現代社会に見られる文化事象に関心をもち、自分自身の問題として自身の経験や自身をとりまく社会状況と関連付けて考察する習慣を身につけること。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：イントロダクション
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第2回：文化と社会学――文化社会学の射程――
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第3回：現代文化の諸相――現代文化へのまなざし――①都市の文化
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第4回：現代文化の諸相――現代文化へのまなざし――②消費文化
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第5回：現代文化の諸相――現代文化へのまなざし――③情報文化
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第6回：現代文化の諸相――現代文化へのまなざし――④文化と権力
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第7回：メディアと記号①　メディアの変容
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）
第8回：メディアと記号②　映像文化
　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（2時間）
　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（2時間）

第９回：メディアと記号③　音楽文化
　　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第10回：メディアと記号④　活字メディア
　　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第11回：メディアと記号⑤　スポーツ
　　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第12回：日常の文化と社会学①　ファッション
　　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第13回：日常の文化と社会学②　観光
　　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第14回：日常の文化と社会学③　暮らしの文化
　　事前学習：前回のノートを見直し、授業内で指示された参考文献を読んでおくこと。（２時間）
　　事後学習：講義後ノートを見直して復習し、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、取り上げられた文献を講読すること。（２時間）
第15回：まとめ（課題解決型学習（PBL）を実施）
　　事前学習：全てのノートを見直し、全講義の要点をまとめ、討論できるできるようにまとめておくこと（４時間）
　　事後学習：本講義の全てのノートを見直して復習し整理すること。また、講義内でしめされた専門用語を図書館等で調べ、テキストの該当箇所を精読すること。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

レポート（70％）　平常点（30％）
・平常点は授業への参加状況、受講態度、リアクションペーパーの内容等を総合して判断します（出席点ではありません）。
・Internet上のデータを安易に引用したり、他者の論文・レポートなどを盗用・剽窃したりした場合は不可となります。

成　績　評　価　基　準

・現代社会に見られる文化事象に関心を持つことによって、自らでテーマを設定し、必要なデータを収集することが出来るか。
・自身の経験や自身をとりまく社会状況と関連付けて考察する事が出来るか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　■メール　■その他（必要があれば、担当教員の研究室（E104B）にて口頭で）
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

【参考図書】
遠藤英樹著『現代文化論　社会理論で読み解くポップカルチャー』ミネルヴァ書房
井上俊, 長谷正人編著『文化社会学入門　テーマとツール』ミネルヴァ書房

その他(受講上の注意)

私語等、講義を妨害する学生には退出を指示した上、単位を与えない場合もあります。
受講生の理解度にあわせて授業計画には変更を加える可能性があります。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション特別演習Ⅱa (Special Seminar in CommunicationⅡa)			担当教員	安彦　智史、江南　健志、大河　晴美、 小川　　慶、織田　暁子、加藤　優子、 紺渡　弘幸、M　ハウカ、升田　法継、 矢橋　知枝、吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-G-2495	2単位	4年前期	演習	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

各コースで身につけた能力を演習のなかでより深め、卒業研究につなげる。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

卒業研究の完成に向けて、3年次のコミュニケーション特別演習Ⅰa,bで明確化した問題意識に基づき、研究テーマを確定する。次に、研究・調査・実践に必要となるアプローチを探求し、テーマとの整合性や妥当性を探る。そのために、専門的な文献、論文、データなども含めた精読を行うとともに、ディスカッションや発表を行うことで、卒業研究の計画立案および策定を行う。
研究課題によっては、企業や自治体等の外部団体と連携し、実際のデータ分析や課題解決に取り組んだり、地域連携活動を行ったりすることがある。また、国連が定める持続可能な開発目標(SDGs)に関する活動に取り組むことがある。

授業の到達目標

自らの問題意識に基づいて設定した研究課題を遂行するために必要な、適切なアプローチを吟味し、選択する能力を身につける。課題に関連する文献などを適切に精読できる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習(PBL)　■討議(ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■グループワーク(Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等)　■発表・プレゼンテーション(Teams、Zoom等)　■実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

研究テーマ、研究計画の策定および研究計画書の提出を行い、それぞれの研究テーマについて、適切な研究、調査、実践を進める。
概ね以下の通りだが、各担当教員の演習テーマをおよび学生の課題設定に依拠した指導に従い、PBL、フィールドワーク、グループワーク、実験等のアクティブラーニングを適宜行う。(以下は一例である。)
第1回：オリエンテーション
　事前学習：卒業論文のテーマについてレポートをまとめる。(2時間)
　事後学習：自らの卒業論文テーマについて文献調査等を通し考えを深める。(2時間)
第2回：論文の全体構造を明らかにする：目的の設定(発表、ディスカッション)
　事前学習：課題となった内容を考える。(2時間)
　事後学習：修正を受けた点を再構想する。(2時間)
第3回：論文の全体構造を明らかにする：研究対象の設定(発表、ディスカッション)
　事前学習：課題となった内容を考える。(2時間)
　事後学習：修正を受けた点を再構想する。(2時間)
第4回：論文の全体構造を明らかにする：研究方法の設定(発表、ディスカッション)
　事前学習：課題となった内容を考える。(2時間)
　事後学習：修正を受けた点を再構想する。(2時間)
第5回：論文の全体構造を明らかにする：研究計画書の作成(発表、ディスカッション)
　事前学習：課題となった内容を考える。(2時間)
　事後学習：修正を受けた点を再構想する。(2時間)
第6回：論文の全体構造を明らかにする：研究計画書の作成(発表、ディスカッション)
　事前学習：課題となった内容を考える。(2時間)
　事後学習：修正を受けた点を再構想する。(2時間)

第７回：論文の全体構造を明らかにする：目次部分の作成（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第８回：論文の全体構造を明らかにする：目次部分の作成（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第９回：文献調査を進める：先行研究の調査（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第10回：文献調査を進める：先行研究の調査（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第11回：文献調査を進める：先行研究の調査（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第12回：文献調査を進める：先行研究の調査（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第13回：文献調査を進める：仮説の設定（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第14回：文献調査を進める：仮説の設定（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）
第15回：まとめと課題（発表、ディスカッション）
　　事前学習：課題となった内容を考える。（２時間）
　　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点（100％）
平常点は演習への取り組み状況やその態度などから総合的に判断する。

成　績　評　価　基　準

企画・マネジメント、英語コミュニケーション、情報社会に関して、卒業研究で取り組むための適切な研究・実践課題設定を行えるようになっているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
担当教員から適宜指示する。
その他（受講上の注意）
研究計画の遂行のために必要な本演習以外の授業を履修する。それとともに、今までに履修してきた授業の中で、研究課題と関連のある内容を再確認しておく。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

コミュニケーション特別演習Ⅱb (Special Seminar in CommunicationⅡb)			担当教員	安彦　智史、江南　健志、大河　晴美、 小川　　慶、織田　暁子、加藤　優子、 紺渡　弘幸、M　ハウカ、升田　法継、 矢橋　知枝、吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO-G-2496	2単位	4年後期	演習	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

各コースで身につけた能力を演習のなかでより深め、卒業研究につなげる。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

卒業研究の完成段階として、自らが設定した課題を適切に遂行できるよう、担当教員の指導のもと、研究を進める。卒業研究の課題を、論理的かつ説得的にまとめていき、卒業研究を完成させる。
研究課題によっては、企業や自治体等の外部団体と連携し、実際のデータ分析や課題解決に取り組んだり、地域連携活動を行ったりすることがある。また、国連が定める持続可能な開発目標（SDGs）に関する活動に取り組むことがある。

授　業　の　到　達　目　標

自らの研究課題を、適切なアプローチに基づき遂行し、卒業研究として論理的かつ説得的に完成できる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

受講生自身のテーマについて調査を実施し、結果の分析考察を行い、論理的かつ説得的に伝えられるようにまとめる。
概ね以下の通りだが、各担当教員の演習テーマをおよび学生の課題設定に依拠した指導に従い、PBL、ディスカッション、グループワーク、実験等のアクティブラーニングを適宜行う。（以下は一例である。）

第1回：オリエンテーション
　事前学習：自らの卒業論文テーマについて前期で行ったことをまとめる。（2時間）
　事後学習：試験的調査の準備に取り組む。（2時間）
第2回：試験的調査の開始（フィールドワーク）
　事前学習：調査方法について吟味する。（2時間）
　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（2時間）
第3回：試験的調査の修正（フィールドワーク）
　事前学習：試験的調査結果に基づき、調査方法について改善する。（2時間）
　事後学習：修正を受けた点を再構想する。（2時間）
第4回：調査（フィールドワーク）
　事前学習：調査を行う。（2時間）
　事後学習：調査結果をまとめる。（2時間）
第5回：調査（フィールドワーク）
　事前学習：調査を行う。（2時間）
　事後学習：調査結果をまとめる。（2時間）
第6回：「方法論」の作成（発表）
　事前学習：実施した調査方法について、「方法論」をまとめる。（2時間）
　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（2時間）
第7回：「分析」「考察」の作成（発表）
　事前学習：調査結果に基づいた分析、考察部分をまとめる。（2時間）
　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（2時間）

第８回：卒業論文全体の作成（発表）
　　事前学習：「はじめに」にあたる部分を作成する。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）
第９回：卒業論文全体の作成（発表）
　　事前学習：「おわりに」にあたる部分を作成する。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）
第10回：卒業論文全体の作成（発表）
　　事前学習：卒業論文の全文を完成させる。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）
第11回：卒業論文要旨作成（発表）
　　事前学習：卒業論文要旨を作成する。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）
第12回：卒業論文要旨作成（発表）
　　事前学習：卒業論文要旨を完成させる。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）
第13回：卒業研究発表準備（発表）
　　事前学習：卒業研究発表のためのPPTを作成する。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）
第14回：卒業研究発表準備（発表）
　　事前学習：卒業研究発表のためのPPTを作成する。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）
第15回：卒業研究発表準備（発表）
　　事前学習：卒業研究発表のためのPPTを完成させる。（２時間）
　　事後学習：指摘を受けた点を修正する。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点（100％）
平常点は演習への取り組み状況やその態度などから総合的に判断する。

成　績　評　価　基　準

企画・マネジメント、英語コミュニケーション、情報社会に関して、卒業研究で取り組むための分析や実践の結果を考察し、まとめられるようになっているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）
テキスト、参考図書
担当教員から適宜指示する。
その他（受講上の注意）
担当教員から適宜指示する。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

卒業研究 (Graduation Research)			担当教員	安彦　智史、江南　健志、大河　晴美、 小川　　慶、織田　暁子、加藤　優子、 紺渡　弘幸、M　ハウカ、升田　法継、 矢橋　知枝、吉村　正照
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−G−2497	6単位	4年通年	演習	必修

<科目区分>　人間学部コミュニケーション学科専門科目　応用科目　特別演習・卒業研究

求める学習成果(教育目標)

各コースで身につけた能力を演習のなかでより深め、卒業研究としてまとめる。

身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)

■自他の理解能力　■コミュニケーション能力　■情報収集・探索能力　■社会・職業理解能力
■役割把握・認識能力　■計画実行能力　■選択能力　■課題解決能力

授　業　の　内　容

コミュニケーション学特別演習Ⅰ・Ⅱを通して、学生が自ら研究テーマや研究計画を設定する。それに基づき、探求を深め、これまでの研究や実践を論理的かつ説得的な形で、卒業研究としてまとめる。

授 業 の 到 達 目 標

企画・マネジメント、英語コミュニケーション、情報社会それぞれの領域において、適切な問題意識に基づいた課題設定を行えるようになる。設定した課題について分析・研究や実践を行うための方法を適切に選択できるようになる。分析や実践の結果を考察し、まとめることが出来るようになる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

概ね以下の通りだが、学生個人の研究の進捗に応じ、指導には、PBL、発表、ディスカッション、フィールドワーク、グループワーク、実験等のアクティブラーニングも適宜含まれる。学生はこれらの学びを通し、主体的に研究に取り組む。
４～５月　研究・実践のテーマと研究計画の策定、研究計画書の提出
５～８月　研究・実践の実行
９～10月　研究・実践結果の分析・考察
11～12月　卒業研究の仕上げ、提出
１月上旬　卒業研究要旨の執筆、提出
１～２月　卒業研究発表会（口頭試問の機能も兼ねる、卒業試験）
※卒業研究発表会に関しては全学生が同じスケジュールで行われる、それまでのスケジュールは配属先のゼミにより異なることがある。担当の教員から適宜指示がある。

授業の形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成 績 評 価 方 法

卒業研究成果物（60%）　卒業研究発表会におけるプレゼンテーション（口頭試問）（20%）　平常点（20%）
平常点は、卒業研究への取り組み状況やその姿勢などを総合的に判断する。

成 績 評 価 基 準

企画・マネジメント、英語コミュニケーション、情報社会のそれぞれの領域において、適切な問題意識に基づく課題設定を行えているか。設定した課題について、分析・研究や実践を行うための方法が適切に選択されているか。分析や実践の結果を考察し、まとめることが出来ているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

担当教員から適宜、紹介、指示がある。

その他（受講上の注意）

卒業研究とは、4年間で習得した能力、およびこれまでの研究・実践を結集して、論理的かつ説得的にまとめるものである。主体的かつ積極的に取り組むことはもちろん、研究計画をしっかりと策定して研究を進展させていくことが肝要である。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教職論 (Theory of Teacher Education)			担当教員	高野　秀晴
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2202	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

教員とは、どのような役割を期待され、どのような環境で、どのような仕事をしているのか。本授業は、これらの問いに対して主に法的、歴史的見地から考察する。また、事例研究を通して様々な教師像を検討することにより、受講生各自が適性を判断し、よりよい教職像を展望する機会としたい。

授 業 の 到 達 目 標

・現代の学校教育や教職の社会的意義を説明できる。
・今日の教員に求められる役割や資質能力について説明したうえで、自己の教職像を展望することができる。
・教員の職務内容の全体像や服務上・身分上の義務を説明できる。
・学校が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性について説明できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：シラバスをよく読み、学修計画を立てる。（2時間）
　事後学習：授業内容に関連する情報を検索し、学修計画をさらに固める。（2時間）
第2回：教師はどのような仕事をしているのか
　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（2時間）
　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（2時間）
第3回：学校に関わる様々な職業について
　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（2時間）
　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（2時間）
第4回：チームとしての学校
　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（2時間）
　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（2時間）
第5回：よい教師とはどのような教師なのか（討議）
　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（2時間）
　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（2時間）
第6回：教師像の諸相――聖職者、労働者、専門家
　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（2時間）
　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（2時間）
第7回：どうすればよい教師になれるのか（討議）
　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（2時間）
　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（2時間）
第8回：教員養成制度について
　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（2時間）
　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（2時間）
第9回：教員養成の歴史
　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（2時間）
　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（2時間）
第10回：教員に求められる専門性とは何か
　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（2時間）
　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（2時間）

第11回：教員の身分について
　　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（２時間）
　　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（２時間）
第12回：教員の任用について
　　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（２時間）
　　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（２時間）
第13回：教員の服務について
　　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（２時間）
　　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（２時間）
第14回：教員にとって研修のもつ意味
　　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（２時間）
　　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：授業内容に関連する情報を集めて整理する。（２時間）
　　事後学習：授業内容をノートにまとめる。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70％）
平常点（30％）
（平常点は、授業への参加状況と、授業時の課題の内容をもとに評価する。）

成　績　評　価　基　準

・現代の学校教育や教職の社会的意義を説明できるか。
・今日の教員に求められる役割や資質能力について説明できるか。
・教員の職務内容の全体像や服務上・身分上の義務を説明できるか。
・学校が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性について説明できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキスト：授業時に適宜資料を配布する。 参考図書：磯田一雄編『日本の教育課題　9　教師と子どもとのかかわり』東京法令出版　1999年
その他（受講上の注意）
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育原理 (Principles of Education)			担当教員	高野　秀晴
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−T−2101	2単位	1年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

私たちは、誰もが教育を受けた経験があるがゆえに、教育について考える際に、自らの経験のみに依拠してしまうことになりがちである。本授業では、教育に関する基本的概念を修得し、それをもとに、多様な教育の理念や教育の歴史、思想を概観することにより、自らの経験のみに依拠することなく教育について考察する力量の形成を目指す。

授 業 の 到 達 目 標

・教育の基本的概念を用いて、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を説明することができる。
・教育の歴史に関する基礎的知識を踏まえて、過去から現代に至るまでの教育および学校の変遷を概説し、その変遷のなかで生まれた多様な教育の理念を説明することができる。
・教育に関する様々な思想が、いかなる理念や歴史的背景をもとに生まれてきたかについて説明することができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：シラバスをよく読み、学修計画を立てる。（2時間）
　事後学習：授業内容に関連する図書を検索し、読書計画を立てる。（2時間）
第2回：教育の基本的概念（1）──子どもの権利について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第3回：教育の基本的概念（2）──教育における愛と暴力
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第4回：教育の基本的概念（3）──乳幼児期から老年期までの発達について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第5回：日本教育史（1）──家族や社会のなかの教育
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第6回：日本教育史（2）──塾と学校の登場
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第7回：日本教育史（3）──義務教育制度成立史
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第8回：西洋における教育の思想と歴史（1）──古代ギリシア、ローマの教育
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第9回：西洋における教育の思想と歴史（2）──コメニウスと一斉教授について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第10回：西洋における教育の思想と歴史（3）──ルソーにおける子どもの発見について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）

第11回：西洋における教育の思想と歴史（4）── 自律を目指した思想家たち
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第12回：西洋における教育の思想と歴史（5）── 教育制度の思想的基礎
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第13回：教育と福祉の関係 ── 家庭、地域、学校の役割について
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第14回：現代における教育の課題 ── 生涯学習の観点から
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第15回：まとめ
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（70%）
平常点（30%）
（平常点は、授業への参加状況、および授業時の課題の内容をもとに評価する。）

成　績　評　価　基　準

・教育の基本的概念を用いて、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を説明することができるか。
・教育の歴史に関する基礎的知識を踏まえて、過去から現代に至るまでの教育および学校の変遷を概説し、その変遷のなかで生まれた多様な教育の理念を説明することができるか。
・教育に関する様々な思想が、いかなる理念や歴史的背景をもとに生まれてきたかについて説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキスト：プリントを配布する。 参考図書：高橋陽一『教育通義』武蔵野美術大学出版局　2013年
その他（受講上の注意）
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育心理学 (Educational Psychology)			担当教員	杉島　一郎
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2203	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、運動発達、言語発達、認知発達、社会性等の発達について各年齢段階の特徴を理解し、代表的な理論を学び、それらを踏まえた学習を支える具体的な指導に関する基礎的な考え方を理解する。

授 業 の 到 達 目 標

・幼児、児童及び生徒の心身の発達と学習の過程及び特徴を理解する
・幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身に付け、発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：教育心理学の目的と課題および学修のポイント
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（4時間）
第2回：新生児・乳児期の発達～生物的発達を中心に
　事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第3回：幼児期の発達～自我の発達、ことばの発達
　事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第4回：社会性の発達～エリクソン、コールバーグ等の発達理論
　事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第5回：認知・思考の発達～ピアジェの発達理論（1）
　事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第6回：認知・思考の発達～ピアジェの発達理論（2）
　事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を整理する。わからないところがあったら、フォーラムやメールを利用して担当教員に質問すること。（2時間）
第7回：児童期・青年期の発達～身体発達、運動発達、人格形成、集団づくり
　事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）
第8回：発達の諸相～知能と創造性
　事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（2時間）
　事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（2時間）

第９回：学習の原理～ワトソン、スキナー、ソーンダイク等の学習理論
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第10回：学習理論の応用～行動療法、CAI、発見学習、アクティブラーニング
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第11回：記憶～記憶理論と学習法
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第12回：動機づけと原因帰属～内発的動機づけと外発的動機づけ、自己効力、原因帰属、動機づけの諸理論
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第13回：教授・学習過程～主体的な学習活動を支える指導法と協働学習（ディスカッションを含む）
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第14回：教育評価と測定、教育統計
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第15回：生徒理解と学級集団（ディスカッションを含む）
事前学習：テキストの該当する箇所を読み、わからないところをまとめておく。（２時間）
事後学習：指示された課題を提出し、学んだ内容を復習する。わからないところや意見があったら、フォーラムを利用して質問しディスカッションすること。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

毎回行う課題（50%）、定期試験（50%）

成　績　評　価　基　準

・幼児、児童及び生徒の心身の発達と学習の過程及び特徴を理解しているか。
・幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身に付けているか。
・発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解しているか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト：『よくわかる学校教育心理学』ミネルヴァ書房　2010年
参考図書：中学校教育課程実践講座　総則 ── 平成29年改訂（天笠 茂（編著），ぎょうせい，2017）
教育心理学ハンドブック（日本教育心理学会編，有斐閣，2003年）
教育心理学（第3版）（子安増生・田中俊也・南風原朝和・伊東裕司，有斐閣，2015年）
小学校学習指導要領解説（平成29年3月公示）　文部科学省
中学校学習指導要領解説（平成29年3月公示）　文部科学省
高等学校学習指導要領解説（平成30年3月公示）　文部科学省

その他(受講上の注意)

教職科目であるため、受け身的に受講するのではなく、常に自らが教壇に立った場合を想像して授業に臨むこと。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育経営論 (Educational Administration)			担当教員	奥谷　崇
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2308	2単位	3年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

日本国憲法・教育法規・学習指導要領に示される教育経営の理念を理解する。教育・学校・児童生徒を巡る諸課題を教育経営の観点から理解を深め、学校と地域の連携の意義と取り組み及び学校安全について自らの切実な課題として主体的に理解できるようにグループ討議を重視する。

授 業 の 到 達 目 標

中学校・高等学校教育・食の教育や教育行政機関の目的とその実現について教育経営の観点から理解し、社会の状況の変化と学校教育へ影響・課題・教育施策の動向の基礎的知識を身につけ、学校と地域との連携と協働の仕方を理解し、学校管理下での事件・事故・食の安全・災害の実情を踏まえて学校安全の目的と取り組みを理解することが出来る。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：教育経営論の理念と学習計画について
　事前学習：教育経営論で身に付けたいことや考えたいことや教育に関する疑問点をノートにまとめてくること。（2時間）
　事後学習：現在の自分の教育観を見つめ、まとめ、疑問点などをまとめておくこと。（2時間）
第2回：我が国の幼・保教育及び小学校教育の変遷と課題について
　事前学習：学習指導要領解説総則編P146～P157で我が国の教育の変遷を整理しておくこと。（2時間）
　事後学習：教育とは何か、教育経営とは何か、教育の変遷を整理しておくこと。（2時間）
第3回：子どもの生活の変化と子どもの問題及び解決策について
　事前学習：子どもの問題で気になる問題とその理由及び解決策を考えてくること。（2時間）
　事後学習：考えた子どもの問題の解決策と今後の取り組み計画をまとめておくこと。（2時間）
第4回：我が国の教育課題と学習指導要領の改訂について
　事前学習：新聞で取り上げられている教育課題に対し、自分の考えや疑問をノートに書いてくること。（2時間）
　事後学習：教育課題を繰り返さずに解決するための施策を考え、共感的に共有し合うこと。（2時間）
第5回：世界の教育の実態と教育改革の現状について
　事前学習：世界各国の教育事情を集め、それぞれの課題と取り組みを紹介できるようにしてくること。（2時間）
　事後学習：特徴的な課題と対策をまとめ、今後の世界の教育の改革について考えを整理すること。（2時間）
第6回：学校経営の理念と学校組織の在り方について
　事前学習：特徴的な学校経営を行う学校の実践を調べて情報交換が出来るようにしてくること。（2時間）
　事後学習：大きな教育成果を挙げている学校の取り組みや先駆者の思想や実践をまとめておくこと。（2時間）
第7回：憲法・教育法規・関連法規と学校教育について
　事前学習：日本国憲法・教育基本法・学校教育法を熟読してくること。（2時間）
　事後学習：特に日本国憲法と教育基本法の精神をまとめ、整理しておくこと。（2時間）
第8回：教育行政の仕組みと課題について
　事前学習：我が国の教育行政の仕組みと改善したい問題をまとめてくること。（2時間）
　事後学習：教育行政と学校教育の課題と改善策をまとめておくこと。（2時間）
第9回：学校経営と学校評価の基礎理論について
　事前学習：向上・改善のための実践と評価の大切さについて具体例を挙げて考えてくること。（2時間）
　事後学習：学校評価の具体例を整理し、学校経営の充実・改善の取り組みを整理しておくこと。（2時間）

第10回：学級経営の仕組みと学級経営の課題について
事前学習：改善したい学級経営上の課題と解決策を考え、整理してくること。（２時間）
事後学習：様々な学級経営上の課題を整理し、対応改善策をまとめておくこと。（２時間）
第11回：教職員と学校外の関係機関との連携・協働について
事前学習：閉ざされた学校が開かれた学校へと移り変わった理由を考えてくること。（２時間）
事後学習：教職員の開かれた意識形成のためにどうしたらよいかについてまとめておくこと。（２時間）
第12回：学校と地域との連携・協働と教職員の使命について
事前学習：各地域の実践例に触れ、紹介できるようにしてくること。（２時間）
事後学習：主な実践を整理し、今後取り組んでいきたいプランをもてるようにすること。（２時間）
第13回：開かれた学校づくりの課題と解決について
事前学習：新聞記事で取り上げられる学校紹介記事を用意し、発表できるようにしてくること。（２時間）
事後学習：多様な取り組みを整理し、開かれた学校づくりの大切さに挑むことができるようにしておく。（２時間）
第14回：学校で起こる事件、事故、災害の実情と学校安全の具体策について
事前学習：具体事案をもとに未然防止策と事前指導の在り方を考えてくること。（２時間）
事後学習：家庭・地域ぐるみで子どもの安全を守る対策を整理しておくこと。（２時間）
第15回：学校、地域の安全管理と安全指導の徹底について
事前学習：居住地域の防災体制や学校の安全管理と指導の現状について考えてくること。（２時間）
事後学習：地域の安全・防災の充実のために積極的に行動できるようにすること。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

学期末レポート50% 学習への意欲的な姿勢とノート30% グループ討議20%

成　績　評　価　基　準

中学校・高等学校教育・食の教育や教育行政機関の目的とその実現について教育経営の観点から理解しているか。
社会の状況の変化と学校教育へ影響・課題・教育施策の動向の基礎的知識を身につけているか。
学校と地域との連携と協働の仕方を理解し、学校管理下での事件・事故・食の安全・災害の実情を踏まえて学校安全の目的と取り組みを理解しているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
＜テキスト＞ 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編（平成29年７月 文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 総則編（平成30年７月 文部科学省） ＜参考図書＞ 教育小六法（市川須美子・小野田正利・勝野正章・窪田眞二・中嶋哲彦・成嶋隆著 岳陽書房 平成28年） 中学校学習指導要領解説 外国語編（平成29年７月 文部科学省） 高等学校学習指導要領解説 外国語編・英語編（平成30年３月公示 文部科学省）
その他（受講上の注意）
私語・無気力厳禁。
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

特別支援教育論 (Theory of Special Educational Needs)			担当教員	乙部　貴幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2219	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

本授業では、心身の障害や生活環境による困難を抱える幼児・児童・生徒の状態像を理解するとともに、適切に支援していくための基本的な考え方を身につける。また、特別支援教育を支える理念、制度、仕組みを理解し、それを実現するための協働体制について理解する。このため、講義を中心としながら、適宜ワークシートなどを用いて自ら考える機会を持ちながら授業を進めていく。

授 業 の 到 達 目 標

通常の学級にも在籍している、発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等がある幼児、児童及び生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション：特別な支援を必要とする児童および生徒
　事後学習：ワークシート1「教科書の中で自分が最も関心のある章を要約してまとめよう」（4時間）
第2回：特別支援教育を支える理念：特別支援教育とは何か
　事前学習：「特別支援教育」をキーワードとして、様々な記事を読むこと（2時間）
　事後学習：教科書p.3～p.19を熟読すること（2時間）
第3回：障害の状態像と支援方法の理解①：知的能力障害とダウン症
　事前学習：「知的障害」「ダウン症」をキーワードとして、該当の子どもを持つ親のブログを複数読むこと（2時間）
　事後学習：教科書p.141～p.153を熟読すること（2時間）
第4回：障害の状態像と支援方法の理解②：自閉症スペクトラム障害
　事前学習：「自閉症」をキーワードとして、該当の子どもを持つ親のブログを複数読むこと（2時間）
　事後学習：教科書p.115～p.128を熟読すること（2時間）
第5回：障害の状態像と支援方法の理解③：注意欠如・多動性障害
　事前学習：「ADHD」をキーワードとして、該当の子どもを持つ親のブログを複数読むこと（2時間）
　事後学習：教科書p.105～p.113を熟読すること（2時間）
第6回：障害の状態像と支援方法の理解④：限局性学習障害と協調運動障害
　事前学習：「LD」をキーワードとして、該当の子どもを持つ親のブログを複数読むこと（2時間）
　事後学習：教科書p.97～p.105を熟読すること（2時間）
第7回：障害の状態像と支援方法の理解⑤：視覚・聴覚障害
　事前学習：「視覚障害」「聴覚障害」をキーワードとして、該当の子どもを持つ親のブログを複数読むこと（2時間）
　事後学習：教科書p.177～p.195を熟読すること（2時間）
第8回：障害の状態像と支援方法の理解⑥：コミュニケーションの障害
　事前学習：「言語障害」「構音障害」「吃音」をキーワードとして、該当の子どもを持つ親のブログを複数読むこと（2時間）
　事後学習：教科書p.134～p.140を熟読すること（2時間）
第9回：障害の状態像と支援方法の理解⑦：肢体不自由と病弱
　事前学習：「脳性まひ」「ネフローゼ症候群」などの子どもを持つ親のブログを複数読むこと（2時間）
　事後学習：教科書p.155～p.175を熟読すること（2時間）

第10回：生活環境による特別な教育的ニーズの理解と支援
　　事前学習：「子どもの貧困」をキーワードとして、様々な記事を読むこと（２時間）
　　事後学習：ワークシート２「子どもを育てるにはどれくらいお金がかかるかを調べてみよう」（２時間）
第11回：問題行動と発達のグレーゾーン
　　事後学習：ワークシート３「校内またはクラス内で弱い立場にいる生徒の背景を考えよう」（４時間）
第12回：特別支援教育に関する制度とその仕組み
　　事前学習：県内の特別支援学校のホームページを見て、どのような活動を行っているか調べること（２時間）
　　事後学習：教科書p.21～p.37を熟読すること（２時間）
第13回：教育の形態とインクルーシブ教育
　　事後学習：「インクルーシブ教育」「合理的配慮」をキーワードとして、様々な記事を読むこと（３時間）
　　事後学習：教科書p.18～p.19を熟読すること（１時間）
第14回：個別の指導計画を作成する意義と方法
　　事後学習：教科書p.77～p.94を熟読すること（２時間）
第15回：支援体制の構築と連携の重要性
　　事後学習：教科書３章および13～16章を熟読すること（６時間）
定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業内で提示するワークシート（30%）、定期試験（70%）

成　績　評　価　基　準

１．授業において説明する主要な概念・用語を正確に理解しているか。
２．子どもやその保護者の視点から支援を考えることができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト
はじめての特別支援教育--教職を目指す大学生のために 改訂版（柘植雅義、渡部匡隆、二宮信一、納富恵子編、有斐閣、平成26年）
参考書・参考資料等
子どもの発達と学校［第３版］Ⅱ　特別支援教育への理解（宮川充司、大野久、谷口明子、大野木裕明 編、ナカニシヤ出版、令和元年）
特別支援教育総論：インクルーシブ時代の理論と実践（川合紀宗、若松昭彦、牟田口辰己 編、北大路書房、平成28年）
特別支援教育の基礎・基本 新訂版（独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所、ジアース教育新社、平成27年）
応用行動分析で特別支援教育が変わる ── 子どもへの指導方略を見つける方程式（山本淳一、池田聡子 編、図書文化社、平成17年）

その他（受講上の注意）

インターネットは事例の宝庫です。本授業では準備学習においてネット上の様々な事例を検索し、読んで、各自各様の思いを巡らせてほしいのですが、同時にそれらは一面的なものの見方をしているものも少なくありません。立場による捉え方の違いを常に意識しながら取り組んでください。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育課程論 (Theory of Education Curriculum)			担当教員	高野　秀晴
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2205	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

教育課程とは、学習指導要領によって示される基準にもとづいて、各学校が編成する教育計画のことである。本授業では、学習指導要領（特に「前文」と「第1章」）を精読することを通じて、上記の到達目標を達成できるよう努める。また、過去の学習指導要領についても理解を深め、教育課程編成とそのマネジメントの意義を、歴史的観点からも考察できる力量を培う。

授業の到達目標

・学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を説明できる。
・各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を説明できる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション──教育課程とは何か
　事前学習：シラバスをよく読んで、学修計画を立てる。（2時間）
　事後学習：関連図書を検索したうえで、読書計画を立てる。（2時間）
第2回：学習指導要領とは何か
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第3回：学習指導要領を読む（1）──「教育課程の役割」について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第4回：学習指導要領を読む（2）──「教科等横断的な視点」について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第5回：学習指導要領を読む（3）──「教育課程の編成」について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第6回：学習指導要領を読む（4）──「教育課程の実施と学習評価」について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第7回：学力とは何か
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第8回：評価は何のために行なうのか
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第9回：学習評価からカリキュラム・マネジメントへ
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第10回：学習指導要領の歴史的変遷（1）──1940年代後半
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）

第11回：学習指導要領の歴史的変遷（２）――1950～60年代
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第12回：学習指導要領の歴史的変遷（３）――1970～80年代
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第13回：学習指導要領の歴史的変遷（４）――1990年代以降
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第14回：いわゆる「ゆとり教育」とは何だったのか
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第15回：まとめ
　　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読む。（２時間）
　　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（80％）
平常点（20％）
（平常点は、授業への参加状況と授業時の課題の提出状況により判断する）

成　績　評　価　基　準

・学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を説明できるか。
・各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を説明できるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
・テキスト 小学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省） 中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省） ・参考図書 授業時に指示する。
その他（受講上の注意）
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語科教育法Ⅰ (English Language Teaching Methodology Ⅰ)			担当教員	フッド　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2204	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

英語教育の目的について考え、英語でディスカッションする。先行研究をもとに、第2言語習得理論および外国語教授法についての基本的な知識および理解を深める。学習者、特に第2言語学習者について先行研究などに基づいた理解を図る。

授 業 の 到 達 目 標

英語教育の目的について理解し、言語習得および外国語教授法について基本的な知識を得ることができる。学習者、特に第2言語学習者について、先行研究などに基づく基本的な理解ができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Team等）　■発表・プレゼンテーション（Teams等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：15回の全体計画と学修のポイント、成績評価と学習の仕方
　事前学習：この講座を受講する目的・理由を発表できるようにしてくる。（2時間）
　事後学習：英語教員になるために今後どのように自己研鑽をすすめるかレポートにする。（2時間）
第2回：英語教育の目的①── 英語学習の意義、教育の目的と英語教育（ディスカッション）
　事前学習：自分が小学校、中学校、高校で英語を学習してきた意義と、個人的目的について発表できるようにしてくる。（2時間）
　事後学習：英語学習の教育的意義、社会的意義をレポートにまとめる。（2時間）
第3回：英語教育の目的②── 学習指導要領（ディスカッション）
　事前学習：自分が受けて来た小学校、中学校、高校の英語教育はどのような目的で行われてきたと思うか、そのように思う理由を含めて発表できるようにして来る。（2時間）
　事後学習：自分が受けて来た英語教育が、学習指導要領に明記された目標を達成するためにどのようにされていたと考えるかレポートにまとめる。（2時間）
第4回：第2言語習得理論①── コミュニケ ── ション能力の構成要素（ディスカッション）
　事前学習：自分が英語でコミュニケーションをとる時に必要と思われる能力を分析してくる。（2時間）
　事後学習：コミュニケーション能力の構成要素の中で、自分の能力で更に努力を要する能力は何か、そしてそれはどのように習得できるかレポートにまとめる。（2時間）
第5回：第2言語習得理論②－インプット・アウトプット・インタラクション（ディスカッション）
　事前学習：自分はどのように英語コミュニケーション能力を伸ばしてきたか考えてくる。（2時間）
　事後学習：自分の言語習得過程に、インプット・アウトプット・インタラクションがどのような重要性を持ってきたかレポートにまとめる。（2時間）
第6回：第2言語習得理論③－UG, Behaviourism, Socio-cultural theoryなど（ディスカッション）
　事前学習：自分はどのように日本語を使えるようになったか考えてくる。（2時間）
　事後学習：授業で扱われた第2言語習得理論が、自分の英語習得過程にどのように当てはまるか或は当てはまらないかレポートにまとめる。（2時間）
第7回：外国語教授法①（ディスカッション）
　事前学習：中学校・高校で受けて来た英語の授業がどのように行われてきたか振り返り、先生がどのような方法で英語を教えようとしていたか考えてくる。（2時間）
　事後学習：今回の授業で学習した外国語教授法の strong points, weak points についてレポートにまとめる。（2時間）
第8回：外国語教授法②（ディスカッション）
　事前学習：英語の授業を基本的に全て英語で教えると言うことに対する自分の意見をまとめてくる。（2時間）
　事後学習：今回の授業で学習した外国語教授法の strong points, weak points についてレポートにまとめる。（2時間）

第９回：外国語教授法③（ディスカッション）
事前学習：中学校・高校の英語の授業で経験したコミュニケーション活動について振り返り、良かったこと・良くなかったことなどをまとめてくる。（２時間）
事後学習：自分が英語の授業をするとき、使いたい教授法をいくつか取り上げ、なぜそのような方法を使いたいかレポートにまとめる。（２時間）
第10回：学習者①――motivation & learning strategies（ディスカッション）
事前学習：自分が英語を学習する際、どのようなことでモーティベーションを上げることができるか、また、英語によるコミュニケーション力を伸ばすために自分はどのような方略をとっているか、まとめてくる。（２時間）
事後学習：生徒のmotivation を高めるためにどのような方法があるか、また、なぜそのような方法が有効かレポートにまとめる。（２時間）
第11回：学習者②－learner differences（ディスカッション）
事前学習：英語学習に年齢が関係するか、しないか、理由を含めて自分の考えをまとめてくる。（２時間）
事後学習：学習者にはどのような違いがあり得るか、また、そのような違いに、英語教師としてどのように対応して行けば良いか、自分の考えをレポートにまとめる。（２時間）
第12回：言語要素の指導①－音声の指導（ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：自分の発音の学習方法をまとめてくる。（２時間）
事後学習：音声の指導において大切な点をレポートにまとめる。（２時間）
第13回：言語要素の指導②－文字、語彙の指導（ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：自分の語彙（スペリングを含む）の学習方法をまとめてくる。（２時間）
事後学習：文字、語彙の指導において大切な点をレポートにまとめる。（２時間）
第14回：言語要素の指導③－文法の指導（ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：文法事項をひとつ選び、指導を想定した案を用意してくる。（２時間）
事後学習：文法の指導において大切なことをレポートにまとめる。（２時間）
第15回：まとめ（ディスカッション）
事前学習：これまでの授業を振り返り、理解が不足していると思われる項目をまとめてくる。（２時間）
事後学習：事前学習で理解が不足していたとした項目について理解を深めたことをまとめる。（２時間）
定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業での活動および課題40％、小テスト30％、定期試験30％

成　績　評　価　基　準

・英語教育の目的について理解しているか。
・言語習得および外国語教授法について基本的な知識を得たか。
・積極的に議論に参加できたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
■定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト
『新・グローバル時代の英語教育』岡秀夫 編著　成美堂　2020年
『小学校学習指導要領』(平成29年３月公示　文部科学省)
『中学校学習指導要領』(平成29年３月公示　文部科学省)
『高等学校学習指導要領』(平成30年３月公示　文部科学省)
参考図書
『英語教育用語辞典　第３版』白畑知彦 他 大修館書店　2019年

その他(受講上の注意)

この授業はほとんど全て英語で行われる。ディスカッションへの積極的な参加を重視する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語科教育法Ⅱ (English Language Teaching MethodologyⅡ)			担当教員	フッド　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2206	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

実際の授業展開を想定し指導計画を立て、模擬授業および評価テスト作成をし、その内容について改善点などを英語で議論する。小学校の外国語活動・英語ならびに中学校、高校の英語の授業ビデオ視聴などを通し、小・中・高・大の英語教育の連携はどうあるべきかを英語で議論する。また、それぞれの校種の教科書の中で異文化理解がどのように扱われているかを調べ、英語教育の中で生徒の異文化理解をどう深めていくべきか英語で議論する。

授　業　の　到　達　目　標

学習指導過程および評価について理解を深め、小学校の外国語活動・外国語科の学習指導要領や教材、並びに小・中・高・大の英語教育の連携、異文化理解教育について基本的な知識及び理解を得る。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：15回の全体計画と学修のポイント、成績評価と学習の仕方（ディスカッション）
　事前学習：前期に学習したことを復習してくる。（2時間）
　事後学習：後期の自分の目標をレポートにする。（2時間）
第2回：4技能の活動①── 聞くこと、話すこと（ディスカッション）
　事前学習：listeningとspeakingの能力を自分がどのように身に着けて来たか発表できるようにまとめてくる。（2時間）
　事後学習：listeningとspeakingの指導において大切なことをレポートにまとめる。（2時間）
第3回：4技能の活動②── 読むこと、書くこと（ディスカッション）
　事前学習：readingとwritingの能力を自分がどのように身に着けて来たか発表できるようにまとめてくる。（2時間）
　事後学習：readingとwritingの指導において大切なことをレポートにまとめる。（2時間）
第4回：4技能の活動③── 4技能の統合（ディスカッション、プレゼンテーション）
　事前学習：現実の生活において、4技能をどのようにコミュニケーションに使っているか発表できるようにまとめてくる。（2時間）
　事後学習：高校で使用されている教科書の中から1レッスンを選び、4技能を統合した指導過程を考える。（2時間）
第5回：学習指導案の立て方①── 目標設定、生徒理解、教材研究（ディスカッション）
　事前学習：授業計画を立てる時に大切なことを考えてくる。（2時間）
　事後学習：学習指導案を立てる時の目標設定、教材研究、生徒の理解度の把握において、大切なことをレポートにまとめる。（2時間）
第6回：学習指導案の立て方②── 授業の組み立て方（ディスカッション）
　事前学習：中学校で使われている教科書の中から1レッスン選び、学習指導案を書いて来る。（2時間）
　事後学習：今回の授業を基に、学習指導案を書き直す。（2時間）
第7回：学習指導案の立て方③── マイクロティーチング（課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション）
　事前学習：前回の授業の事後学習で書き直した学習指導案を使ってマイクロティーチングをする準備をしてくる。（2時間）
　事後学習：今回のマイクロティーチングの反省をレポートにまとめる。（2時間）
第8回：教材①── 教科書・辞書・教具（ディスカッション）
　事前学習：中・高で使用した教材にはどんなものがあったか、どのような使い方をされていたかまとめてくる。（2時間）
　事後学習：どのような辞書指導が望ましいか考えをレポートにまとめる。（2時間）

第９回：教材②――ICTの活用（課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：インターネット利用してどんな語学学習ができるかリサーチしてくる。（２時間）
事後学習：言語教育教材にどのようなものがあり、どのように利用できるかレポートにまとめる。（２時間）
第10回：評価①――学習到達目標と評価（ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：生徒の学習評価をする際、何が大切か考えを発表できるようにして来る。（２時間）
事後学習：学習到達目標と評価の関係、大切なことをレポートにまとめる。（２時間）
第11回：評価②――言語テストの作成と実施（課題解決型学習、ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：前回の授業を基に、評価テストを作成してくる。（２時間）
事後学習：今回の授業を基に、事前学習で作成した評価テストの反省をレポートにする。（２時間）
第12回：異文化理解教育－英語教育の中での異文化理解教育の意義と目的（ディスカッション）
事前学習：自分が受けて来た英語の授業の中で、どのように異文化理解教育がなされていたかまとめてくる。（２時間）
事後学習：英語教育の中での異文化理解教育の意義と目的をレポートにまとめる。（２時間）
第13回：小学校英語と小・中・高・大の連携（ディスカッション、プレゼンテーション）
事前学習：小学校の英語教育の課題をリサーチして来る。（２時間）
事後学習：小学校の外国語活動の授業（録画）を視聴し、感想をまとめる。（２時間）
第14回：教員養成と教員研修（ディスカッション）
事前学習：日本社会が英語教員に求める資質・能力についてリサーチしてくる。（２時間）
事後学習：自分が理想とする英語教員になるためにはどのような研鑽をしていかなければならないかレポートにまとめる。（２時間）
第15回：まとめ（ディスカッション）
事前学習：これまでに学習したことを振り返り、理解が不足していることをまとめてくる。（２時間）
事後学習：事前学習でまとめたことについて、わかったことをまとめる。（２時間）
定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

授業での活動および課題40％、小テスト30％、定期試験30％

成　績　評　価　基　準

・学習指導過程および評価について理解が深まったか。
・小学校の外国語活動・外国語科の学習指導要領や教材、並びに小・中・高・大の英語教育の連携、異文化理解教育について基本的な知識及び理解を得たか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト
『新・グローバル時代の英語教育』岡秀夫 編著　成美堂　2020年
『小学校学習指導要領』(平成29年３月公示　文部科学省)
『中学校学習指導要領』(平成29年３月公示　文部科学省)
『高等学校学習指導要領』(平成30年３月公示　文部科学省)
参考図書
『英語教育用語辞典　第３版』白畑知彦 他 大修館書店　2019年

その他(受講上の注意)

この授業はほとんど全て英語で行われる。ディスカッションへの積極的な参加を重視する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語科教育法Ⅲ (English Language Teaching MethodologⅢ)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2309	2単位	3年前期	講義	選択
<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目				

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

学習指導案の書き方、授業展開の方法、指導技術について理解を深めるとともに、具体的な指導事例の検討を通して効果的な指導法を学ぶ。さらに、個別に学習指導案を作成し、模擬授業を実施する機会を持つ。模擬授業の検討・評価を通して、実践的な指導力を身につける。

授 業 の 到 達 目 標

中学校及び高等学校の学習指導要領及び教科書に基づき、学習到達目標及び指導計画授業の組み立て、学習指導案の作成、基本的な指導法や授業評価について理解し、実際に授業を行うことができる力を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション、学習指導要領
　事前学習：事前にシラバスやテキストに目を通し、質問事項をまとめておく。（2時間）
　事後学習：新旧学習指導要領を比較し、変更点を確認する。（2時間）
第2回：教科書、学習到達目標設定と指導計画
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：実際に中・高で使用されている英語科教科書に目を通す。（2時間）
第3回：授業の構成、学習指導案の作成
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：授業の構成、学習指導案の作成について復習する。（2時間）
第4回：中学校の授業例
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：中学校の授業例を参考にして授業の組み立てを復習する。（2時間）
第5回：高等学校の授業例
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：高等学校の授業例を参考にして授業の組み立てを復習する。（2時間）
第6回：授業の工夫（1）：Warm-up と Review（プレゼンテーション）
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：授業におけるWarm-up及びReviewのしかたを復習する。（2時間）
第7回：授業の工夫（2）：文法・文型の導入（プレゼンテーション）
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：授業における文法・文型の導入のしかたを復習する。（2時間）
第8回：授業の工夫（3）：コミュニケーション活動（プレゼンテーション）
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：授業におけるコミュニケーション活動のしかたを復習する。（2時間）

第９回：授業の工夫（４）：語彙の導入と指導（プレゼンテーション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（２時間）
　　事後学習：授業における語彙の導入と指導のしかたを復習する。（２時間）
第10回：授業の工夫（５）：教科書本文の指導（プレゼンテーション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（２時間）
　　事後学習：授業における教科書本文の指導のしかたを復習する。（２時間）
第11回：模擬授業（発表）・検討と評価（１）：Warm-up と Review（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業におけるWarm-up及びReviewのしかたを復習する。（２時間）
第12回：模擬授業（発表）・検討と評価（２）：文法・文型の導入（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業における文法・文型の導入のしかたを復習する。（２時間）
第13回：模擬授業（発表）・検討と評価（３）：コミュニケーション活動（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業におけるコミュニケーション活動のしかたを復習する。（２時間）
第14回：模擬授業（発表）・検討と評価（４）：語彙の導入と指導（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業における語彙の導入と指導のしかたを復習する。（２時間）
第15回：模擬授業（発表）・検討と評価（５）：教科書本文の指導（ディスカッション）
　　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
　　事後学習：授業における教科書本文の指導のしかたを復習する。（２時間）
定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）、課題・小テスト・模擬授業（35%）、授業への取り組み（15%）
※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

１．学習指導要領や授業準備に必要な事柄について理解できているか。
２．学習指導案の書き方を理解し、作成できるか。
３．授業の組み立ての基本を理解できているか。
４．基本的な指導法や指導技術を理解し、活用できるか。
５．授業評価の観点を知り、客観的に授業を評価できるか。
６．ICTを効果的に指導に活用できるか。
７．模擬授業を通して、実際に指導できるようになったか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト
英語科教育実習ハンドブック　第4版　（加藤茂夫、杉山敏、荒木美恵子著　大修館書店　令和2年）
英語教育用語事典　第3版　（白畑知彦、冨田祐一、村野井仁、若林茂則著　大修館書店　令和元年）
参考資料
小学校学習指導要領（平成29年3月公示　文部科学省）
中学校学習指導要領（平成29年3月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年3月公示　文部科学省）

その他(受講上の注意)

主体的な学習を通して、教師に必要な指導力を身につけることを期待する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

英語科教育法Ⅳ (English Language Teaching MethodologyⅣ)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2313	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

コミュニケーション能力を高める英語の授業を行うために必要な理論について理解を深めるとともに、そのための効果的な指導法を学ぶ。個別に学習指導案を作成し、模擬授業を実施する機会を持ち、その検討・評価を通して、実践的な指導力を身につける。

授 業 の 到 達 目 標

コミュニケーション能力の養成における課題を理解し、それを踏まえてコミュニケーション能力を養成する効果的な指導法についての知識やスキルを身につける。模擬授業を通して、指導法や指導技術を実際に活用できるようにする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：日本の英語教育とめざすべき目標
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：日本の英語教育とめざすべき目標について復習する。（2時間）
第2回：学習指導要領と「3つの資質・能力」及び「5つの領域」
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：学習指導要領と「3つの資質・能力」及び「5つの領域」について復習する。（2時間）
第3回：コミュニケーション能力について
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：コミュニケーション能力について復習する。（2時間）
第4回：コミュニケーション能力の養成のための指導に関する理論
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキスト読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：コミュニケーション能力の養成のための指導について復習する。（2時間）
第5回：コミュニケーション能力養成の問題点
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：コミュニケーション能力養成の問題点について復習する。（2時間）
第6回：コミュニケーション能力養成のための効果的な指導法
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：コミュニケーション能力養成のための効果的な指導法について復習する。（2時間）
第7回：コミュニケーション能力の養成と学習者要因
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：コミュニケーション能力の養成と学習者要因について復習する。（2時間）
第8回：コミュニケーション能力の養成と評価
　事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
　　事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（2時間）
　事後学習：コミュニケーション能力の養成と評価について復習する。（2時間）

第９回：コミュニケーション能力の養成と小学校・中学校・高等学校間の連携
事前学習:英語教育に関する専門用語を学習する。
事前にテキストを読み、レポーティング資料を作成する。（２時間）
事後学習：コミュニケーション能力の養成と小学校・中学校・高等学校間の連携について復習する。（２時間）
第10回：指導技術・模擬授業（発表）・検討と評価（１）導入・発問の工夫（ディスカッション）
事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
事後学習：授業における導入・発問の工夫を復習する。（２時間）
第11回：指導技術・模擬授業（発表）・検討と評価（２）教科書本文の扱い（ディスカッション）
事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
事後学習：授業における教科書本文の扱い方を復習する。（２時間）
第12回：指導技術・模擬授業（発表）・検討と評価（３）コミュニケーション活動（ディスカッション）
事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
事後学習：授業におけるコミュニケーション活動のしかたを復習する。（２時間）
第13回：指導技術・模擬授業（発表）・検討と評価（４）言語形式・意味・機能（ディスカッション）
事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
事後学習：授業における言語形式・意味・機能の対応づけを復習する。（２時間）
第14回：指導技術・模擬授業（発表）・検討と評価（５）スキルの統合（ディスカッション）
事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
事後学習：授業におけるスキルの統合のしかたを復習する。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：英語教育に関する専門用語を学習する。
学習指導案・教材を作成し、模擬授業の準備をする。（２時間）
事後学習：授業における指導方法全般を復習する。（２時間）
定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50%）、課題・小テスト・模擬授業（35%）、授業への取り組み（15%）
※授業への取り組みは、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する。

成　績　評　価　基　準

１．コミュニケーション能力とその養成における問題点について理解できているか。
２．コミュニケーション能力を養成する効果的な指導法について理解できているか。
３．模擬授業を通して、指導法や指導技術を活用できるようになったか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト
意見・考え重視の視点からの英語授業改革（大下邦幸監修、東京書籍、平成26年）
英語教育用語事典　第3版　（白畑知彦、冨田祐一、村野井仁、若林茂則著　大修館書店　令和元年）
参考資料
小学校学習指導要領（平成29年3月公示　文部科学省）
中学校学習指導要領（平成29年3月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年3月公示　文部科学省）
コミュニカティブ・クラスのすすめ（大下邦幸編著　東京書籍　平成21年）

その他(受講上の注意)

主体的な学習を通して、教師に必要な指導力を身につけることを期待する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

道徳教育の理論と方法 (Theory and Methods of Moral Education)			担当教員	高野　秀晴
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2314	2単位	3年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

学校で道徳教育をいかに行うかが大きな課題となっている。本授業では、この古くて新しい課題について理解を深めたうえで、学習指導要領に示される道徳教育の目標や内容について考察していく。これと並行して、グループごとに指導案を作成し、順次模擬授業を実施してもらう。これらの作業を通じて、道徳教育の指導法について検討していく。

授 業 の 到 達 目 標

・道徳の意義や原理等を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を説明できる。
・道徳教育における指導計画の必要性を理解したうえで教材研究を行い、適切な指導法にもとづく授業計画を立てることができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　■その他（模擬授業）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：オリエンテーション
　事前学習：シラバスをよく読み、学修計画を立てる。（2時間）
　事後学習：参考図書を検索し読書計画を立てるとともに、指導案の作成計画を立てる。（2時間）
第2回：道徳教育の難しさ（1）── 道徳は知識なのか行為なのか
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第3回：道徳教育の難しさ（2）── 宗教と道徳について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第4回：道徳教育の難しさ（3）── 評価のあり方について
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第5回：道徳性発達理論についての考察
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第6回：学習指導要領を読む ── 第1章「総則」、第3章「特別の教科　道徳」
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第7回：教材研究（1）──『心のノート』と『私たちの道徳』を中心に（グループワーク）
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第8回：教材研究（2）── 読み物教材の使い方（グループワーク）
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第9回：日本における道徳教育の歴史
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案の作成を進める。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）
第10回：指導法の検討（1）── インカルケーション（模擬授業、討議）
　事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（2時間）
　事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（2時間）

第11回：指導法の検討（２）── ディベート（模擬授業、討議）
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（２時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第12回：指導法の検討（３）── モラルジレンマ（模擬授業、討議）
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（２時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第13回：指導法の検討（４）── ロールプレイ（模擬授業、討議）
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（２時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第14回：指導法の検討（５）── 構成的グループエンカウンター（模擬授業、討議）
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（２時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第15回：まとめ
事前学習：授業内容に関連する資料を集めて読むとともに、指導案を作成または修正する。（２時間）
事後学習：ノートをまとめ直すとともに、関連図書を読み理解を深める。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

定期試験（50％）
指導案の内容（25％）
平常点（25％）
（平常点は、授業への参加状況、授業時の課題の内容、模擬授業に対する講評の内容をもとに評価する。）

成　績　評　価　基　準

・道徳の意義や原理等を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を説明できるか。
・道徳教育における指導計画の必要性を理解したうえで教材研究を行い、適切な指導法にもとづく授業計画を立てることができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書
テキスト：「小学校学習指導要領」（平成29年３月告示　文部科学省）、「中学校学習指導要領」（平成29年３月告示　文部科学省） 参考図書：授業時に指示する。
その他（受講上の注意）
オフィスアワー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

特別活動及び総合的な学習時間の指導法 (Teaching method of an extraordinary and overall learning time)			担当教員	伊禮　三之
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2218	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方、指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付けるとともに、総合的な学習の時間の指導と評価の考え方および実践上の留意点を理解する。また、特別活動の意義、目標及び内容と、特別活動の指導の在り方を理解する。

授 業 の 到 達 目 標

総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。また、各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究する学びを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付ける。
特別活動は、学校における様々な構成の集団での活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々に行われる活動の総体であり、学校教育全体における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」・「社会参画」・「自己実現」の三つの視点や「チームとしての学校」の視点を持つとともに、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付ける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：学習指導要領における特別活動と総合的な学習の時間の意義・目標
　事前学習：学習指導要領における特別活動と総合的な学習の時間の意義・目標を読んで、要点をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに特別活動と総合的な学習の時間の意義・目標について、リフレクションシートにまとめる。（2時間）
第2回：教育課程における特別活動の位置づけや総合的な学習の時間の果たす役割
　事前学習：中・高校の学習指導要領の総則の教育課程の編成に関する部分を読み、特別活動の位置づけや総合的な学習の時間の果たす役割等について、要点をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：講義をもとに特別活動の位置づけや総合的な学習の時間の果たす役割等について、リフレクションシートにまとめる。（2時間）
第3回：特別活動の目標と各活動・学校行事の目標との関連（ワークショップ）
　事前学習：中・高校の『解説　特別活動編』の特別活動の目標と各活動等の目標との関連する部分を読み、要点をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに、特別活動の目標と各活動等の目標との関連についてリフレクションシートにまとめる。（2時間）
第4回：学級活動の実際 ── グループワークによる人間関係づくり（グループワークと発表）
　事前学習：中・高校の『解説　特別活動編』の学級・HR活動の部分を読み、要点をまとめておくこと。（2時間）
　事後学習：事例を通したグループワークと発表をもとに学級活動の目標や内容等について、リフレクションシートにまとめる。（2時間）
第5回：生徒会活動の特質 ── 実践事例を通して考える（ワークショップとグループワーク、発表）
　事前学習：中・高校の『解説　特別活動編』の生徒会活動の部分を読み、要点をまとめておくこと。また、各自の生徒会活動に関する体験を簡単に書いて準備すること。（2時間）
　事後学習：事例を通したグループワークと発表をもとに生徒会活動の目標と内容等について、リフレクションシートにまとめる。（2時間）

第６回：クラブ活動、学校行事の体験を記録し交流する ―― その特質のリメイク（ワークショップとグループワーク、発表）
事前学習：中・高校の『解説　特別活動編』のクラブ活動・学校行事の部分を読み、要点をまとめておくこと。また、各自のクラブ活動・学校行事に関する体験を簡単に書いて準備すること。（２時間）
事後学習：事例を通したグループワークと発表をもとにクラブ活動・学校行事の目標と内容等について、リフレクションシートにまとめる。（２時間）
第７回：特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画と内容の取り扱い
事前学習：中・高校の『解説　特別活動編』の指導計画の作成と内容の取扱いの部分を読み、要点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに、特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画と内容の取り扱いについてリフレクションシートにまとめる。（２時間）
第８回：総合的な学習の時間の年間指導計画の作成
事前学習：中・高校の『解説　総合的な学習の時間編』の指導計画の作成の部分を読み、要点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに、総合的な学習の時間の指導計画についてリフレクションシートにまとめる。（２時間）
第９回：探究課題の解決を通して育成を目指す資質・能力
事前学習：中・高校の『解説　総合的な学習の時間編』の学習指導の部分を読み、要点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに、探究課題の解決を通して育成を目指す資質・能力についてリフレクションシートにまとめる。（２時間）
第10回：総合的な学習の時間における「考えるための技法」の活用
事前学習：中・高校の『解説　総合的な学習の時間編』の「考えるための技法」の部分を読み、要点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに、「考えるための技法」についてリフレクションシートにまとめる。（２時間）
第11回：現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題（ワークショップとグループワーク、発表）
事前学習：中・高校の『解説　総合的な学習の時間編』の各学校が定める内容の当該部分を読み、要点をまとめておくこと。また、各自の当該テーマに関する体験を簡単に書いて準備すること。（２時間）
事後学習：事例を通したグループワークと発表をもとに、当該テーマについて考えたことをリフレクションシートにまとめる。（２時間）
第12回：地域や学校の特色に応じた課題（ワークショップとグループワーク、発表）
事前学習：中・高校の『解説　総合的な学習の時間編』の各学校が定める内容の当該部分を読み、要点をまとめておくこと。また、各自の当該テーマに関する体験を簡単に書いて準備すること。（２時間）
事後学習：事例を通したグループワークと発表をもとに、当該テーマについて考えたことをリフレクションシートにまとめる。（２時間）
第13回：児童・生徒の興味・関心に基づく課題（ワークショップとグループワーク、発表）
事前学習：中・高校の『解説　総合的な学習の時間編』の各学校が定める内容の当該部分を読み、要点をまとめておくこと。また、各自の当該テーマに関する体験を簡単に書いて準備すること。（２時間）
事後学習：事例を通したグループワークと発表をもとに、当該テーマについて考えたことをリフレクションシートにまとめる。（２時間）
第14回：特別活動と総合的な学習の時間の評価
事前学習：中・高校の『解説　特別活動編』『解説　総合的な学習の時間編』の評価の部分を読み、要点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：講義とテキストの関連項目をもとに、特別活動と総合的な学習の時間の評価についてリフレクションシートにまとめる。（２時間）
第15回：「特別活動」及び「総合的な学習の時間」で求められる教師の力量（討議）
事前学習：これまでの学習から「特別活動」や「総合的な学習の時間」で求められる教師の力について、自分の考え整理し、要点をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：「特別活動」及び「総合的な学習の時間」で求められる教師の力量についてのデスカッションをもとに、改めてその教師の力についてリフレクションシートにまとめる。（２時間）
定期試験は実施しない。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

毎回のＡ４表裏１枚のリフレクション・レポート（30％）、特別活動及び総合的な学習の時間における体験レポート（20％×２回）、講義終了後の最終レポート（30％）で総合的に評価する。

成　績　評　価　基　準

特別活動の意義や目標及び内容を理解しているか。
特別活動の指導の在り方を理解しているか。
総合的な学習の時間の意義や各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解しているか。
総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現のために必要な基礎的な能力を身に付けているか。
総合的な学習の時間の指導と評価の考え方及び実践上の留意点を理解しているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト
中学校学習指導要領解説　総合的な学習の時間編（平成29年７月　文部科学省）
中学校学習指導要領解説　特別活動編（平成29年７月　文部科学省）
高等学校学習指導要領解説　総合的な探究の時間編（平成30年７月 文部科学省）
高等学校学習指導要領解説　特別活動編（平成30年７月　文部科学省）
参考図書
特別活動・総合的学習の理論と指導法（関川悦雄・今泉朝雄編　平成31年２月　弘文堂）

その他（受講上の注意）

総合的な学習の時間には、環境、国際化、福祉、人権、情報など、既存の教科や学問の枠組みでは解決が困難な問題に直面する現代的な問題を取り上げることも多いため、日頃から地球温暖化など現代的なテーマの話題に積極的に触れておくこと。また、いじめ等の社会的な教育問題についても新聞等で積極的に触れておくこと。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育の方法と技術 (Teaching Methods and Skills)			担当教員	篭谷　隆弘
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2207	2単位	2年後期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

プリント資料やウェブ上の資料を参考に教育方法の理論について解説する。関連する事項について各自の考えをもとに、他の受講者と授業内やオンライン上での対話・議論を行う。オンラインフォーラムにおいては、授業テーマに関する自身の考えを述べながら、他者との議論を深める必要がある。また実際に情報機器を活用して教材を作成し、それが適切なものであるかを相互評価する。学習指導案を作成し、それにもとづく模擬授業を行った後、評価を行う。教材制作・模擬授業準備においては、市販のソフトウェア関連の書籍やウェブ上の資料を参考に、授業時間外にも作業を行う必要がある。

授業の到達目標

教育方法に関する基礎的な理論や授業を構成する要件（カリキュラム・児童・教員・教材等）を理解し、設計・実施・評価といった実践に向けての指導技術を身につける。
また、授業に際して情報機器をどのように活用すると効果的か、子どもの情報活用能力の育成にどのような教材を作成し活用すると良いかを考え、それらに関する基礎的な能力を身につける。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　■その他（オンラインでのディスカッション・相互評価）

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：授業の目的・計画・評価方法の説明。学校・教育の現状と課題
　事後学習：学習管理システム（LMS）のフォーラム上に自身の意見を記述する。（2時間）
第2回：カリキュラム、指導法、主体的・対話的で深い学び
　事後学習：LMSのフォーラムにて他者の意見を読み、コメントする。（オンラインディスカッション）
　LMSのフォーラム上に自身のアイデアを記述する。（3時間）
第3回：学習指導要領、指導計画、学習指導案、教材・教具
　事後学習：動画教材を作成しLMSのワークショップに提出する。（6時間）
第4回：教育の情報化、情報機器の活用、情報モラル、メディアリテラシー
　事後学習：LMSのワークショップに提出された動画教材を評価する。（オンラインでの相互評価）
　LMSのフォーラム上に自身の意見を記述する。（4時間）
第5回：デジタル教科書、デジタル教材
　事後学習：LMSのフォーラム上に自身の意見を記述する。（4時間）
第6回：Webサービスを利用したアンケートや問題の作成と分析
　事後学習：Webアンケートを作成しLMSのフォーラムに投稿する。（4時間）
第7回：ストーリー型教材の設計（テーマ設定、展開）
　事後学習：Webアンケートを回答する。ストーリー型教材のテーマを決め素材データを準備する。（4時間）
第8回：ストーリー型教材の制作（画像・写真・音・アニメーションの活用）（実技）
　事後学習：Webアンケートを分析する。ストーリー型教材を完成させワークショップに提出する。（5時間）
第9回：プログラミングと論理的思考について
　事後学習：ストーリー型教材を評価する。ミニプログラムを作成する。（2時間）
第10回：プログラミングによる教材の設計（思考、判断、手順）
　事後学習：教材プログラムを作成する。（4時間）
第11回：プログラミングによる教材の制作（実技）
　事後学習：教材プログラムを完成させる。（6時間）
第12回：教育メディアを活用した模擬授業の計画（グループワーク）
　事後学習：グループで模擬授業の役割分担と指導案を決める。（2時間）

第13回：教育メディアを活用した模擬授業の実施と評価（グループ発表）（発表・グループワーク）
事前学習：模擬授業の準備を行なう。（２時間）
事後学習：模擬授業の評価を記録する。（２時間）
第14回：教育メディアを活用した模擬授業の実施と評価（ディスカッションと改善提案）（発表・グループワーク）
事前学習：模擬授業の準備を行なう。（２時間）
事後学習：模擬授業の評価を記録する。（２時間）
第15回：まとめ（評価の集計と分析）（グループワーク）
事後学習：模擬授業の評価集計・分析を行なう。授業全体の振り返りを行いレポートとしてまとめる。（６時間）
定期試験は行わない

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課せられた課題・成果物を提出していることを重視して評価する。
受講態度（10%）、前半内容に関連する課題と制作物（30%）、後半内容に関する制作物（40%）、模擬授業内容と相互評価（20%）

成　績　評　価　基　準

授業の設計・実施・評価等に関する知識を修得しているか。
教材や教育メディアの選択・構成・活用等に関する力量が身についているか。
模擬授業について周到に準備を行い、的確に実施できているか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
３）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

テキスト
プリント資料および学習支援システムでのリソースにて提示する。
参考図書
教育方法論（教職課程シリーズ）（谷田貝公昭・成田国英・林邦雄著　一藝社　平成16年）
教育の方法と技術（教育学のポイント・シリーズ）（柴田義松・山崎準二著　学文社　平成17年）
参考資料：
中学校学習指導要領（平成29年３月公示　文部科学省）
高等学校学習指導要領（平成30年３月公示　文部科学省）
プリント資料および学習支援システムでのリソースを利用する。
オンラインフォーラムにおいて、授業テーマに関する自身の考えを述べ、他者との議論も深める必要がある。
教材制作・模擬授業準備においては、市販のソフトウェア関連の書籍やWWWの資料を参考に、授業時間外にも作業を行う必要がある。

その他（受講上の注意）

欠席した場合には、授業の進度を確認し次週に備えること。模擬授業に関連して準備・練習を十分行うこと。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

生徒・進路指導論 (Educational Guidance and Consultation)			担当教員	小林　仁章
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2310	2単位	2年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わる、すぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

生徒一人一人の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めていく指導・援助の在り方を理解する。特に、規範意識・倫理観の低下やいじめ・不登校等時代の変化に応じた今日的な課題に対して、組織的・体系的な取り組み方や指導原理について理解を深める。また、キャリア教育を推進するため、人間関係調整能力や将来設計能力等の意義について理解を深める。

授業の到達目標

生徒の社会的な資質を高め、自己を生かす、総合的な活動を企画するための基礎理論と実践的な視点を理解する。生徒の今日的な発達課題について理解し、多様な指導・援助の仕方を身に付け、説明することができる。主体的な進路の選択・決定を促す基本原理を理解し、説明することができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　□討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：生徒指導の意義と課題（課題解決型学習を含む）
　事前学習：授業前にテキストの第1章第1節を読み、質問事項をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ、課題をレポートにまとめる。（2時間）
第2回：教育課程における生徒指導の位置付け
　事前学習：授業前にテキストの第1章第2節を読み、質問事項をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ、課題をレポートにまとめる。（2時間）
第3回：生徒指導における児童生徒理解（課題解決型学習を含む）
　事前学習：授業前にテキストの第3章を読み，質問事項をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ、課題をレポートにまとめる。（2時間）
第4回：学校における生徒指導体制
　事前学習：授業前にテキストの第4章第1節～第2節を読み，質問事項をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ、課題をレポートにまとめる。（2時間）
第5回：生徒指導と教育相談（課題解決型学習を含む）
　事前学習：授業前にテキストの第5章第1節～第2節を読み，質問事項をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ，課題をレポートにまとめる。（2時間）
第6回：教育相談の実際
　事前学習：授業前にテキストの第5章第3節～第4節を読み、質問事項をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ、課題をレポートにまとめる。（2時間）
第7回：教育を支えるもの（生徒指導の根幹にあるもの）
　事前学習：別途配付資料を読み、質問事項をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ、課題をレポートにまとめる。（2時間）
第8回：生徒指導の進め方1～全体に対する指導（課題解決型学習を含む）
　事前学習：授業前にテキストの第6章Ⅰの第1節～第3節を読み，質問事項をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ、課題をレポートにまとめる。（2時間）
第9回：生徒指導の進め方2～個別の課題への指導①（少年非行・暴力・家出等）
　事前学習：授業前にテキストの第6章Ⅱの第1節～第5節，第11節を読み、質問事項をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ，課題をレポートにまとめる。（2時間）
第10回：生徒指導の進め方3～個別の課題への指導②（不登校、いじめ等）
　事前学習：授業前にテキストの第6章Ⅱの第6節、第12節から第13節を読み，質問事項をまとめておくこと（2時間）
　事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ、課題をレポートにまとめる。（2時間）

第11回：生徒指導の進め方４～個別の課題への指導③（性・自殺・児童虐待等）
事前学習：授業前にテキストの第６章Ⅱの第８節～第10節を読み、質問事項をまとめておくこと（２時間）
事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ、課題をレポートにまとめる。（２時間）
第12回：生徒指導と法教育～校則・体罰と懲戒等（課題解決型学習を含む）
事前学習：授業前にテキストの第７章を読み、質問事項をまとめておくこと（２時間）
事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ，課題をレポートにまとめる。（２時間）
第13回：進路指導の意義と課題
事前学習：進路指導に関する別途配付資料を読み、質問事項をまとめておくこと（２時間）
事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ，課題をレポートにまとめる。（２時間）
第14回：キャリア教育の推進（課題解決型学習を含む）
事前学習：キャリア教育に関する別途配付資料を読み、質問事項をまとめておくこと（２時間）
事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ、課題をレポートにまとめる。（２時間）
第15回：学校における進路指導体制
事前学習：進路指導体制に関する別途配付資料を読み、質問事項をまとめておくこと（２時間）
事後学習：学習事項をさらに深めるために図書館等で調べ，課題をレポートにまとめる。（２時間）
第16回：定期試験

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第16回：■定期試験

成　績　評　価　方　法

定期試験（50％）小レポート（30％）平常点：授業中の積極的な取り組み（20％）

成　績　評　価　基　準

生徒の社会的な資質を高め、自己を生かし、統合的な活動を推進するための基本的な条件等を説明することができるか。生徒の発達段階に応じた今日的な課題を分析し、適切な指導・援助の方法を選択し、その根拠を説明することができるか。主体的な進路の選択・決定を促す基本原理を説明することができるか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

１）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
２）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
３）課題レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
４）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
５）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

テキスト：「生徒指導提要」文部科学省　　参考図書：授業時に随意示す

その他（受講上の注意）
オ フ ィ ス ア ワ ー
教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育相談 (Educational Counseling)			担当教員	佐々木　雅代
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2415	2単位	4年前期	講義	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

教育相談の意義と理論の理解が、実践技術を裏打ちするものとなるために、いじめ、不登校など各種架空事例を用いて、問題の所在や対応策の検討を行う。
教育相談における様々な予防促進的支援技術の体験学習を行う。

授 業 の 到 達 目 標

学校における教育相談の意義と理論を理解する。教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関する基礎的事項を含む）を理解する。教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取り組みや連携の必要性を理解する。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

第1回：15回の全体計画と学習のポイント及び到達目標の説明。教育相談の視点から学校という場、資源について。グループディスカッション。（ディスカッション）
事後学習：チーム学校に関し、指示した課題について、調べレポートにまとめておくこと。（3時間）
第2回：教育相談に生かす心理学的理解；見立て。事例検討で学ぶ、問題の背景、影響要因、資質のとらえ方。心理・社会的側面、学習・発達的側面のとらえ方。傾聴訓練を含むグループディスカッション。（ディスカッション）
事前学習：第1回に配布した資料を熟読しておくこと。（2時間）
事後学習：見立てについて、理解したことをレポートにまとめておくこと。（2時間）
第3回：教育相談に生かす心理学的理解；介入。事例に即して、教育相談のチーム作り、介入プランの立て方。開発的、予防的援助。グループディスカッション。傾聴訓練。（グループワーク）
事前学習：第2回に配布した事例について、自分なりの介入プランを立てること。（2時間）
事後学習：介入プランの立て方について、ポイントをレポートにまとめておくこと。（2時間）
第4回：不登校の現状、対策の有効性について。文科省の調査研究報告等にあたり、多角的視点による対応の考察。（プレゼンテーション）
事前学習：文科省の調査研究報告等前回の授業で指示した資料を調べまとめ、レポートにすること。（3時間）
事後学習：学校現場でどのような対応が望ましいか、学んだことをまとめておくこと。（2時間）
第5回：子供の貧困について。架空事例に触れ、学校生活での問題の現れ方、介入に際して配慮すべきこと、活用できる社会資源。（ディスカッション）
事前学習：日本の実態と、どのような対策がなされているか調べレポ──トにまとめておくこと。（2時間）
事後学習：子どもの貧困について、保育、幼児教育、学校現場でどのような対応が可能か、学んだことをまとめておくこと。（2時間）
第6回：いじめ理解、いじめ対応の基礎知識。非行について教育相談の意味。（ディスカッション）
事前学習：いじめ防止対策推進法について調べ、レポートにまとめておくこと。（2時間）
事後学習：授業で検討したこと、学んだことについて、まとめておくこと。（2時間）
第7回：発達障害の学校での現れ方。発達障害の流動性。支援のための人格発達仮説。発達障害支援シートの活用。保護者支援。外部機関との連携。（ディスカッション）
事前学習：発達支援シートについて調べて、ディスカッションの資料になるように、まとめておくこと。（2時間）
事後学習：二次障害の予防と対応、連携についてまとめておくこと。（2時間）

第８回：予防開発的アプローチとしてのSSTの意味。SSTの用い方。SSTワークの体験。現場で使われているSSTの道具の体験。（グループワーク）
事前学習：第７回に配布した資料を熟読し、チェックリストを完成しておくこと。（２時間）
事後学習：授業で、自分で作った宿題の回答を試みること。（２時間）
第９回：SSTで開発できる分野。自分を振り返り、SSTを活用する。（グループワーク）
事前学習：児童生徒の相談内容からのSSTについて、模擬課題を考えておくこと。（２時間）
事後学習：教育相談においてSSTの効果的適応法についてまとめておくこと。（２時間）
第10回：予防開発的アプローチとしてのアサーティブトレーニングの意味。自尊感情、対等性、誠実であること、人権。自己理解、他者理解。（グループワーク）
事前学習：第９回に配布した資料を熟読し、質問をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：SSTとアサーティブネスの関係について、まとめておくこと。（２時間）
第11回：アサーティブトレーニングに基づいた、葛藤場面への対処。DESC。ワークの体験。（グループワーク）
事前学習：第10回に配布した資料を熟読し、質問をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：自分にとってのアサーティブネスについて検討し、レポートにすること。（２時間）
第12回：事件・事故・災害対応。危機管理について。緊急事態における教育相談の役割。チームのあり方。保護者支援。（ディスカッション）
事前学習：児童生徒を取り巻くリスクについて、想定し、対応策を考え、書き出しておくこと。（２時間）
事後学習：サイコロジカルファーストエイドにつて要点をまとめておくこと。（２時間）
第13回：学齢期の精神科疾患の基礎知識。学校での現れ方。専門機関との連携。
事前学習：第12回に配布した資料を熟読しておくこと。（２時間）
事後学習：支援のための連携機関について、図に整理すること。（２時間）
第14回：リラクゼーションとは。ストレスマネージメントについて。体験学習。教育相談での活かし方。（グループワーク）
事前学習：第13回に指示した、リラクゼーションの技法についてあらかじめ調べておくこと。（２時間）
事後学習：教育現場のストレスマネージメントの有効性について、レポートにまとめておくこと。（２時間）
第15回：ふりかえり。今まで学んだことの振り返り。改めて事例をもとに、見立て、介入プランの試作。
事前学習：授業全体を振り返り、疑問や質問をまとめておくこと。（２時間）
事後学習：参考図書について、指示した要点を確認しておくこと。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

小レポート（50％）　平常点（50％）
平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断します。

成　績　評　価　基　準

いじめ、不登校、発達障害について基礎知識を習得している。支援プランを提案できる。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

テキスト
藤田哲也監修『絶対役立つ教育相談』ミネルヴァ書房
参考図書
西本絹子著『教師のための初等教育相談』萌文書林
小野田正利、藤川信夫監修『体験型ワークで学ぶ教育相談』大阪大学出版会
河合隼雄著『こころの子育て-誕生から思春期までの48 章』朝日新聞社

その他(受講上の注意)

都度資料を配布し、レポートを課していきますので、本教科のためのファイルを用意してください。
予習復習については、授業時に資料や課題を指示します。また授業で行う体験学習に積極的に取り組んでください。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

事前・事後指導 (Guidance for Teaching Practice)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2311	1単位	3年～4年	実習	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

教育実習Ⅰ・教育実習Ⅱのための事前指導及び事後指導を行う。中学校・高等学校の生徒を指導する教師としての心構えを持つとともに、教育実習の目的・内容・方法及び留意事項を理解し、充実した実習が行えるよう準備する。実習終了後は評価・反省をし、課題を明確にする。

授 業 の 到 達 目 標

1．教育実習の意義・目的を理解する。
2．中学校・高等学校の教育現場の状況や教育環境を理解する。
3．教育実習に臨むしっかりとした心構えを持つ。
4．授業実習に必要な知識・指導法や技術を確認する。
5．教育実習を振り返り、評価・反省して、自身の課題を明確にする。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　■実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

3年次
第1回：教職課程ガイダンス：全体指導、教育実習の予定、受講資格等の説明
　事前学習：事前にシラバスや学生便覧に目を通し、質問事項をまとめておく。(0.5時間)
　事後学習：授業で学習した内容を復習する。(0.5時間)
第2回：教育実習特別講義：教育現場の状況や現場を取り巻く環境・生徒理解・教育実習の心構え等に 関する講義、ディスカッション
　事前学習：事前に講義のテーマについて調べ、質問事項をまとめておく。(0.5時間)
　事後学習：講義で学習した内容について復習する。(0.5時間)
第3回：学校見学（高等学校）：教育実習における注意事項、朝読書・朝礼参観
　事前学習：事前に教育実習の手引きに目を通し、質問事項をまとめておく。(0.5時間)
　事後学習：学校見学で学んだことを振り返る。(0.5時間)
第4回：学校見学（高等学校）：授業参観、高等学校施設見学
　事前学習：事前に教育実習の手引きに目を通し、質問事項をまとめておく。(0.5時間)
　事後学習：学校見学で学んだことを振り返り、レポートを書。(0.5時間)
第5回：教育実習Ⅱ反省会：上級生が教育実習について発表、質疑応答・意見交換、（ディスカッション）、実習に向けてのアドバイス
　事前学習：事前に教育実習の手引きに目を通し、質問事項をまとめておく。(0.5時間)
　事後学習：教育実習についての発表から学んだことを整理し、教育実習に備える。(0.5時間)
第6回：教育実習Ⅰの準備：「教育実習の手引き」、「教育実習ノート」に基づく実習直前の具体的な指導
　事前学習：事前に教育実習の手引きに目を通し、質問事項をまとめておく。(0.5時間)
　事後学習：授業で確認したことを振り返る。(0.5時間)
第7回：教育実習Ⅰのための直前指導（高等学校）：高等学校の教育現場の状況や現場を取り巻く環境、生徒理解・指導の心構え等に関する講義
　事前学習：教育実習の手引きに目を通し、質問事項をまとめておく。(0.5時間)
　事後学習：直前指導で理解・確認したことを振り返る。(0.5時間)
第8回：教育実習Ⅰのための直前指導（高等学校）：教科指導（授業実習）に関する講義
　事前学習：教科指導の基本事項を復習し、質問事項をまとめておく。(0.5時間)
　事後学習：直前指導で理解・確認したことを振り返る。(0.5時間)

第９回：教育実習Ⅰのための事前指導：実習直前の模擬授業（発表）に基づく指導
事前学習：直前指導で学んだことを踏まえて模擬授業の準備をする。（0.5時間）
事後学習：模擬授業を振り返り、不十分な点を改善する。（0.5時間）
第10回：研究授業についての指導：指導教員による研究授業についての指導助言
事前学習：研究授業の準備をする。（0.5時間）
事後学習：研究授業を振り返り、改善のポイントを整理しておく。（0.5時間）
第11回：教育実習Ⅰ反省会：実習生による実習報告・反省（発表）、意見交換（ディスカッション）、実習レポートの作成、自己点検
事前学習：教育実習Ⅰの反省をし、発表の準備をする。（0.5時間）
事後学習：実習レポートを作成する。（0.5時間）
４年次
第12回：教育実習Ⅱのための事前指導：教育実習Ⅱ、事前・事後指導の予定確認・指導等
事前学習：教育実習の手引きを読み返しておく。（0.5時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習する。（0.5時間）
第13回：教育実習Ⅱのための事前指導：教育実習カードの作成、教育実習Ⅱへの心構え、教材研究等についての指導、特別講義に関する準備
事前学習：教育実習の手引きを読み返しておく。（0.5時間）
事後学習：授業で学習した内容を復習する。（0.5時間）
第14回：教育実習特別講義：教育現場の状況や現場を取り巻く環境・生徒理解・教育実習の心構え等に関する講義
事前学習：事前に講義のテーマについて調べ、質問事項をまとめておく。（0.5時間）
事後学習：講義で学習した内容について復習する。（0.5時間）
第15回：教育実習Ⅱのための事前指導：実習直前の模擬授業（発表）に基づく指導
事前学習：模擬授業の準備をする。（0.5時間）
事後学習：模擬授業を振り返り、不十分な点を改善する。（0.5時間）
備考・その他　教育実習Ⅱ反省会：実習生による実習についての発表、意見交換（ディスカッション）、実習レポートの作成、自己点検、教育実習履修のまとめ
実習後は、評価・反省をし、実習レポートをまとめ自分自身の課題を明確にする。

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題・模擬授業（50%）、平常点（50%）
（平常点は、授業への参加状況と受講態度から判断します。）

成　績　評　価　基　準

１．教育実習の意義・目的を説明できるか。
２．中学校・高等学校の教育現場の状況や教育環境を理解について理解できているか。
３．しっかりとした心構えを持って、教育実習に臨むことができたか。
４．授業実習に必要な知識・指導法や技術を身につけていたか。
５．教育実習を振り返り、評価・反省して、自身の課題を明確にできたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　■仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テキスト、参考図書

仁愛大学教職課程委員会編「仁愛大学教育実習の手引」、「仁愛大学教育実習ノート（令和４年度版）」

その他(受講上の注意)

充実した教育実習ができるように日頃から、教師としての知識や技能を自主的に身につけるよう努力することを期待する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育実習Ⅰ (Teaching Practice Ⅰ)			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2312	2単位	3年(9月)	実習	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

高等学校における2週間の教育実習（観察実習・参加実習・授業実習）

授 業 の 到 達 目 標

1．確かな心構えを持って実習に臨む。
2．授業の教材研究がしっかりできる。
3．指導態度が真剣で、意欲的である。
4．生徒をよく理解しようと努める。
5．教科外指導にも熱心に取り組む。
6．実習ノートを欠かさず提出する。
10. 実習レポートはよくまとめられている。
11. 実習ノートは内容のある記録ができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

事前指導
・教職課程ガイダンス：全体指導、教育実習の予定、受講資格等の説明
・教育実習特別講義：教育現場の状況や現場を取り巻く環境・生徒理解・教育実習の心構え等に関する講義、ディスカッション
・学校見学（高等学校）：教育実習における注意事項、朝読書・朝礼参観
・学校見学（高等学校）：授業参観、高等学校施設見学
・教育実習Ⅱ反省会：上級生が教育実習について発表、質疑応答・意見交換、（ディスカッション）、実習に向けてのアドバイス
・「教育実習の手引き」、「教育実習ノート」に基づく実習直前の具体的な指導
・実習Ⅰのための直前指導（高等学校）：高等学校の教育現場の状況や現場を取り巻く環境、生徒理解・指導の心構え等に関する講義
・実習Ⅰのための直前指導（高等学校）：教科指導（授業実習）に関する講義
・実習直前の模擬授業（発表）に基づく指導

教育実習校（高等学校）における実習
1．オリエンテーション（実習校の概要や特色、指導方針等の確認、指導教員との打ち合せ等）
2．教育実習（観察・参加・授業実習の諸活動。教材研究・学習指導案の作成、授業・生徒指導等の実習体験等）
3．研究授業（実習生が行う教育実習の総仕上げの授業実践）
4．研究授業の反省会（研究授業後の実習校教員からの指導、ディスカッション）教育実習先の高等学校について、あらかじめ資料等を読んで理解を深めておく。
日頃から教育実習に必要な知識・技能をしっかり身につけておく。

事後指導
・研究授業についての指導：指導教員による研究授業についての指導助言
・教育実習Ⅰ反省会：実習生による実習報告・反省（発表）、意見交換（ディスカッション）、実習レポートの作成、自己点検

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点100%（教育実習校からの評価、レポート、実習ノートなどを総合して評価する。）

成　績　評　価　基　準

1．指導に必要な基礎学力・知識が十分にあるか。
2．よく教材研究・工夫がなされていたか。
3．指導態度は真剣で、意欲が感じられたか。
4．生徒をよく理解しようと努めていたか。
5．指導能力はあるか、指導態度は良かったか。
6．教科外指導にも熱心に取り組んだか。
7．勤務態度はまじめで、実習への熱意が感じられたか。
8．事務・実務能力はあるか。
9．実習ノートの提出はきちんとしていたか。
10．実習レポートはよくまとめられていたか。
11．実習ノートは内容のある記録ができていたか。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（実習に対するフィードバックについて）
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（実習における評価および課題は「事前・事後指導」においてフィードバックする。）

実務経験のある教員（経歴及び実務経験と授業内容との関連性）

テキスト、参考図書

仁愛大学教職課程委員会編「仁愛大学教育実習の手引」、「仁愛大学教育実習ノート（平成31年度版）」、指定教科書

その他（受講上の注意）

実習校での注意事項を遵守し、充実した実習になるよう努力することを期待する。

オフィスアワー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教育実習Ⅱ（Teaching PracticeⅡ）			担当教員	紺渡　弘幸
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2416	2単位	4年（6月）	実習	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果（教育目標）

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

中学校における2週間の教育実習（観察実習・参加実習・授業実習）

授 業 の 到 達 目 標

1．確かな心構えを持って実習に臨む。
2．授業の教材研究がしっかりできる。
3．指導態度が真剣で、意欲的である。
4．生徒をよく理解しようと努める。
5．教科外指導にも熱心に取り組む。
6．実習ノートを欠かさず提出する。
10．実習レポートはよくまとめられている。
11．実習ノートは内容のある記録ができる。

アクティブ・ラーニング

□課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　■実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

事前指導
・教職課程ガイダンス：全体指導、教育実習の予定、受講資格等の説明
・教育実習特別講義：教育現場の状況や現場を取り巻く環境・生徒理解・教育実習の心構え等に関する講義、ディスカッション
・学校見学（高等学校）：教育実習における注意事項、朝読書・朝礼参観
・学校見学（高等学校）：授業参観、高等学校施設見学
・「教育実習の手引き」、「教育実習ノート」に基づく実習直前の具体的な指導
・実習Ⅱのための直前指導（高等学校）：高等学校の教育現場の状況や現場を取り巻く環境、生徒理解・指導の心構え等に関する講義
・実習Ⅱのための直前指導（高等学校）：教科指導（授業実習）に関する講義
・実習直前の模擬授業（発表）に基づく指導

教育実習校（中学校）における実習
1．オリエンテーション（実習校の概要や特色、指導方針等の確認、指導教員との打ち合せ等）
2．教育実習（観察・参加・授業実習の諸活動。教材研究・学習指導案の作成、授業・生徒指導等の実習体験等）
3．研究授業（実習生が行う教育実習の総仕上げの授業実践）
4．研究授業の反省会（研究授業後の実習校教員からの指導、ディスカッション）教育実習先の中学校について、あらかじめ資料等を読んで理解を深めておく。
日頃から教育実習に必要な知識・技能をしっかり身につけておく。

事後指導
・研究授業についての指導：指導教員による研究授業についての指導助言
・教育実習Ⅱ反省会：実習生による実習報告・反省（発表）、意見交換（ディスカッション）、実習レポートの作成、自己点検

授業の形態(遠隔授業・面接授業の実施方法)

第1回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第2回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第3回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第4回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第5回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第6回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第7回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第8回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第9回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

平常点100%（教育実習校からの評価、レポート、実習ノートなどを総合して評価する。）

成　績　評　価　基　準

1．指導に必要な基礎学力・知識が十分にあるか。
2．よく教材研究・工夫がなされていたか。
3．指導態度は真剣で、意欲が感じられたか。
4．生徒をよく理解しようと努めていたか。
5．指導能力はあるか、指導態度は良かったか。
6．教科外指導にも熱心に取り組んだか。
7．勤務態度はまじめで、実習への熱意が感じられたか。
8．事務・実務能力はあるか。
9．実習ノートの提出はきちんとしていたか。
10．実習レポートはよくまとめられていたか。
11．実習ノートは内容のある記録ができていたか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
　■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
　□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他（実習に対するフィードバックについて）
　□授業時　□仁大eラーニング　□メール　■その他（実習における評価および課題は「事前・事後指導」においてフィードバックする。）

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ キ ス ト 、 参 考 図 書

仁愛大学教職課程委員会編「仁愛大学教育実習の手引」、「仁愛大学教育実習ノート（平成31年度版）」、
指定教科書

その他(受講上の注意)

実習校での注意事項を遵守し、充実した実習になるよう努力することを期待する。

オ フ ィ ス ア ワ ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。

教職実践演習 (Teaching Profession Practical Exercises)			担当教員	紺渡　弘幸、奥谷　　崇、フッド　晴美
講義コード	単　位	配当年次	開講形態	選択区分
CO−K−2417	2単位	4年後期	演習	選択

<科目区分>　人間学部特設科目　教職に関する専門科目

求める学習成果(教育目標)

次世代の英語コミュニケーション能力育成に携わるすぐれた知識と技能を持つ人間性豊かな中学校・高等学校の英語教員を育成する。

授　業　の　内　容

基礎的指導技術修得の確認・強化及び実践的指導力の育成

授 業 の 到 達 目 標

1．教職の意義・教員の職務と役割について理解する。
2．生徒理解や学級経営について理解する。
3．教科指導・生徒指導について理解する。
4．英語指導の基本的指導技術（ICT活用を含む）を身につける。
5．英語指導に有用なマクロストラテジーを理解し、使用できる。
6．ティーム・ティーチングの意義・目的を理解する。
7．ティーム・ティーチングの方法を理解し、実施することができる。

アクティブ・ラーニング

■課題解決型学習（PBL）　■討議（ディスカッション、ディベート、Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　■グループワーク（Moodleでのチャット・フォーラム、Teams、Zoom等）　□発表・プレゼンテーション（Teams、Zoom等）　□実習、フィールドワーク　□実験、実技　□その他

授業の計画及び授業外の学習方法

奥谷崇担当分（5回）
第1回：教職の意義、教職員の職務と役割、生徒に対する使命と責任の重さについて事例研究・ロールプレーイング・グループ討論（ＰＢＬ・討議・グループワーク）
　事前学習：実習を通して教職員の職務の尊さを実感した体験をできるだけ書き上げてくること。（2時間）
　事後学習：教職員の職務の内容を整理し、要点を書き上げておくこと。（2時間）
第2回：生徒理解と学級経営について事例研究・グループ討論（ＰＢＬ・討議・グループワーク）
　事前学習：実習を通して気になった生徒指導と学級経営の問題点を書き上げてくること。（2時間）
　事後学習：生徒指導と学級経営の要点をまとめ、自分が力を入れて取り組みたいことを書いておくこと。（2時間）
第3回：教科や生徒指導の方法についての事例研究・グループ討論（ＰＢＬ・討議・グループワーク）
　事前学習：教科指導や生徒指導で、どんな苦労をしたか、結果についてまとめてくる。（2時間）
　事後学習：教科指導や生徒指導で実習を通して学んだことをまとめてくること。（2時間）
第4回：学校現場の調査研究とグループ討論（ＰＢＬ・討議・グループワーク）
　事前学習：学校での先生方の勤務と苦労についてまとめてくること。（2時間）
　事後学習：特に学校現場の諸問題を整理し、解決策をまとめておくこと。（2時間）
第5回：会性や対人関係能力についての確認とまとめ（ＰＢＬ・討議・グループワーク）
　事前学習：児童生徒の社会性・対人関係能力の問題について解決策を考えてくる。（2時間）
　事後学習：社会性・対人関係能力の様々な問題の解決策をまとめておくこと。（2時間）

フッド晴美担当分（5回）
第6回：ティーム・ティーチング−意義と目的
　事前学習：自分が中学校・高校で受けたティーム・ティーチングで行われた英語の授業について、それらの授業がどのように自分の英語学習に効果的であったかをまとめておく。（2時間）
　事後学習：ティーム・ティーチングの意義と目的を、第2言語習得研究の成果と日本の学校英語教育の目的に照らし合わせ、レポートにまとめること。（2時間）
第7回：ティーム・ティーチング−現状と課題
　事前学習：自分が中学校・高校で受けたティーム・ティーチングで行われた英語の授業を振り返り、どのような点が問題であったかまとめておく。（2時間）
　事後学習：ティーム・ティーチングの現状と課題を、授業のディスカッションおよび配布された資料に基づいてまとめ、どのようにその課題を解決すべきか自分の考えをまとめる。（2時間）

第８回：ティーム・ティーチング－目標設定・指導計画・ALTとの話し合いの持ち方
事前学習：ティーム・ティーチングの授業での目標設定、ALTとの話し合いについて大切だと思うことをまとめておく。（２時間）
事後学習：今回の授業でディスカッションしたことに基づき、教育実習で実施したティーム・ティーチングで改善すべき点をまとめ、どのように改善すべきか考えをまとめる。（２時間）
第９回：ティーム・ティーチング－授業実践①
事前学習：教育実習で実施した授業の内容を、ティーム・ティーチングですることを想定して指導案を作り直し、模擬授業の準備をしてくる。（２時間）
事後学習：今回の模擬授業の良かった点、改善すべき点についてまとめる。（２時間）
第10回：ティーム・ティーチング－授業実践②・評価の仕方
事前学習：前回の模擬授業の目標がどれくらい達成したかを評価する評価テストを考えてくる。（２時間）
事後学習：ティーム・ティーチングを効果的に実施するための要点を、５回の授業を通して得た知見に基づき、まとめる。（２時間）

紺渡弘幸担当分（５回）
第11回：基本的指導技術－Warm-up・Reviewとマクロストラテジー（１）Diversity
事前学習：事前に資料を読み、課題をしておく。（２時間）
事後学習：基本的指導技術（Warm-up・Review）とマクロストラテジー（Diversity）について復習する。（２時間）
第12回：基本的指導技術－文法・文型の導入とマクロストラテジー（２）Quality
事前学習：事前に資料を読み、課題をしておく。（２時間）
事後学習：基本的指導技術（文法・文型の導入）とマクロストラテジー（Quality）について復習する。（２時間）
第13回：基本的指導技術－文法・文型を用いた活動とマクロストラテジー（３）Quantity
事前学習：事前に資料を読み、課題をしておく。（２時間）
事後学習：基本的指導技術（文法・文型を用いた活動）とマクロストラテジー（Quantity）について復習する。模擬授業の準備（学習指導案・教材の作成）をする。（２時間）
第14回：基本的指導技術－語彙の導入・指導とマクロストラテジー（４）Collaboration
事前学習：事前に資料を読み、課題をしておく。（２時間）
事後学習：基本的指導技術（語彙の導入・指導）とマクロストラテジー（Collaboration）について復習する。模擬授業の準備（学習指導案・教材の作成）をする。（２時間）
第15回：基本的指導技術－教科書本文の読解指導とマクロストラテジー（５）Autonomy
事前学習：事前に資料を読み、課題をしておく。（２時間）
事後学習：基本的指導技術（教科書本文の読解指導）とマクロストラテジー（Autonomy）について復習する。（２時間）

授業の形態（遠隔授業・面接授業の実施方法）

第１回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第２回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第３回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第４回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第５回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第６回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第７回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第８回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第９回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第10回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第11回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第12回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第13回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第14回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）
第15回：■面接授業　□遠隔授業（□オンデマンド　□リアルタイム　□オンデマンドとリアルタイムの併用）

成　績　評　価　方　法

課題（30%）、平常点（70%）
（平常点は授業への参加状況、グループ討論、模擬授業などの取り組みを総合的に判断します。）

成　績　評　価　基　準

1．教職の意義・教員の職務と役割について理解できているか。
2．生徒理解や学級経営について理解できているか。
3．教科指導・生徒指導について理解できているか。
4．基本的指導技術を授業に活用できるか。
5．英語指導に有用なマクロストラテジーを理解し、授業で使用できるか。
6．ティーム・ティーチングの意義・目的を理解できているか。
7．ティーム・ティーチングの方法を理解し、実施することができるか。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバック

1）授業時の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
2）事前・事後学習の課題に対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
3）小レポートに対するフィードバックについて
■授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
4）定期試験（レポート試験を含む）に対するフィードバックについて
□定期試験時　□仁大eラーニング　□メール　□その他
5）その他
□授業時　□仁大eラーニング　□メール　□その他

実務経験のある教員(経歴及び実務経験と授業内容との関連性)

テ　キ　ス　ト　、　参　考　図　書

なし。

その他(受講上の注意)

自ら積極的に教員になる上で必要な知識・技能を再確認し、実際に活用できるようにするとともに、教師としての資質を向上させることができるよう努力を期待する。

オ　フ　ィ　ス　ア　ワ　ー

教育情報システムのトップページ【お知らせ】欄にて確認できます。